FUZIKO FUZIO FAN CIRCLE MAGAZINE
2007/Jan
Neo Utopia
Vol. 43
再録 オバケのQ太郎
愛たずねびと
特集 日本テレビ版 NTV ドラえもん
●インタビュー
太田淑子さん［初代 のび太の声］
越部信義先生・主題歌作曲
上梨満雄 チーフディレクター
真佐美ジュン 製作主任
●再録「クルパーでんぱ」
●リスト&エピソードガイド
●設定資料&情報満載！
DVD-BOX記念企画 エスパー魔美
Neo Utopia
NTV版ドラえもん／太田淑子さん／新オバケのQ太郎／アニメ・エスパー魔美
vol. 43

ファンが道ライフ
キミは覚えているか！
F.F.L.（藤子不二雄ランド）を毎週買っていた、あの日の事を
301回の戦い編
それはまるで戦いの日々だった！
コーティングのない表紙は痛みやすく、発売日に買うのは基本！
背が破れてないかチェック
ヒモのくくり跡がないかチェック
スレがないかチェック
下もチェック
ズレが少ないのを選ぶべし！
セル画
もう一つの難関！
背景にもキャラがいるのでズレが気になるのだ
これらを入荷された本からより分けるのだ
よしこれだ!!
しかしこれでは終わらない！
最後の難関が売り上げ票（スリップ）!!
ここにF.F.L.マーク（ランドマーク）が入っているのがポイント
WINNER
あった
チッ
今週は負けたが来週こそは！
この勝負は約300回くり返されたのだった—
これが欲しくて毎週本の奥にスリップをつっこんでいた
見つかりませんように…
当然、レジでスリップを探されます
ペペペペラララ
あれ？

まんが/しらいしろう

NEO UTOPIA HEADLINE

'06 AUG - DEC TOKYO JAPAN

TAIYOKEN

―ＮＵ12期が始まりました。これからも、会誌を通じて新旧藤子両先生の作品を全方位で研究・ご紹介していきます。ご愛読・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

●池袋のトークショーにて

＊記事制作にあたり、ＮＵ会員・稲垣高広さんのブログ【藤子不二雄ファンはここにいる／koikesanの日記】から情報を転載させていただきました。
http://d.hatena.ne.jp/koikesan/

Ⓐ先生関連最新情報

●『踊ルせぇるすまん』最新作
○実業之日本社刊「週刊漫画サンデー」1月9＋16日号に新作『京の正月、一夜の宴』を発表。単行本③巻は、3月末までには発行される予定。

●新刊・復刊新刊・復刊
赤塚不二夫のまんがNo.1
シングルズ・スペシャル・エディション
○'72年に赤塚氏が私財を投げ込みフジオ・プロダクションより創刊した雑誌「まんがNo.1」（翌年に休刊）の付録ソノシートレコード全6枚6曲をリマスタリングしたCDに、再録マンガ・記事による"ベスト・オブ・まんがNo.1"ブックレット（252頁）を付したセット（'73年3月号発表の『大悪漢』が収録されている）。
11月23日に、ディスクユニオンより発売
税込3,500円

●ついにCD化・「フータくんのうた」
○連載当時、パイロットアニメまで作られた「フータくん」だが、事情によりテレビアニメ化は実現しなかった。その歴史の唯一の手がかりでもある主題歌「フータくんのうた」は、'66年にソノレコード社から発売されたオリジナル版でしか聴くことができなかったが、ついに本曲を収録したCDがウルトラ・ヴァイヴ社から発売された。
ソリッド レコード「黄色い手袋X　幻の漫画ソノシート主題歌コレクション」
税込2625円

●講演・ファンサービス
○赤塚不二夫サン"ジェーッ"インギャラリー・スペシャルトークショー

○東京・池袋サンシャインビル60階スカイギャラリーで開催されている赤塚不二夫氏の漫画家稼業五〇周年記念企画で、8月11日、Ⓐ先生が講演ゲストとして登場し、多摩美術大学教授の片山雅博氏との対談形式で進行された。

◎トークのテーマは、赤塚不二夫氏について。Ⓐ先生は、赤塚氏と初めて会った印象から、トキワ荘やスタジオ・ゼロ時代のエピソード、赤塚氏がタモリを福岡から読んだ事実など、お馴染みの話を披露した（以下にご紹介）。

Ⓐトキワ荘のひと月の家賃は3,000円だった。みんな貧乏だったから、その頃いちばん売れていた兄貴分のテラさん（寺田ヒロオ氏）からお金を借りることがよくあった。あるとき、テラさんが僕に「お金、足りているかい？　もし困っていたら貸そうか」と尋ねてきたことがあったが、僕にもプライドがあったので「いりません」と断った。でも翌日、やっぱりお金が払えなくなって、テラさんに借りに行った（笑）。

Ⓐ赤塚氏は『おそ松くん』で売れっ子になったが、あの時代にあんなナンセンスなマンガを描いたのがすごい。同じ「少年サンデー」に僕と藤本くんは『オバケのQ太郎』を連載していたが、同じギャグマンガでも、僕らのはほのぼのとして、終わりにちゃんとオチのあるようなものだった。でも、赤塚氏のマンガは、頭では考えられない。レレレのおじさんなんか、ほんとうに意味のないキャラ。ただ掃除しているだけなのに、なんか知らないけれど面白い。

●片山氏からも興味深いお話があった。…トキワ荘が取り壊されるとき、藤子・石森章太郎両先生がトキワ荘関係の本を出版し、それを記念したパーティーが京王プラザホテルで開かれた。赤塚氏は、藤子先生や石森先生をお祝いするため、トキワ荘のガスコンロで火をつけ、聖火ランナーになってトキワ荘から京王プラザホテルまで走り抜いた。その模様を8ミリフィルムで撮影し、そこに鈴木伸一氏が、手塚・藤子・石森各先生らが走っている似顔アニメを合成して、パーティーで上映した。このフィルムがまだ残っているので、今度、赤塚氏の娘さんに渡す予定。

Ⓐ最後にⓐ先生は、「赤塚氏は今は病床で寝ているが、きっとカムバックすると思う。僕はもうすぐ死にますが（笑）」と発言。すると片山氏が「こんなにゴルフ焼けして健康な人が何を言ってるんですか」などと切り返した。

●ＮＨＫ総合『クイズ日本の顔』に安孫子先生がご出演。先生の経歴をテーマにクイズを出題されました。06年10月10日に放送。

●手塚先生の机を前に

●「タイヨ犬のタイちゃん」をデザイン
○Ⓐ先生が代表理事を勤める「有限責任中間法人・出版物貸与権管理センター」のマスコットキャラを自らデザイン。また、これまでの運動が実を結び、12月1日より著作権法に基づいた正式なレンタルブックの仕組みがスタートしました。

●ＮＵ34・35号にもご登場いただき、藤子ファンには著作「藤子不二雄論・FとⒶの方程式」でもおなじみのマンガ評論家・米沢嘉博さんが'06年10月1日に、肺がんのためお亡くなりになりました。コミケット代表も精力的にお務めになった米沢氏。ご冥福をお祈り申し上げます。

＊定期購読会員にお送りしたＮＵエクスプレスでご紹介した情報は、一部割愛させていただいております。

★セルDVD★

小学館／ポニー・キャニオン	発売日	税込定価	※備考
映画 ドラえもん のび太の恐竜 2006 スペシャル版	2006年12月20日	4,830円	※特典なしの通常版は3,990円
※封入特典「えほん のび太の恐竜」（渡辺歩監督描き下ろし・28頁） 映像特典「うごくえほん のび太の恐竜」（渡辺歩監督が挿絵を担当し、大原めぐみ氏が朗読。10分）			
TV版 NEW ドラえもん・冬のおはなし 2005	2006年11月15日	2,940円	
TV版 NEW ドラえもん・秋のおはなし 2005	2006年 9月20日	2,940円	※初回特典：携帯クリーナー
ムービック／フロンティアワークス／ジェネオン エンタテインメント			
エスパー魔美 DVD-BOX 下巻	2006年12月 8日	60,900円	※10枚組。日本語モノラル ※61～119話（62～119話の予告編付）＋スペシャル収録
ジェネオン エンタテインメント			
銀河テレビ小説 まんが道 青春編	2006年10月25日	9,975円	※2枚組。

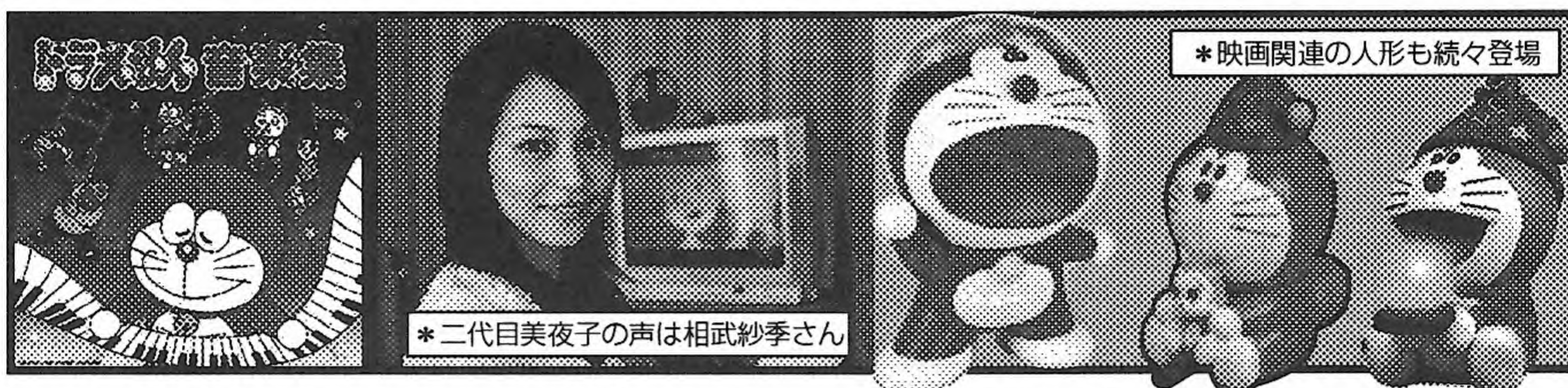
★レンタルビデオ★

東宝ビデオ 藤子・F・不二雄ファミリービデオ全集	レンタル開始日	※備考
NEW TV版ドラえもんVol. 7～Vol. 8		
NEW TV版ドラえもんVol. 9～Vol.10	2006年11月10日	※DVD＆ビデオ同時リリース

★CD★

コロムビアミュージックエンタテインメント	発売日	税込定価	※備考
ドラえもん☆音楽集	2006年11月22日	2,625円	COCX-33997（サントラ）

＊二代目美夜子の声は相武紗季さん

＊映画関連の人形も続々登場

●ドラえもん＆藤子・F先生 情報

●「みんなのドラえもん展」開催

○「みんなのドラえもん展」実行委員会などが主催者となり、藤子先生もゆかりある川崎市の市民ミュージアムで、「藤子・F・不二雄ミュージアム（仮称）開館に向けたみんなのドラえもん展―魅力のひみつ―」が、開催される。

原画を中心に、『ドラえもん』から発想された現代美術作品、またグッズや映像資料が展示され、作品オリジナルの魅力を追及する。また、本展は'10年に川崎市にオープン予定の「藤子・F・不二雄ミュージアム（仮称）」開館プレイベントと位置づけされている。

●会期：'07年1月20日㊏～2月25日㊐
●会場：川崎市市民ミュージアム企画展示室
川崎市中原区等々力1－2（東急東横線・目黒線、JR南武線「武蔵小杉」北口よりバスで約一〇分）
℡044－754－4500
●開館時間：9時30分～17時（入館は16時30分まで）
●休館日：月曜日・ただし2月12日（㊊・㊗）は開館、翌2月13日㊋は休館
●観覧料：一般800円、高大生500円、中学生以下・65歳以上無料
●主催：「みんなのドラえもん展」実行委員会、川崎市市民ミュージアム
●協賛：アートコーポレーション㈱
●企画・構成：川崎市市民ミュージアム漫画部門
●特別協力：藤子プロ
●協力：小学館、テレビ朝日、シンエイ動画、アサツーディ・ケイ、小学館プロダクション
●開催趣旨：作品のこれまでのあゆみを象徴的な資料でたどる一方、貴重な原画約五〇点を「ドラえもんのパーソナリティ」、「ひみつ道具」、「のび太くんとの友情」など重要なテーマに沿って展示。また、日用品をはじめとするグッズ、海外版コミックス、そして写真家・グラフィックデザイナー・現代美術作家によるドラえもんをテーマとした作品を展示し、ドラえもんの現代的な展開も併設。

●その他情報

○アニメスタイル主催「エスパー魔美上映会＆原恵一監督トークショー」

○10月9日、新宿・ロフト／プラス1でチーフディレクター・原恵一氏を交え「エスパー魔美」を上映（詳細は本誌記事参照）。

○魔界大冒険版・ドラフィギュア

○メディコム・トイより［VINYL COLLECTIBLE DOLLS］No.89・ドラえもん（魔界大冒険）が'07年3月発売予定。

○ハムサラダくん・完全版登場！

○マガジン・ファイブから「藤子不二雄物語ハムサラダくん～完全版～」が上下巻で発売！ 上巻は'07年1月中旬、下巻は2月中旬発売予定。各巻予価税込1,365円。B6判並製。下巻は初収録作品有り！

●はみだしトキワ荘関連情報●光文社「FLASH」10月30日増刊号に、小池さんについての鈴木伸一氏インタビュー掲載／杉並アニメーションミュージアムでは10月9日にイベント「鈴木館長が語るアトム」が開催。「鉄腕アトム・ミドロが沼」の制作に携わった鈴木伸一氏が、同作について語った。／7月23日～10月1日、横浜・人形の家で「トキワ荘のよせがきカーテン」が展示された。

藤子不二雄Ⓐ作品一覧

●愛…しりそめし頃に…　＊小学館・ビッグコミックオリジナル増刊（'95年12月増刊号より連載中）

サブタイトル	掲載号	頁数	＊備考
夢の64　上を向いて歩こう	9月増刊号	片／22	
夢の65　国境の二人	11月増刊号	片／22	

●踊ルせぇるすまん　＊実業之日本社・週刊漫画サンデー（読切シリーズ）

サブタイトル	掲載号	頁数	＊備考
「ラナイの奇岩怪石」の巻	8月22日＋29日合併号	片／15	四色カラー3P＋白黒12P
「参上！氷見のからくり橋」の巻	11月14日号	片／15	四色カラー3P＋白黒12P

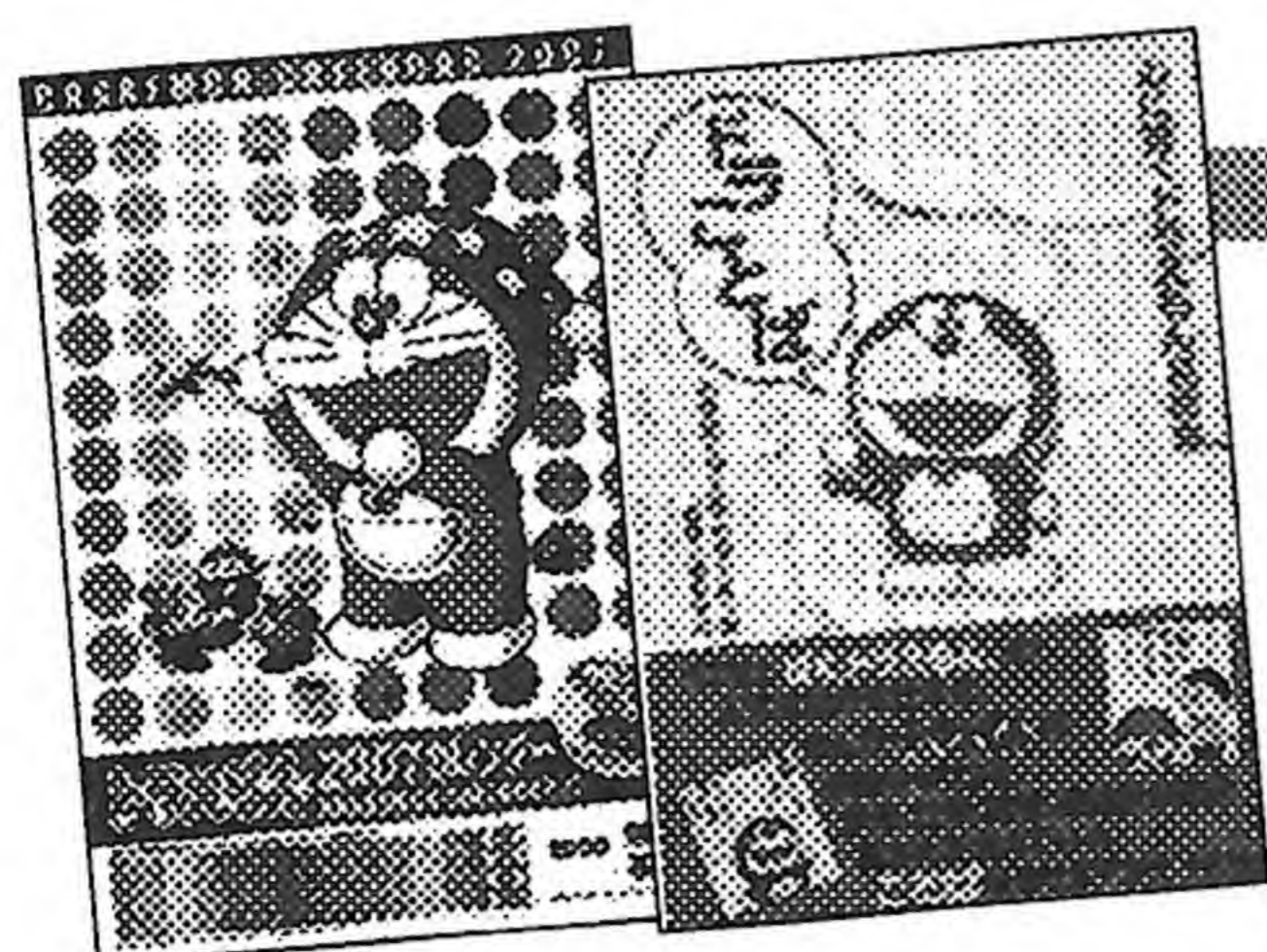
出版物リスト

◆藤子不二雄Ⓐ◆

●小学館・BIG COMICS SPECIAL	初版発行年月日	税込定価	判型	＊備考
愛…しりそめし頃に…⑧	2006年12月1日	1,260円	A5	

●小学館・ぴっかぴかコミックススペシャル	初版発行年月日	税込定価	判型	＊備考
怪物くん 怪物ランドへの招待	2006年10月 5日	500円	A5変形	'81年刊・カラーコミックスと同構成

●ブッキング	初版発行年月日	税込定価	判型	＊備考
ミス・ドラキュラ③	2006年 9月10日	1,000円	B6	'80年・奇想天外社刊③と収録作同じ
ミス・ドラキュラ④	2006年11月10日	1,000円	B6	'80年・奇想天外社刊④と収録作同じ

※本シリーズは全252話を全⑦巻に分けて収録。⑤～⑦巻は未収録作品で構成予定

出版物リスト

◆藤子・F・不二雄◆

●小学館・てんとう虫コミックススペシャル	初版発行年月日	税込定価	判型	＊備考
ドラえもん カラー作品集⑥	2006年 9月 3日	750円	B6	てんコミ未収録作品で構成

●小学館・My First BIG　※286円＋税／B6（軽装版）

タイトル	初版発行年月日	＊備考
ドラえもん　爆笑＆失笑！ドンデン返し!!編	2006年 8月11日	てんコミより20話セレクト
ドラえもん　きみたちがいる！ドラもいる編	2006年 9月 8日	てんコミより19話セレクト
ドラえもん　ドラマチックにもりあがれ!!編	2006年10月 6日	てんコミより19話セレクト
ドラえもん　笑って、恋して、涙して…!!編	2006年11月10日	てんコミより18話セレクト
ドラえもん　師走もホットに大騒ぎ!!編	2006年12月 8日	てんコミより17話セレクト

●小学館・ぴっかぴかコミックス	初版発行年月日	税込定価	判型	＊備考
ドラえもん⑬	2006年 9月 5日	300円	A5変形	てんコミ未収録作品6話収録
ドラえもん⑭	2006年12月 5日	300円	A5変形	てんコミ未収録作品3話収録

●小学館・コロコロ文庫	初版発行年月日	税込定価	判型	＊備考
みきおとミキオ	2006年10月10日	510円	文庫	初収録作品1話収録

●関連出版［小学館］	初版発行年月日	税込定価	判型	＊備考
ビッグ・コロタン ドラえもん 深読みガイド	2006年 8月20日	950円	B6	小学館ドラえもんルーム編
ビッグ・コロタン ドラえもん 宇宙サイエンス	2006年	893円	B6	綿引勝美編著
ドラことば 心に響くドラえもん名言集	2006年 9月20日	1,260円	A5	小学館ドラえもんルーム編
ドラえもん総集編2006年夏号	2006年10月 1日	420円	A5	別冊コロコロコミック10月号スペシャル増刊

キャラクターデザインは、作画監督も努める**金子志津江**さんの手による

「魔界〜」と言えば、美夜子！

幼少時代や母親の新設定が起されたぞ

●はみだし情報●野比家・源家・のび太の町・学校などは新テレビシリーズや「のび恐2006」の美術設定を流用し世界観が統一されているが、本作では膨大な量の新美術設定が追加された。主な新設定は以下の通り。天文台／満月教会／森／山岳地帯／絨毯／魔界星／魔界城／魔王の間／月の裏側の封印など。これら建物や室内・小道具の設定だけでも一〇〇枚以上！　力作の公開を心から待とう！

★アニメ「ドラえもん」放送記録★

'06年7月14日～'06年12月8日

#放映日	回数	サブタイトル	脚本	演出	絵コンテ	作画監督	初出誌
#57	111	無人島へ大冒険！ のび太漂流記	岡部優子	鈴木孝義	キャロラインキング	嶋津郁雄	小五'73・7
7.14	112	かたづけはのび太におまかせください チッポケット二次元カメラ	早川 正	鈴木孝義	渡辺温子	嶋津郁雄	小四'79・8
#58	113	ひょうきんな出木杉⁉ コチコチコチ…ボン！ 時限バカ弾	大野木寛	安藤敏彦		志村隆行	小三'85・7
7.21	114	なんでも思い通りの夢道具⁉ あらかじめ日記はおそろしい	与口奈津江	三家本泰美		中村英一	小二'80・9
#59	115	うらめしやー、肝だめしを切り抜けろ！ つめあわせオバケ	高橋ナツコ	三宅綱太郎		西本真弓	小四'80・9
7.28	116	そっちがウソでこっちがホント？ どっちがウソか！アワセール	与口奈津江	三宅綱太郎		西本真弓	小五'80・7
#60		**のび太誕生日スペシャル！**	早川 正	腰 繁男		冨永貞義	小五'89・10
8. 4	117	しずかちゃんと出木杉が急接近？ ふたりっきりでなにしてる？（スタッフは上記）					
	118	ドラえもんがイナバウアー⁉ 水加工用ふりかけ	岡部優子	しぎのあきら	塚田庄英	冨永貞義	てれび'80・9
#61	119	全人類のび太化計画⁉ ビョードーばくだん	岡部優子	鈴木孝義	キャロラインキング	嶋津郁雄	小五'80・9
8.11	120	しずかは見た…。 ぼくをタスケロン	高橋ナツコ	鈴木孝義	キャロラインキング	嶋津郁雄	小五'79・9
#62	121	風の強い日はご用心？ サンタイン	岡部優子	安藤敏彦		志村隆行	小三'82・7
8.25	122	夢の中で夢を見てそれも夢…ってどれが夢？ うつつまくら	大野木寛	三家本泰美		中村英一	小三'70・9
#63		**ドラえもん誕生日スペシャル！**のび太くん、さようなら！ ドラえもん、未来に帰る…					
9. 1	123	前編 ～ションボリ、ドラえもんより～	与口奈津江	鈴木卓夫	鈴木卓夫	田中 薫	小三'81・4
		後編 ～ハツメイカーで大発明より～	早川 正	渡辺温子	渡辺温子	嶋津郁雄	小三'81・10
#64	124	実はジャイアンよりひどい⁉ ドラえもんの歌	大野木寛	安藤敏彦	塚田庄英	冨永貞義	小四'71・10
9. 8	125	のび太が犬になった？ ライター芝居	早川 正	腰 繁男		冨永貞義	小五'75・5
#65		ドラえもん緊急特番 史上最大のひみつ道具スペシャル！ 構成：岡部優子 演出・絵コンテ：楠葉宏三					—
9.15	(69)	タタミのたんぼ［再放送］	大野木寛	寺本幸代		西本真弓	小四'74・1
#66	126	最初で最後か？ な、なんと‼ のび太が百点とった	高橋ナツコ	鈴木孝義	三宅綱太郎	中村英一	小六'81・5
9.22	127	イマどきの悪魔にご用心 デビルカード	大野木寛	三宅綱太郎		桜井このみ	てれび'80・5
#67	128	ドラミちゃん式ダイエット！ふんわりズッシリメーター	高橋ナツコ	三家本泰美		志村隆行	小五'89・12
10.20	129	人類初の宇宙戦争か？! 未知とのそうぐう機	早川 正	安藤敏彦		中村英一	小四'78・4
#68	130	感動を呼ぶ葉っぱ？名作… ドロン葉	岡部優子	鈴木孝義	渡辺温子	嶋津郁雄	小六'78・2
10.27	131	やさしさをください… 神さまロボットに愛の手を！	与口奈津江	鈴木孝義	渡辺温子	嶋津郁雄	小六'81・9
#69	132	もらうほどへっちゃうおこづかい？ 税金鳥	大野木寛	腰 繁男		冨永貞義	小四'79・10
11. 3	133	ドラミちゃん式ひみつ道具 とう明人間目ぐすり	早川 正	腰 繁男	塚田庄英	冨永貞義	ブック'74・9
#70	134	ドラえもんぐらっとしてのび太は大変？ 自信ぐらつ機	岡部優子	前田康成	三宅綱太郎	嶋津郁雄	小五'84・11
11.10	135	のび太の不幸をあなたに…悪運ダイヤ	大野木寛	鈴木孝義	三宅綱太郎	嶋津郁雄	小四'72・9
#71	136	スクープ！しずかちゃんは悪い子？ おそるべき正義ロープ	与口奈津江	三家本泰美		冨永貞義	小二'80・5
11.17	137	鳥だ！飛行機だ！ドラミちゃんだ！ミニ熱気球	高橋ナツコ	安藤敏彦		中村英一	五/六'89・5
#72		**ドラミちゃん誕生日スペシャル！**					
11.24	138	のび太の部屋、貸します 四次元たてましブロック	岡部優子	三宅綱太郎	渡辺温子	桜井このみ	小三'82・3
	139	のび太、ジャイアンとくっつく？ むすびの糸	与口奈津江	鈴木孝義	渡辺温子	中村英一	小五'81・12
#73	140	ゴキブリのおんがえし ウラシマキャンディー	与口奈津江	三家本泰美		志村隆行	ブック'74・5
12. 1	141	勝負だ！妹よ…ドラえもんとドラミちゃん	早川 正	安藤敏彦		冨永貞義	コロコロ'79・9
#74	142	のび太、悪の道へ… 悪魔のパスポート	高橋ナツコ	三宅綱太郎		嶋津郁雄	小四'76・6
12. 8	143	ペットとの再会！感動のラスト‼ かわいい石ころの話	岡部優子	三宅綱太郎		嶋津郁雄	小二'80・2

●3月10日に公開を控え、急ピッチで制作進行中の『ドラえもんのび太の新魔界大冒険～7人の魔法使い』。12月上旬にコンテを終え、現在は原画チェックで多忙の寺本監督に、NU読者のために特別にコメントをいただいたぞ！

寺本監督インタビュー

—ドラえもんファンに対しての見所を教えてください

◎一番冒頭のシーンで、モニターが沢山ある研究所のような所が出てくるんですが、そのモニターの中の一つに原作ファンの方なら"ん？あれは、あの話に出てきた、あれ……？"と思うような映像があるはずです。ただ、まだCGが組み上がってないので実際の大きさがよく分からないのですが、もしかしたら小さくてよく分からないかも…（汗）…がんばって見つけて下さい…汗

その他には…ドラのポケットの中の映像が見られます。

—リニューアル映画第二作ということで、去年と違う点、魔界～ならではの試みなどを教えてください。

◎オーソドックスに作るタイプなので、そこまで目新しいことはないかもしれませんが、前半の日常シーンで、ちょこっとだけは、原作初期の頃のような、ちょっと怠惰（？）なドラが見られるとか、皆が毎日服を変えるとか、髪下ろししずかちゃんが見られるとか、そんなかんじでしょうか…。

あとは"ドラえもんチャンネル"でも言った"やわらかドラちゃん"です。

—最後に映画を観る子供たち、またはマニアたちに一言お願いします。

◎スタッフ一同、スケジュールのない中、できうるかぎりの情熱を込めてガンバっておりますので、ぜひぜひ劇場で私達のパワーを見てやってくださいませ。

—ありがとうございました!!

藤子Ⓐブラックユーモア

「ヒタヒタヒタと、しのびよる…」

©藤子スタジオ

■アクセス方法

i-mode（月額315円）iメニュー→メニューリスト→デコメール→「キャラマックス」内
EZweb（月額315円）EZトップメニュー→カテゴリで探す→画像・キャラクター→アニメ・コミック→藤子（A）ブラックユーモア
Yahoo!ケータイ（月額315円/525円）Yahoo!ケータイ→メニューリスト→壁紙・待受→キャラクター→「キャラマックス」内

●読者プレゼント●「藤子Ⓐブラックユーモア」のプロモーションポストカード（非売品）を10名様に差し上げます。まだ二箇所でしか配布しておらず、ソニーさん曰く「これすごいレアですよ」とのこと。Ⓐ先生もお気に入りの白ベエの絵柄です。ご希望の方は3月末〆切で代表部まで。

「**たそがれ黒ベエ**」プロローグの名シーンをカラーで！

◉藤子不二雄Ⓐ先生のブラックユーモア作品に特化した面白携帯サイトがあるのをご存知でしょうか？

ブラック作品というと…せぇるすまん？　短編？　魔太郎？　いえいえ。このサイトを構成しているのは、通好みの三作品。**『黒ベエ』『ブラック商会変奇郎』『切人がきた!!』**です。

これらのタイトルが携帯コンテンツになるというだけでも驚きですが、目を見張るのはその画像選択と、加工のセンス。そして細か～いカルトキャラまでもカバーしていることです。**細井のおっさんの息子**とか、**甘井の同僚**とか…。**それらを待受画像として使用する人はいるのか**、という疑問も浮かんでくるのですが、逆にそのやりすぎちゃってる感がマニアにはたまりません。NU読者なら思わずニヤリとしてしまうこの携帯サイトの各コーナーをご紹介します。

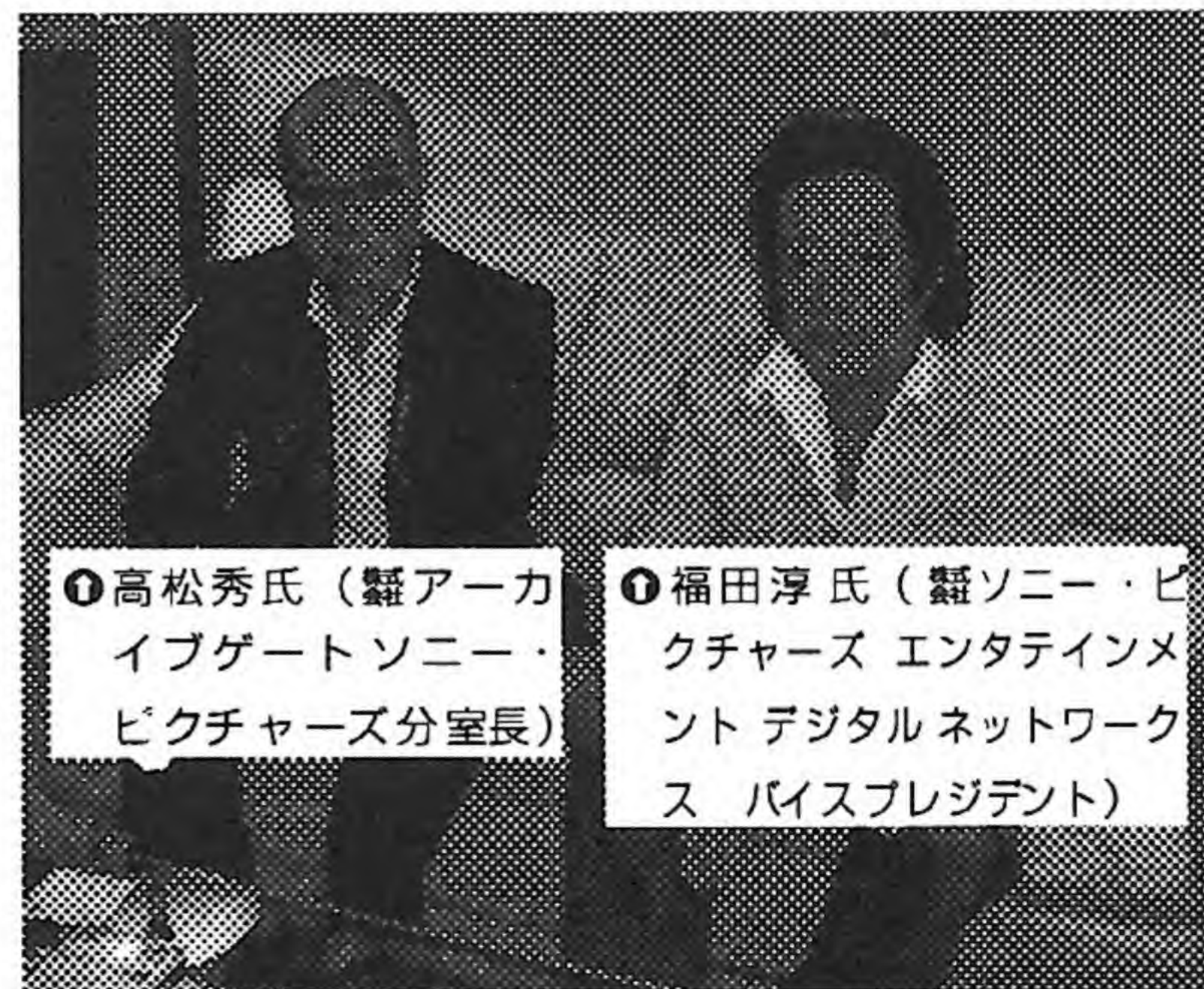
❶黒ベエのおすすめ

待受画像をカテゴリから選んでダウンロードできます。切人は『魔太郎がくる!!』からもカットを流用。月代わりで限定の「カレンダー待受」もあります。

「**寝ている黒ベエ**」コマのチョイスにセンスが光ってます。

「**黒ベエ、運命の出会い**」画像にマッチした色使いがオシャレ。

「**焼鳥を食う黒ベエ**」大胆な模様がいい効果を出しています。

★この携帯サイトを運営されているソニー・ピクチャーズエンタテインメントデジタルネットワークス部門のお二方にお話を伺うことができました。

❶福田淳氏（㈱ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント デジタル ネットワークス バイスプレジデント）

❶高松秀氏（㈱アーカイブゲート ソニー・ピクチャーズ分室長）

企画の立ち上げについて

高松「小さい時に見た一種独特な、先生にしか描けないものが確固として残っていて、その世界観を崩さないように携帯サイトへ移行させたいと思いました」

福田「高松からブラックユーモアという切口は異色だし、面白いんじゃないかということで。一昨年ぐらいから準備を始めて、昨年オープンしました。コンテンツについては彼が一個一個とにかく丁寧に作ってます。企業は普通システマティックにやろうとするんですけど、僕らは映画会社だから、こういうのがハンドメイドなのはよく分かるんです。よそのデザイナーに外注して、量産して、適当なレイアウトで、色違いで…とかやってないんです。だからものすごい時間がかかるんですよこれ。…一瞬、経営的な側面から見て良いのかなって（笑）。だけ、世界観としては深いし、やらなきゃいけないし。評判もいいんですね。お金儲けは会社でしょうがないからやってますけど。僕らは趣味で好きなことやらせてもらってます」

世代と藤子体験について

福田「二人とも'65年生まれの41歳です。感覚的には（週刊少年）チャンピオン世代。先生の作品ってキャラクターのインパクトとか、読んだ後の独特の、他ではないような何かがありますね」

高松「小さい頃はテレビで白黒の怪物くんやハットリくんの実写版を見て…　そこからマンガへ。局地的な話でアレですけど、当時床屋に行くと**『魔太郎がくる!!』**と『どろろ』が全部揃ってたんですよ（笑）。Ⓐさんも F さんも区別なく読んでたんですけど、中学生の時に「奇想天外」か何かの雑誌にこの間お亡くなりになった米沢嘉博さんが絵柄の違いについて書かれていて、そこで初めて知って、ショックを受けたのを覚えています」

制作のポイントについて

福田「絵の選択では携帯向けという事で、先生ともお話して、例えば切人ならあまり残酷でないムードのものを使用しています」

高松「先生が思ってもいないようなアレンジをして、なおかつ先生がやりたかった事と方向がブレないというのがやっぱり一番望まれる形だと思うんですね。一つの絵にもなっててストーリーとしての面白さも持っているものをセレクトさせていただいてます。原稿がカラーじゃないので、色の付け方などもやり取りさせていただいて。色を

❷変奇郎のように

「変奇郎の様に携帯電話を変身させよう！」がコンセプト。アニメ画像はぜひアクセスして動きを確かめてみてください（※筆者のようにダウンロードしすぎると、リアルで変奇郎のような請求書がきます）。

★**フォトフレーム**…空白部分を携帯カメラで撮影して、プリクラのようにⒶワールドと共演することができます。

○**暗闇に浮かぶ黒ベエフレーム**
ニッカリ笑ってチーズ！

○**変奇郎フレーム**
これで君も変奇郎に！（おおっ！）

○**変奇左エ門フレーム**
これで君も変奇左エ門に！（お…おぉっ！）

○**美魔子フレーム**
これで君も美魔子に！（おぉ…って誰だっけ？　甘井の憧れのシトです）

○**ヤバーイ！フレーム**
今この原稿書いてる自分を撮影すれば臨場感が出るよねーと自虐。

★発着信アニメ…キャラが動いてお知らせ！

○**水晶に現れた変奇郎**　球面の歪みが徐々に変奇郎の形へと変化。

○**たそがれ、黒ベエ**　プロローグの名シーンを今度は動画で！

○**満賀くんと変奇郎**　だがアニメするのは…。

○**メール配達人、黒ベエ**　巨大靴に乗ってメール配達。ランド絵使用。シュールです。

★**待受FLASH**…普段の待ち受け画面にも粋なⒶアニメを。「摩天楼の変奇郎」はカッコ良くてオスス…す。「チェンジャー」はランダムで様々な絵が出現。トレーディングカードを開けてるみたいで楽しいです。

❸切人の占い

毎日おみくじに付いてくるポイントを貯めると、プレゼントがもらえます。

今回はソニー・ピクチャーズエンタテインメント様のご好意で、50ポイント貯めないともらえない特別待受画像を公開！　FFⒶランドでは見られないカットです。

❹ハゲベエにたのもう

ハゲベエがグリーティングメールを届けてくれます。季節やシチュエーションに合わせた絵柄をチョイスしましょう。

◆準備完了

◆寒い！

❺変奇左エ門は知っている

Ⓐ先生やお天気の情報を読む事ができます。

★…どうでしょう？　普段使っている携帯をちょこっと操作するだけで、ディープな藤子世界にアクセスできるという現実そのものがブラックユーモア。その繋がる楽しさをぜひ体感してみてください。

●もう一つのⒶキャラ携帯サイト、タイトーが運営する「藤子不二雄Ⓐパーク」でも、お馴染みのキャラ達による趣向を凝らした待受画像が有料でゲットできます。月額315円。
【EZweb】カテゴリで探す→画像・キャラクター→アニメ・コミック　【i-モード】i-メニュー→待受画面／iアプリ待受／フレーム→1：アニメーション／マンガ
【Yahoo!ケータイ】メニューリスト→壁紙・待受→アニメ・マンガ→アニメ・マンガ2

昔のカラー作品から拾ってきたりもしています。あと細かい話をすると携帯の画面は縦長が多いので、横型のコマからは作り難かったりします」

安孫子先生について

福田「三ヶ月に一回くらいは先生とかプロダクションの方と直接お話をして、一つ一つの絵柄とか、携帯のトレンドなどをお話させていただいてます。

先生も、マーケットで何が起きているのかって説明はあまりお聞きになる機会がないらしくて、それが面白いって言ってくださいます。元気出ますよね、先生とお会いすると。ブラックユーモアを描いてても、明るくてエネルギッシュで。

ポストカード戴いたんですけど、宝ですね。用心棒の画面の緊迫感とか…シルバー・クロスの陰影なんて見てると、こう…ポスター欲しいですよねー。

うちは映画会社なので、マイナーなものでも先生がお好きそうなものはプレミア試写会にご招待しています」

セレクトがツボをついてる点について

高松「僕は一読者であり、先生に憧れて本当に漫画家になりたかったぐらいの人間なので、自然とそういう風になってしまうんでしょうね」

福田「わかってくる人がいて良かったねホント」

今後の展開について

福田「今はキャラマックスっていう総合サイトが入り口としてあるんですけど、それが二月にリニューアルを予定してまして。それに合わせてブラックユーモアのページも、キャラクターを増やしたりしてパワーアップする予定です。

あと今若者の間で、文章の間に動くgifアニメを挿入した『デコメール』が受けてまして、いずれはそれも先生のキャラでやりたいですね。

他にはアマゾンとリンクさせて、在庫がある限りはマンガの本も携帯で買えるようにしようとか。

単行本になってない作品も携帯で読めるといいんですけど…。ただマンガのデジタル配信についてはまだ見極めが必要で、先生とも協議中です。本当は本の形が一番いいんですけれど、今はみんな携帯ばかりいじってて、お金がそれでなくなっちゃって本を買わないんですね…だから携帯で見て、気に入ったら買って下さいと。ライトユーザーにも作品の魅力を知って欲しいですね。

'06・11・1

メディアの最前線で活躍する福田氏は本も出版されています。
ホリエモンへの手紙から、亀田興毅をモンスターにしたマスコミ、上村愛子ブログ炎上の原因まで、テレビ・ネットの影響力を独自の天邪鬼精神でとらえて徹底検証。あくまでアナログにWeb1.0的視点で書き綴った双方向性拒絶の辛口コラム63篇。

「**町の声はウソ**」
税込価格：1,260円
発行：サテマガBI
発行日：2006年10月25日
http://tabloid-007.com/

企画／蝶野　取材・ページ構成／牧野・鈴木

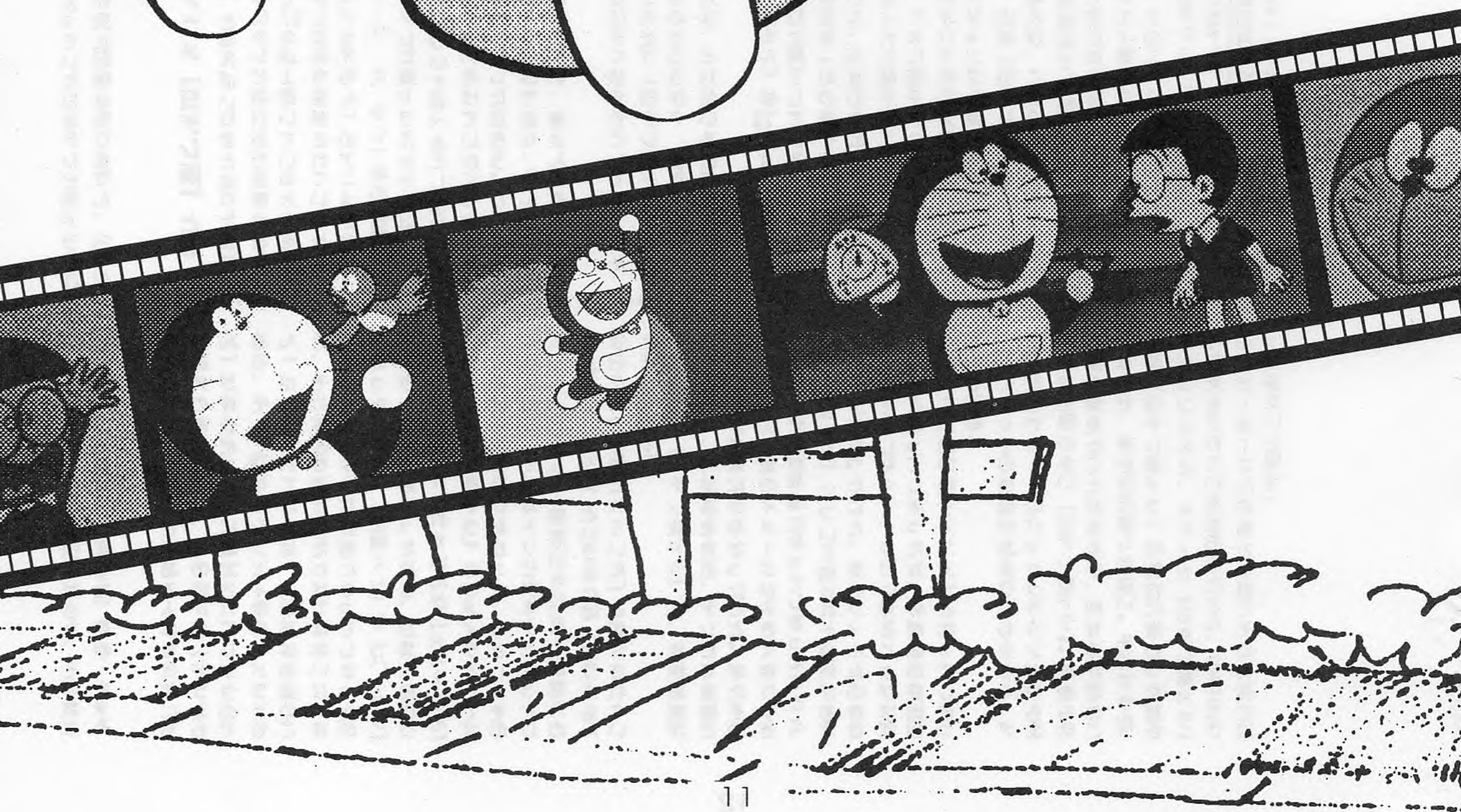
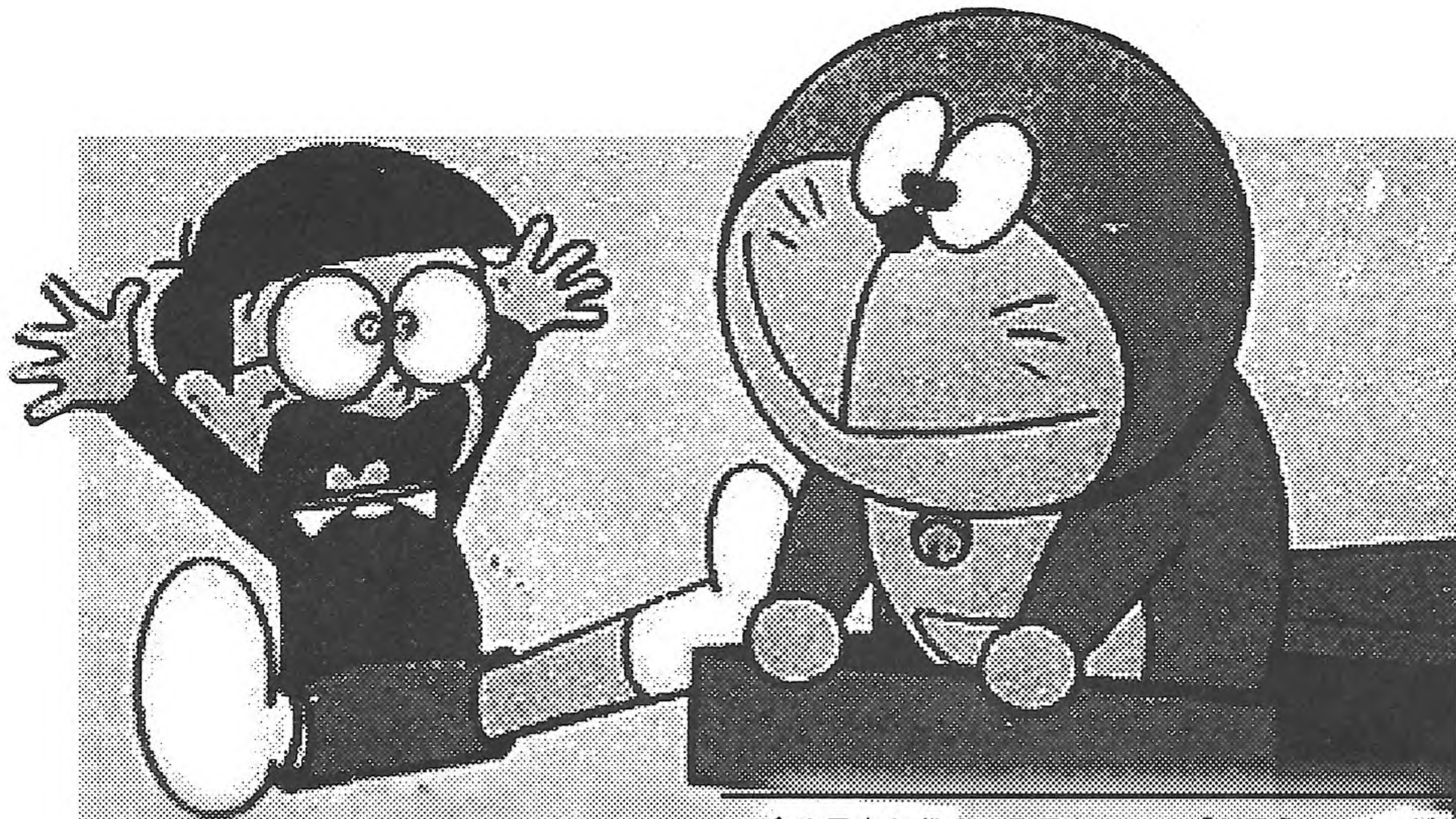
がんばれ、がんばれ！　タイムテレビでおうえんしてるぞ!!

―特集―
日本テレビ版ドラえもん

NTV

協力：真沙美ジュン・おおはた・mvunit・き～ぼ～

企画構成・執筆●加藤周司・清水俊文・ポール舘・蝶野光秋・武藤 晃
資料協力　●SOTK・併結特急・神野弘一・恐実央（敬称略）

illustration：栄晴夫

検証 日本テレビ版ドラえもん
もう一つのドラえもん波瀾万丈伝

TEXT：NU編集部・武藤 晃

―今や日本を代表する長寿アニメ「ドラえもん」。だがその昔、わずか半年で終わってしまったもう一つの「ドラえもん」が存在したことを果たしてどれくらいの人が知っているだろうか？
藤子アニメ史上最もその内容を知られることなく、そして唯一「失敗作」という有り難くない評価で語り継がれてきたこの作品の数奇な運命を辿り、「日本テレビ版ドラえもん」とは一体何だったのかを検証してみる。

●幻の藤子アニメ『日テレ版』とは

「ドラえもん」と言えばいわずと知れた国民的アニメ。'79年にテレビ朝日系で放映されて以来、今日まで27年以上続いている大人気作品である。しかし実は今放映されている作品の前に、別の「ドラえもん」のアニメが存在したのである……!!!!と、もし一般の書籍に、いわゆる「日本テレビ版ドラえもん（以下：日テレ版ドラ）」について述べるとしたらビックリマークをいっぱい付けていかにもセンセーショナルな書き方をしただろう。しかしここは藤子不二雄FC会誌であり、そんなことは今更説明の必要のない、皆さんご存知の常識事である。

だがその存在はよく知られていても、果たして皆さんはどれだけ「日テレ版ドラ」のことを知っているのだろうか？　また、実際に見たことある人は、どれ位いるのであろうか？

アニメ「ドラえもん」は'73年4月1日に始まり同年9月30日に終了している。この「日テレ版ドラ」は別名「幻の藤子アニメ」としても知られている。何故幻なのか？　それは同じ時期に放映された藤子アニメと比較すればよくわかる。'71年に藤子アニメ初のカラー作品である「新オバケのQ太郎」が放映。そして'73年には「ジャングル黒べえ」も放映開始されている。ほぼ「日テレ版ドラ」と同じ時期の作品であるが、この2作品は'75年代の夕方に何度も再放送で放映されていたので、30歳代以上の人達にはかなりお馴染みの作品であった。シンエイ動画の「ドラえもん」が始まるまでは、この二作品で藤子アニメに初めて接した人も多かったはずである。

一方「日テレ版ドラ」であるが、本放送が終了後数年は数回再放送が放映（注1）されたが、「新オバQ」「ジャン黒」ほどは頻繁に放映されず、見たことのある人は世代的にも30歳代の後半以上で、その頃から「ドラえもん」が好きだった人に限定されてしまうのである。そして'79年にシンエイ版の「ドラえもん」が放送されてからは、再放送は勿論のこと、その存在も消されたわけではないが、肯定もされないような状態になってしまったのであった。例えば「怪物くん」や「パーマン」のカラー作品が始まった時は、白黒作品のリメイクとして紹介されていたが、「ドラえもん」の時は「日テレ版ドラ」のリメイクとしては取りあげられてはいなかった。まさしくその存在は知る人ぞ知るトリビアネタとなってしまったのである（実際'03年12月1日発行の「芸能人トリビア」という本には「ドラえもんは日テレで放映されていた」と紹介されていたほどである）。

要するに「日テレ版ドラ」は、放映期間が半年と短く、再放送を含め、テレビで放映された回数が極端に少なかったこと。またその後のシンエイ版のイメージが大きくなりすぎて、その存在が稀薄になってしまったことと、「日テレ版ドラ」について残された資料があまりにも少なかったこと。更にフィルムの存在がはっきりしなくて、今では見ることがほぼ不可能となってしまったなどの複数の要因が重なって「幻の藤子アニメ」となってしまったのである。

とにかくその情報があまりにも少なく、アニメだけでなくそのバックグラウンドやら全貌までも謎の多い「日テレ版ドラ」。筆者も幼稚園の時見たことがあるが、何せ遥か昔のことなので、微かな記憶しかない。そこで今回、当時「日テレ版ドラ」の制作に携わった真佐美ジュンさんと、HP上で「日テレ版ドラ」の研究をされているおおはたさん、mvunitさん、き～ぼ～さんの協力を得てその実体に迫ってみたいと思う。

●思えば、テレ朝版のドラが始まった小学生の時、近くのホームセンターで買ったカセット（ばったもの）になぜか一曲入っていた日本テレビ版ドラのOP曲、「これは何だ！」と思いながらも、その数年後、「TVアニメ・生活・ギャグ編」という本でその存在を知るまで謎でした。「日本海テレビ」でも放送してハズですが見た記憶はありません。（『マジンガーZ』を夢中で見ていました）島根・きゃる

日テレ版ドラ年表

A 連載開始
'69年12月発売
よいこ・幼稚園・小一～小四

- '70 小一 5月号 ガチャ子登場作品初出
- '71 小四 3月号 最初の最終回
- '72 小四 3月号 二回目の最終回（後にアニメ最終回に採用）

X ピー・プロダクション 企画書作成（'72年前半頃。CX系10月新番組の放送枠獲得を狙ったもの）

- '72 幼稚園 8月号 「テレビにでるのをまっててね」の告知広告が掲載

―「スペクトルマン」「マグマ大使」「電人ザボーガー」などを制作したピー・プロダクションが「ドラえもん」を実写作品として企画していた。

- うしおそうじ氏は（'66年に同社が製作した「ハリスの旋風」でも主役をつとめた）大山のぶ代さんがドラえもん役で、着ぐるみの雛形まで制作したこと、藤子先生のご両人と面談し、『ドラ』の映像化権（実写版）は最初に自社に声がかかった等、'02年・角川書店「電人ザボーガー①」に掲載された鼎談で、回想している。200字詰め原稿用紙六枚（表紙含む）他1枚の合計7枚からなる「新企画案　ドラえもん」は、現在、某有名古書店にて出品中である。

B NTV版「ドラえもん」放映開始
'73年 4月～9月

- '73・1月 パイロット版制作
- '73 小五・小六 4月号～連載開始
- '73 別冊少年サンデー 6月号～翌年3月休刊号まで再録掲載
- '73 初夏［中間報告書］提出
- '73 6月24日放映＃25話「ガチャ子登場」
- '73 7月1日放映＃27話「すきすきカメラの巻」よりドラの声優交代
- '73 8月　日本テレビ動画スタッフが日本テレビの保養所に招待される
- '73 8月「ドラえもん」放映終了が決まる
- '73 9月　最終回放映／日本テレビ動画解散
- '74 再放送
  - ＮＴＶ　3月27日～ 5月 2日 8時20分～（4月1日から8時00分～）
  - 青森放送　12月 5日～'75年1月17日 16時55分～
- '75 再放送（未確認だが広島でも再放送情報あり）
  - テレビ岩手　1月 6日～ 2月17日　17時00分～
  - ＮＴＶ　4月 1日～ 5月 6日　8時00分～
  - 読売テレビ　5月12日～ 6月13日　18時00分～
  - 宮城テレビ　7月 9日～ 8月18日　8時00分～
- '77～78年頃　熊本・福岡でも再放送
- '79 富山テレビで再放送（7月24日～8月3日、平日18時45分～19時）

C てんとう虫コミックス①巻発売（'74年 7月）
同年内に⑥巻まで刊行

D コロコロコミック創刊
'77年 4月

E シンエイ動画「ドラえもん」製作開始
'78年秋にパイロット版完成
'79年 4月～放映中

●［日テレ版ドラ］は失敗作!?

それではまず最初に［日テレ版ドラ］について一般的に知られている主な事柄を挙げてみよう。最初にも書いたように放映期間は'73年4月から9月までの半年間2クール。一回につき2話放映で、26回全52話、日本テレビ系列で放送されている。ドラえもんの声優は最初は「プロゴルファー猿」のおっちゃん役でお馴染みの富田耕生氏だったが、突然2クール目からは「怪物くん」「ビリ犬」など、藤子作品では常連の野沢雅子氏へと変更になった。そして［日テレ版ドラ］を制作していた日本テレビ動画はこの作品終了後、解散した。

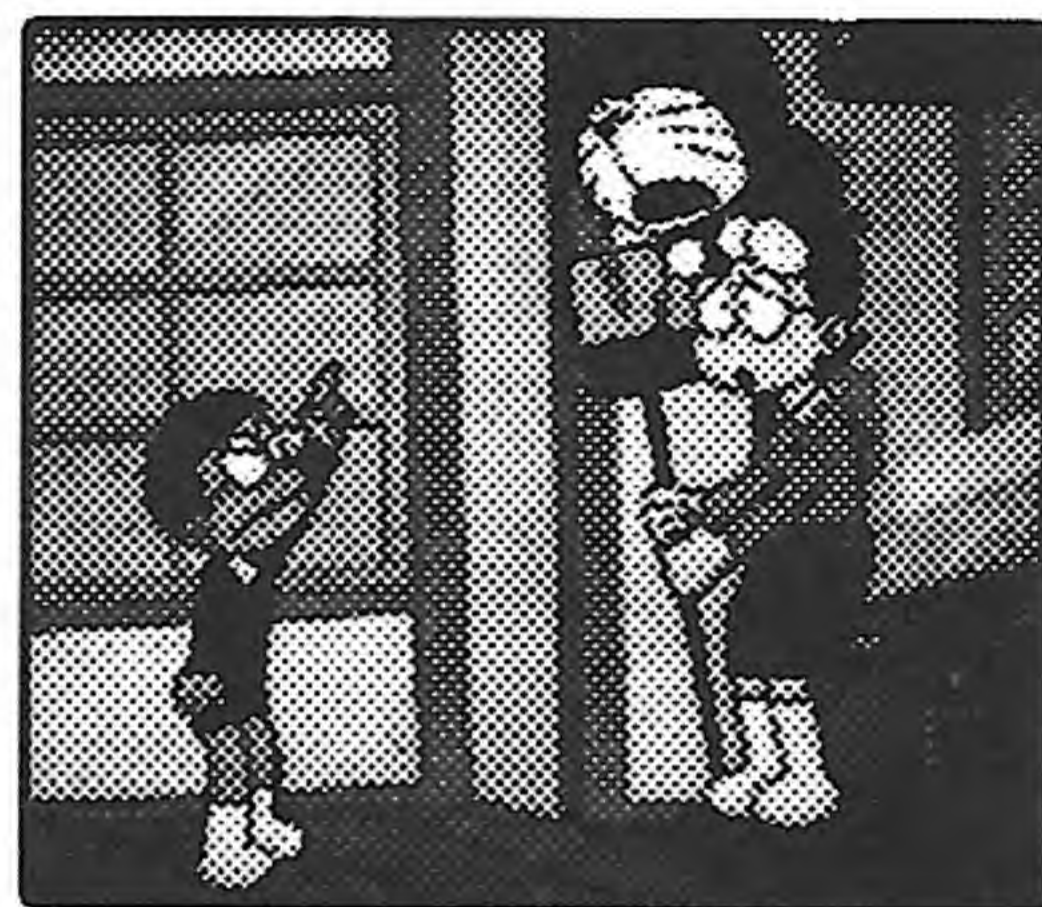
大体こんなところが残されているわずかな情報であるが、これらの事実から推測できることは「要するに視聴率が上がらずわずか半年で終了。その間主役の声優が変わるという異常事態が起きている。挙げ句の果ては制作会社までも潰れてしまった」というネガティブなイメージが容易に思い浮かぶ。すなわち［日テレ版ドラ］は失敗作だったという結論に導かれても仕方のないことと言えよう。また次のような発言も、そのような印象をより強くしている。

「シンエイ動画設立の際に「ドラえもん」をアニメーションの候補作として、藤本先生のところに伺ったんですよ。ところが「いいですよ」と、なかなか首を縦にふってくださらない。「ドラえもん」は一度アニメ化されていたのですが、その番組は視聴率などあまりふるわないまま終了していたんですね。それがあったので、先生もアニメ化にはちょっと慎重になられていたのかもしれません」

（「ぼくドラえもん」創刊号　楠部三吉郎氏のインタビューより）」

果たして［日テレ版ドラ］は本当に失敗作

●うしおそうじ（'21～'04年）●本名：鷺巣富雄。戦前は円谷英二らと共に東宝の特殊技術課に在籍。後に漫画家となり、'60年には、ピー・プロダクションを設立し、アニメ「ハリスの旋風」「ちびっ子怪獣ヤダモン」、特撮「快傑ライオン丸」「鉄人タイガーセブン」などの名作を製作。※「幼稚園」誌の告知記事は、ピープロ作品、または日テレ版アニメのどちらを意図したものかは判断材料が乏しい。

●日本テレ版ドラは、「かげきりばさみ」の出てくる回は覚えています。影ののび太が水泳大会で優勝するシーンがあったような…。ドラミちゃんが出てたイメージもあるんですが、もしかしたら、それはガチャ子だったのかな…とか。今となってはよくわかりません。あと当時駄菓子屋でウラに小さな磁石のついたドラえもんが売られていて買ってもらいました。これ日テレ版ドラのグッズですよね！　東京・栄晴夫

であったのだろうか？　だがそのことを調べようにしかも「日テレ版ドラ」についてまともに書かれている文献はほとんどないのが現実で、その後当時の「日テレ版ドラ」で制作主任を担当されていた真佐美ジュンさんにお話をうかがうことにした。

とある日曜日の午後、真佐美さんのご自宅の近くの公共施設のロビーで会う約束をした。

●ドラえもんを友達みたいな感じにした方がいいんじゃないか

—そもそも真佐美さんがドラえもんに関わったのはどのような経緯があったのでしょうか？

「以前一緒に仕事をした人から、いきなり中野にある高級焼肉店に招待されたんですよ。その時に今度新しい番組をやるので全責任を持ってやってくれないかと誘われまして。こんなご馳走されて何か下心あるのかなと思ったら、それが「ドラえもん」のアニメの話でした。昭和48年の正月頃だったと思います」

—あの時代はまだ「ドラえもん」は単行本も出ておらず、今と違って非常にマイナーな作品だったわけですが、何故アニメ化という英断をされたのでしょうか？

「日本テレビ動画はその前は東京テレビ動画という名前だった（注2）のですが、その会社はずっと任侠路線ばかりやっていたんですよ。で、次回は誰か漫画家に作品を描かせて少年モノで清水次郎長三国志をやりたいと、日本テレビ動画の社長の渡辺がそういう企画を考えて、実際動いていたのですよ。ところがその動きの中で「ドラえもん」の存在を知ったのです。これは面白いぞということになりまして、早速「ドラえもん」の企画を立てたら、それが先に売れちゃったんです。「新オバQ」のヒットがあったことも大きな要因でしょうが、「ドラえもん」に目を付けたということは、彼には先見の明があったと言えますね」

—「日テレ版ドラ」での一番大きな出来事と言えば、ドラえもんの声が富田耕生さんから野沢雅子さんに変わった（注3）ことが挙げられますが、それはどんな裏事情があったのですか？

「昔からテレビ番組が1クールが終わると見直しは当たり前なんですよね。視聴率の低迷テコ入れがあって、とりあえず中間報告書を作って出そうと。またはもしかしたら局側からの要請があったのかもしれないね。その時に、私達は感じてなかったけど、日テレサイドから、ドラえもんを友達みたいな感じにした方がいいんじゃないか、ということで声優を変えようという話があったみたい。制作サイドとしては、何の異存もなかったし、そういうことなら仕方ないと返事したと思うんだけど、演出家の人達に訊いたところ、変えるのは反対だったようです。その頃の常識としてはそういうことをするのは大変失礼なことで、やってはいけないことだったんです。制作側は良くなるんだったらいいんじゃないかという考えで、その後すんなりいったと思ったら、演出家の人達は反対だったときいて後で驚きました。藤子先生からは何もクレームもなかったですし、富田さんの反応も「ああ、そうですか」で済みました。

初期のドラえもんってどう思います？　友達というより召使い、年上って感じしますよね？　続けていくうちに、藤子先生もそうだったと思うんだけど、これは友達の方がいいんじゃないかと。そうすると声優さんを変える方向にいきますよね。それで視聴率が上がったというのはないと思いますけど、あのままいってもそれはそれなりのドラえもんになったと思うんですよ。その頃はまだドラえもんの声のイメージはなかったですからね。今だったら大騒ぎでしょ。テレビ局にハガキが届いてたかもしれないけど、それがこっちに回ってくる頃にはアニメももう終わっちゃって、会社もなくなってしまったから、どのような反響があったかはわかりません」

「日テレ版ドラ」についての興味の一つに、何故あの時期に「ドラえもん」がアニメ化されたのかということがあった。学年誌で連載が始まったのが、'69年の12月。アニメの放送は'73年4月であるが、企画が挙がったのはそれよりも数ヶ月前のことであることから、連載が始まって2年ぐらいの時点のことと思われる。ちなみに単行本の第1巻が発売されたのが'74年7月で、この頃の「ドラえもん」の立場を表すなら「藤子不二雄ランド」が刊行される前の『バウバウ大臣』みたいなもので、先輩の『オバQ』『パーマン』『怪物くん』などと比べても明らかにマイナーな存在であることは否めなかった。常識で考えればそのような作品をアニメ化するのは異例とも言えるが、インタビューでも真佐美さんがおっしゃっていたように、その少し前に放映されていた「新オバケのQ太郎」のヒットの影響が大きかったのかもしれない。勿論「新オバQ」がヒットしたからといって、同じ作者の別の作品が簡単にアニメ化される程この業界は甘くはないだろうから、社長の渡辺さん達の先見の明とその後の努力が実を結んだのであろうが、「新オバQ」の存在を考えると、何となく納得がいくようにも思える。

もう一つの大きな興味であったドラえもん

注1：［日テレ版ドラ］の再放送はほとんどなく、日本テレビで放映されたのは朝の時間にわずか二回と夏休みの特別枠でのみだった。'75年代の日本テレビは夕方にアニメの再放送枠があり、藤子アニメでは「新オバケのQ太郎」「ジャングル黒べえ」などが頻繁に放映され、他にも「ど根性ガエル」「巨人の星」「ルパン三世」などが当時の子供達にとってお馴染みのアニメであったが「ドラえもん」は結局この枠では放送されなかった。やはり制作会社が解散したことが影響されていたのだろうか？他の地方局でも'75年頃に放送されていたが、恐らく日本テレビと同様1、2回だけだと思われる。更に興味深いのはテレ朝版が既に始まっている'79年に富山テレビで9回だけ15分間放送されたことがあった。テレビ朝日では丁度この時間はシンエイ版が帯放送されており（この頃富山では日曜日のみの放映で、同時間帯には放送はなかった）、何とも因縁めいた突然の再放送であった。そしてわずか9回で突然終わったこともいろいろなことを想像させてしまう、実に奇妙な出来事だったと言えるだろう。

注2：日本テレビ動画はその前は東京テレビ動画という名前だった

「ドラえもん」を制作した「日本テレビ動画」という名前の会社が存在したのはわずか1年半だったが、その歴史を遡ると「鉄腕アトム」から始まった国産アニメブームの頃（'65年）に辿り着く。

実写映画を制作していた「国映」が出資して、「日本放送映画株式会社」という動画会社を設立。当時国産アニメを放送していなかった日本テレビと専属契約を結び、同社のアニメ作品を制作した。スタッフは新倉雅美氏を中心に、虫プロから池野文雄氏、冨野喜幸氏、岡迫亘弘氏、正延宏三氏、村野守美氏らが加わり、そこに東映動画からアニメーターが参加して動画制作の体制を整えた。

「冒険少年シャダー」を最後に同社は解散。日本放送映画の制作デスクであった新倉雅美氏がスタッフを再結集する形で新会社「東京テレビ動画」を設立した。

「東京テレビ動画」時代の特徴はズバリ熱血根性路線。当時流行っていた「巨人の星」の流れをくむ一連の作品群は好評を得ていたが、'71年に制作した劇場用ポルノアニメ「ヤスジのポルノラマ・やっちまえ！」が大失敗。一週間で公開打ち切りになるという大ダメージを受けたのだった。

その後新潟にもスタジオを作り、社名も「東京テレビ動画」から「日本テレビ動画」へと変更。それまで日本テレビ専属だったが、発表の舞台をTBSに移し、心機一転活動を開始した。

「ドラえもん」で再び日本テレビの仕事をすることになったが、'73年9月をもって会社は解散となり、「ドラえもん」が最後の作品となった。こうして「日本テレビ動画」は前身を含めて、わずか8年の短い歴史に幕を閉じたのであった。

注3：富田耕生さんから野沢雅子さんに変わった

主役の声優が突然変わるという事態はそうそうあるわけではないが、ごく稀には起こりうる。その理由の多くは、声優さんが亡くなったり、健康面での不安などがほとんどであり、声のイメージが違うという理由で放映中に変更となるのはかなり異例の出来事であろう。そのため一部のファンの間では、実は「富田耕生さんが交通事故を起こしたため、ドラえもんの役を降ろされた」という噂がまことしやかに囁かれていたのであった。

しかしこの噂は全くのデマであり、この噂の出所は次の二つの話がねじ曲がって伝わったものと思われる。

事故を起こしたのは富田さんではなく、実は真佐美さんで「モンシェリCoCo」に携わっていた時、新潟のスタジオに向かう途中、睡眠不足のため居眠り運転してしまい交通事故を起こしてしまったのである。そしてその後仕事関係の件で、「モンシェリ」のプロデューサーを真佐美さんが降りてしまったのだが、この二つの事柄が、いつの間にか「富田さんが事故を起こした為降ろされた」となってしまったようだ。

⬆富田耕生さんが、初代・ドラえもんの声をご担当された

の突然の声優の交代劇。巷間言われている通り、視聴率低迷のテコ入れ策としてのものだったらしい。'06年2月開催のNU上映会では、富田版の作品と野沢版の作品が両方を上映したが、富田耕生氏の声が流れた時、場内は失笑気味のどよめきに包まれた。長い間、ドラえもんの声は大山のぶ代さんのイメージが強かったため、おっさん声のドラえもんは確かに異質のものであった。しかし私の放送当時の記憶を辿ると、逆に野沢版の女性声の方に違和感を覚えたのである。それはドラえもんのイメージがどちらの声が相応しいかではなく、ただ単にこれまで聞いていた声が変わっただけに過ぎないが、当時はドラえもんの声のイメージが確立されていなかったわけで、ドラえもんが男声でもさほどの違和感はなかったような気がした。もしあのまま富田耕生氏が声の担当を続けて、アニメがあと半年、一年でも続いていたのなら、「ドラえもんの声は男性」というのが定着したかもしれない。尤も、子供向け藤子アニメの主役の声は「ジャン黒」の肝付兼太さんと「21エモン」の佐々木望さん以外は女性の声であることを考えると、野沢さんに変わったのは自然な流れだったのかもしれないが。

「日テレ版ドラ」について半ば事実として囁かれている話として、裏番組（注4・次頁）に「マジンガーZ」「アップダウンクイズ」があったため視聴率が低迷、それが原因でわずか半年で打ち切りになったとされている。だがドラえもんの声が野沢さんに変わった影響があったかどうかは定かではないが、視聴率は徐々に上昇していったのだ。放映開始当初は8～9%の視聴率であったが、2クール目には10%の大台に乗ることもあった。そのご褒美として'73年の8月には日テレ版ドラの制作スタッフが、千葉にある日本テレビの保養所に招待されている。

「視聴率は2クール目は10%超えたんですよ。最初からの予定は2クールの契約でした。8月の頃には継続の話が来てました。現にご褒美として日本テレビの外房にあった保養所に招待されたのですが、みんなで麻雀をやったことぐらいしか思い出はないですがね（笑）。それが8月初旬だったのですが、私お盆の頃に田舎に帰ったのですよ。ところが東京に帰ってきたら社長の渡辺が逃げちゃったんですよ。それと前後してテレビ局のプロデューサーから呼び出しがあって「日本テレビ動画が解散するという噂があって、外注さんに不穏な動きがあるという情報が入っている」と言われまして。本当はテレビ局から聞く前に会社の方から社員に話がくるのが普通でしょ。日本テレビ動画は金くれねえぞという噂が出て、外注さんが作品を渡さないという話になったり、テレビ局からは放送に穴をあけないでくれと言われたり。もし何かあったら私が責任を取るので、私の顔に免じてなんとか…と外注さんに頭を下げて、何とか2クール分で最終回ということにしたわけです」

—社長が逃げたということは、会社の経営状態はかなり危なかったということですか？

「かつて東京テレビ動画時代に作った作品で大赤字を出したんですよ。ところが「ドラえもん」で黒字が出て、そのマイナス分を取り返したら、アニメはやめたと逃げだしてしまったんですよ。その後会長が一時引き継いだんですけど、会社経営に興味がなくて、アッという間に解散が決定。結局社長が逃げたのが8月の中旬で、「ドラえもん」の最終回は9月30日に放映。その時には事務所を引き渡さなければならなかったので、ビルはカラッポの状態でした。今調べると日本テレビとかなり問題を起こしてたみたいです。日本テレビとずっとやってきてたんですけど、「モンシェリCoCo」という作品でTBSに移って、

はみだし情報●'73年の本放映当時、静岡はネットされていなかったが、'74～'76年頃、木曜日、後に土曜日の昼間に放送していた証言が寄せられている。このように、開始時期がずれた［本放送］もあった。

●はみだし日本テレビ動画社史●［**日本放送映画**］時代の主な作品　65年12月「戦え！オスパー」全53話 ⬇ 66年11月「とびだせ！バッチリ」全132話 ⬇ 67年9月「冒険少年シャダー」全156話

注4 裏番組「ドラえもん」は日曜夜7時半という絶好の枠を得たが、良い時間帯というのはそれだけ他局でも高視聴率の番組が目白押しということでもある。当時「ドラえもん」の裏番組には、子供達の人気を博していたフジテレビ系の「マジンガーZ」と、NET系の（現テレビ朝日）人気クイズ番組「アップダウンクイズ」、そしてNHKでは三波伸介司会の「お笑いオンステージ」があり、スタート当初は数字的には苦戦を強いられていた。しかし、放映を重ねていくうちに「ドラえもん」の視聴率も少しずつ上昇していき、逆に「マジンガーZ」の数字が下がっていったという。子供達の間で「ドラえもん」が認知されていった証拠と言えるだろう。

'73年8月5日・日曜夜のテレビ欄

（朝日新聞）

そしてまた「ドラえもん」で日本テレビでしょ。しかも「ドラえもん」の放送枠を取る時、周りの反感を買うようなやり方をしたものだから日本テレビの心ある人は信用してなかったみたい。だから会社がそのようになった時反応が早かったですね」

―会社の名前が「日本テレビ動画」ですが、日テレの資本は入っていたのでしょうか？

「いや、日本テレビの資本は一切入っていないです。日本で切って、日本・テレビ動画です。元々東京テレビ動画という名前だったのですが、新潟にもスタジオを作ったので、東京じゃなくて日本テレビ動画としたみたいです。確かに渡辺は先見の明はありましたよ。あの頃「ドラえもん」に目を付けたこともそうですし、韓国の安い人件費で作ったりなど当時としては画期的なことを行っていました。本当はもっとやりたかったですよね。これからっていう時でしたから。ああいうことがなければ、当然3クール目に入っていたでしょうから。ただ苦しかったですね。原作がほとんどなかったから。使えるのは「小学四年生」以上とかの作品になりますから。「幼稚園」で連載されたものは短すぎて使えませんからね」

●【日テレ版ドラ】の悲劇

当初低迷していた視聴率も視聴者の支持を少しずつ得てきて、2クール目には数字の方も着実に伸びていった。この功績が日本テレビにも認められることとなり、【日テレ版ドラ】も契約が延長、3クール目に入るのもほぼ確定となり、まさに「さあこれから」という時に、何ということか、突然社長が辞めてしまったのだ。結局日本テレビ動画は【日テレ版ドラ】終了後解散となり、真佐美さんには何の責任もないのだが、外注業者に言った手前上の「責任」を取ってアニメ業界から去ることとなった。真佐美さんにとって、この【日テレ版ドラ】はアニメ業界での最後に携わった作品となってしまった。

【日テレ版ドラ】の最終回が放映された'73年9月30日。普通であれば、打ち上げパーティーなど行うところであろうが、しかしこの日の日本テレビ動画社内は異様な状態であった。9月いっぱいで事務所を明け渡さなければならなかったため、中はカラッポ。アニメに使用した設定書やセル画などは、処分するために業者に頼むと十万円以上も掛かるため、真佐美さんは制作進行の木沢富士夫氏と共に、数日前にライトバンにそれらの荷物を大量に積み込んで中野の事務所があったビルを出た。行き先は埼玉県荒川沿いの秋ヶ瀬の土手。目的は二人で台本、絵コンテ、色見本、そしてセル画などを一晩掛かりで燃やすためであった。ファンからしたら「何て勿体ない」と思うだろうが、保管する場所がないのだから仕方がない。それよりも誠心誠意込めて作った作品の関係書類を、自らの手で燃やさなければならなかった真佐美さん達の心境はどのようなものであっただろうか？　皮肉にも「ドラえもん」で黒字が出たがために、会社をたたむことになってしまい、そして最終回が放映される数日前に書類関係は燃やされてしまった。【日テレ版ドラ】の資料の大部分は、テレビ放映終了と共にこの世から消えてなくなり、まるで後に「幻の藤子アニメ」と呼ばれるのを暗示しているかのような悲しい出来事であった。

ところでもう一つ気になるのはフィルムの行方である。これが残っていれば、再び陽の目を見ることの可能性はあるのだが……。

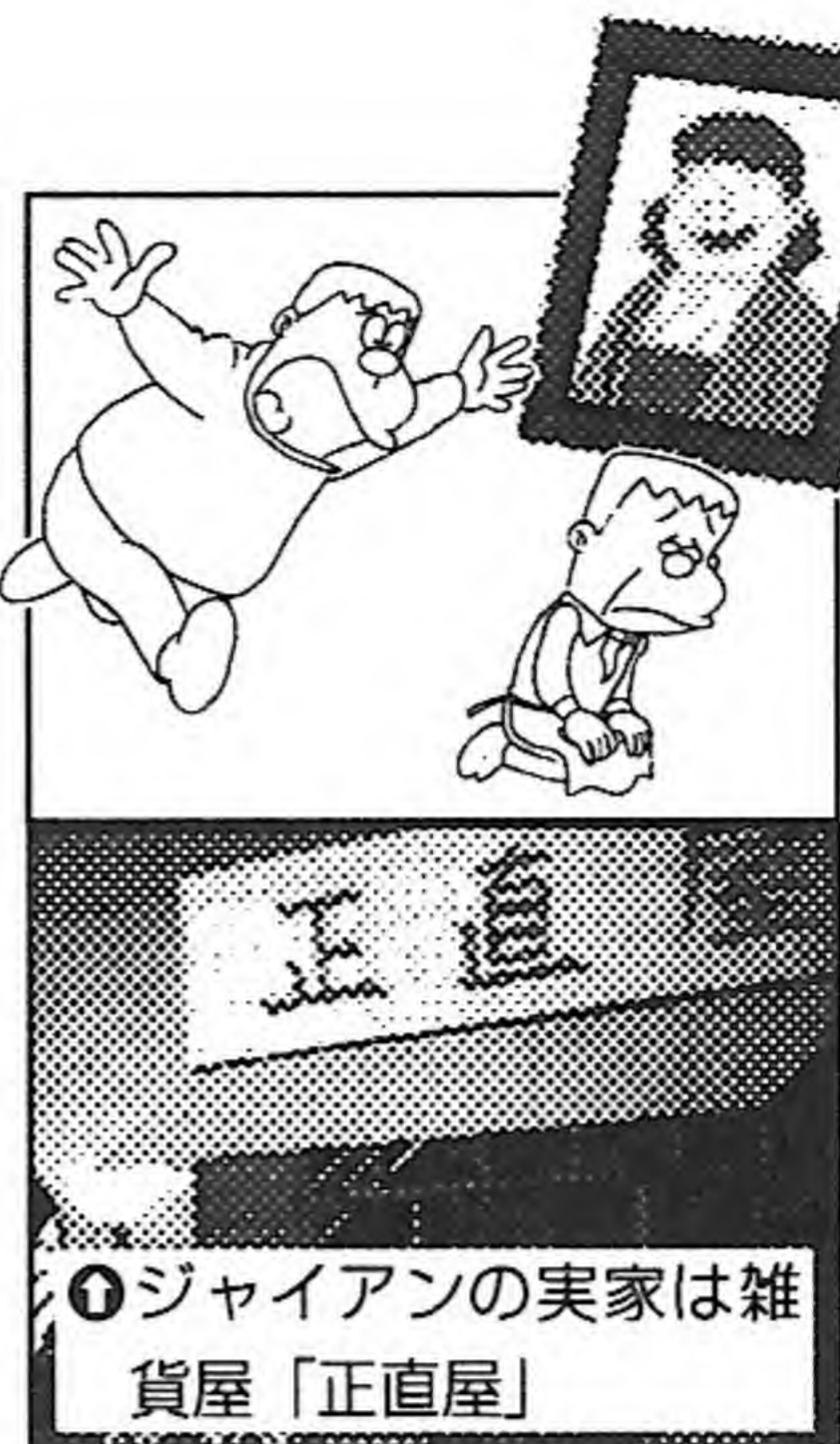
「「ドラえもん」のフィルムはテレビ局の方に納品したため、日本テレビ動画には残っていませんでした。だから荒川河川敷の時にはフィルムは燃やしていません。全国に再放送

●はみだし日本テレビ動画社史●**【東京テレビ動画】**時代の主な作品 '68年9月「夕焼け番長」全156話 ⬇ '69年9月「男一匹ガキ大将」全156話 ⬇ '70年4月「赤き血のイレブン」全52話 ⬇ '70年9月「男どアホウ!甲子園」全156話 ⬇ '71年9月24日 全国東急系封切「ヤスジのポルノラマ・やっちまえ!」

●原作とアニメでの多少の設定の変更はよくある話だが、「日本テレビ版ドラえもん」は、我々が知るドラえもの常識を超える改変がされている。その驚くべき独自の世界を紹介しよう。

これが「日テレ版ドラえもん」の世界だ

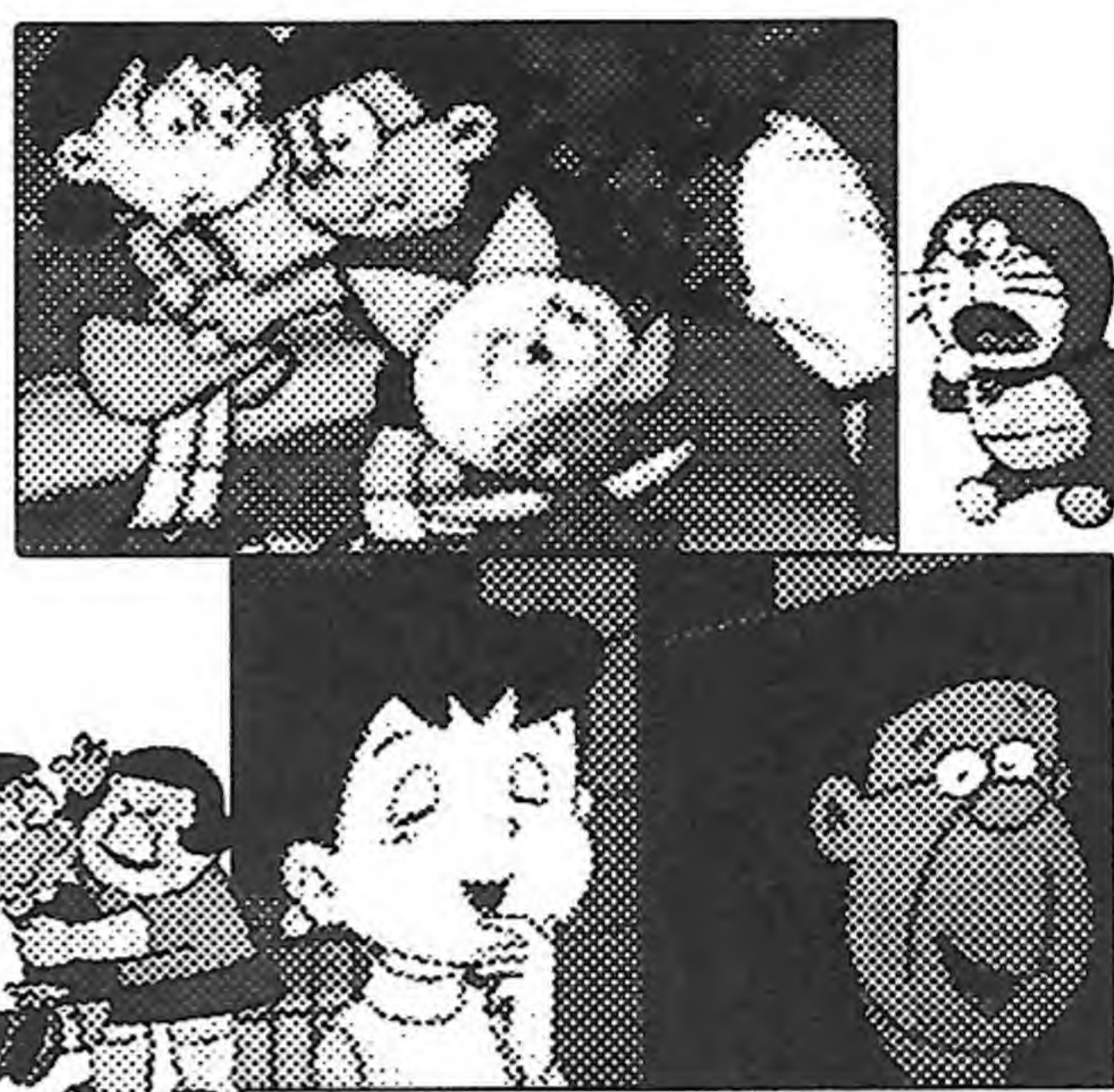
❶ジャイアンの父ちゃんは小さかった!!

原作ではいかにもジャイアンの父親らしいたくましい体格をしているが、アニメではジャイアンの乱暴に手を焼いている気弱な父親として描かれている。しかも名前は小助。名は体を表すような、いかにもというネーミングだ。身体の大きさもジャイアンよりかなり小さく、父親というよりむしろ弟みたいに描かれている。

⬆ジャイアンの実家は雑貨屋「正直屋」

❷ジャイアンの母ちゃんは亡くなっていた!!

ジャイアンの一番苦手な存在であるジャイアンの母親は、日テレ版ドラでは実は亡くなっている設定となっていた。第8話「ガキ大将をやっつけろ」に、ジャイアンの父親が遺影に拝んでいるシーンがある。

❸しずかちゃんの家にお手伝いさんがいた!!

金持ちで有名な骨川家にもいないのに、何としずかちゃんの家にはお手伝いさんがいたのである。しかも原作では一回しか登場しないあのボタ子が!? ただし原作のボタ子とは顔や性格等が多少異なっており、原作よりかなり良く描かれている。ちなみに原作でも何パターンかあったしずかちゃんの両親の顔であるが、やはりと言うか、アニメ独自のデザインとなっている（左下カット参照）。

❹ガチャ子は源家に居候していた!!

原作では連載初期にわずか5回だけしか登場しなかった、幻のキャラ・ガチャ子がアニメでは第13話からレギュラー出演。『オバQ』のP子と同じパターンで、しずかちゃんの家に住みつくことになった。それにしてもしずかちゃんの家にはボタ子とガチャ子というレアキャラが揃っている……なかなかマニアックなスゴイ家である。

❺先生の名前は我成先生!!

お馴染みのび太達の担任の先生であるが、原作では何故か名前はない。しかしアニメでは「我成（がなり）」というちゃんとした(!?)名前があったのである。由来はやはりいつもがなっているからなのだろうか。だが、この名前も原作へ逆輸入されることはなく、結局名無しの「先生」で終わり、ジャイ子同様、本名は謎となっている。

用のフィルムとして回って、また日本テレビに戻ってきているはずなのですが、その後は行方不明です。既に処分されたのか、仮に残っていてもあれから30年以上も経っているので、状態はかなり劣化していると思いますけど……」

「日テレ版ドラ」についていろいろ話を聞き、調べてみたが、正直言って最初に思っていたものとはだいぶ印象が違っていた。冒頭部に挙げた「視聴率低迷のため番組打ち切り」ということではなく、逆に少しずつ数字は上がっていき、放送延長の話すらあったことは、これまでのマイナスイメージを覆す重要な証言だったと言えるだろう。もっとも本来なら続けられたはずの作品が、全く本筋とは違う理由で終わらされたことを知ったことで、また別の複雑な思いが生じてしまったが……。

「日テレ版ドラ」は、これまで残された情報があまりにも少なく、「失敗作」というレッテルを貼られてきたが、そのレッテルを一旦剥がして、もう一度新たなる評価を下す必要があるのではないだろうか。確かにこの作品が作られた時期は、初期ドラえもん特有のドタバタ調の頃であり、ガチャ子の登場など今の「ドラえもん」のイメージとはだいぶ異なっている。また、ジャイアンの家庭環境など、原作の設定と違っている部分も多々あるのも事実である。そのあたりの点は人によって評価が別れるところであろうが、何にしても作品を評価するには、まずモノを見てみないことには話が始まらない。そうなると何としてもフィルムの存在が不可欠になるのである。

フィルムの件は、真佐美さんのお話では、**「燃やしていない。テレビ局に戻っているはずだが」**とあるので、どこか倉庫の片隅に残っていることが無いとは言いきれない。長いこと行方不明であった鉄腕アトムの「ミドロが沼」がアメリカで見つかったという例もあるわけで、フィルムが出てくる可能性は決してゼロではないはずだ。もし仮に見つかったとしても、いろいろ諸問題があって、簡単にDVDなどで復刻とはいかないであろうが、いつかそういう日が来ることを信じて、希望だけは持ち続けたいと思う。

■ ■ ■

「日テレ版ドラ」の最終回、通常なら最後に「終わり」というアイキャッチを出すところを、敢えて「次回をお楽しみに」と表示した。それは「もっと続けたかった」という制作サイドの強い思いであり、いつの日かどこかでドラえもんを復活させたいという願いを込めてそうしたのである。

「大変素晴らしい出来で、とても安心しました。大山さんの声も、あれなら大成功だなと思いました」

「日テレ版ドラ」終了から5年半後、シンエイ版の第1話を見た真佐美さんは、そのような感想を持ったという。日本テレビ動画のスタッフ達の願い＝自分達の手で再び作ることは遂には適わなかったが、「ドラえもん」に対する熱い思いは、このような形でシンエイ動画へと引き継がれたのである。

だからこそ尚更、今まで歴史の隅に隠されてきたアニメ「ドラえもん」の原点にスポットを当てる必要があるし、またそうすることによって、これまで思い込みで「失敗作」と決めつけられた日本テレビ動画のスタッフ達の業績に対して、正しい評価が下されることであろう。「日テレ版ドラ」については、まだまだ知られていないことが多い。それが容易に明らかになる日が来ることを願うばかりである。今回の特集がそのきっかけの第一歩となれば幸いである。（武藤　晃）

●はみだし日本テレビ動画社史●［日本テレビ動画］時代の主な作品　'72年4月「アニメドキュメント・ミュンヘンへの道」全17話 ⬇ '72年8月「モンシェリCoCo」全13話 ⬇ '73年4月「ドラえもん」全26話

旧ドラ当時の原作ドラえもん

●連載初期の特徴は「ドタバタ」

「旧ドラえもん」の原作となっている、連載初期の作品における最大の特徴、それは、「ナンセンスギャグ」の作品が多い事だろう。

毎回の話はドタバタが中心である。これは、「ドラえもん」に限らず、「オバケのQ太郎」などの、「ドラえもん」登場以前の作品群にも言える事である。

分析して行くと、ドラえもんは現在一般的に知られているような「のび太の保護者的役割」ではなく、あくまでのび太と「同レベル」なのである。同じようにドジで、間抜けなのだ。

また、ドラえもんの視点で物語が展開している話も多く存在している。初期作品は、完全にのび太が主人公ではなく、ドラえもんとのび太の二人が主人公なのだ。

初期段階の、この黎明期を経てドラえもんはドジだけど頼れる存在になり、ストーリーは「ドタバタ」中心から「のび太が中心」であり、「秘密道具」中心に変化して行ったのである。

●いつから作風が変化したのか？

「ドラえもん」は学年ごとにF先生が書き分けており、当然その内容は各学年の読者に合わせている。

連載初期から、高学年にはストーリーがしっかりした作品が多く書かれている。「おばあちゃんのおもいで」「あやうし！ライオン仮面」など、タイムトラベルやタイムパラドックスなどのSF的な設定の作品も多い。

しかし、低学年向けの作品を見て見ると、連載初期はドタバタ作品が多い。そして、それがやがて秘密道具中心の話となって行く。

「小学一年生」を調べてみると、71年の4月「そくせきおとしあな」辺りから秘密道具をストーリーの中心に持って行っている事が分かってくる。そして、その変化には明らかなターニングポイントが見られるのだ。

●何故変化したのか？

71年の4月といえば、「よいこ」「幼稚園」の連載がなくなった月である。そして、明らかに以前と異なるのは、この月から「一年生」連載作品のページ数が減った点だ。以前は8ページほどあった連載が、3ページに減らされているのだ。これは、この月から新作の「オバケのQ太郎」の連載が始まった事によると思われる。そしてこの減ページが、「ドラえもん」の作風を変えるきっかけの一つと考えられるのである。

ページ数が減った事により、「ドタバタ」ストーリーを書く事が難しくなったのだ。少ないページ数で起承転結を持ったストーリーを考えたF先生の解答が「秘密道具」で何が起こるか、というストーリーなのではないだろうか？また、同時連載である「オバケのQ太郎」との作品の差別化をするため、他の作品にはない「秘密道具」を中心としたのではないだろうか？

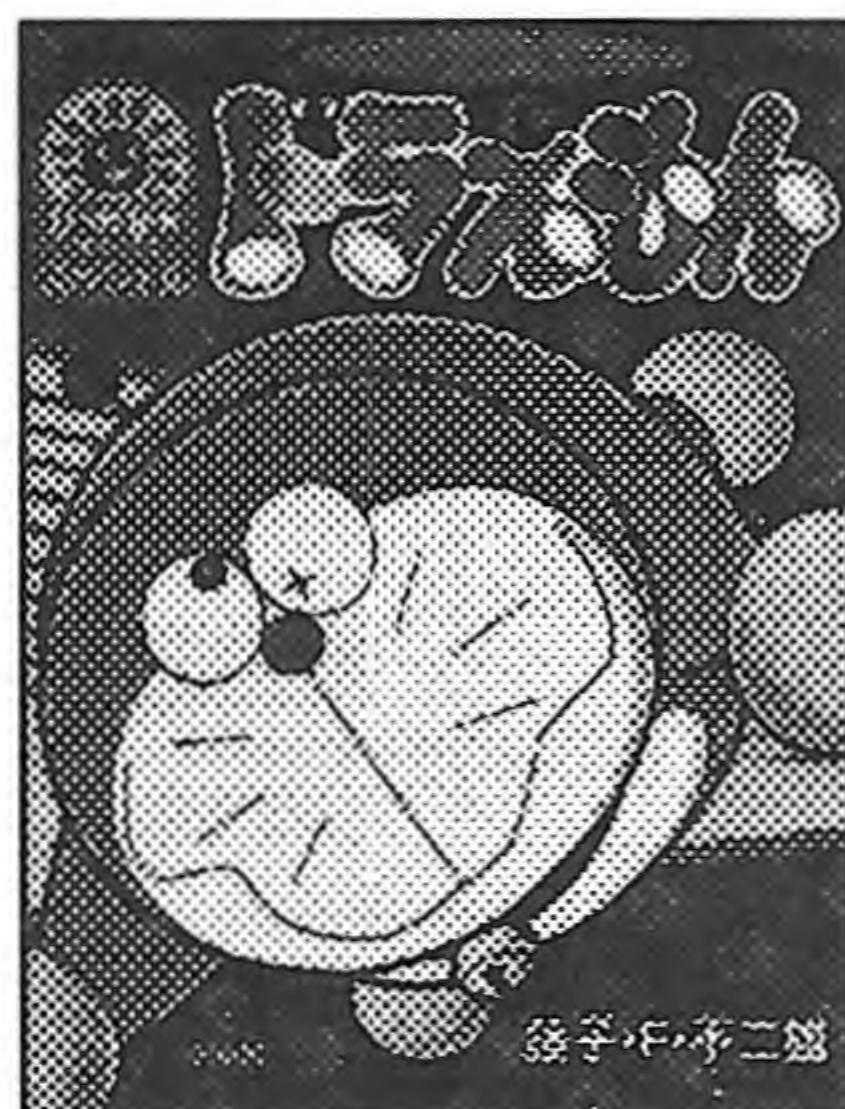
小学館のてんとう虫コミックスを見ると、意図的に初期のドタバタ中心の話が選ばれていない事が分かる。これは、F先生がコミックスに入れる作品を選定する時点で、明らかに「ドラえもん」の作品の特徴、売りを理解し、作風を変化させて行くつもりだった事が分かる。そのために、ドタバタ話にしか登場しないキャラクター「ガチャ子」はその存在を抹消され、姿を消してしまったのだ。

しかし、初期のドタバタ話も紛れもない「ドラえもん」の重要なピースである。この変遷を読んでこそ、本当のドラえもんの魅力を理解出来るのではないだろうか？

いつか全ての作品を読める日が来る事を期待する。（清水俊文）

小一70年6月号より。このページのスクラップは、単行本化が少ない「小学一年生」より選んだ。

小一70年12月「かべぬけき」より。ドラえもん目線で話が展開し、そのイタズラ好きさゆえにドタバタを巻き起こしていく、典型的な連載初期のストーリーである。

初期作品がカラーで読めるカラー作品集5巻。

ぴっかぴかコミックスのカラー版は、幼年版が読める。

小一70年7月「まほうのかがみ」より。ドタバタのギャグであり、この時期はこのような展開が多かった。

小一70年5月より。今では考えられないほど、ドラえもん自身ものび太と同程度にマヌケなキャラとなっている。

どらえもん
ドラえもん
再録
くるぱあ
クルパーでんぱの　まき
ふじこふじお
藤子不二雄

15－1＝

15－1＝10
ばかだなあ あんな かんたんな もんだい。

やあい、のろま。
よた よた

ちかみち しよう。
ストトッ

ぼくも。

なにを やっても、だめだなあ。

いやだあ。

がっこうなんか、いやだ。

みんなが、ばかにするから、いやだっ。
だから、もっとべんきょうして。

まかしといて。

ばかにされないようにしてあげる。

がっこうへいきなさい。
おい、なにをするつもりだい。

ないしょ。

1+1=

おかしい。
1+1=

どうしてもこのもんだいがとけません。

だれかできる人。
むずかしすぎるわ。
きっとそれは大がくのもんだいです。

えっできるの。

これでいいんでしょ。
1+1=2

どひゃあ
すごおい

ふうふう
もたもた
のびたははやいな。
みんながおそいんだ。

きょうこそうまくとぶぞ。

えいっ

とべた。

おれたちにはむりだ。

のびたって、すごいな。
なんでもできるもんな。
あたまもいいし。

いったい、どうなってるのかな。
でも、いいきもちだよ。

ただいま。

どうしたの。

がちゃ子が、けさクルパーでんぱをはっしゃしたんだ。

あたまもからだもよわくなるでんぱよ。

のびたさんだけにはかけなかったの。
みんなにわるいから、なおそう。

しばらく、このままにしておこうよ。

ママー。
みんなが、ぼくの こと ほめるんだよ。

ひゃ

せいぶげきだじょ。バンバン
あたい、くじらをちゅるの。
えほん

とうさん、きょうは、かいしゃやすみだったの。

わすれてた。

いまからいくの。

初出「小学一年生」'70.11月号●修正：相川　聡

スタッフ&キャスト紹介

製作

◉企画［**藤井賢裕**（日本テレビ）］
◉プロデューサー
［**川口晴年**（日本テレビ）］
［**米沢孝雄**（日本テレビ）］
［**佐々木一雄**］
●「モンシェリCoCo（'72）」の製作と並行して「ドラえもん」の企画をテレビ局へ持ち込んでセールスしていました。

◉演出部・チーフディレクター
［**上梨満雄**］
●人柄も他人の面倒見も良く、穏やかだが一つ作品に入り込むと妥協を許さない― ご本人のそんな性格を熟知していた真佐美氏が日本テレビ動画で若手を育てようと将来の夢を語って、チーフディレクターをご担当いただけるよう説得しました。

◉文芸［**徳丸正夫**］
●藤子先生との脚本、絵コンテ、キャラクター設定や色指定の校閲のパイプ役、脚本家や絵コンテの依頼と縦横無尽のご活躍を果たされました。佐々木プロデューサーとのおつきあいでご登板。

◉担当演出［**岡迫和之・腰繁男**］
●チーフディレクターの強力なアシストとして、共にすぐ実力を備え、最後は絵コンテから演出までご担当。

制作部
◉制作主任［**下崎闊**］＝真佐美ジュン
◉制作進行［**木沢富士夫・小野忠・増田厚美・山下一郎**］／制作事務［**増田一恵**］
●制作進行は日本テレビ動画社員で経験者の木沢富士夫ただ一人しか居ませんでした。1話を四週間で作るためには、あと三人進行が必要なので新聞広告で募集をして他の三人を採用されました。

◉作画監督［**宇田川一彦・白川忠志・鈴木 満・生頼昭憲・村田四郎**など］
●原画家が交代で、キャラクターの統一と若手の育成を担当しました。

◉原画［**上條 修・熊野基雄・佐藤 徹・竹市正勝・田中 保・永樹たつひろ・山下征二**など］
●他にスタジオジョークとスタジオテイクが作画に関わっている模様。

◉動画［**秋山博雅・荒井政良志・岡山陽子・加藤興治・楠田 悟・滝波いつ子・八武崎好郎**など］
●全員が原画も動画も出来るように努力して頑張りました。東京の中野・野方スタジオには「モンシェリCoCo」終了後も作画と仕上のスタッフが残り、スケジュールを守り、ローコストで良い作品作りをしました。

◉仕上［江口マキ子・大橋啓子・黒田英里子・小林一幸・島崎あつ子・長村葉子など］
※以上、(日本テレビ)印以外は、日本テレビ動画 社内スタッフ。代表取締役社長は**渡邊 清**（敬称略）

◉仕上外注［**スタジオ古留美**：石田康美・狩野節子・石田国松・石田ヤゴ・川上直子・中野則子・若井喜治・三宅敏博など］
◉美術監督［**聖スタジオジャック：鈴木森繁・アトリエ69：川本征平**］
◉背景［**聖スタジオジャック**：高野正道・阿部行夫・西巻晶子・亀川尚子／**アトリエ69**：平川やすし・細谷秋男など］
◉撮影監督［スタジオ珊瑚礁：菅谷信行］
◉撮影［スタジオ珊瑚礁：菅谷正昭など］
◉編集［西出栄子］
◉音響演出［近森啓祐］
◉音響制作［E&Mプランニングセンター］
◉選曲［宮下 滋］
◉効果［片岡陽三・小川勝男（E&M）］
◉調整［田中英行］
◉録音［番町スタジオ］
◉現像［東洋現像所］
◉音楽［**越部信義**］

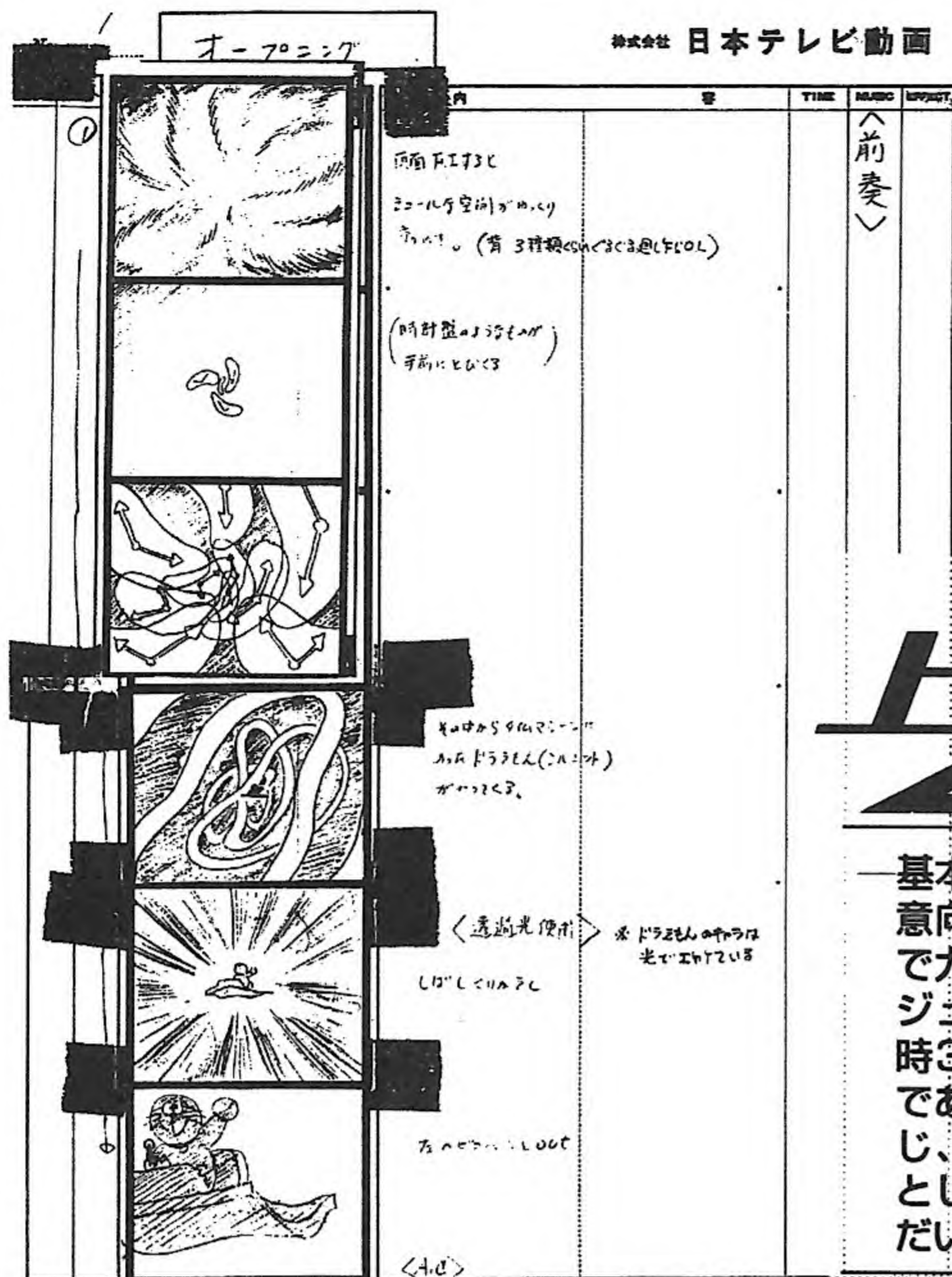
声の出演

⬅アフレコ台本

ドラえもん	**富田耕生**
	野沢雅子（14回～26回）
のび太	**太田淑子**
ジャイアン	**肝付兼太**
スネ夫	**八代 駿**
静香	**恵比寿まさこ**
パパ	**村越伊知郎**
ママ	**小原乃梨子**
ガチャ子	**堀 絢子**
我成先生	**雨森雅司・加藤 修**
セワシ	**山本圭子**
スネ夫の母	**高橋和枝**
ボタ子	**野沢雅子**
ジャマ子	**吉田理保子**
デブ子	**つかせのりこ**

大竹 広　岡本敏明　神谷 明
加茂嘉久　兼本新吾　槐 柳二
北川国彦　田村錦人　田中良一
辻村真人　中西妙子　永井一郎
野村道子　はせさん治　丸山裕子
水鳥鉄夫　松金よね子　峰 恵研
矢田耕司　八奈見乗児　山下啓介
山田俊司　山丘陽人　渡辺典子
青二プロダクションなど（敬称略）

※真佐美ジュン氏のHPから再構成しました。
※ラッシュ編集は日本テレビ動画で、ネガ編集は西新宿のスタジオゼロで行われました。
※脚本・絵コンテご担当者は放映サブタイトルリストをご参照ください。

OPコンテ 全13枚

画●上梨満雄

上梨満雄監督（チーフディレクター）インタビュー

—基本的に一人の演出家のほうが藤子先生の意向を反映出来る・全てを任せられる若手で力のある演出家に—。製作主任・真佐美ジュンさんが白羽の矢を立てた人物は、当時31歳の演出家・上梨満雄さん、その人である— 真佐美さんの度重なる説得に応じ、「ドラえもん」のチーフディレクターとして手腕を揮われた日々を回想していただいた。

かみなしみつお●中国東北部チチハル・'42年生。3才で終戦を迎え、引き上げ船にて帰国。その後、高校卒業まで岐阜に在住。虫プロ他を経て、'78年にスタジオぴえろを創設。現在フリー。

虫プロダクション時代—

—アニメ界に入った経緯を教えてください

◉（**上梨監督**）子供のころは、手塚治虫先生の漫画はもちろん好きで読んでいましたが、東宝の黒澤映画や、東映のチャンバラ映画、ジョン・フォードの西部劇、チャップリン、ディズニー作品なども好んで見ていて、将来は映画の世界に入りたいと思ってました。私と違って、アニメーションを目指して日芸の美術学科に行っていた兄が、虫プロダクションにすでに入社していて、新たに募集があることを教えてくれて、アトムの1クール目くらいにテストを受けて、仕上進行として入社しました。

そのうち、人手が足りないので、作画進行もまかされて、さらに、演出助手として「鉄腕アトム」を何本か担当する内、「史上最大のロボット」後編（'65年5月1日放映）で初めて、絵コンテを描きました。

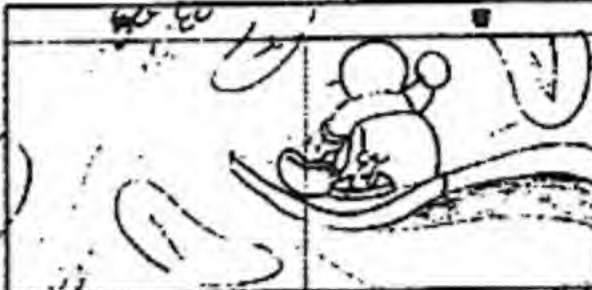
—虫プロダクション時代や手塚先生のエピソードを教えてください

◉とても忙しかったですが、それと同時にもの作りに携わっていることが、とても楽しかったです。いろいろな作品をやりましたが、私は「ムーミン」が好きでした。私たちが忙しくて会社によく泊まって、新聞紙を敷いて廊下に寝ていたのですが、手塚先生はアニメの進行が気になってか、よく夜中に自宅にある仕事場からアニメのスタジオに覗きにやってきて、起こさないよう気をつかってくださったり、「風邪引かないですか」と声をかけてくれたりしました。また、アニメの「アトム」が原作に追いついてシナリオが足りなくなったときに、演出スタッフが旅館に泊まり込んだことがあったのですが、手塚先生は各スタッフにアイデアを聞いて、二、三分ちょっと考えただけで「こうしてはどうですか」と肉付けのアイデアをどんどんだして行くんです。この早業には驚きました。アイデアマンでタフで本当にすごい方でした（そのとき私が出したアイデアは「二人の王女さま」です）。

「ドラえもん」を手がける

—製作主任の真佐美ジュンさんから「ドラえもん」のチーフディレクターをご担当いただけるように、熱心に口説かれたとのことですが—

◉虫プロの近所の喫茶店で、Qちゃん風のお話にヘンテコな未来猫が出てくる、このお話を聞いたと思います。気が進まなかったというより、当時はまだ自分にチーフディレクターができるかどうか自信がなく躊躇していたんです。

—はじめて「ドラえもん」を読まれて、どのようにアニメにされようと思いましたか?

◉Qちゃん同様、「ドラえもん」は主人公と少年の友達関係をベースに、SFチックな道具が出てくるポケットが子供に喜ばれるだろうと思いました。

私が参加したときには、文芸の徳丸（正夫）さんが設定やシナリオを用意されていましたし、原作を中心に据えて行こうと思っていたので、取り立てて私が「こうしよう」とリーダーシップをとって方向性をだしたという記憶はありません。

パイロットフィルムにも自分は参加していないと思います。強いて言えば、最初の設定書通りだと、ドラえもんの頭が大きすぎてアンバランスに感じたので、絵コンテの段階で大きさを少し小さくするように心がけました。

はみだしトーク◉最初の「オバケQ太郎（65）」は面白く見ていたのですが、直前の「新オバケQ太郎（71）」は忙しくて見ていません。ただ、同じ虫プロ出身の出崎（統）さんが監督していた「ジャングル黒べえ（73）」は気になって観ていました。

実作業に入ってからは、物語ばかりになってもいけないし、道具ばかりになってもいけないというバランスにも試行錯誤しながら苦労した記憶があります。

—テレビ局から内容への注文はありましたか

◉日本テレビの藤井（賢祐）プロデューサーからは、打ち合わせの前に「この番組のへそ（キーポイント）はなんでしょうか」と聞かれたくらいで、注文は特にありませんでした。ただ、放送コードは少しうるさくなってきていて、「プラモデル」は「プラスチックモデル」と言い換えていました。裏番組（『マジンガーZ』など）は、特に気にせず、ゴーイングマイウェイでした。

—シナリオ選定やその内容・キャラクターデザインに、藤子先生から要望やチェックがありましたか

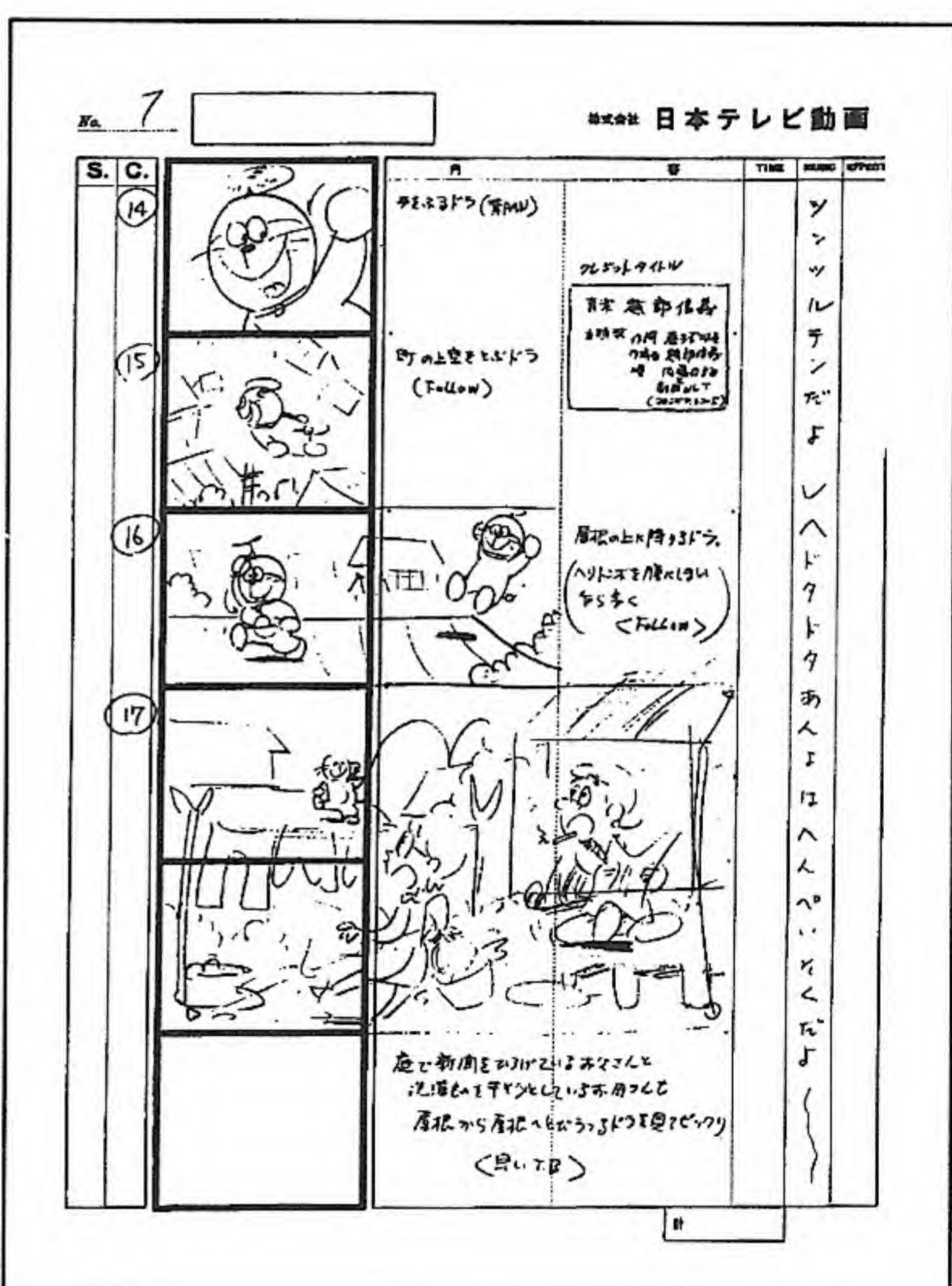
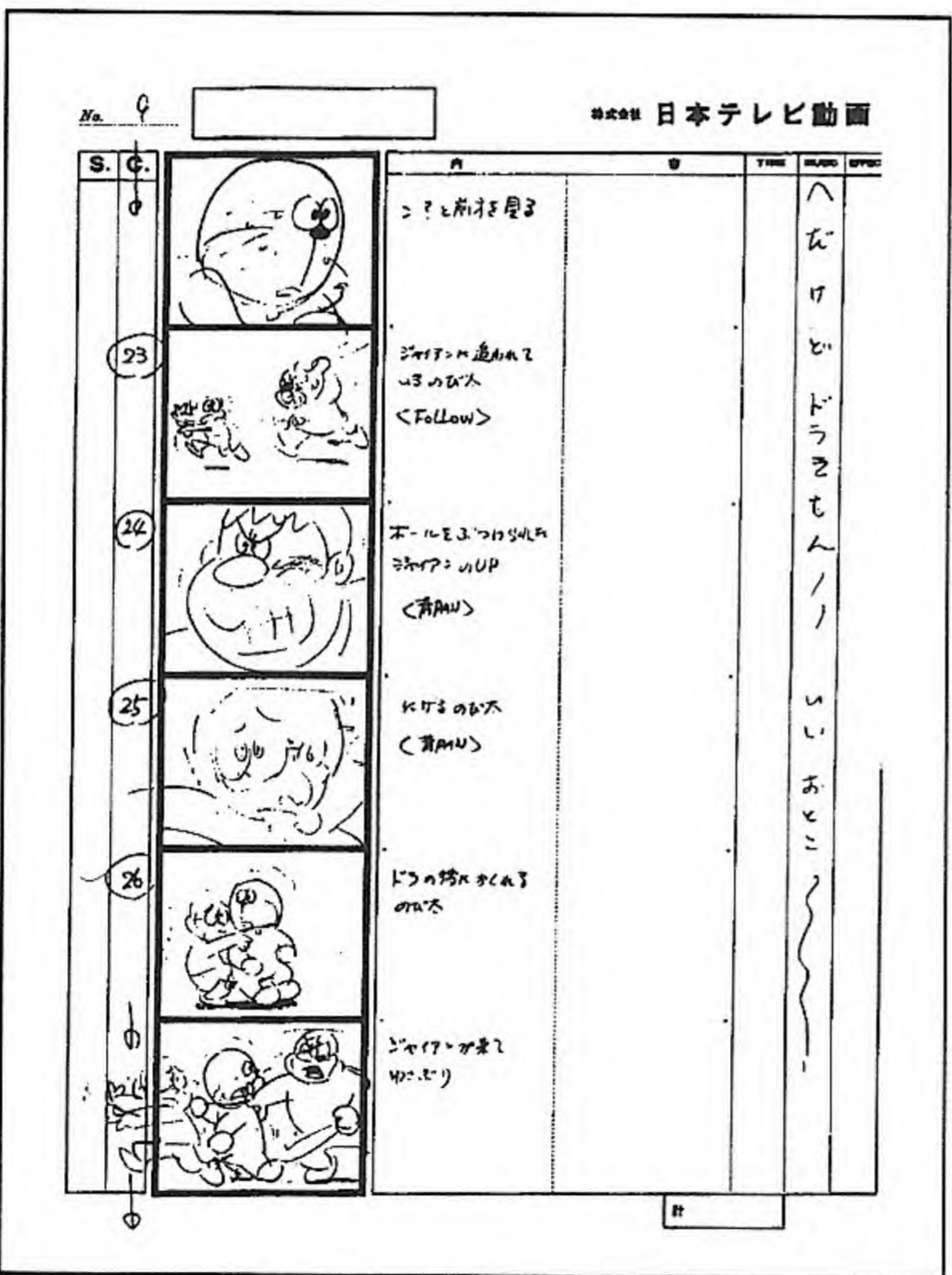
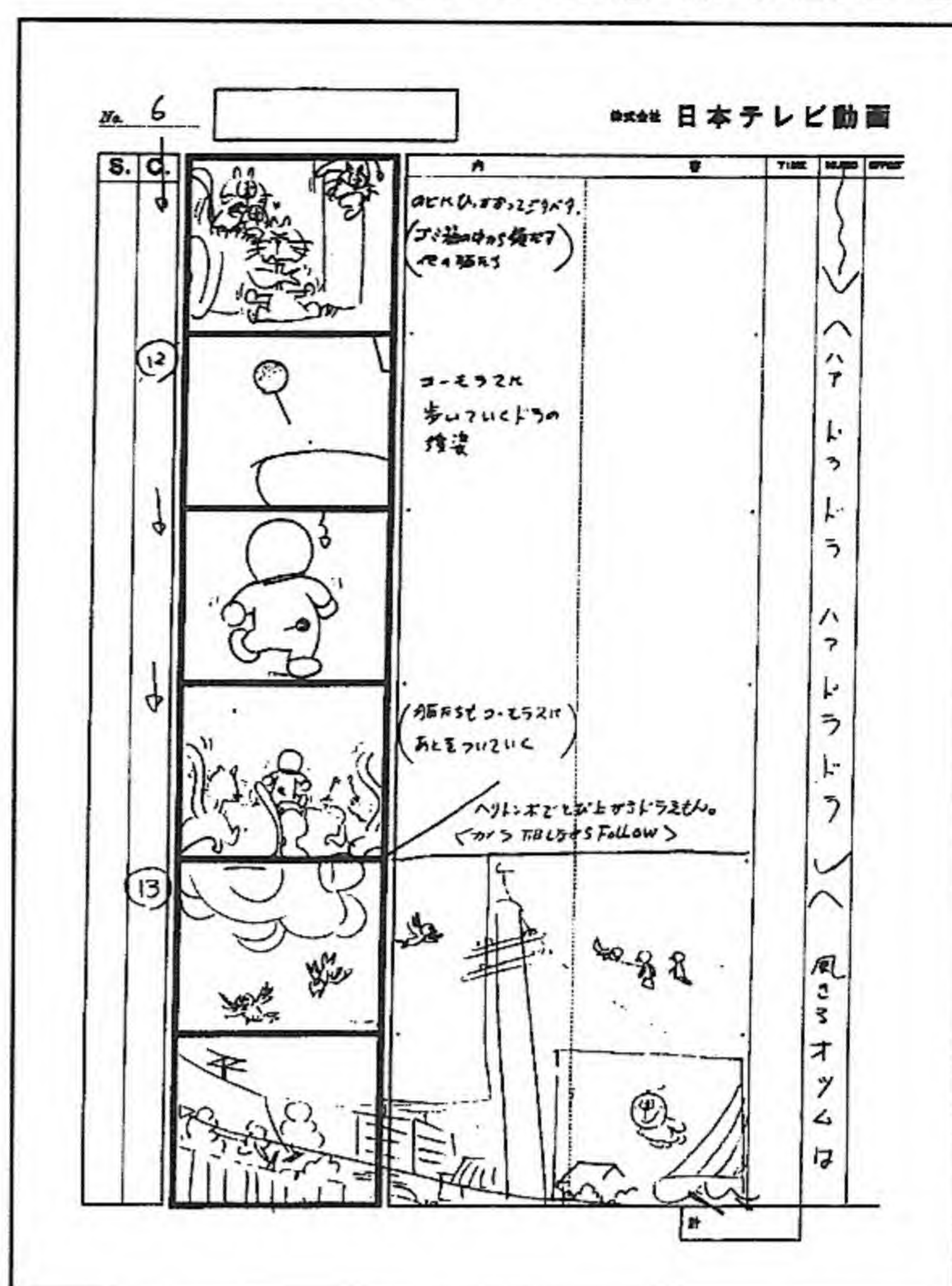
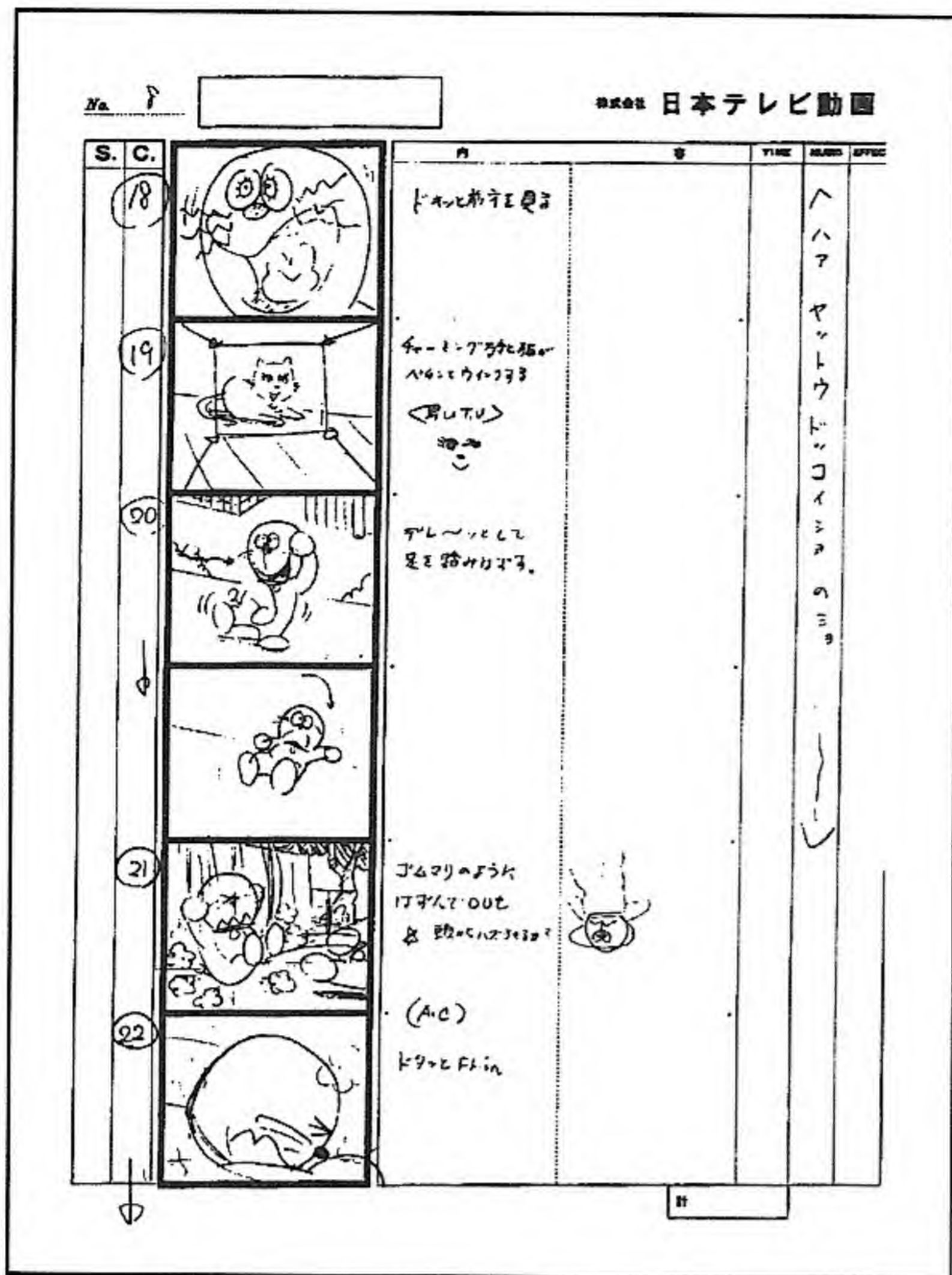
◉雑誌の切り抜きを出版社からもらってきて、こちらでお話を選び、絵コンテを起こす、という流れでした。私も何度か脚本家の鈴木良武さんにシナリオを発注した記憶がありますが、基本的に徳丸さんの担当だったので、どこまで藤子先生のチェックを受けていたのかはわかりません。

絵については、特に注文はなかったように思います。（原作者の目は経由せず）製作サイドから、直接、作画の現場に流れていたかもしれませんが、私にはわかりません。

—しずかちゃんの家にお手伝いさんがいたりと、原作と設定が若干違うのですが、何か狙いがあったのでしょうか。また、キャラクター設定はどなたのお仕事でしょうか

◉いずれもよく憶えていないのですが、特に演出上の狙いはなく、メインキャラクターを引き立たせるために、調整したのだと思

はみだしトーク　―主題歌・挿入歌の「ルンバ」「デキシーランド（ジャズ）」「哀愁」といった題材が印象に残ります―

◉当時は気に留めなかったですが、確かにスローでマイナーで、子供向けではありませんね。その頃、流行っていた、というわけでもないと思います。

います。このキャラクター設定（本特集掲載）は、絵がこなれているので、1クールが終わったあたりで描き直したものではないでしょうか。これ以前のテイクもあったと思います。当時は、現在のように作画監督がしっかり設置はされておらず、誰かが必要に応じてこれは守ろうよ、という最低限のガイドラインとして設定を描くという感じでしたので、誰が描いたかは、はっきり伝わってこないものだったのです。ただし状況から考えると、日本テレビ動画・新潟本社の鈴木満さんがキャラクター設定を描かれたように思います。

―番組の音楽にはご意見されたのでしょうか

◉主題歌はOPのコンテを切る段階で、できあがっていました。私はできあがってきたものを生かす主義なので、曲に合わせて工夫して作りました。曲の中の合いの手（♬ハァ、ドラドラ）が下町風だったので、舞台を下町の下町小学校にしました。メインのキャラクターを全員だして、未来からやってきた猫型ロボットが、引き出しから出てきて、ポケットからひみつ道具を出す・ネズミに弱い・ドタバタ風・みんなの人気者…という作品の要素を入れ込んで作りました。

―第1話には、原作の第1話「未来の国からはるばると」ではなく、なぜ「クルパーでんぱのまき」を使われたのでしょうか?

◉第1話がパイロット版を流用して作られたからではないでしょうか。パイロット版は放送局やスポンサーに作品の魅力を伝える必要があるので、原作の中からインパクトのある話を選んだのではないかと思います。

はみだしトーク◉日本テレビの招待で確か、電車で保養所に行ったんです。文芸の徳丸さんが麻雀をしている最中に青くなって今にもダウンするのではと、心配したことが思い出されます（それでも彼はゲームを続けました!-）。

—上梨監督が「ドラえもん中間報告」を書かれたのでしょうか

◉私が書いたものではありません。2クール目に入るにあたって、スタッフみんなで考えたことをまとめたものだと思います。

—内容は監督のご意向と考えてよろしいでしょうか「ドラえもん中間報告」では、「①ドラえもんの個性から滲み出るほのぼのとしたユーモアの世界と、②秘密兵器がもたらす面白さを見せ場とするギャグっぽい世界を二つの大きなシリーズの傾向として確立させたい」とありますが、具体的にはどのように落とし込まれたのでしょうか

◉具体的な演出変更と言うよりも、キャラクターの持ち味やシークエンス・秘密道具の面白さをポイントとして意識して行こうというスローガン的なものだったと思います。

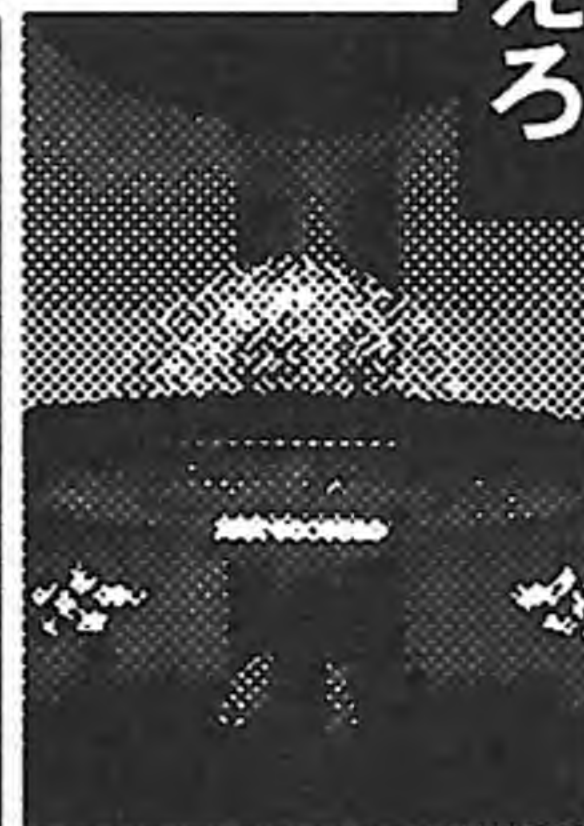
—局の意向による主役の声優の交代については、どう思われましたか

◉富田耕生さんのアドリブがとてもうまく、アドリブのセリフを入れてもらえるように、間を開けておいたりしたぐらいだったので、視聴率が上げたいというなら、富田耕生さんの声の責任にする以前に、作画とか演出とかでもっとやるべきことがあったと思います。

—2クール目からアヒルロボットのガチャ子が登場しますが—

◉みんなで話して、ドラえもんだけだとやはりおとなしいので「変わった」という感じを出すために、インパクトのあるキャラクターということで登場させました。口やかましいドナルドダックみたいなイメージで、引っかき回して欲しいなと。

フィルモグラフィ★虫プロダクション時代

'63	**鉄腕アトム**	演出・絵コンテ
	#117　史上最大のロボット［後編］	
	#170　二人の王女さま	
	#178　チータン夜の冒険	
	#184　タイム戦争	
	#191　さすらいのロッピ	
	※#92「ロボット三銃士」能加平氏と脚本を共筆	
'67	**リボンの騎士**	演出
'68	**わんぱく探偵団**	演出
'68	**佐武と市捕物控**	演出
'69	**どろろ**	演出
'69	（旧）**ムーミン**（27話以降～）	絵コンテ
'71	**アンデルセン物語**	演出
'72	（新）**ムーミン**	絵コンテ
	※第2話は同年3月18日より劇場公開	

フリー時代

'73	**ドラえもん**	チーフディレクター

スタジオぴえろ

'74	**小さなバイキング ビッケ**	演出
'74	**星の子チョビン**	演出
'74	**てんとう虫の歌**	演出
'75	**わんぱく大昔クムクム**	演出
'76	**ポールのミラクル大作戦**	演出
'77	**ジェッターマルス**	演出
'77	**一発貫太くん**	演出
'77	**風船少女テンプルちゃん**	演出
'77	**新みつばちマーヤの冒険**	チーフディレクター
	※放映は'82年	
'77	**まんが偉人伝**	演出
'78	**魔女っ子チックル**	共同チーフディレクター
'80	**ニルスのふしぎな旅**	演出
'83	東京ディズニーランド	
	ミート・ザ・ワールド	演出
'91	**ここはグリーンウッド**（OVA）	プロデューサー

◐虫プロ時代の作品の多くが近年のデジタル技術によってクリア画像のDVDで観賞できる。右端は、東京ディズニーランド［ミート・ザ・ワールド］上映施設。本アトラクションは、'83年のTDL開園から'02年6月まで開催された。

スタジオぴえろ：タツノコプロ等で演出をしていた布川ゆうじ氏が'78年に演出家のグループとして上梨満雄氏らと発足。'79年5月にアニメ制作に乗り出すため、株式会社に改組。タツノコの演出陣だった鳥海永行・案納正美・高橋資祐・押井守各氏らが設立に参加した。演出家が作ったため演出家の力が強く、人脈的にはタツノコプロの流れにあるスタジオと言える。'02年に株式会社ぴえろへ商号を変更。

―「ドラえもん」の終了が決まった時は、どのような感想を持たれましたか

◉私はフリーでしたので会社が止めるというのなら、しょうがないと思ってましたが、現場的には続けたかったです。製作の方は、外部スタッフへの支払いなど大変だったようです。

―最終話は、ドラえもんの力を借りず自分の力で自転車に乗れるようになろうとする、のび太の姿が感動的でした―

◉終盤は会社を畳むというので、ドタバタしていましたので、あまりよく憶えていませんが、シリーズ後半がスラップステックな内容になっていたので、最終回でハートウォーミングな話にできて、うまくまとまったと思いました。

―全26回を監督されて、印象的だったエピソードはありますか

◉個別作品では憶えていませんが、前半は比較的テンポがゆったりして、のび太の良き仲間としてドラえもんを描けたのに対して、後半はテンポアップして時代にはあっていたようですが、せわしかったように思えました。私としては、前半の方が好きでした。

スタジオぴえろを立上げる

◉「ドラえもん」以降は「てんとう虫の歌」「一発貫太くん」「ポールのミラクル大作戦」「風船少女テンプルちゃん」などタツノコプロの仕事を多くさせていただきました。あとは、虫プロでりんたろうさんの班だったので、りんさんから「わんぱく大昔クムクム」「星の子チョビン」「ジェッターマルス」などマッドハウス系のお仕事で、何度も声をかけていただきました。

その後、タツノコで一緒に仕事をした布川ゆうじさんと「スタジオぴえろ」を設立し、（始めは二人だけだった…）主にテレビシリーズの絵コンテや演出をするうち、和光プロ制作による「新みつばちマーヤの冒険」のチーフディレクターを引き受けることになりました。このシリーズをきっかけに徐々に作画や制作進行を集めていき、株式会社として法人化しました。そのぴえろとしての最初の制作が、学研から発注された「ニルスのふしぎな旅」でした。

それでも、アニメ製作だけでは会社を維持できないので、'84年にぴえろプロジェクトを作り、キャラクターライセンスの仕事を中心に担当しました。光村図書のビデオや、NHKの算数や国語の教材アニメ、学研の　などいろいろやりました。

東宝経由で「東京ディズニーランド」の仕事もやりました。日本の歴史を紹介する映像アトラクション「ミート・ザ・ワールド」で、漢字が中国から日本に渡って来てひらがなになるというシークエンスが本国（アメリカ）ではわからないということで、私が絵コンテを切ることになったんです。大きな動画用紙が送られてきて、実製作はサンリオにお願いしたと思います。日本で作画と仕上げまでやって、アメリカで撮影しました。たった数分のシーンですが有名な書道家に文字を書いてもらいました。おかげでオープン前のディズニーランドに入ることができました。

この映像はずいぶん長く上映していたと思うのですが、アトラクションが終わってしまうというので、終演前にビデオを撮りに行きました。

―貴重なお話ありがとうございました！

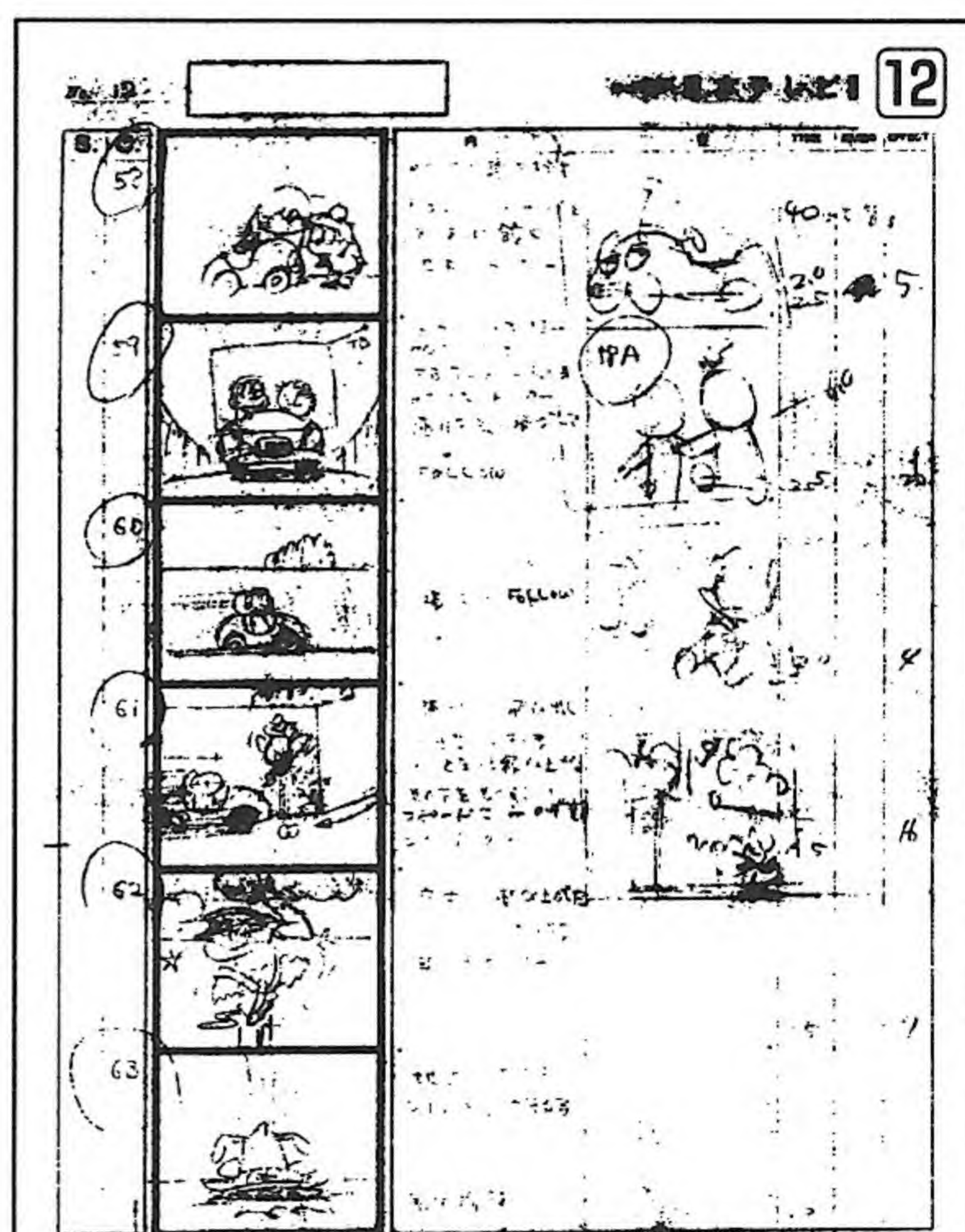
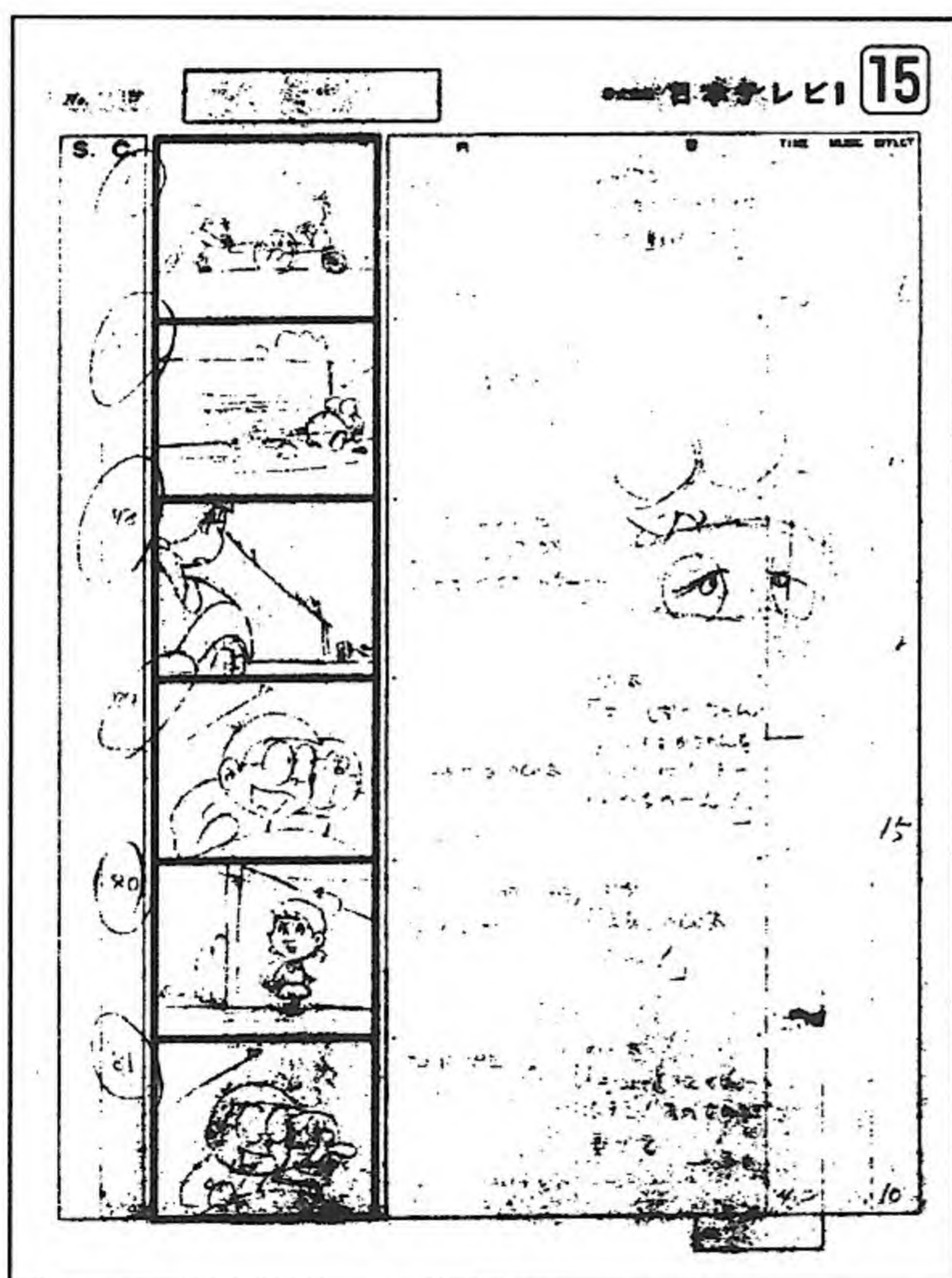
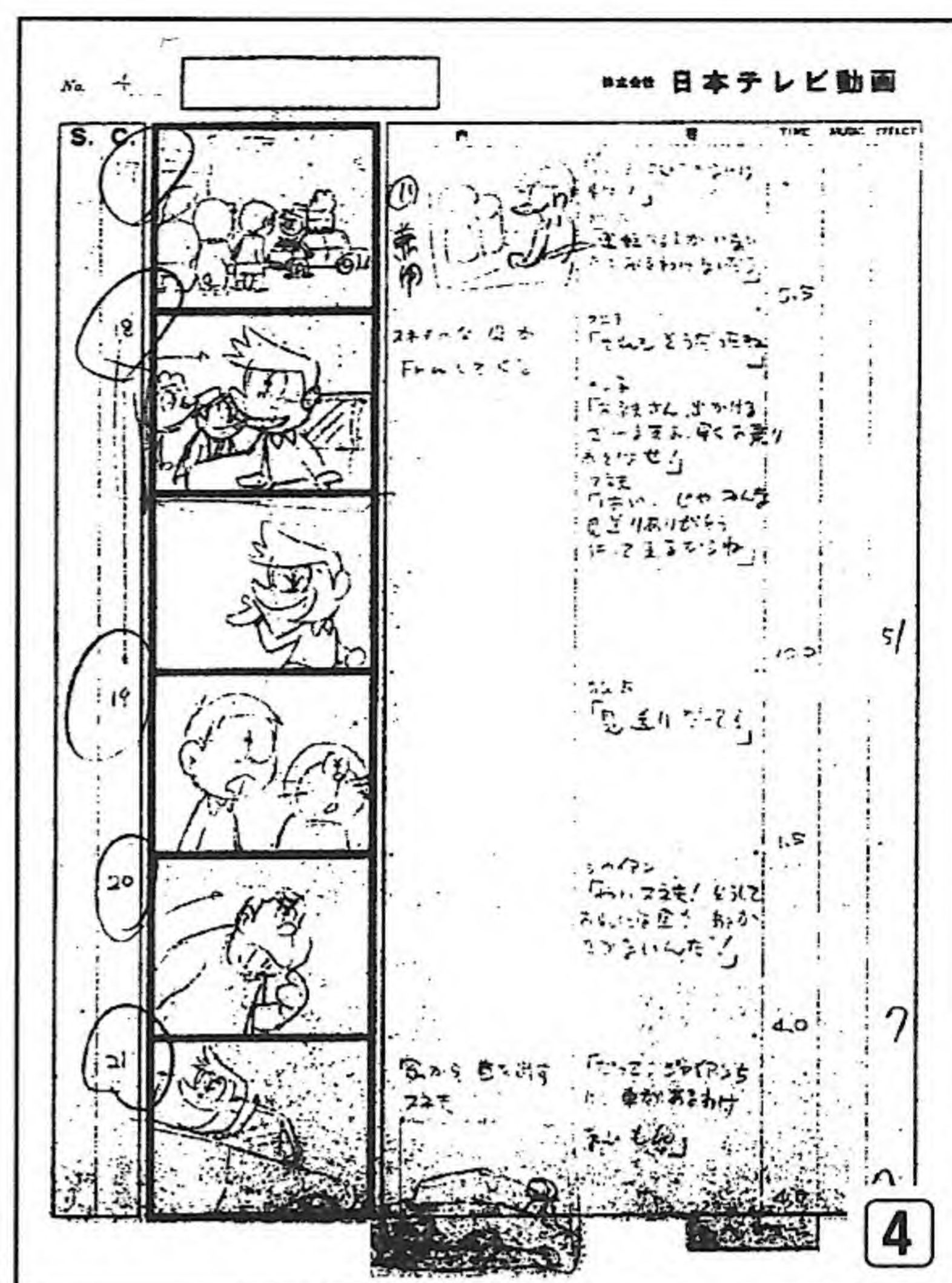
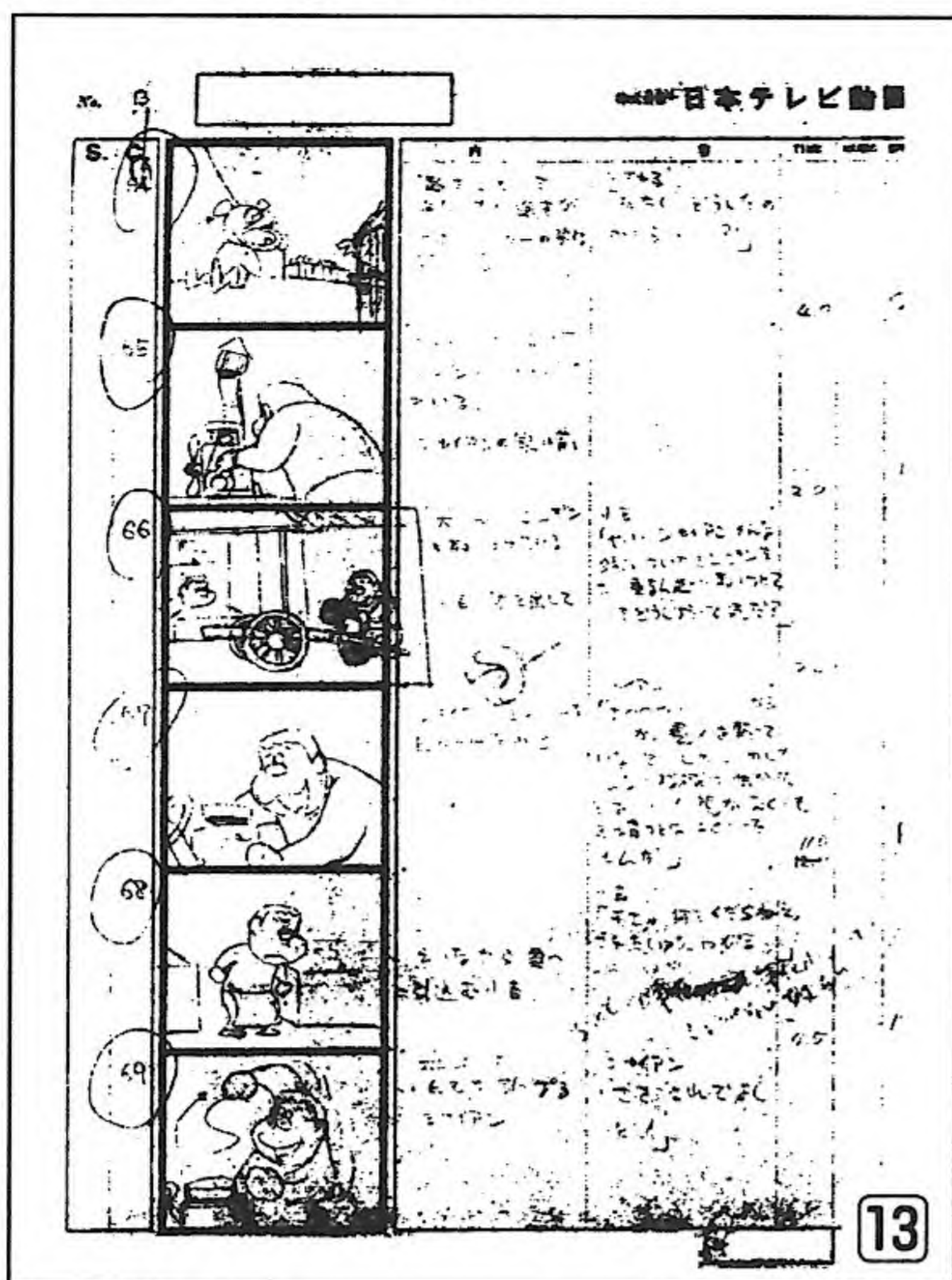
（'06・10・22　蝶野・電話取材）

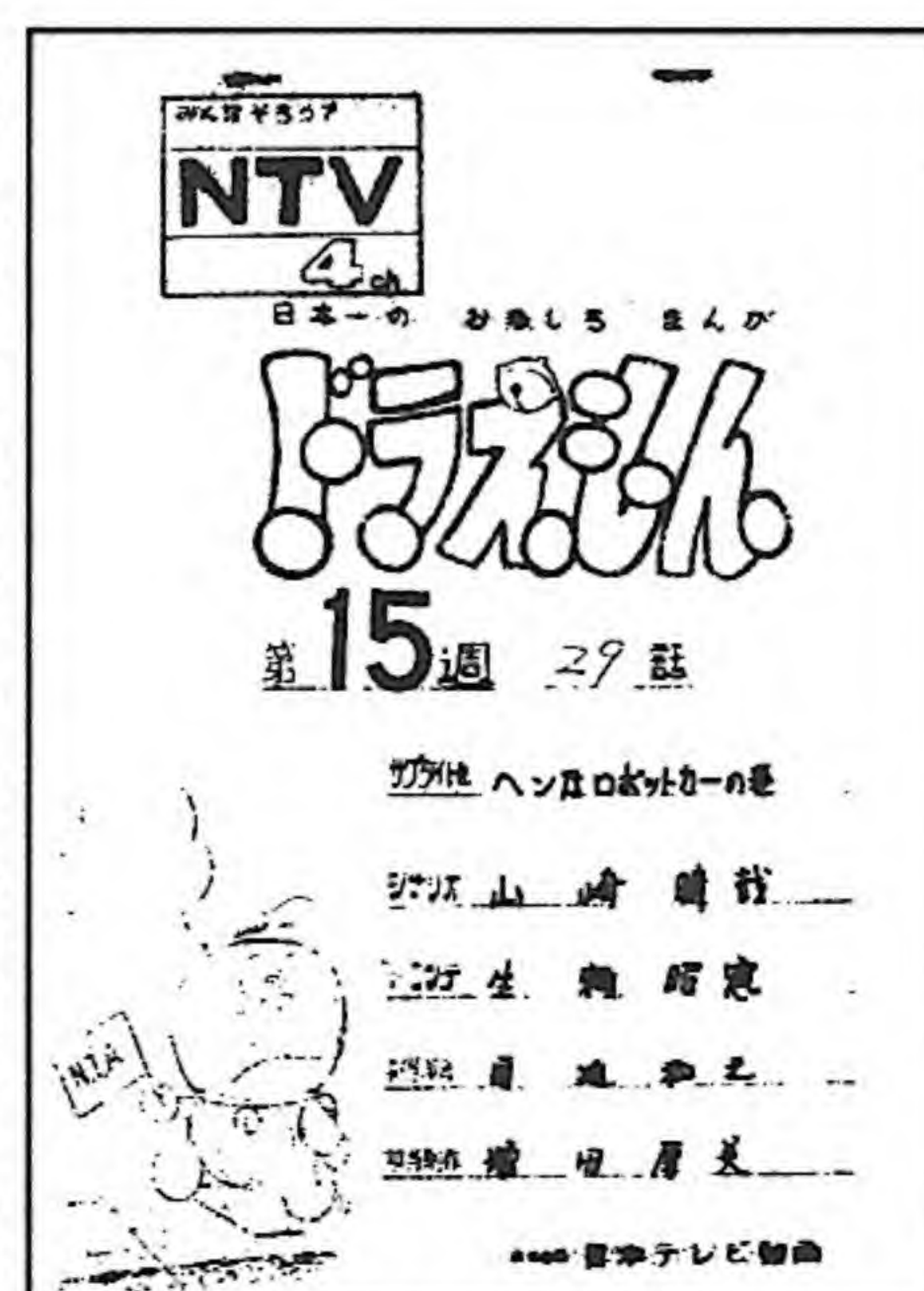
企画協力●mvunit　レイアウト●Studio SEIKO

絵コンテ紹介

◉ご覧いただいているのは、野沢雅子さんがドラの声を担当してまだ間もない「へんなロボットカー」のコンテ（全33枚）の抄録だ。

冒頭に登場している車は、土地成金のスネ夫のパパが買った、限定五台のイタリア車。のび太とジャイアンをからかってから一家揃って箱根にドライブに出発。のびドラコンビも負けじと追跡…、とここまでは原作風味だが、驚くべきことに、ジャイアンも廃材を利用して車を自作し、スネ夫を見返そうとレースが始まる展開となる！　ガチャ子や静香ちゃんも登場するアクション娯楽編となっている。

こどもの時代館
Old Character's TOY MUSEUM

◉今回こちらの資料をご提供いただいたのは世界一の藤子グッズコレクターでおなじみの神野弘一さん。神野コレクションが展示された新潟県［こどもの時代館］も大好評・開館中だ。

http://www.zidaikan.com/

NTV版ドラえもん・主題歌&劇伴 越部信義先生インタビュー

—四十数年間、NHK「おかあさんといっしょ」の音楽を担当され、「おもちゃのチャチャチャ」等の子どもの歌、「マッハGoGoGo」「みなしごハッチ」等タツノコアニメ黄金期の主題歌を多数作曲された越部信義先生。つねに「みんなに喜んでもらえるものを作りたい」という先生から、日本テレビ版「ドラえもん」主題歌創作の秘密を伺った。

こしべ　のぶよし●'33年・東京都出身。東京芸術大学作曲科卒業。レコード大賞童謡賞・来留島武彦文化賞・日本アカデミー音楽賞・日本童謡協会童謡賞など受賞歴多数。

—音楽の世界に入られたきっかけは

◉普通、音楽を始める人は5・6才から始める人が多いのですが、私は遅くて、中学生のときにピアノのバイエルを始めました。高校時代にクラシックの作曲家になりたいと思い、猛勉強して、芸大に一浪で合格しました。しかし在学中の師匠の池内友次朗がフランスのコンセルバドールの出身で、音色やハーモニーが派手な方だったんです。そのせいか、近代音楽のラベルのボレロやドビッシーの夜想曲などの音色やハーモニーがユニークな音楽の影響を受けていました。そのあと、ホーギー・カーマイケルの「スターダスト」というハーモニーがとてもユニークなジャズの曲に出会って、ジャズやラテン音楽に夢中になりました。

大学を出たあとは、高校の音楽の先生をしていましたが、しばらくして大阪の朝日放送の作曲コンクールに応募して一位を取ることができました。そのコンクールの審査員をしていた三木鶏郎さん（コマーシャルソング作曲のパイオニアで、後に「鉄人28号」「トムとジェリー」「ジャングル大帝」の主題歌もご担当）。にちょっと遊びにいらっしゃいと言われて、三木さんの三芸という音楽工房で仕事をするようになりました。三木さんからもいろいろ影響を受け、コマソンもやりました。一番ヒットしたのは崎陽軒のシューマイです。アニメの仕事は、その三芸の所属しているときにタツノコプロさんに気に入ってもらえて、続けてやらせていただいたという感じです。

—どのような経緯で『ドラえもん』の音楽をお引き受けになられたのですか？

◉番組の制作会社があって、そこを通して受けた仕事だと思います。制作会社から詞を廻されたと思います。ですから、当時、直接、藤子先生とお会いした記憶はないんです。

—ドラえもんで作曲された主題歌四曲は、演歌・ルンバ・デキシーランド（ジャズ）・ワルツと、全て曲調が異なるのには、驚きました

◉当時のアニメを作っていたときから、私にはみんなに喜んでもらうものを作りたいというポリシーがあって、それまでの子供番組の主題歌に無いものを、と考えました。ルンバは、キューバ生まれのラテンミュージック、デキシーランドは、ニューオリンズのスリーリズムの音楽です。タイトルの「～ルンバ」や「～いん・できしいらんど」は、私の提案や完成した曲調が反映された結果、名付けられたものだと思います。「ドラえもん・いん・できしいらんど」は、詞から、この曲はデキシーランドかなって思って。

主題歌「ドラえもん」の「♬ヒャア～」というイントロのメロディは好きです。曲調は演歌風ですが、ドラムセットのシンバルなど割とジャズ的なテイストが入っています。「♬ヒャア～」という歌い出しは、藤子先生の詞にあったと思うのですが、とてもユニークに思いました。

—主題歌を歌われている内藤はるみさん、「♬ハア、ドラドラ」の合いの手を担当している劇団NLTというのは、どういった方々だったのでしょうか

◉内藤さんは、コロムビアが推薦した方だと思うのですが、本当にうまい方でしたね。劇団NLTの方々も、コロムビアの推薦だったと思います。本来は、いわゆる劇団の方で、いまでも舞台の活動をされていると思います。ですので、いつもやることとは

★ ディスコグラフィ ★

アニメ作品

'63	鉄人28号	ED『正太郎マーチ』ほか
'67	パーマン（旧）	OP『ぼくらのパーマン』 挿入歌『すてきなパー子』ほか
'67	マッハ Go Go Go	OP・EDほか
'69	紅三四郎	OP・EDほか
'70	昆虫物語みなしごハッチ	OPほか
'72	樫の木モック	OPほか
'73	けろっこメデタン	OPほか
'73	**ドラえもん**	劇伴音楽と主題歌・挿入歌

ドラえもん［演歌］唄・内藤はるみ／劇団NLT
ドラえもんのルンバ［ルンバ］唄・内藤はるみ
あいしゅうのドラえもん［ワルツ］唄・富田耕生
ドラえもん いん できしいらんど［ジャズ］
唄・コロムビアゆりかご会／劇団NLT

'75	サザエさん（初期）	
'76	ハックルベリィの冒険	OP・EPほか
'76	リトル・ルルとちっちゃい仲間	OP・EPほか
'77	風船少女テンプルちゃん	OP・EPほか
'77	あしたへアタック！	OP・EPほか
'77	ジェッターマルス	OP・EPほか
'82	太陽の子エステバン	サウンドトラックほか
'85	へーい！ブンブー	OP・EPほか
'88	まんが日本昔ばなし	「ともだちがいっぱい」など

●越部chacha音楽ふぁくとり ホームページ
http://www.koshibe.jp/

幼児・子供向け番組

●おかあさんといっしょ
［ブンブンたいむ］［にこにこ、ぷん］ほか多数

●みんなのうた
『おれだけの海』『地球を七回半まわれ』『冬の行進』『南の島の花よめさん』『勇気一つを友にして』『わたしの紙風船』ほか多数

●ママとあそぼうピンポンパン

●ひらけ！ポンキッキ
『あしおとのうた』『雨の日も楽しく』『からまでソング』『看板のうた』『傷だらけのぼく』『くも』『はたらくくるま』『はなははなはな』『パンのうた』『ヒックリがえる』『ぼくは電車』ほか多数

童謡

『おもちゃのチャチャチャ』『ケンパであそぼう』『思い出のアルバム』（編曲）『ねこふんじゃった』（編曲）ほか

演劇・映画

'81 上海バンスキング（演劇）
'84 上海バンスキング（映画）

シンセサイザー曲・イメージアルバム

●デジタルトリップシリーズ「宇宙刑事シャリバン」「未来警察ウラシマン」「機動戦士Zガンダム」「聖戦士ダンバイン」「キャプテン翼」「南京路に花吹雪」

違うって戸惑われていたと思います（笑）。

―「あいしゅうのドラえもん」は富田耕生さんが歌われていますね

◉富田さんの声はいい声でしたね。富田さんが歌われることを想定して、書きました（＝作曲しました）。大抵主題歌は、詞をもらって、レコード会社が推薦した歌手にあわせて決めます。歌手によって歌える音域がありますからね。

また、聞いてくれた子供が楽しく歌ってもらえるように「歌いやすい」曲作りもポリシーとして心がけてました。やってみると難しいときもありましたけど（笑）。

―「ドラえもん」では、劇伴音楽も担当されています

◉こちらは主題歌と違って、日本テレビ動画と所属事務所との間に、音響制作会社があって、そちらとの仕事でした。

当時は、だいたい木曜日に映像を試写室で観て、こんな音楽が欲しいと聞いて、月曜に録音という感じです。

録音スタジオで映像も流しながら、録音ということを毎週やっていました。いい時代でした。今は、テレビ番組の音楽ディレクターが「こんな音楽が欲しい」というリストを作って、それに合わせて様々なタイプの曲を作るのです。ため録りの方がプレイヤー（スタジオミュージシャン）の手配が安く済みますので、次第に（試写を観ずに）自分からも、この方法を取れるようになりました。

―曲に使う様々な楽器の手配も想定して作曲されるのですか？

◉プレイヤーを集める仕事が専門にあって、そういう人とツーカーだったので、その人が、この楽器ならこの人という風に集めてくれました。昔、録音に渡辺貞夫が来てました。今では考えられないですね（笑）。

当時のプレイヤーはとても器用で、譜面を当日初見で演奏してくれましたが、NHK交響楽団所属の方にお忍びのバイトで弦楽器の演奏をお願いしたところ、クラシック音楽のプレイヤーは譜面通りにしか弾いてくれず、ノリを理解してくれなくて苦労しました。今そういうことはありませんが。

―作曲がどのように行うのでしょうか。

◉私はピアノは使わずに、頭の中で、ああしよう・こうしようと考えたことを、譜面に書いていきます。

―「パーマン（67）」の主題歌もご担当されていますね

◉三輪勝恵さんは、非常にユニークな歌い方をする方でした。当時、ほとんどアニメの主題歌の作曲料はレコード会社の買取で、この曲もヒットしたけど買取でしたね（笑）。

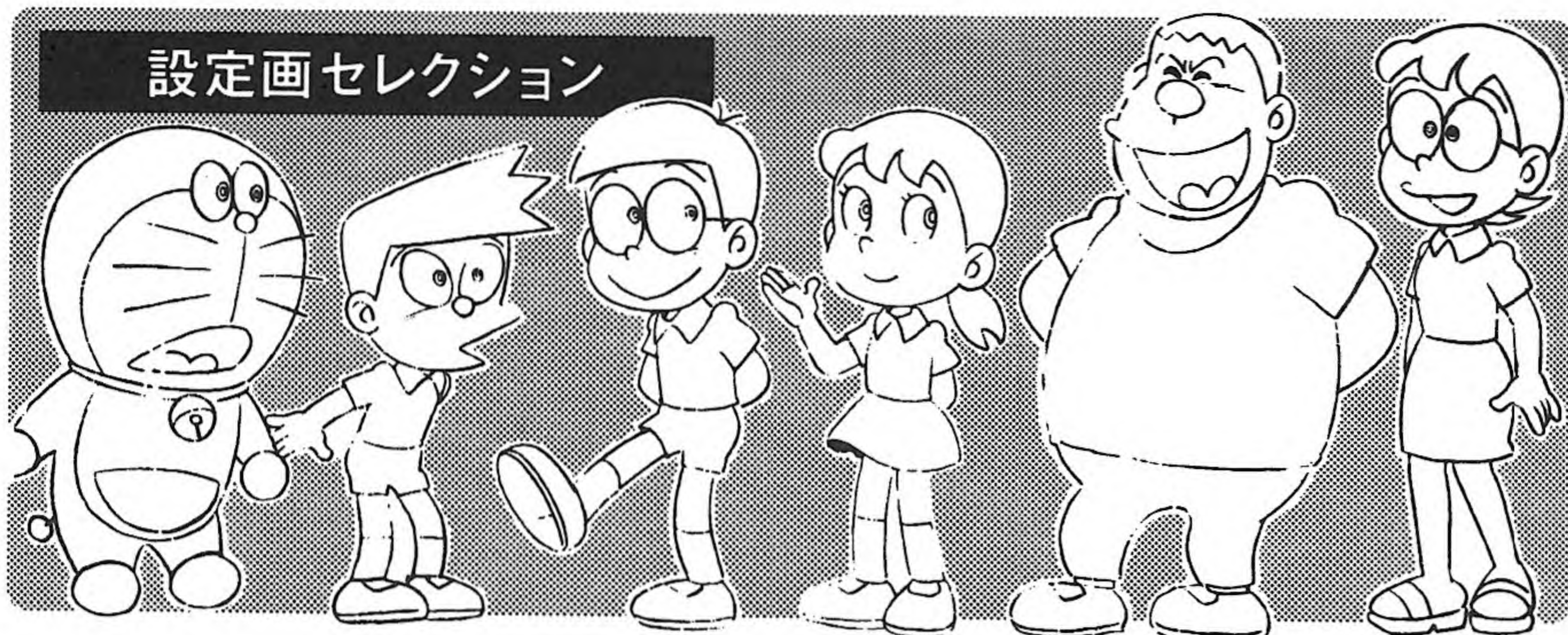
―最もお気に入りのアニメソングは何でしょうか

◉「マッハGoGoGo」です。アメリカ版アニメも私のメロディなんだけど、向こうの方の編曲が、ちょっとチープで残念でしたね（笑）。誰からも良いって言ってもらえないのですが、私が一番気に入っている部分は、エンディングの間奏部分です。

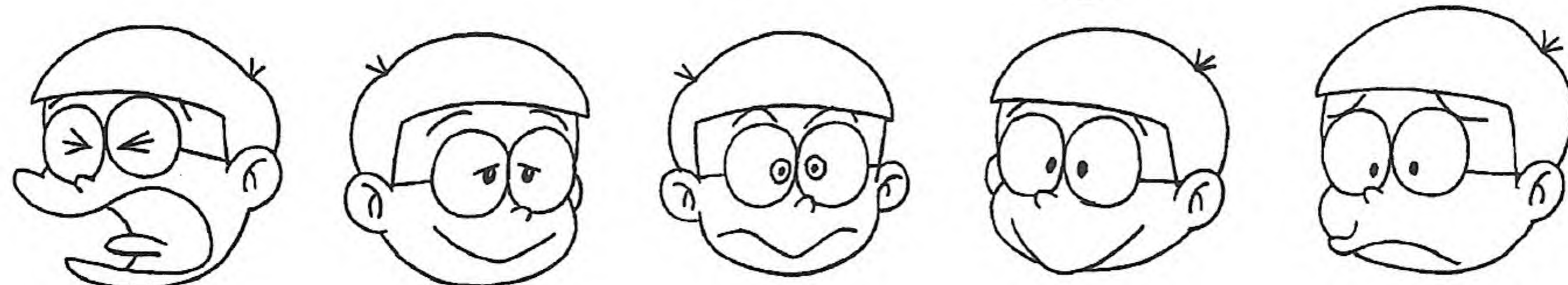
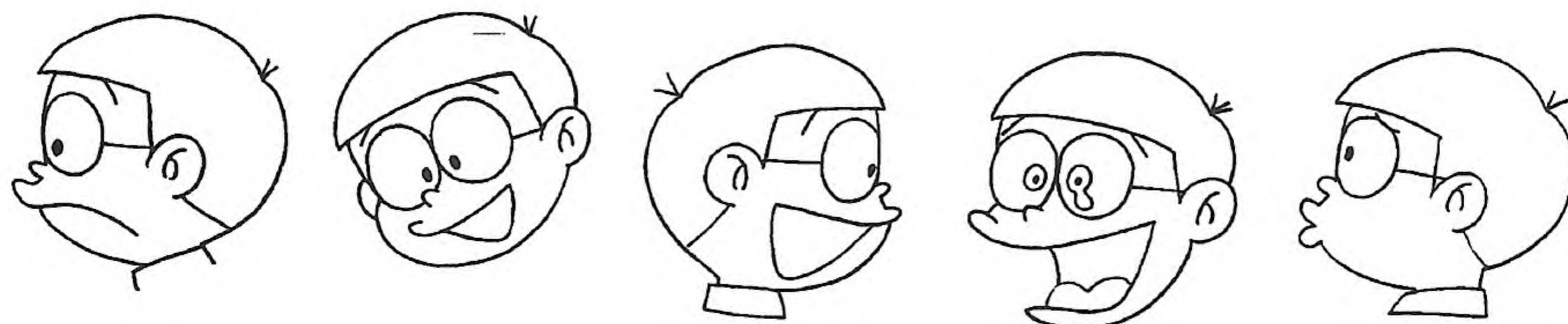
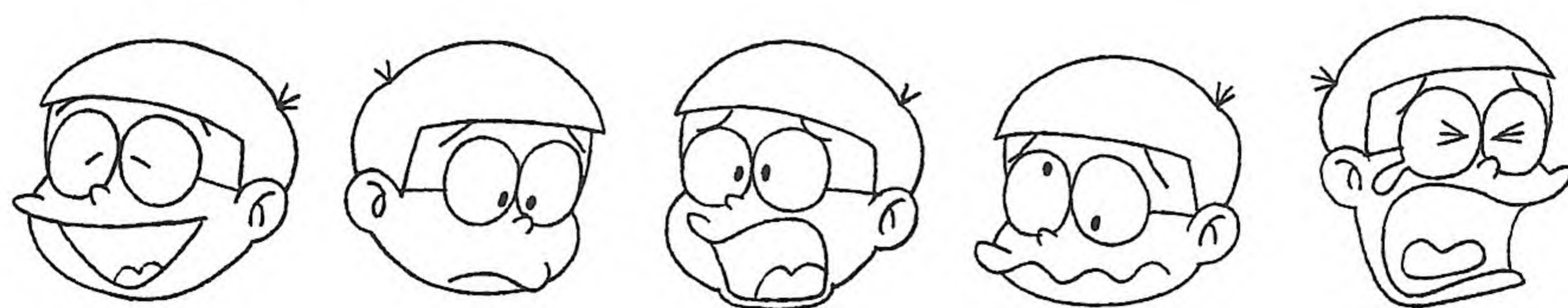
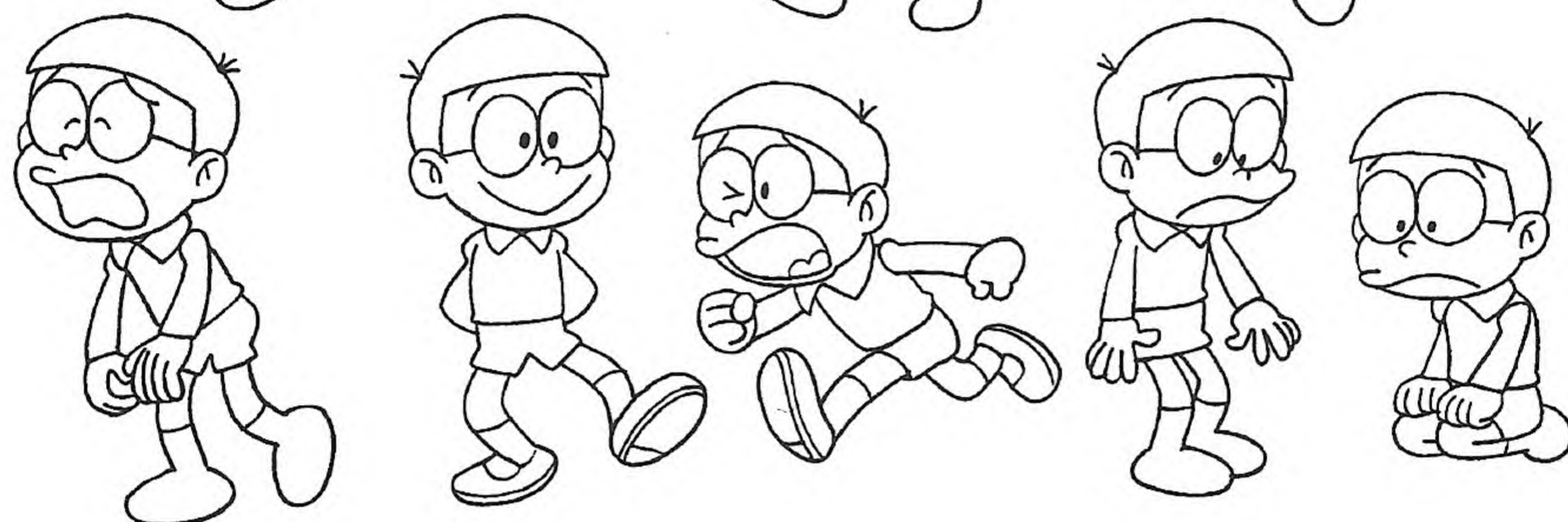
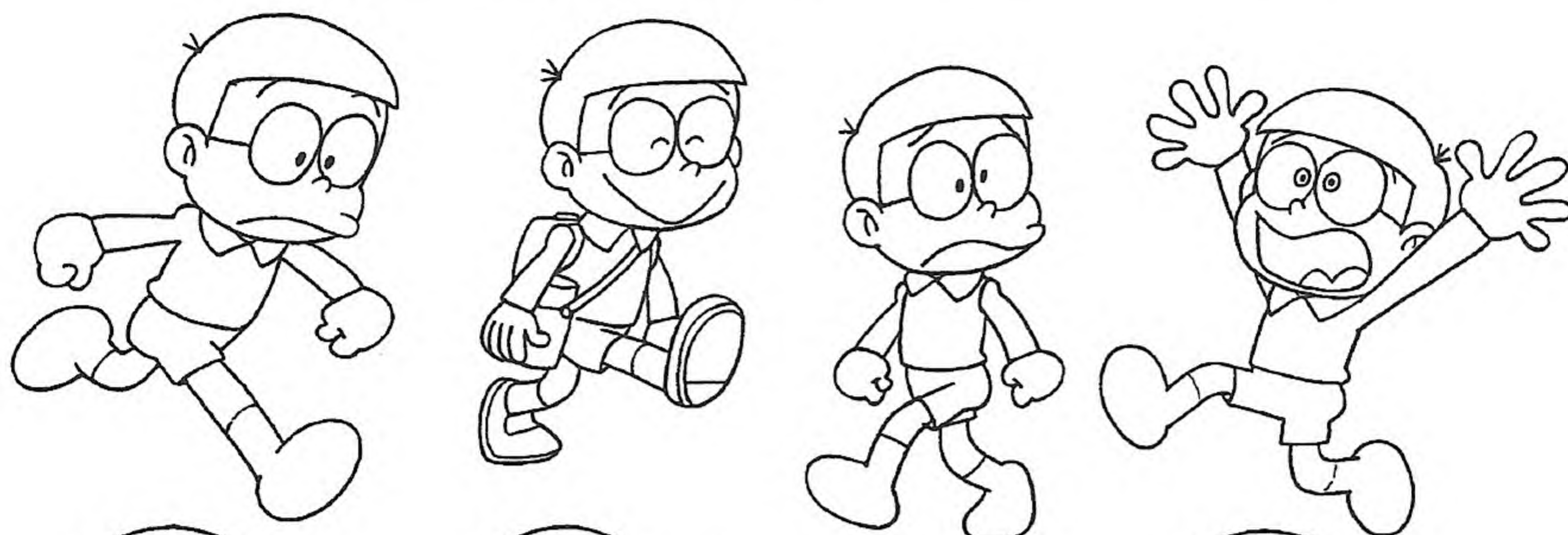
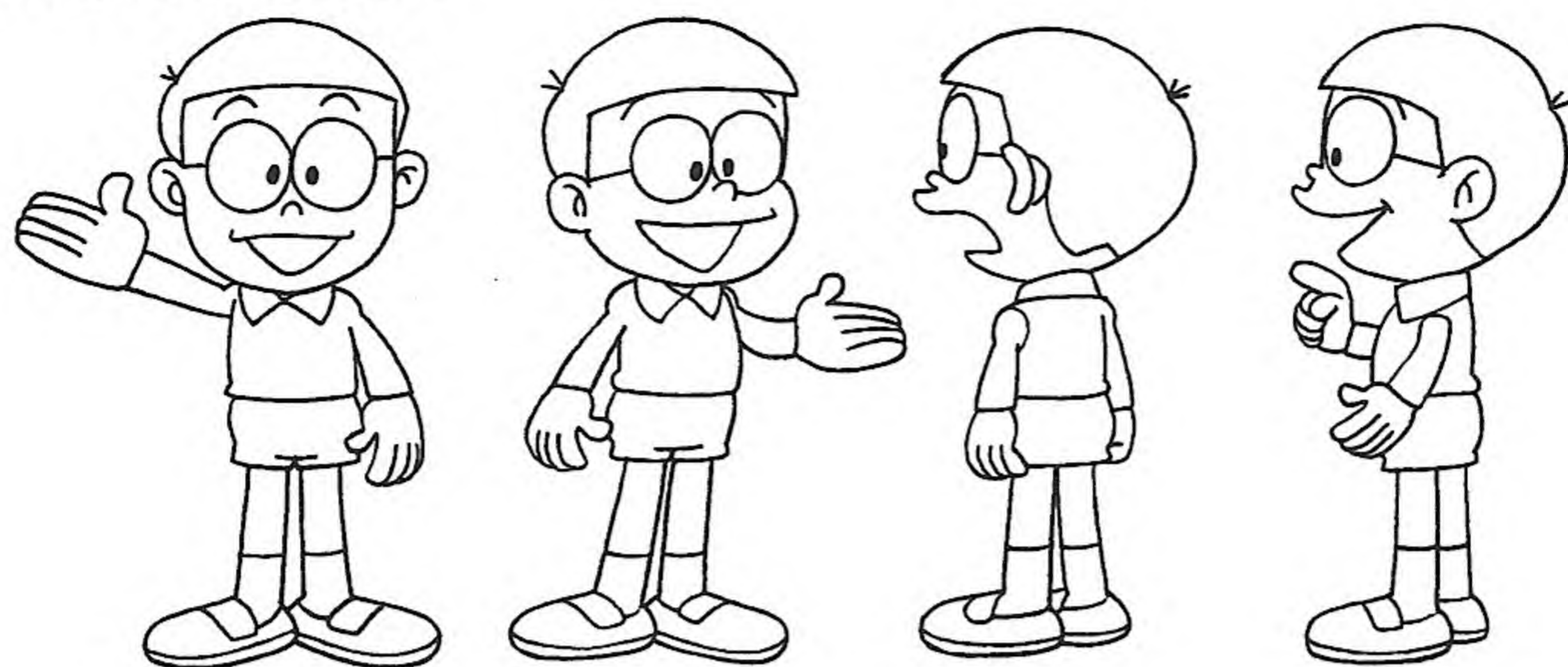
「みなしごハッチ」も好きですね。この作品もアメリカでやるという話があったみたいですが、お話しが悲しすぎるということでダメになったみたいです（笑）。

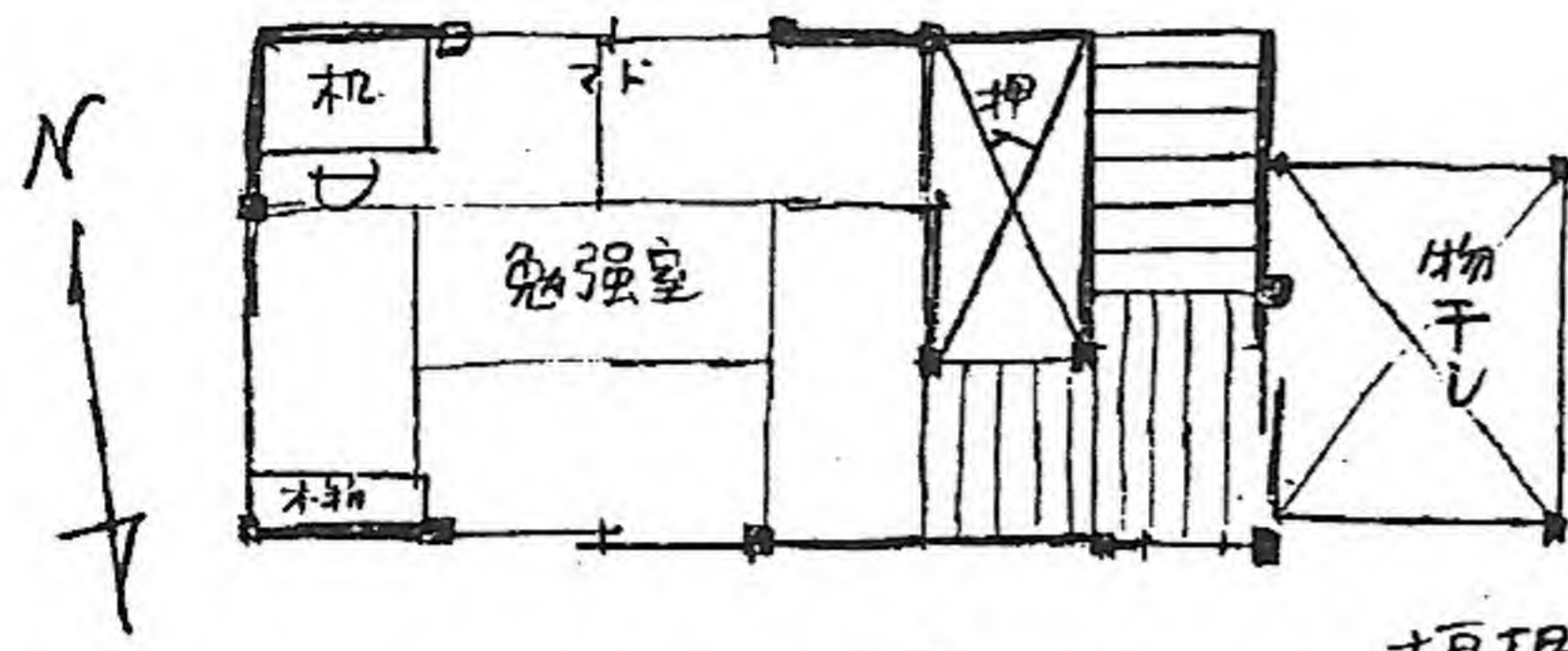
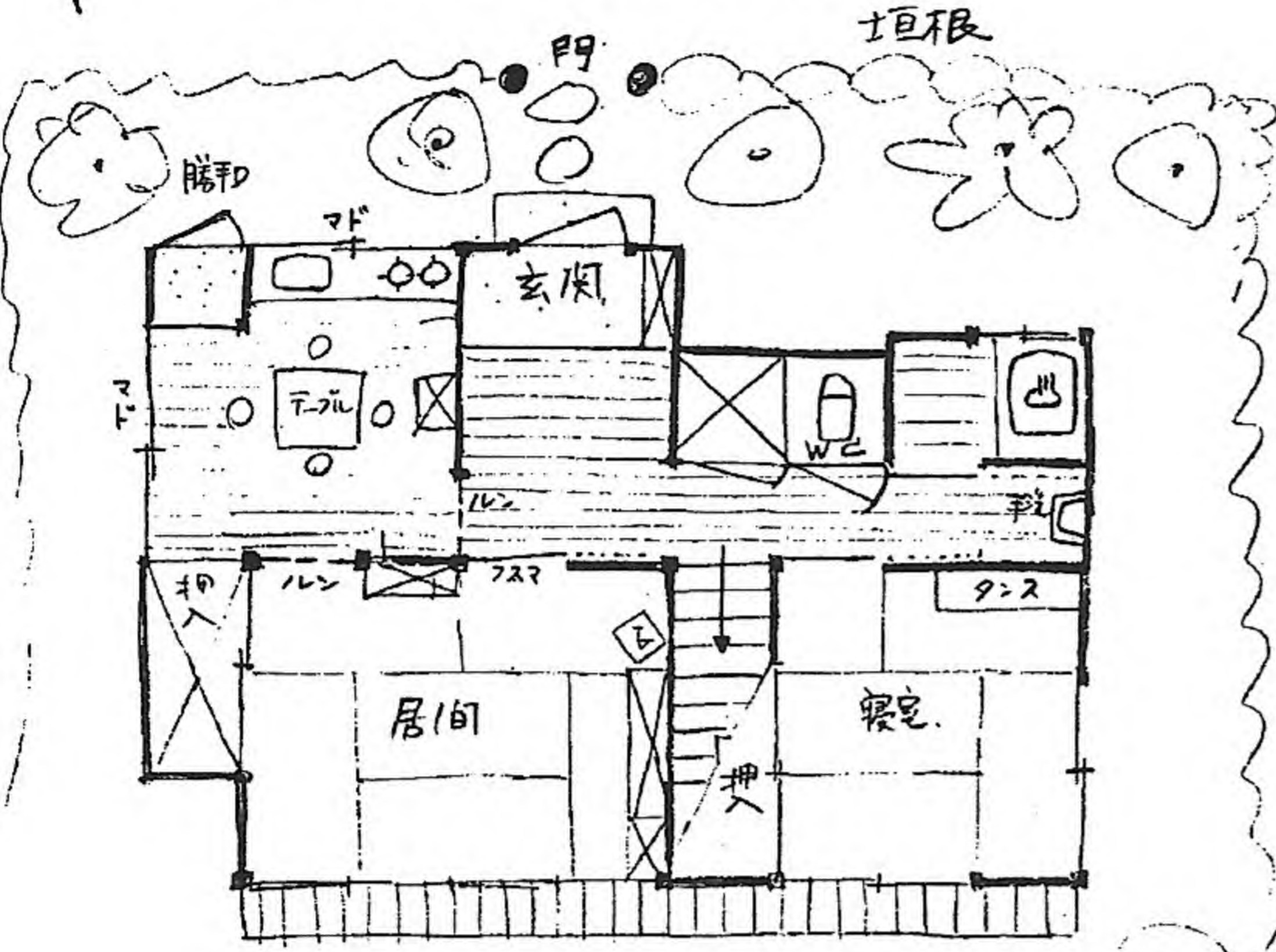
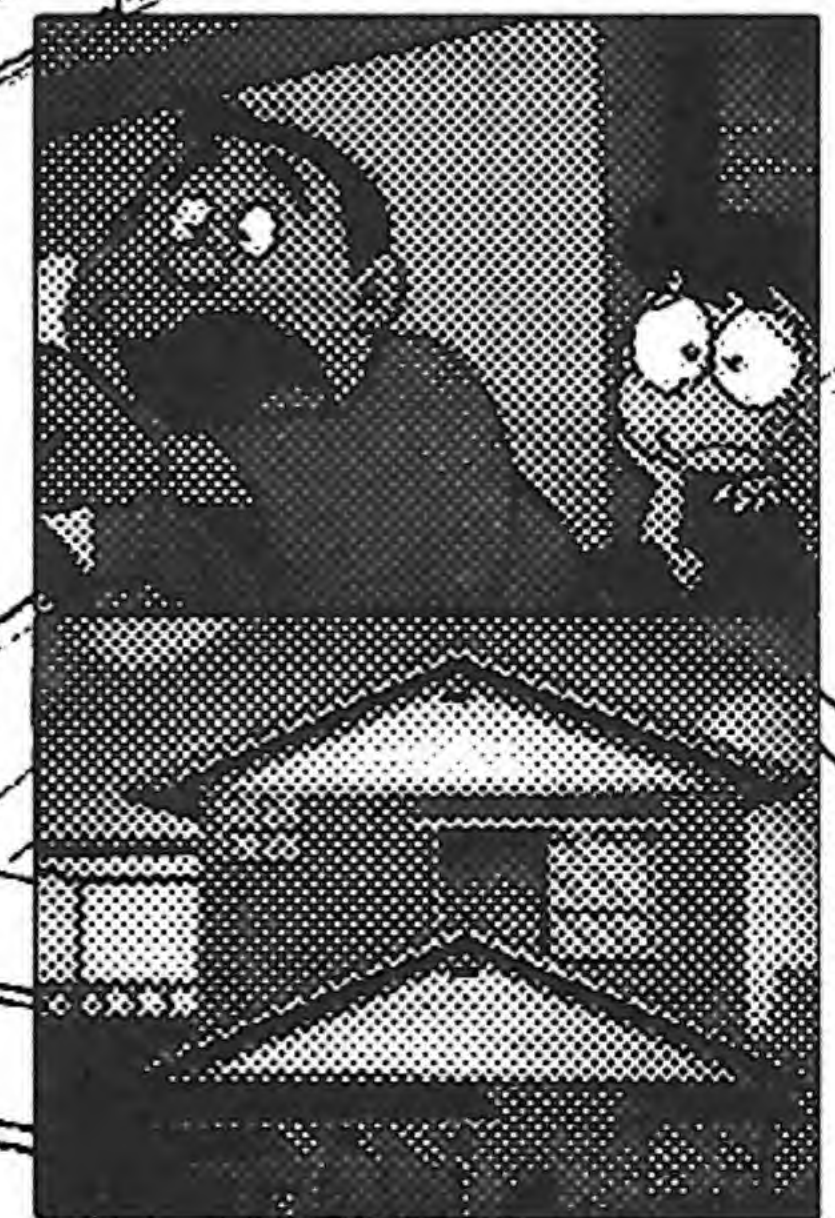
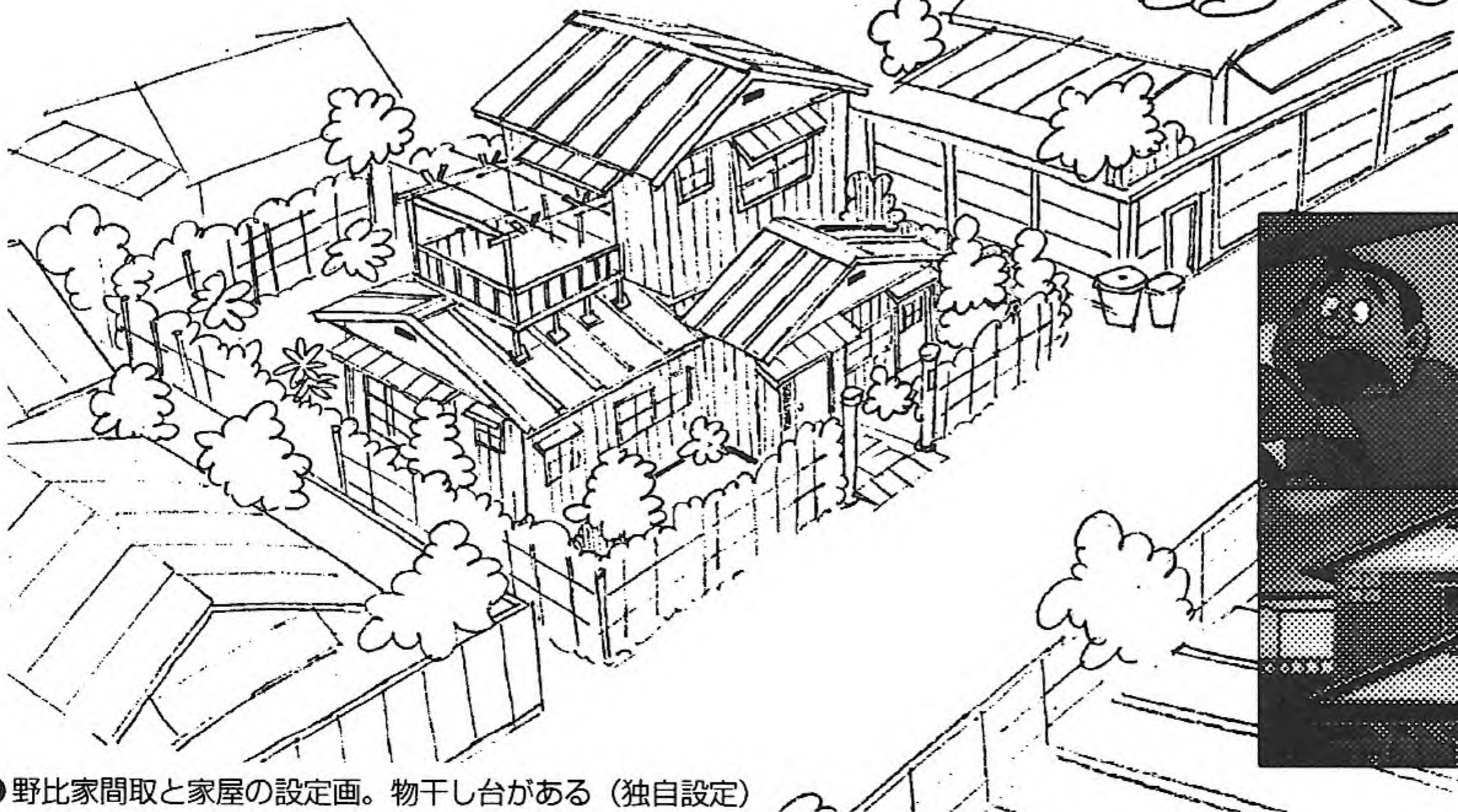
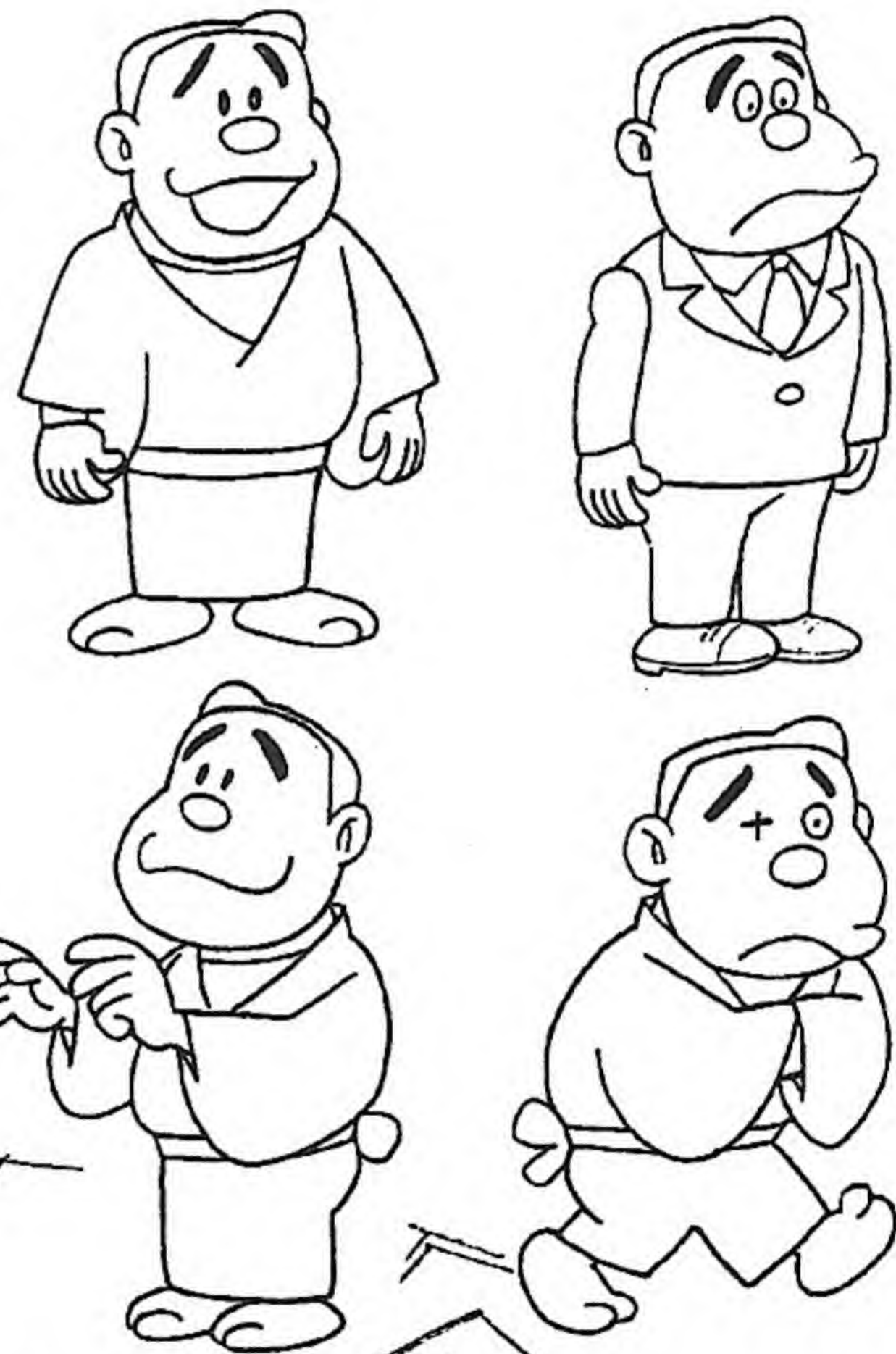
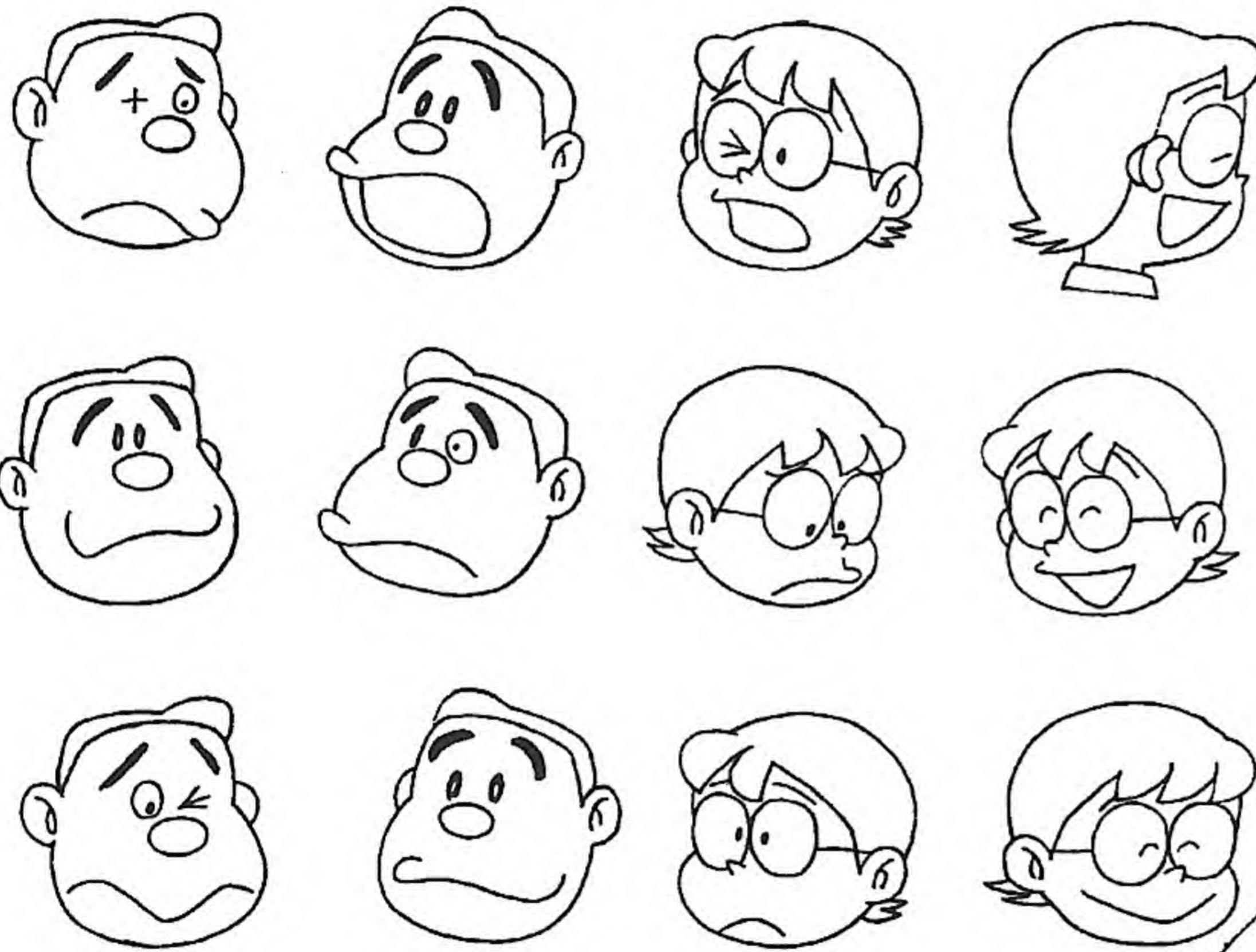
―貴重なお話ありがとうございました！

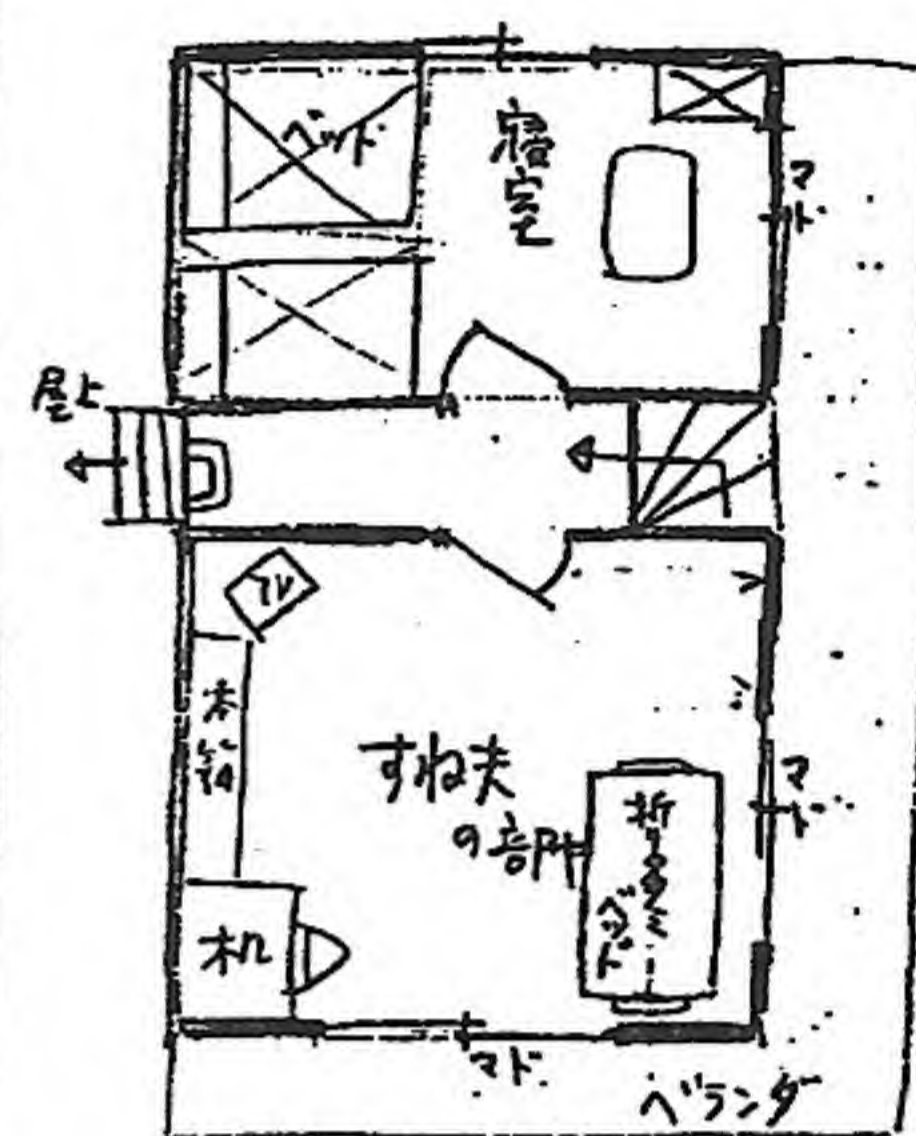
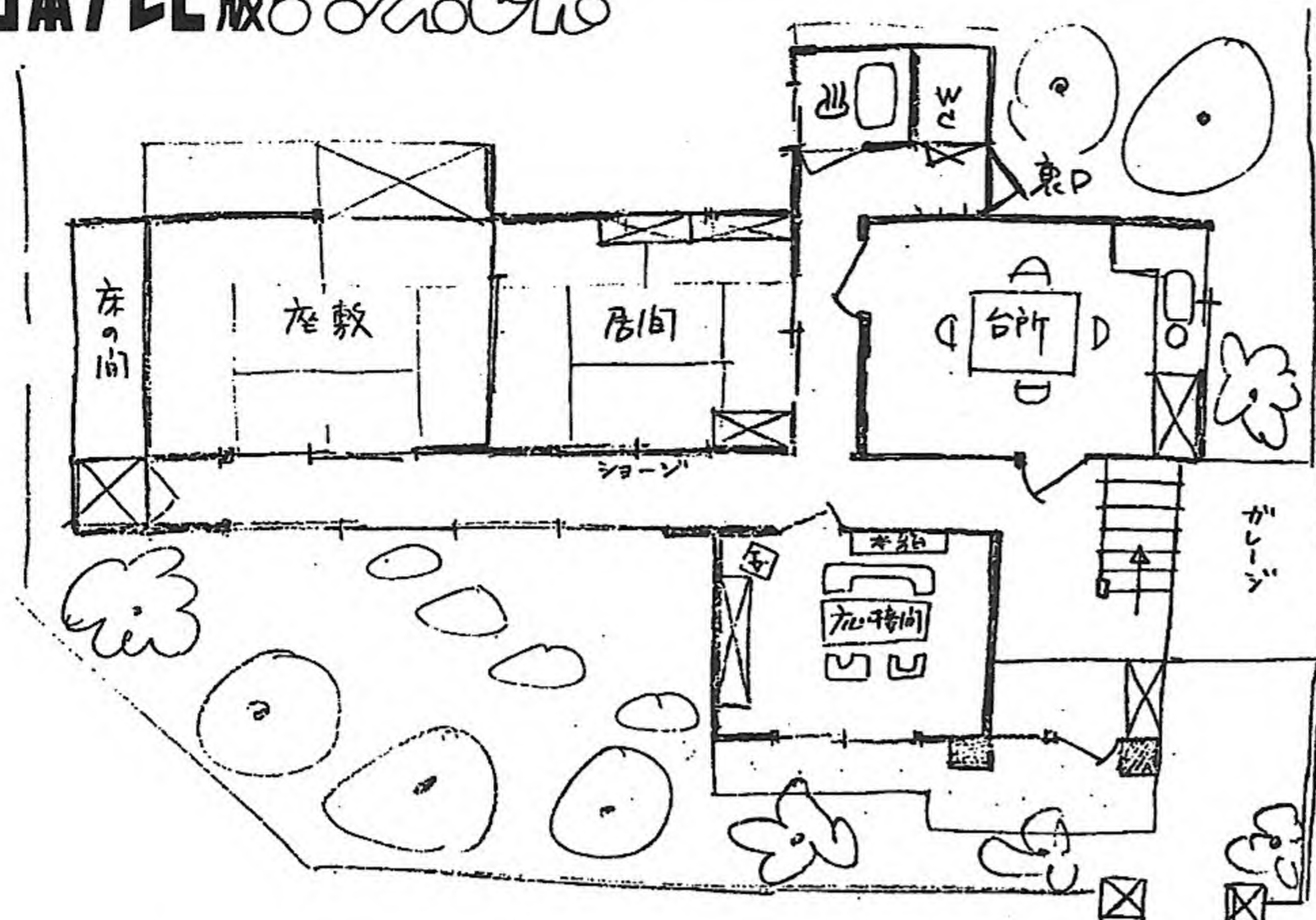
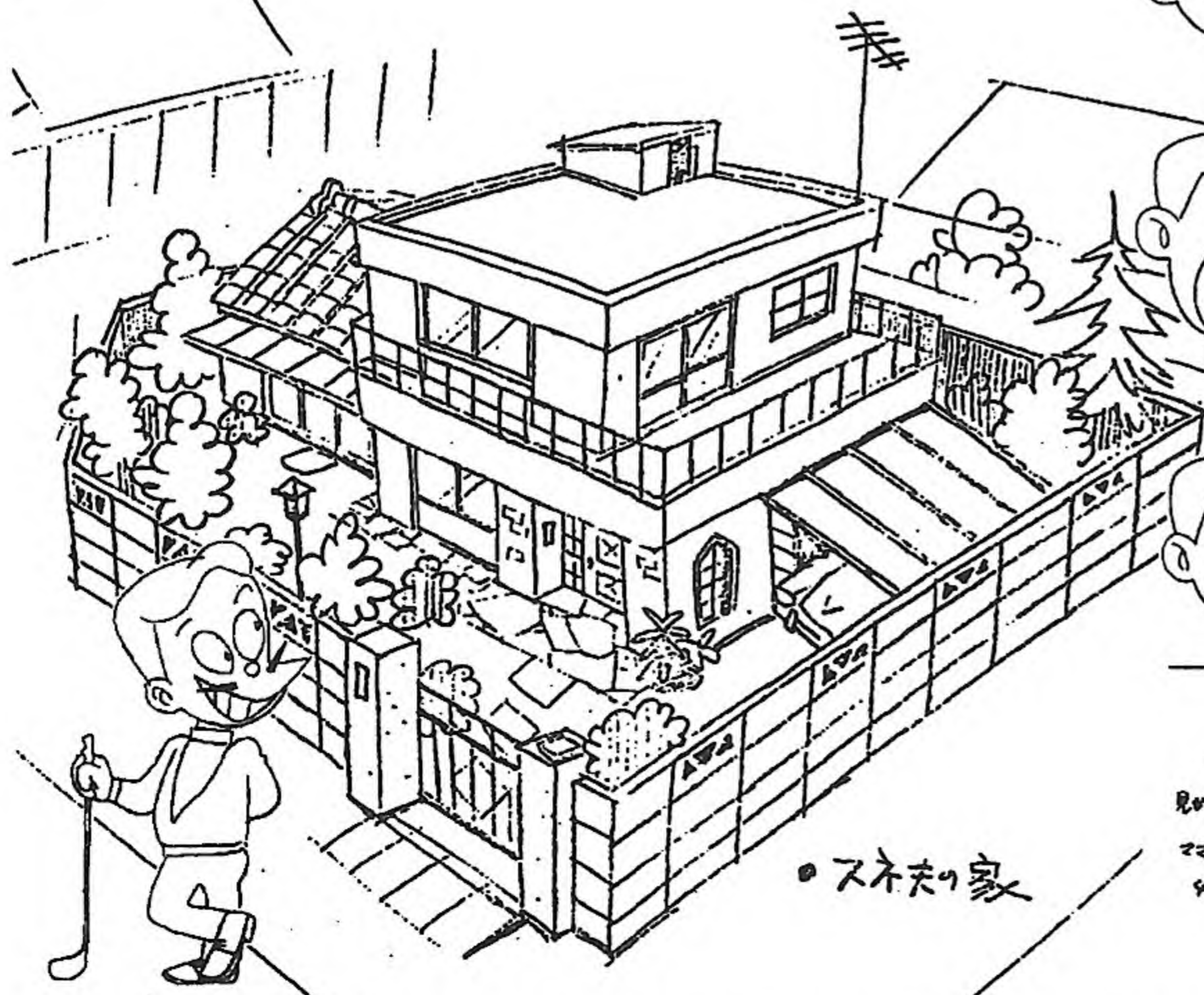
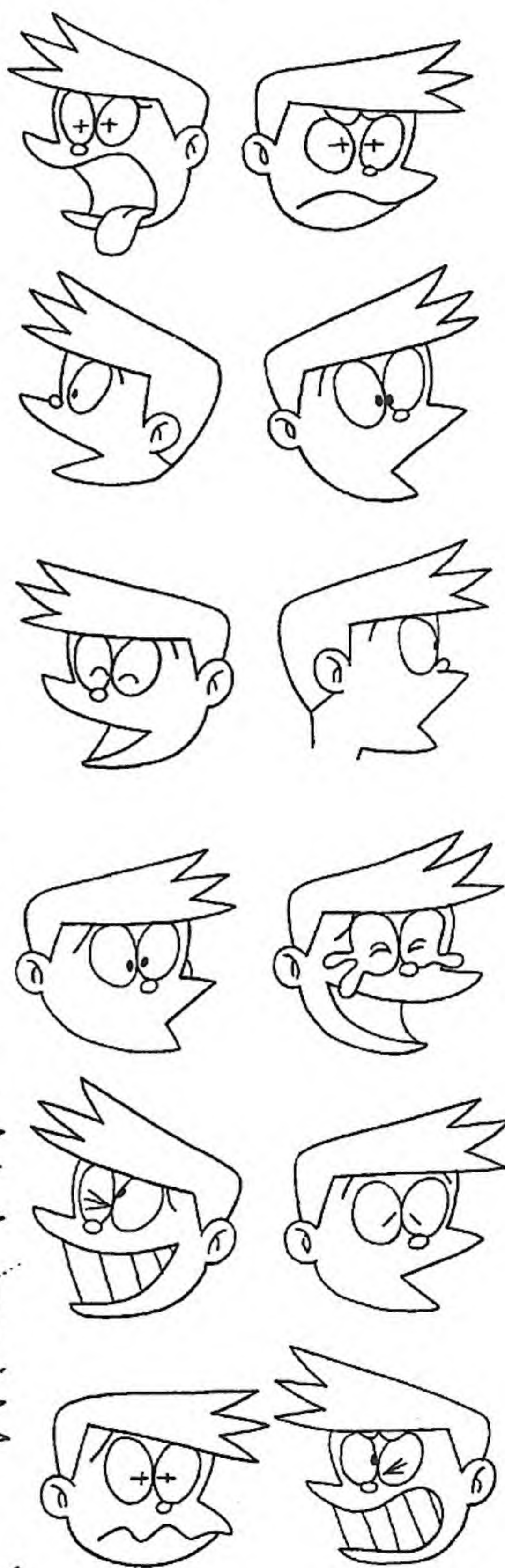
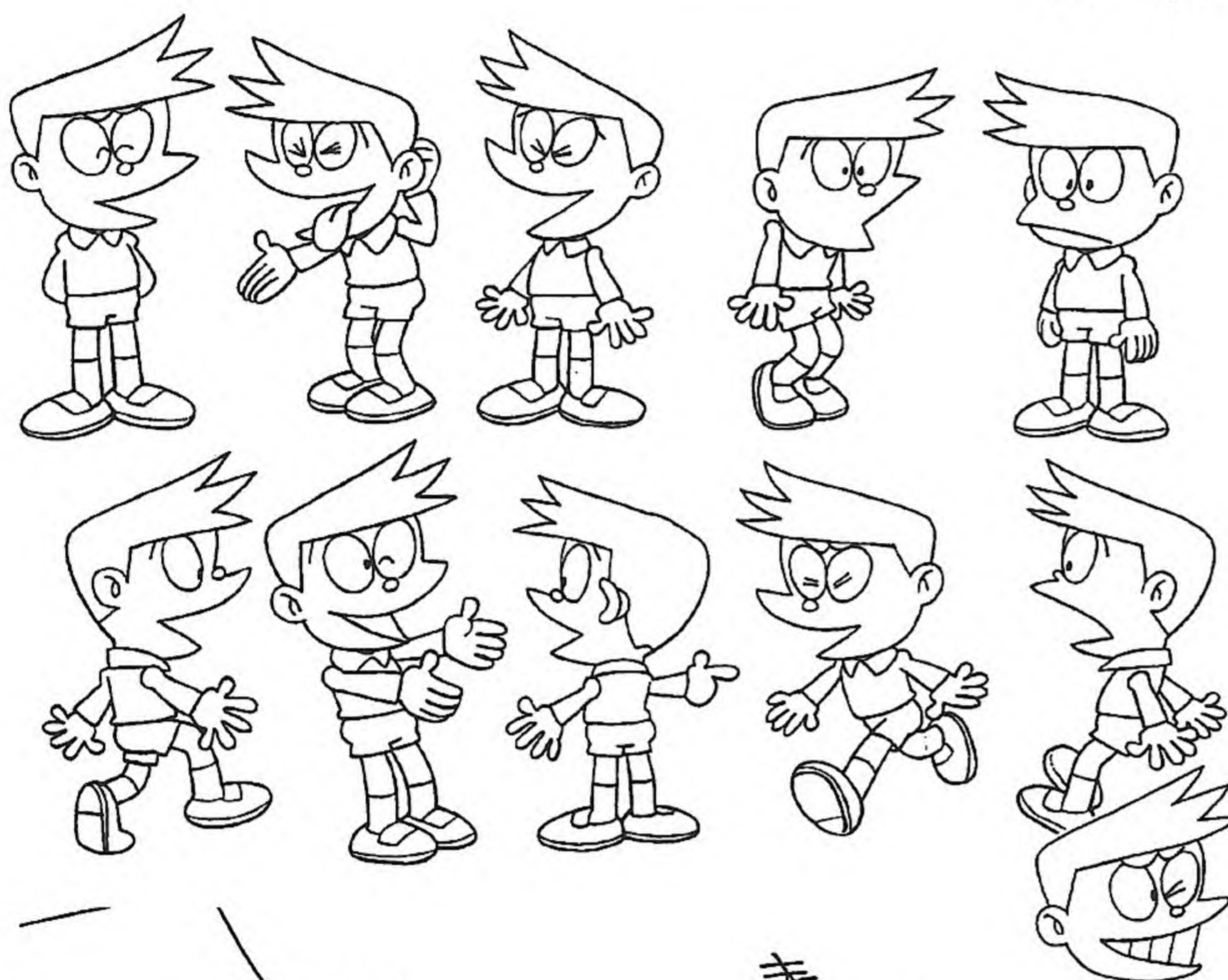
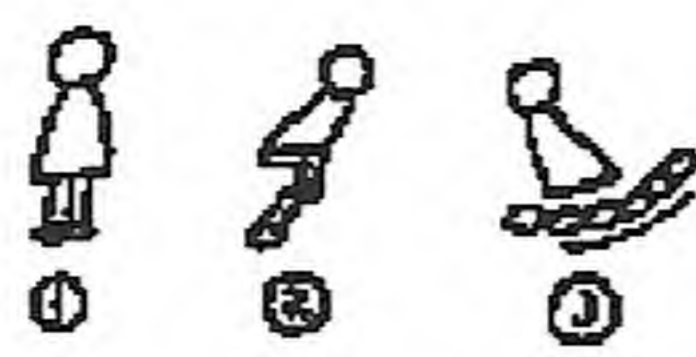
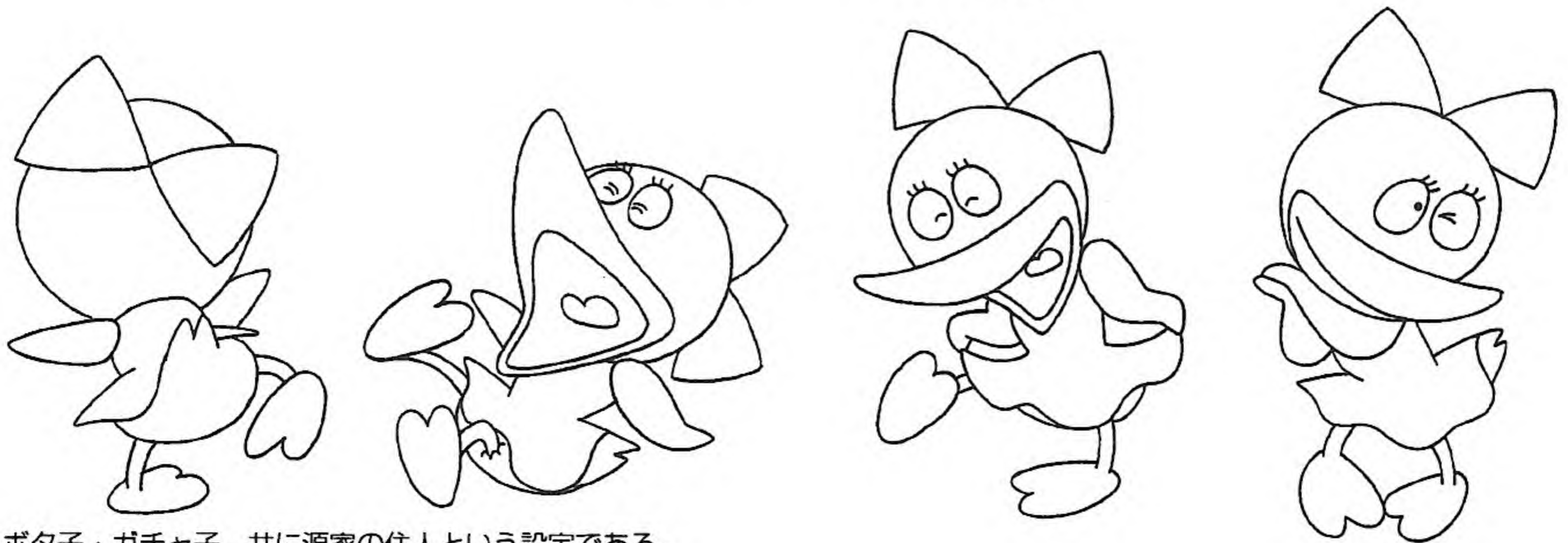
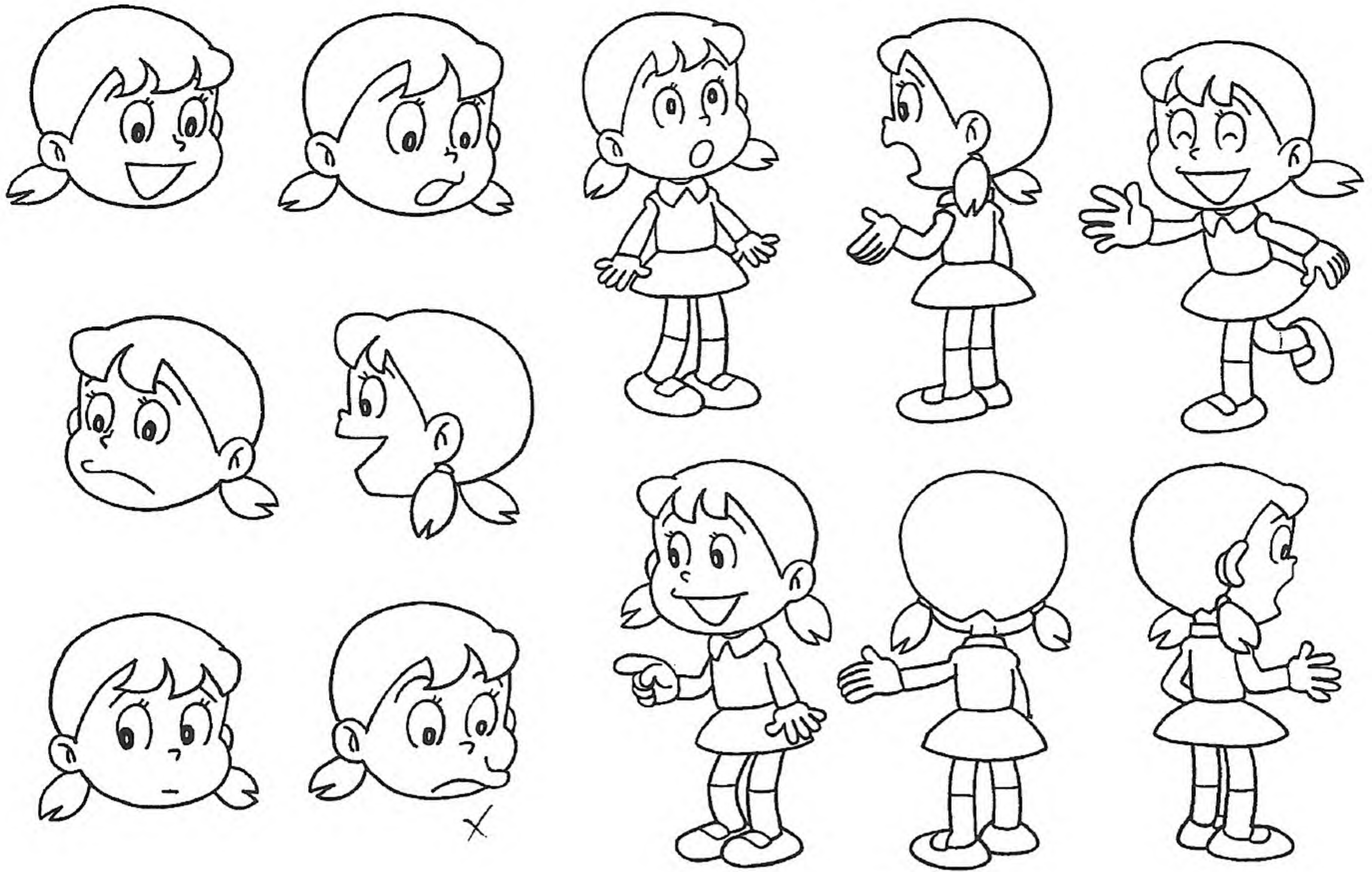
'06・11・23　ご自宅にて　取材：舘・蝶野
企画協力：mvunit・き～ぼ～・太田康湖

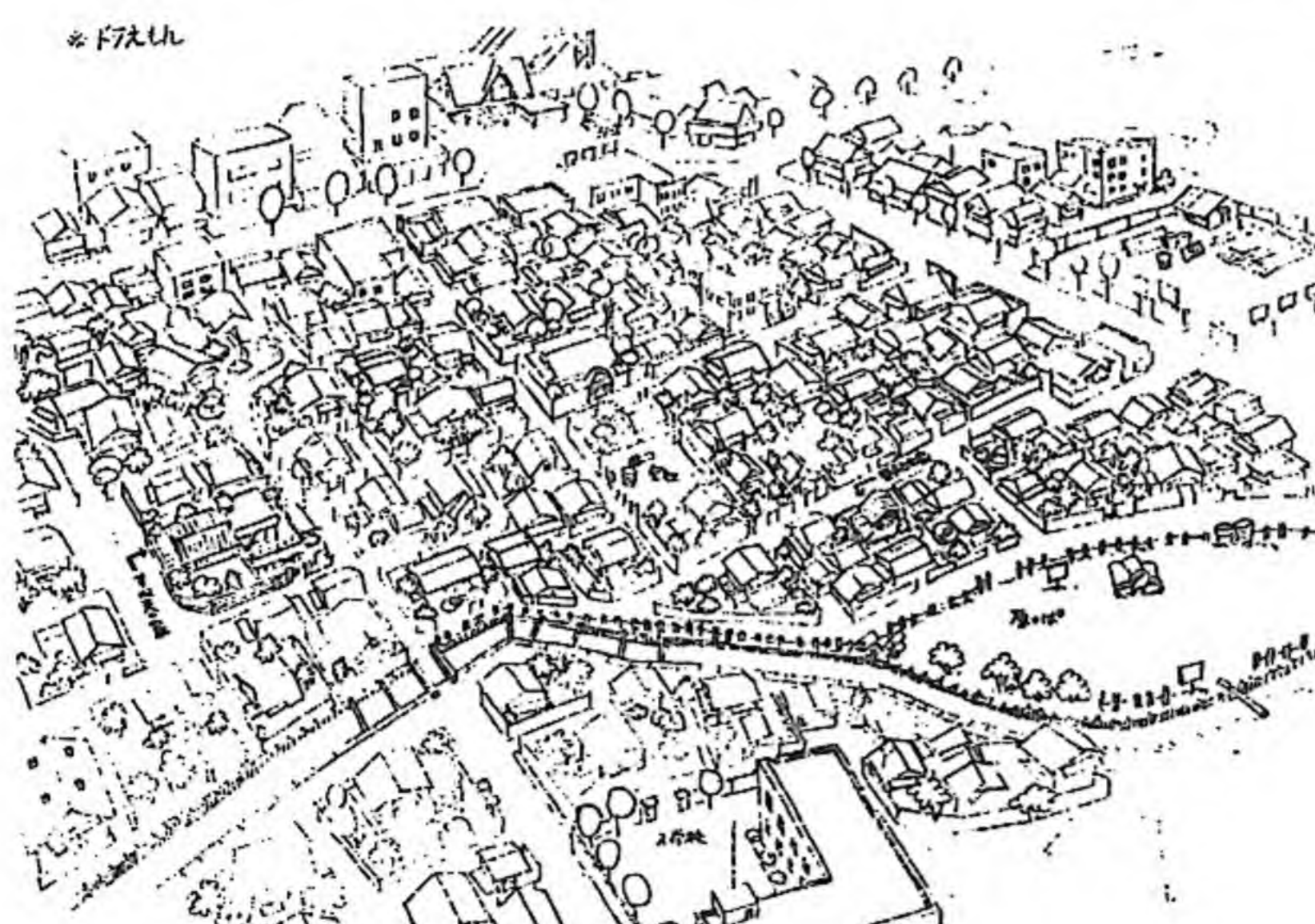
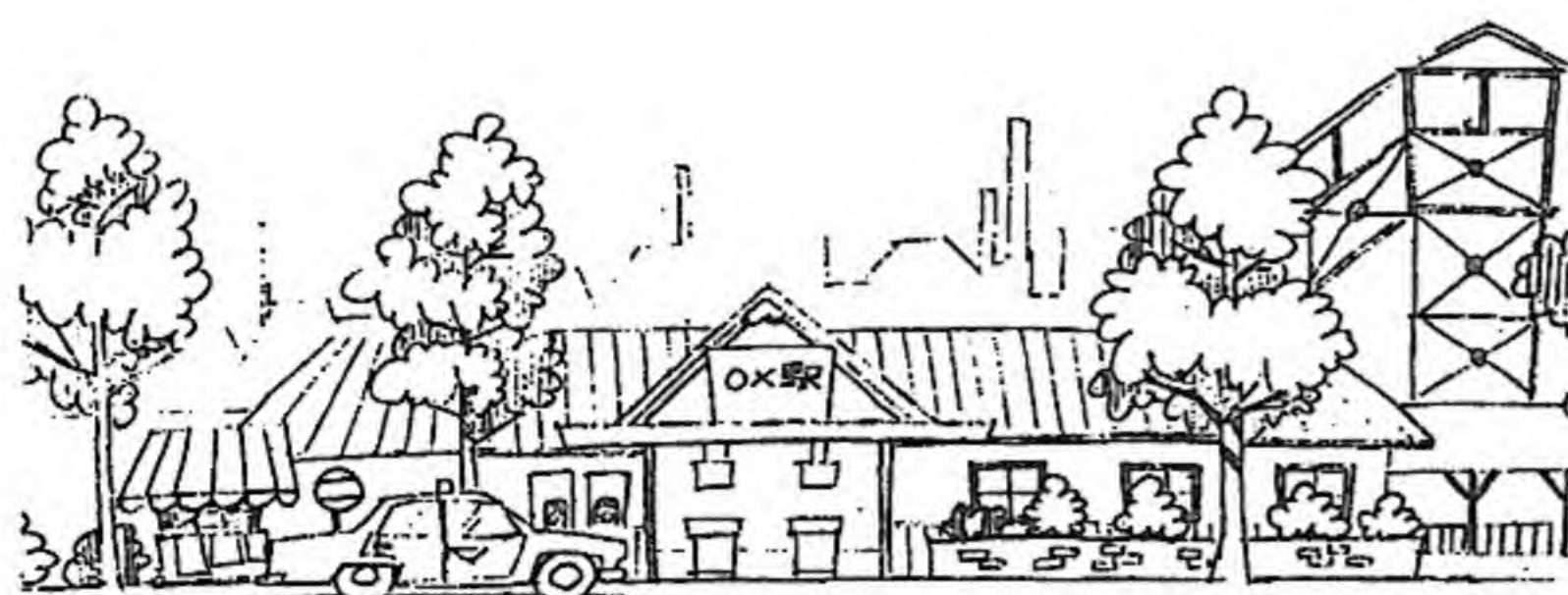
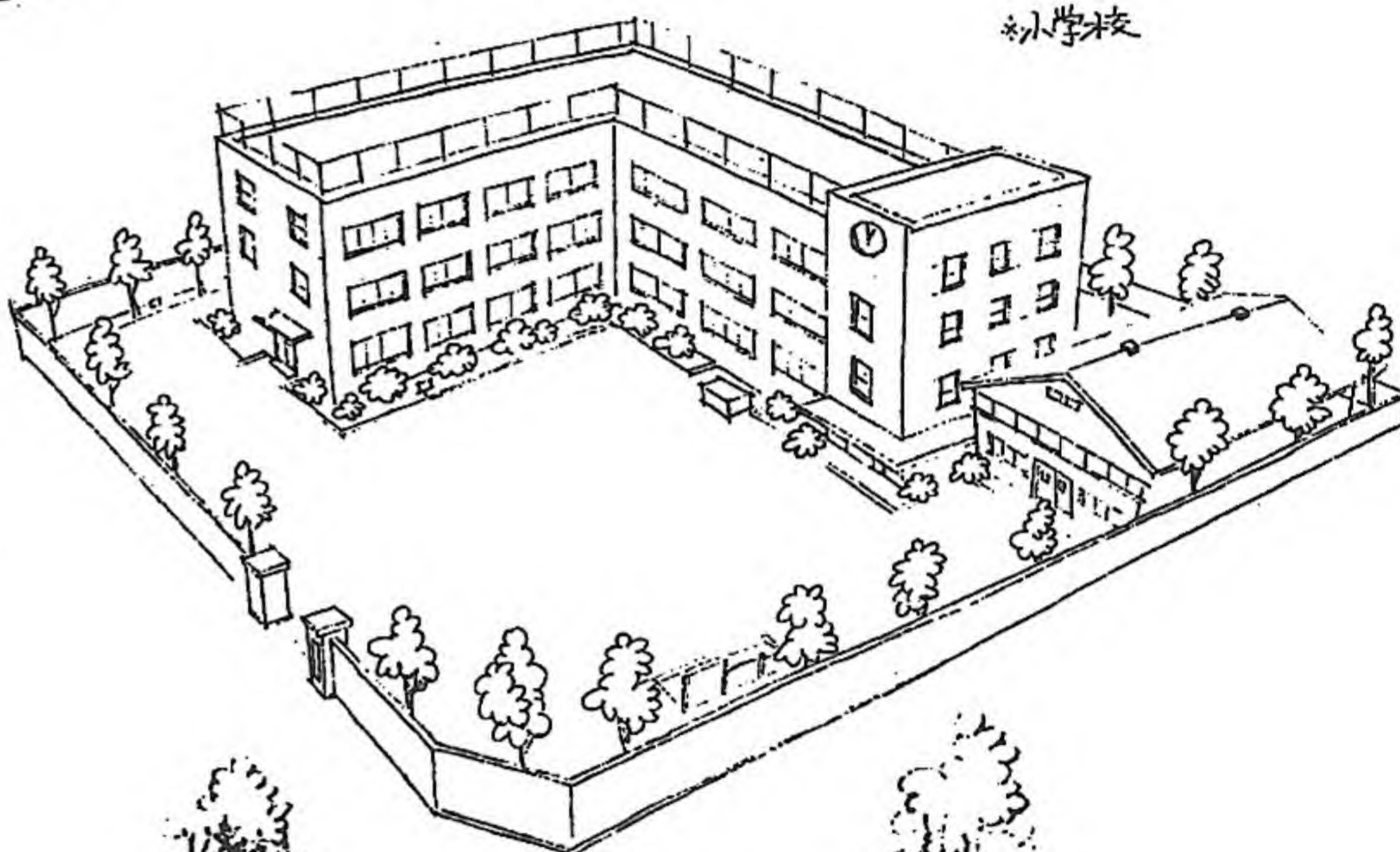
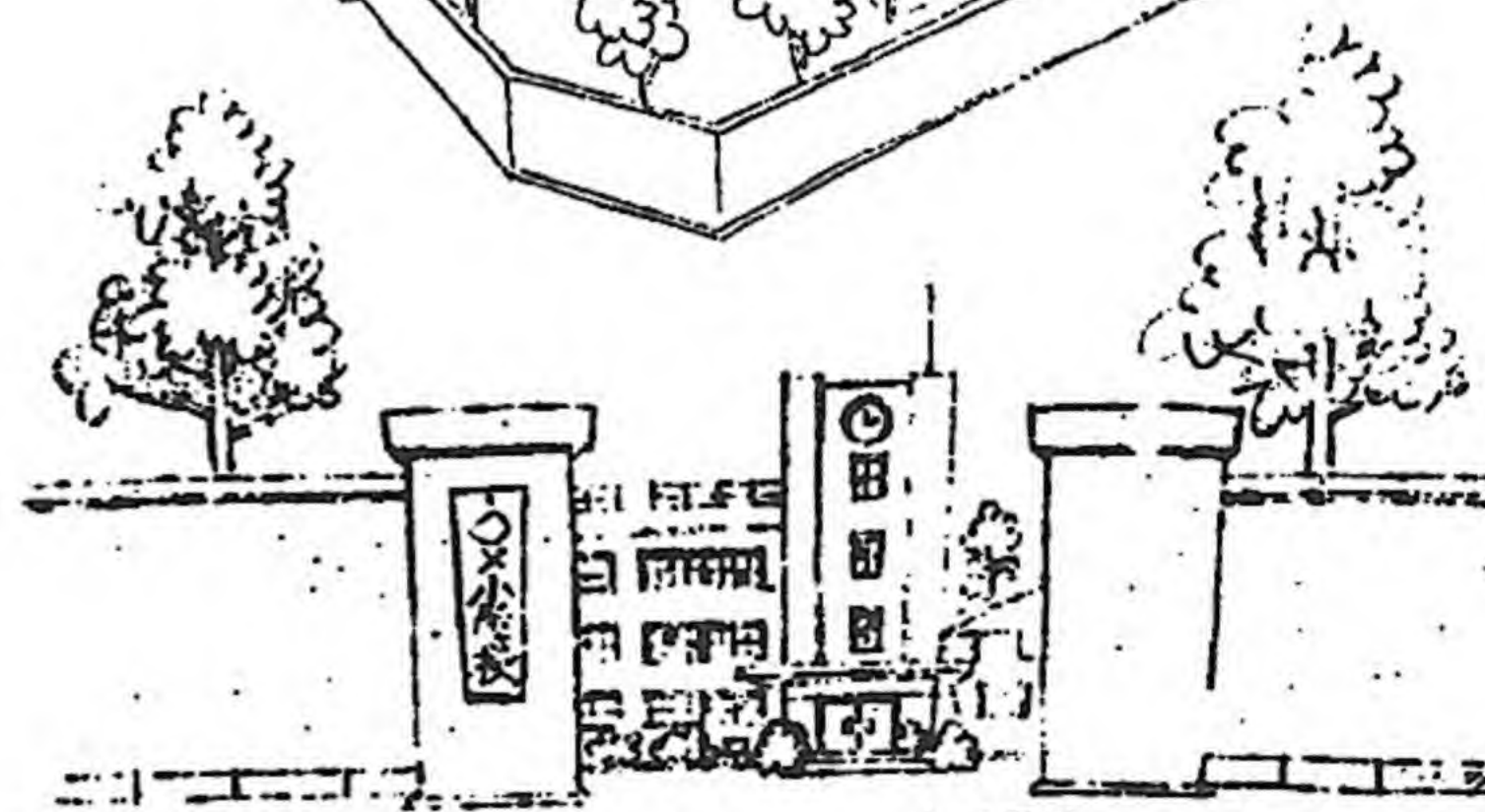
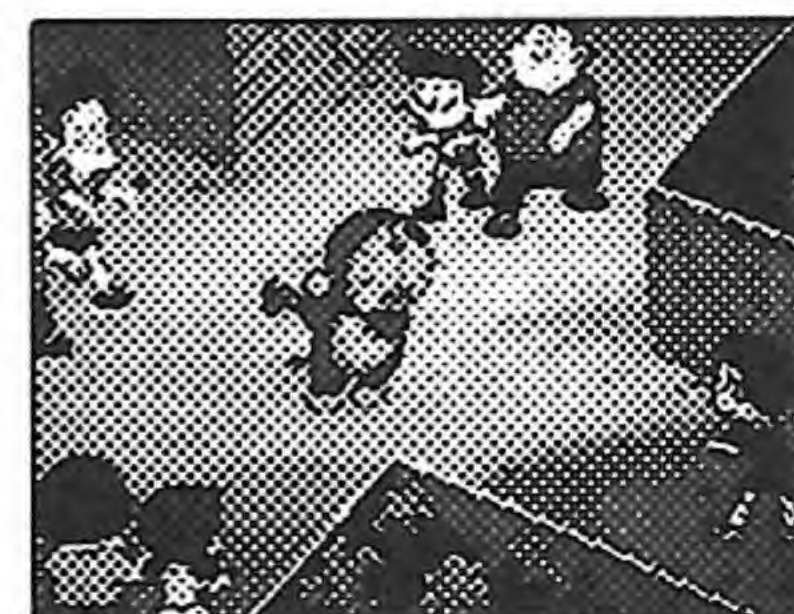
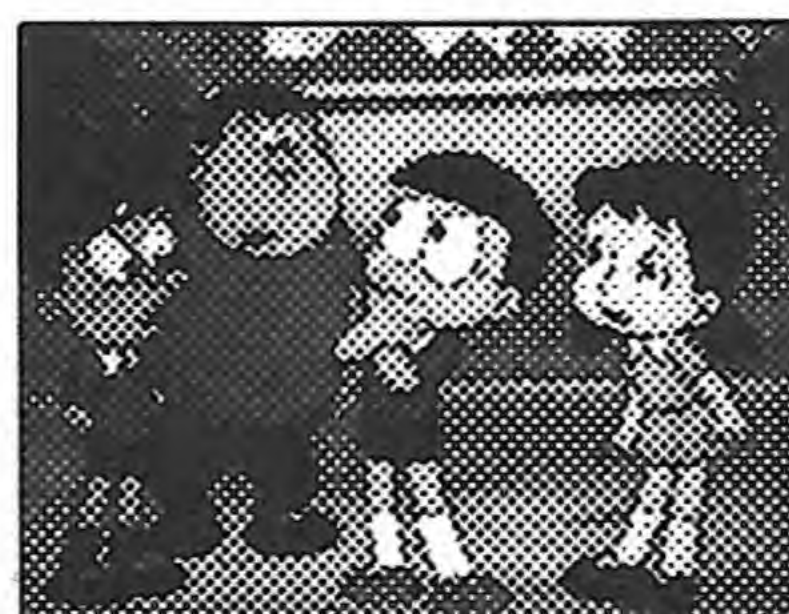
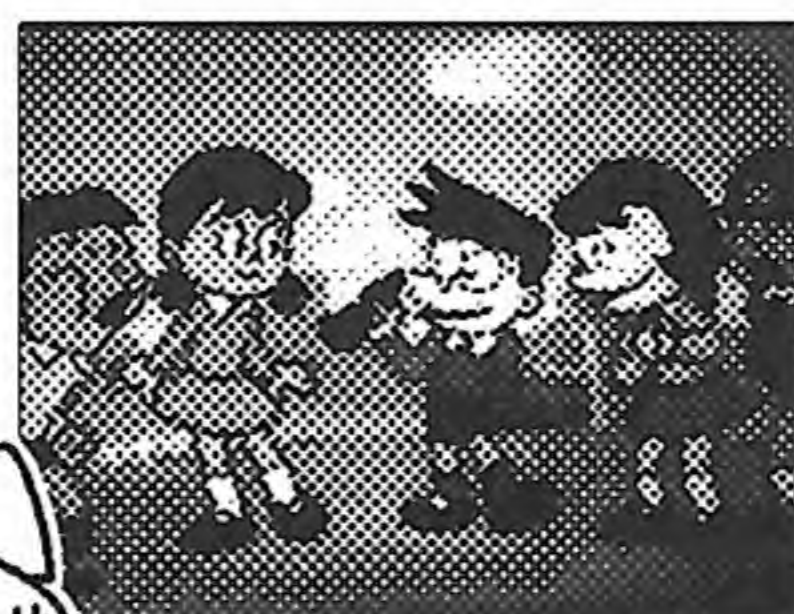
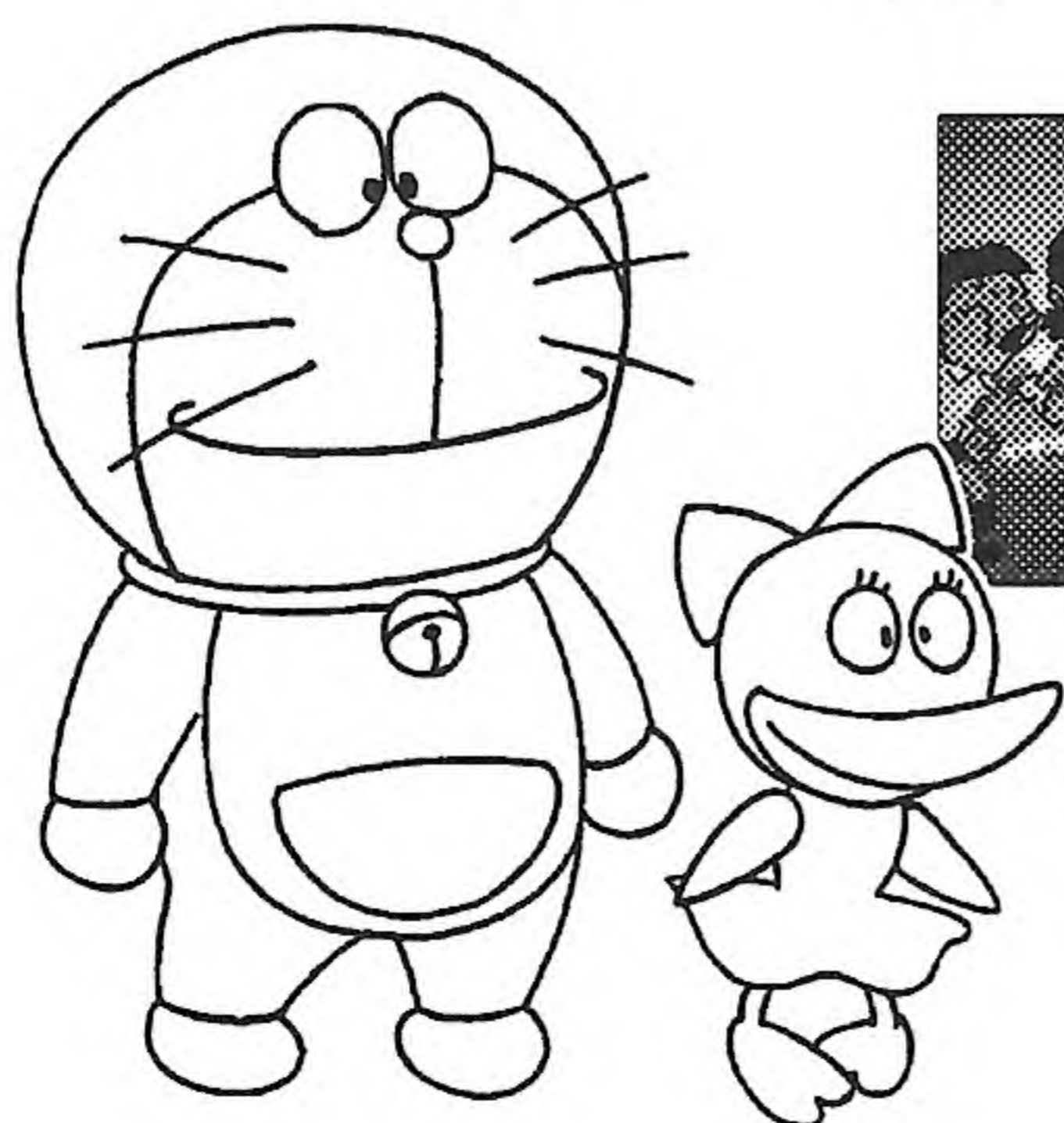
越部先生サイン入りCDをプレゼント●平成16年度エクソンモービル児童文化賞受賞記念「おもちゃのチャチャチャ・越部信義の音楽」（'05年・コロムビアミュージックエンターテインメント／もちろん「ドラえもん」も収録）を愛読者1名様にプレゼントします。ご希望の方はNU代表住所までハガキかメールでお申し込みください（'07年3月末日〆切・発送を以て当選発表）。

●はみだし情報●欄外には設定画集の巻頭に添えられた［作画注意事項①］に記載されていた画作りの指針を掲載しております。

日本テレビ版ドラえもん

・フレームは常にTVサイズを考慮スル。
・無駄な空間はなくし、画面が間のびせぬ様構図を設定。

・運動や芝居の巾は、せせこましく小さなものにせず大きく広くとる。

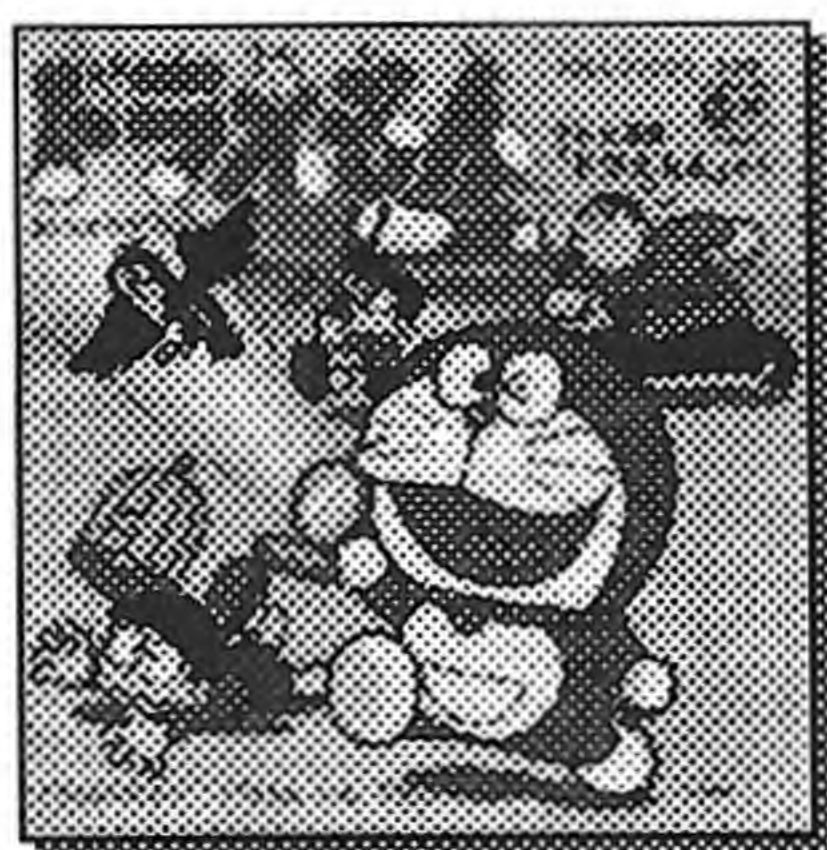
・歩きや走りの場合、そのシーンの感情をとり入れて作画の事。（大勢の場合、各々の個性をとり入れてバラエティーにとませる）

⬆野比家間取と家屋の設定画。物干し台がある（独自設定）

・目パチは適宜有効に用いる。
・止めの状態から走り出す場合、又はオーバーアクションに移行する場合は必ず準備運動をつけ又、急停止させる場合は余韻を残す。

❶本番組内ではスネ夫は、のび太のライバルとしてジャイアンよりも露出している。

・背景とキャラのバランス　背景の物体がキャラに微妙に接触をしない様明確に深くまたがるか、キャラ部分を完全に空ける等の処理を行う。
・流線フレームアウトの場合（●左上の図が添えられている）

❶ボタ子・ガチャ子、共に源家の住人という設定である。

・キャラが何か物をさげるか持ってる時、ものを持った手をカメラの手前にして、身体の向う側で手の芝居をさせる。
・2人以上のフルショットの場合1直線上に並ばせないで半円上に並ばせる。（●右上の図が添えられている）

●ご紹介したキャラクター設定画は原作マンガの中からコマ抜きを行い、クリンナップされている。実際には、これらがキャラクターの原図という目的で確実に利用されたか、と言うと…そうでもなく、頭身・演技の指針（ポージングや表情の付け方）の参考程度に扱われているようである。本特集のその他の記事に多数スチルを掲載しているので、原動画家の個性が尊重された実態を確かめてほしい。

凡例 0：NTV「ドラえもん」の放映話数　秘密兵器／サブ・ゲストキャラクター／テーマ及び作品のねらい：「中間報告書」内の記載を原文のまま掲載した　原作：研究者・編集部による推定が含まれる他、ひみつ道具の名称・機能のみを参照し大幅なプロット変更を行っている作品も有る（●：公式タイトルが無いため編集部考案のサブタイトル）　発表誌：小学○年生

	サブタイトル	テーマ及び作品のねらい
1	出た!!ドラえもんの巻	主人公ドラえもんの紹介・のび太の生活環境の描写
2	ペコペコバッタ大騒動の巻	のび太を援助するドラえもんの活躍が町中に展開・秘密兵器の紹介
3	屋根の上のすてきな子の巻	ネコロボットと現実の猫の出会い・現実社会へ融け込むドラえもんの心情の温かさ
4	のび太のご先祖さんの巻	時間を逆のぼり、野比家の由来を紹介
5	キューピットですきすき作戦の巻	のび太の静香へのlove・静香の紹介
6	弱味をにぎれの巻	のび太とスネ夫の対立関係・スネ夫の紹介
7	ねずみに弱いねこもあるの巻	ドラえもんたちとネズミの追っかけっこ・ドタバタの面白さ
8	ガキ大将をやっつけろの巻	ジャイアンのガキ大将ぶりを懲らしめるドラえもん・ジャイアンの紹介
9	おせじ鏡の巻	おせじ鏡が引き起こす騒動・秘密兵器の面白さ
10	パパとママの結婚記念日の巻	時間を逆のぼり、のび太のパパとママの結婚の秘密をさぐる・子供の親への関心
11	のろいカメラの巻	のろいカメラから被写体の人形が飛び出し、人形の行動がそのまま本人にふりかかる・秘密兵器の面白さ
12	宝くじ大当たり作戦の巻	サラリーマンであるのび太のパパの哀感・野比家の家庭の温かいエピソード
13	決闘！のび太とジャイアンの巻	ブラックバンドの威力によってジャイアンをやっつけるのび太・秘密兵器の面白さ
14	わたしは誰でしょうの巻	記憶喪失の男を木槌によって記憶を甦らせていく・秘密兵器がもたらす面白さ
15	アベコンベ騒動の巻	触れれば逆作用を起す秘密兵器の面白さ
16	おばけ屋敷の謎の巻	不気味な館を忍者になった気分で探るドラえもんとのび太・ミステリー
17	クイック・スロー大作戦の巻	のろまなのび太を敏捷にしようとしたドラえもんの努力が騒動を引き起す・秘密兵器がもたらすズッコケ
18	のび太は雨男の巻	ハイキングを前に雨男と嘲笑されるのび太の名誉挽回作戦・ドラえもんの怒り
19	ウルトラミキサーの巻	二つの物体をドッキングさせる秘密兵器が引き起す騒動・ナンセンス・ギャグ
20	ねがい星流れ星の巻	願いを叶える願い星が子どもたちの間を転々として起る騒動・子どもの素朴な願い
21	ふしぎなふろしきの巻	物体を新旧自在に変化させるふろしきがスネ夫に奪われて起る騒動・ドタバタ
22	のび太のおばあちゃんの巻	死んだおばあちゃんを回想するのび太・記憶の美しさ
23	大リーグの赤バットの巻	仲間はずれにされたのび太を援助するドラえもんの活躍・子どもの人間関係
24	男は力で勝負するの巻	親を自慢しあう子どもの争いが親を引っぱり出して起る騒動・子どものケンカのエスカレート
25	ガチャ子登場の巻	21世紀からやってくるアヒルロボット・ガチャ子の紹介
26	おしゃべりくちべにの巻	子どもの争いに親が参加して起る騒動・子どもと親の関係を逆転させる
27	すきすきカメラの巻	テレビに出演し、人気者になったスネ夫に対抗するのび太・秘密兵器が起すドタバタ
28	天の川でデイトしようの巻	七夕にちなみ、静香とデイトしたいと願うのび太・ドラえもんのメルヘンへの招待
29	へんなロボットカーの巻	人間と同じ感情を持つロボットカーで箱根へドライブに行くのび太たち・ドタバタ
30	ニコニコせっけんの巻	触れればどんなシカメッ面もニッコリするシャボン玉が学校中を笑いの渦にする・ほのぼのユーモア
31	おれ署長のだいりの巻	
32	さあ夏だ！スキーをやろうの巻	夏にしかも家の中でスキーを楽しむのび太とドラえもん・秘密兵器が起すドタバタ

	サブタイトル	テーマ及び作品のねらい
33	成績表はいやだなあの巻	夏休みを前にして、成績を気遣うのび太を助けるドラえもんの活躍・子供共通の悩みからえるユーモア
34	自分のかげをつかまえろの巻	庭の草むしりを影にやらせようとしたドラえもんのアイデアがとんでもない方向に発展・ドタバタ
35	潜水艦で海へ行こうの巻	超満員の海水浴場へ楽に行く方法を考えるドラのアイデアが起す騒動
36	くるった腹時計の巻	朝のラジオ体操が苦痛なのび太を助けようとしたドラえもんが不眠症になり、町中を巻き込む
37	キャンプ騒動の巻	
38	忘れな草って何だっけの巻	
39	クーラーパラソルの巻	
40	いつでも日記の巻	
41	宿題おばけが出たの巻	
42	お天気ボックスの巻	
43	ぼくに清き一票をの巻	
44	まんが家修業の巻	
45	すてきなガールフレンドの巻	
46	花いっぱい騒動の巻	
47	そっくりクレヨンの巻	
48	静香の誕生日の巻	
49	宇宙飛行士になりたいの巻	
50	まいごマゴマゴ大騒動の巻	
51	ネンドロン大騒動の巻	
52	さようならドラえもんの巻	

・現在発売されているCDでは「ドラえもんルンバ」となっているエンディングテーマのタイトルは、旧ドラ放映当時に発売されたシングル盤のジャケットでは「ドラえもんのルンバ」と表記されている（JASRACには後者で登録）。
未CD化の「あいしゅうのドラえもん」「ドラえもんいん できしいらんど」を聴くには、当時発売された4曲入りレコード『ドラえもん』（日本コロムビア、C-112・左図）を入手する他ない状況となっている。

※主題歌を収録したCD（全てコロムビアミュージックエンタテインメントより発売）
「新定番テレビアニメスーパーヒストリーVol.8」（'98年）：OP・ED収録
「昭和キッズテレビ・シングルス Vol.8」（'03年）：OP・ED収録
「続・テレビまんが主題歌のあゆみ」（'06年再発売）：OP収録
「続・テレビまんが懐かしのB面コレクション」（'06年再発売）：ED収録

●主題歌

ドラえもん　作詞：藤子不二雄　作・編曲：越部信義　歌：内藤はるみ・劇団NLT（オープニングテーマ）
ドラえもんのルンバ　作詞：横山陽一　作・編曲：越部信義　歌：内藤はるみ（エンディングテーマ）

●挿入歌

あいしゅうのドラえもん　作詞：横山陽一　作・編曲：越部信義　歌：富田耕生
ドラえもん いん できしいらんど　作詞：藤子不二雄　作・編曲：越部信義　歌：コロムビアゆりかご会・劇団NLT

放映リスト

放映日		サブタイトル	脚本	絵コンテ	秘密兵器	サブ・ゲストキャラクター	原作	発表誌
4月1日	1	出た!!ドラえもんの巻	山崎晴哉	吉川惣司	クルクルパー光線銃	セワシ・ガナリ	クルパーでんぱ	一
	2	ペコペコバッタ大騒動の巻	山崎晴哉	吉川惣司	ペコペコバッタ	ただし	ペコペコバッタ	四
4月8日	3	屋根の上のすてきな子の巻	[不詳]	[不詳]	―	白猫	好きでたまらニャい	四
	4	のび太のご先祖さんの巻	[不詳]	[不詳]	タイムマシン	のび作	ご先祖さまがんばれ	三
4月15日	5	キューピットですきすき作戦の巻	[不詳]	[不詳]	キューピッドの弓矢	ボタ子	ああ、好き、好き、好き！	四
	6	弱味をにぎれの巻	[不詳]	[不詳]	復原光線銃	―	㊙スパイ大作戦	四
4月22日	7	ねずみに弱いねこもあるの巻	井上知士	奥田誠治	ガリバー光線電灯	ネズミ	ねずみこわ～い	一
	8	ガキ大将をやっつけろの巻	井上知士	奥田誠治	物体瞬間移動機	小助・太っちょ	物体瞬間移動機	三
4月29日	9	おせじ鏡の巻	山崎晴哉	生瀬昭憲	おせじ鏡	―	かがみの中ののび太	三
	10	パパとママの結婚記念日の巻	[不詳]	[不詳]	タイムマシン	―	プロポーズ作戦	四
5月6日	11	のろいカメラの巻	[不詳]	[不詳]	のろいカメラ	ボタ子	のろいのカメラ	三
	12	宝くじ大当たり作戦の巻	[不詳]	[不詳]	タイムマシン	―	宝くじ大当たり	三
5月13日	13	決闘！のび太とジャイアンの巻	[不詳]	[不詳]	ブラックバンド	―	[TVオリジナル]	
	14	わたしは誰でしょうの巻	[不詳]	[不詳]	木槌	映画監督・スネ夫のママ	わすれトンカチ	四
5月20日	15	アベコンベ騒動の巻	[不詳]	[不詳]	アベコンベ	―	アベコンベ	三
	16	おばけ屋敷の謎の巻	[不詳]	[不詳]	ペッタリ靴・ペッタリ手袋	コシベ・少年	ペタリぐつとペタリ手ぶくろ	二
5月27日	17	クイック・スロー大作戦の巻	[不詳]	[不詳]	クイック薬・スロー薬	―	のろのろ、じたばた	三
	18	のび太は雨男の巻	[不詳]	[不詳]	雨を呼ぶリング	ガナリ先生	ロボットのガチャ子	二
6月3日	19	ウルトラミキサーの巻	[不詳]	[不詳]	ウルトラミキサー	ペロ	ウルトラミキサー	二
	20	ねがい星流れ星の巻	鈴木良武	生瀬昭憲	ねがい星	―	ねがい星	二
6月10日	21	ふしぎなふろしきの巻	[不詳]	[不詳]	タイムふろしき	おまわり	タイムふろしき	四
	22	のび太のおばあちゃんの巻	[不詳]	[不詳]	タイムマシン	おばあちゃん	おばあちゃんのおもいで	三
6月17日	23	大リーグの赤バットの巻	[不詳]	[不詳]	大リーグバット	沢村	[TVオリジナル]	
	24	男は力で勝負するの巻	井上知士	奥田誠治	ソノウソホント	小助・スネ夫のママ、パパ	ソノウソホント	二
6月24日	25	ガチャ子登場の巻	[不詳]	[不詳]	玉子爆弾(ガチャ子)	ガチャ子	●ガチャ子登場	一
	26	おしゃべりくちべにの巻	[不詳]	[不詳]	おしゃべり口紅	スネ夫のママ・ガナリ	おせじ口べに	二
7月1日	27	すきすきカメラの巻	[不詳]	[不詳]	タッチカメラ	ガチャ子	おいかけテレビ	四
	28	天の川でデイトしようの巻	[不詳]	[不詳]	お話バッヂ	―	おはなしバッジ	四
7月8日	29	へんなロボットカーの巻	山崎晴哉	生瀬昭憲	ロボットカー	ガチャ子・スネ夫のパパ・おまわり	ロボット・カー	三
	30	ニコニコせっけんの巻	[不詳]	[不詳]	ニコニコ石けん	ガナリ・校長	[TVオリジナル]	
7月15日	31	おれ署長のだいりの巻	[不詳]	[不詳]				
	32	さあ夏だ！スキーをやろうの巻	[不詳]	[不詳]	お座敷ゲレンデ	―	勉強べやの大なだれ	四
7月22日		プロ野球オールスター戦中継のため放映休止						
7月29日	33	成績表はいやだなあの巻	[不詳]	[不詳]	け病薬・アップダウン銃	医者・ガナリ・スネ夫のママ・小助	いんちき薬	二
	34	自分のかげをつかまえろの巻	[不詳]	[不詳]	影とりハサミ	ガチャ子	かげがり	四
8月5日	35	潜水艦で海へ行うの巻	鈴木良武	村田四郎	超能潜水艦	スネ夫のママ	せん水艦で海へ行こう	二
	36	くるった腹時計の巻	馬嶋　満	棚橋一徳	超能時計	ガチャ子	[TVオリジナル]	
8月12日	37	キャンプ騒動の巻	[不詳]	[不詳]			[TVオリジナル]	
	38	忘れな草って何だっけの巻	[不詳]	[不詳]			わすれろ草	二
8月19日	39	クーラーパラソルの巻	[不詳]	[不詳]			[TVオリジナル]	
	40	いつでも日記の巻	[不詳]	[不詳]			いつでも日記	三
8月26日	41	宿題おばけが出たの巻	[不詳]	[不詳]			[TVオリジナル]	
	42	お天気ボックスの巻	鈴木良武	矢沢則夫			お天気ボックス	三
9月2日	43	ぼくに清き一票を！の巻	吉原幸栄	生瀬昭憲			[TVオリジナル]	
	44	まんが家修業の巻	鈴木良武	矢沢則夫			まんがか	三
9月9日	45	すてきなガールフレンドの巻	山崎晴哉	棚橋一徳			ロボ子が愛してる	四
	46	花いっぱい騒動の巻	馬嶋　満	岡迫和之			[TVオリジナル]	
9月16日	47	そっくりクレヨンの巻	井上知士	矢沢則夫			そっくりクレヨン	一
	48	静香の誕生日の巻	山崎晴哉	矢沢則夫			エスパーぼうし	三
9月23日	49	宇宙飛行士になりたいの巻	園屁蔵士	石黒　昇			ソウナルじょう	三
	50	まいごマゴマゴ大騒動の巻	[不詳]	[不詳]			[TVオリジナル]	
9月30日	51	ネンドロン大騒動の巻	井上知士	腰　繁男			ネンドロン	二
	52	さようならドラえもんの巻	[不詳]	[不詳]			●最終回②	四

●放映局　キー局：日本テレビ　ネット局：札幌テレビ・青森放送・秋田放送・山形放送・山梨放送・北日本放送・福井放送・中京テレビ・読売テレビ・日本海テレビ・山口放送・西日本放送・南海放送・四国放送・高知放送・福岡放送・福島中央テレビ・広島テレビ・テレビ岩手・ミヤギテレビ・テレビ長崎・テレビ大分・鹿児島テレビ・テレビ熊本・テレビ宮崎（これらはキー局と同時ネット、もしくはほぼ同時期に放映。他に、TBS系列の新潟放送で1974年に放映）

●凡例●
#：放映話数　◉：「中間報告書」に記録されたストーリー展開・概説（実際に放映された内容と異なる場合があります）
•：NU編集部コメント（実際に映像を確認できたエピソードを中心に解説を添えています）

#1「出た!!ドラえもんの巻」

◉宿題に悩む劣等生ののび太の机の引出しから現れるドラえもん。のび太やパパ、ママの驚きをよそに、野比家、学校、町へとのび太の生活環境を調べるドラえもん。
ヘリトンボで空から町の人々に挨拶し、ドラえもんの20世紀での生活がスタートする。
•パイロットフイルムから流用された前半はおよそ連載第一話の展開に沿っている。後半に「クルクルパー光線銃」騒動があると思われる。

#2「ペコペコバッタ大騒動の巻」

◉のび太とスネ夫がケンカする。どうしてもスネ夫を謝らせてやるといきまくのび太にドラえもんが協力。取り出した秘密兵器のペコペコバッタは、体内に入ると誰でも何事につけ、人を謝らせる能力を持つ。
ところが、スネ夫ばかりでなく、町中の人々の体内に入ってしまって大騒動。

#3「屋根の上のすてきな子の巻」

◉町中の猫に挨拶しようとニボシを持って屋根へ上るドラえもん。一匹の白い猫にすっかり惚れてしまった。
のび太の協力と励ましを得て、どうにかこうにか、白い猫とデイトし、お話をすることができるドラえもん。

#4「のび太のご先祖さんの巻」

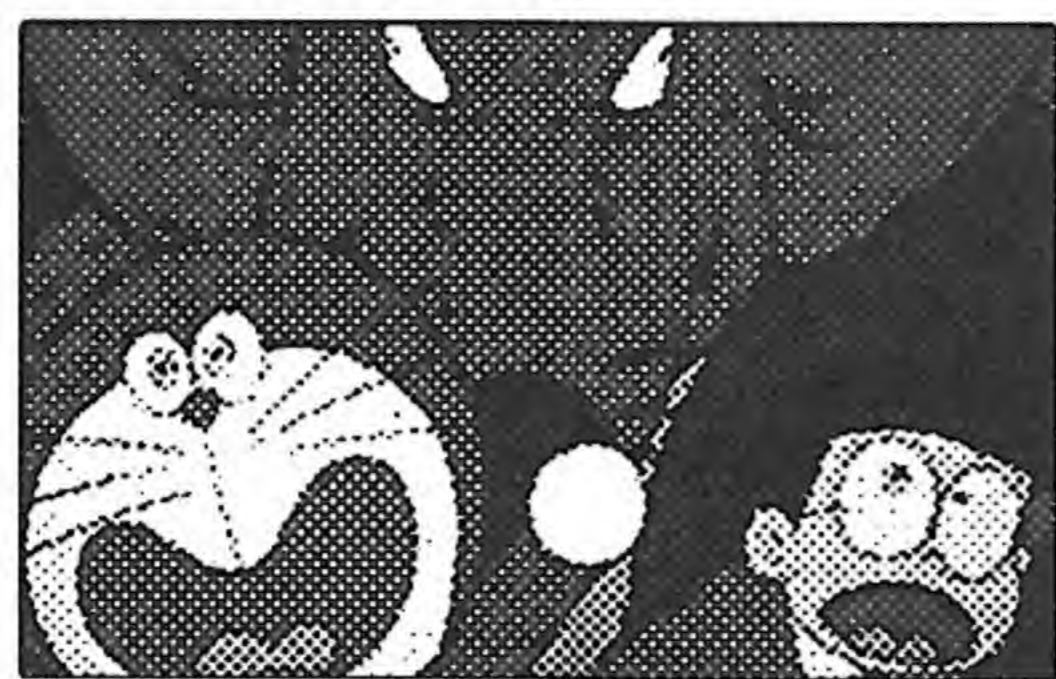
◉先祖が武士であったと自慢するスネ夫に対抗して、タイムマシンに乗り、先祖を確かめるのび太とドラえもん。
のび太の先祖は狩人であった。豊臣秀吉の例もあるとばかりに、戦国時代を利用して、戦さにまぎれて、スネ夫の先祖をやっつけ、のび太の先祖を殿様にしようと企むドラえもん。
しかし、やっぱり、駄目な先祖だった。

#5「弱味をにぎれの巻」

◉学校の花びんを誤って割ってしまったのび太。目撃したスネ夫がのび太の弱味につけ込んで、宿題を押しつける。
スネ夫の卑劣さに怒ったドラえもんは、花びんを復元光線で元にもどし、代りに、スネ夫のオネショの弱味を握って、スネ夫を懲らしめる。

#6「キューピットでスキスキ作戦の巻」

◉クラスメートの静香に思いを寄せるのび太。なんとか心を打ち明けたのだが思うようにいかない。

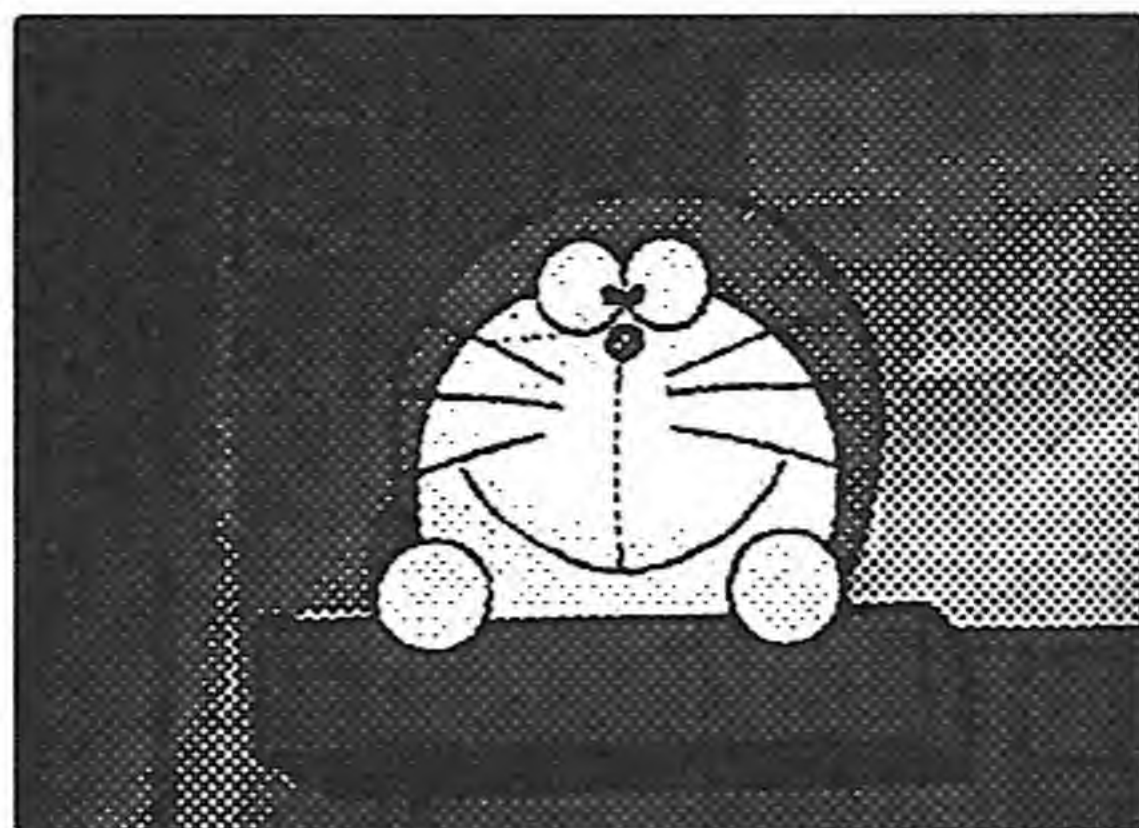
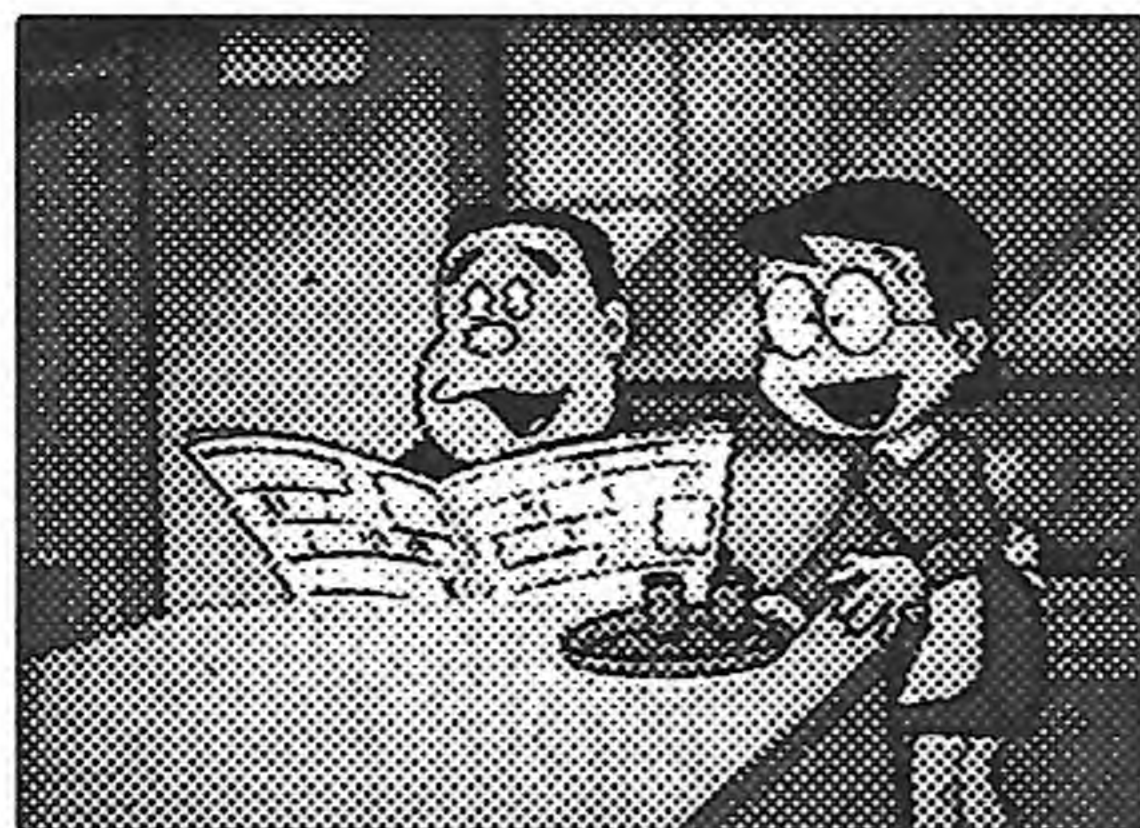
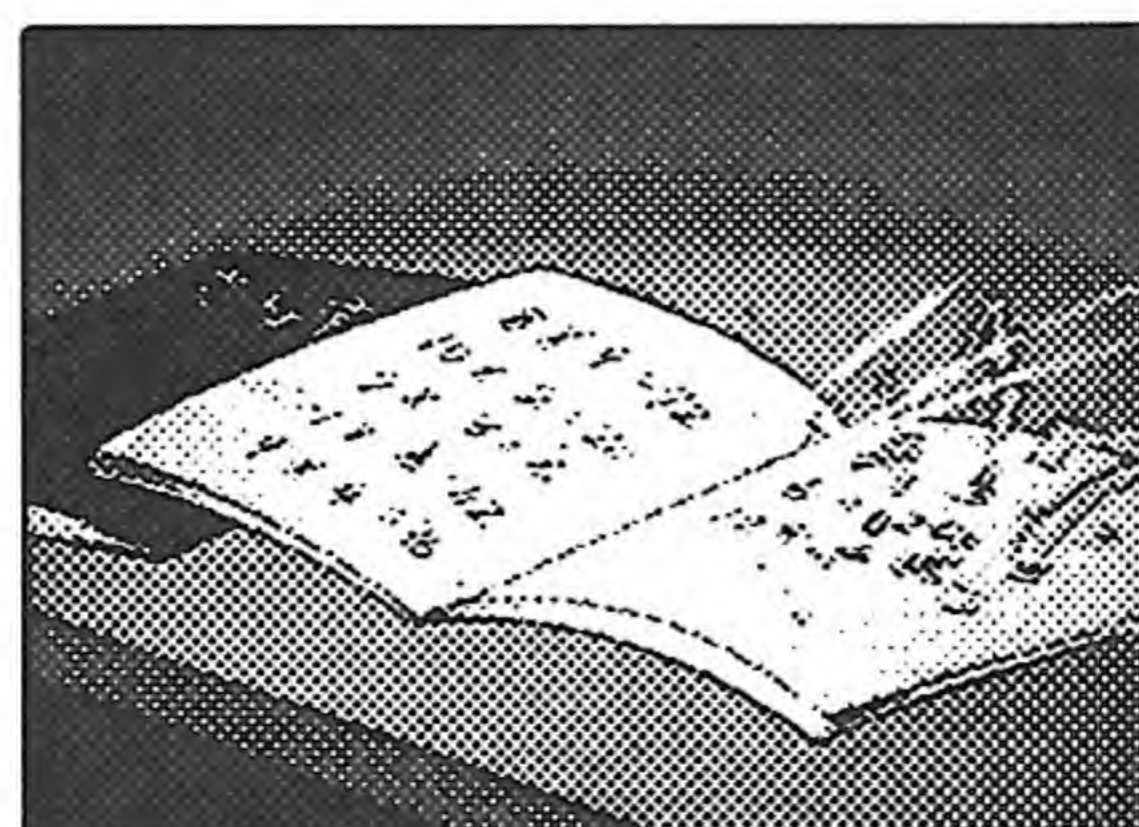
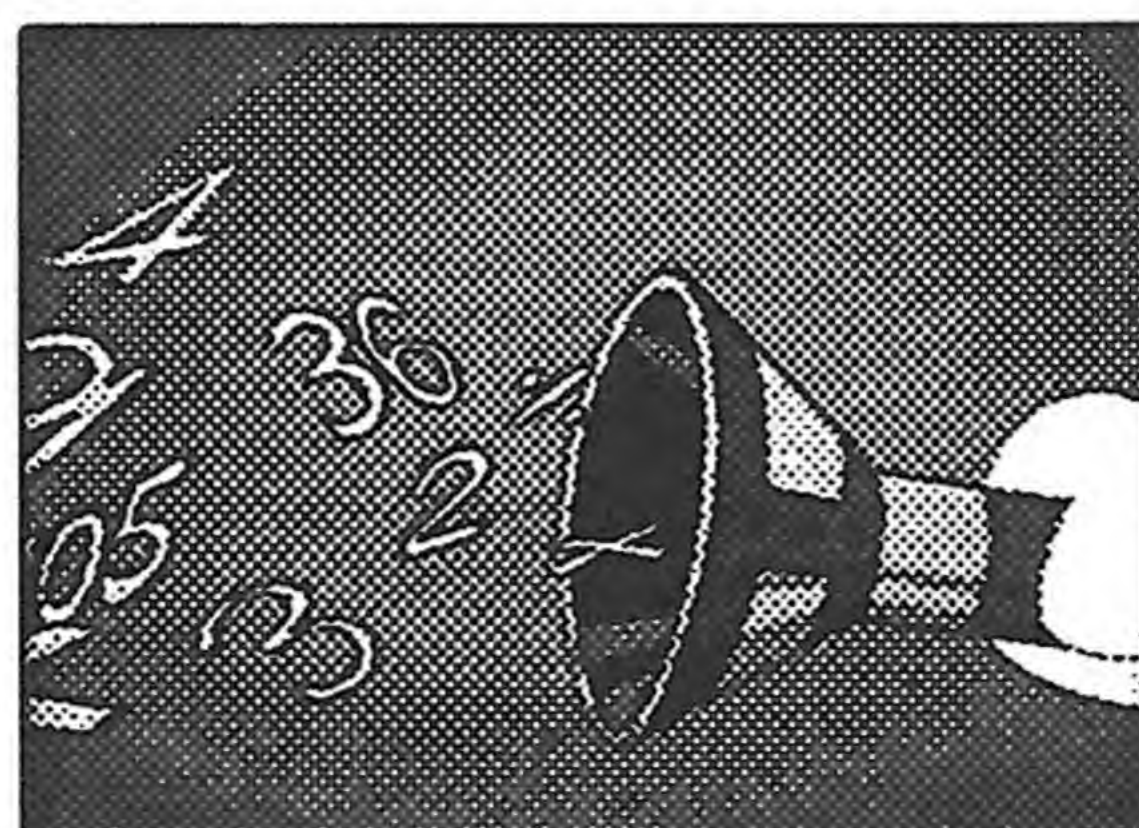
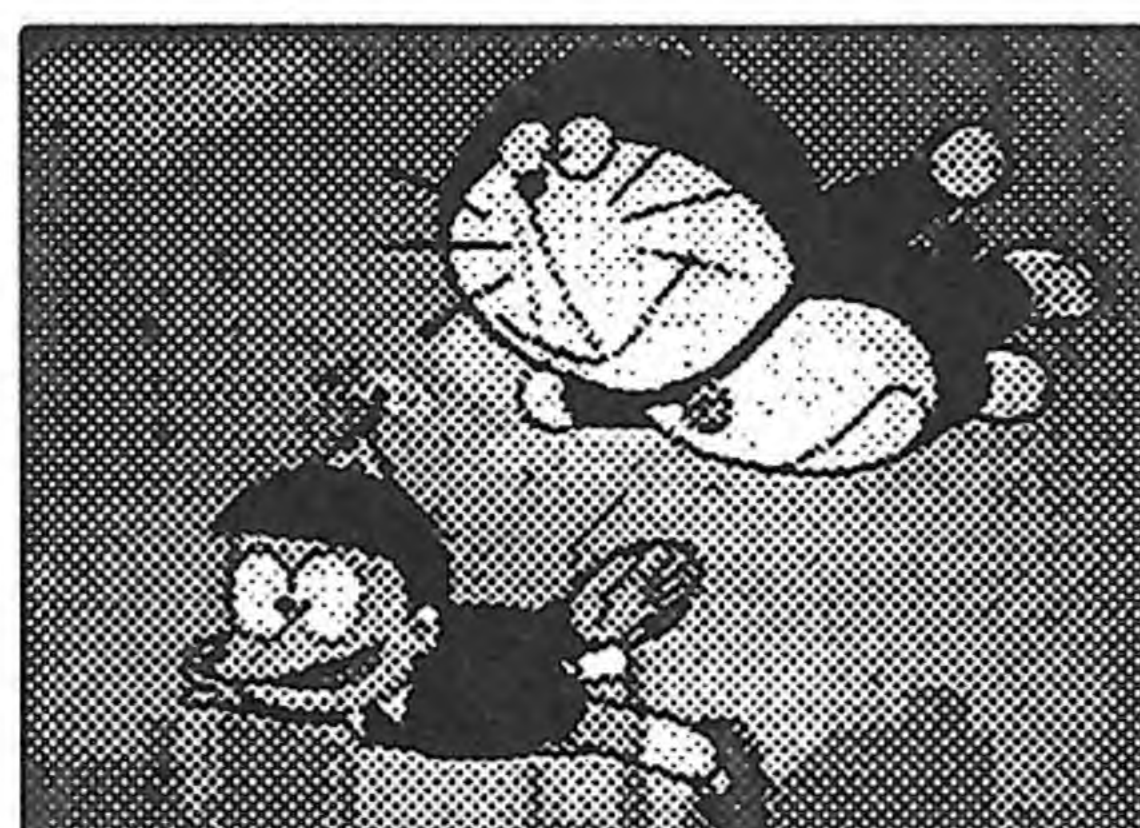
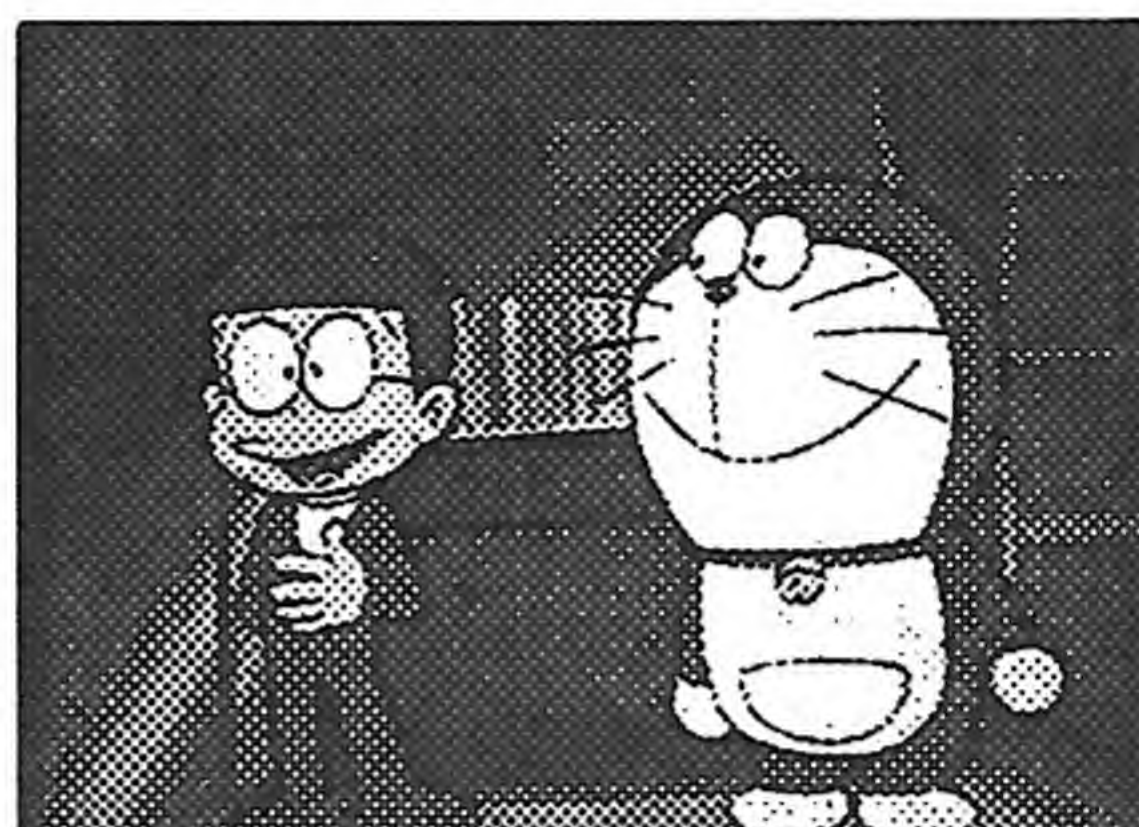
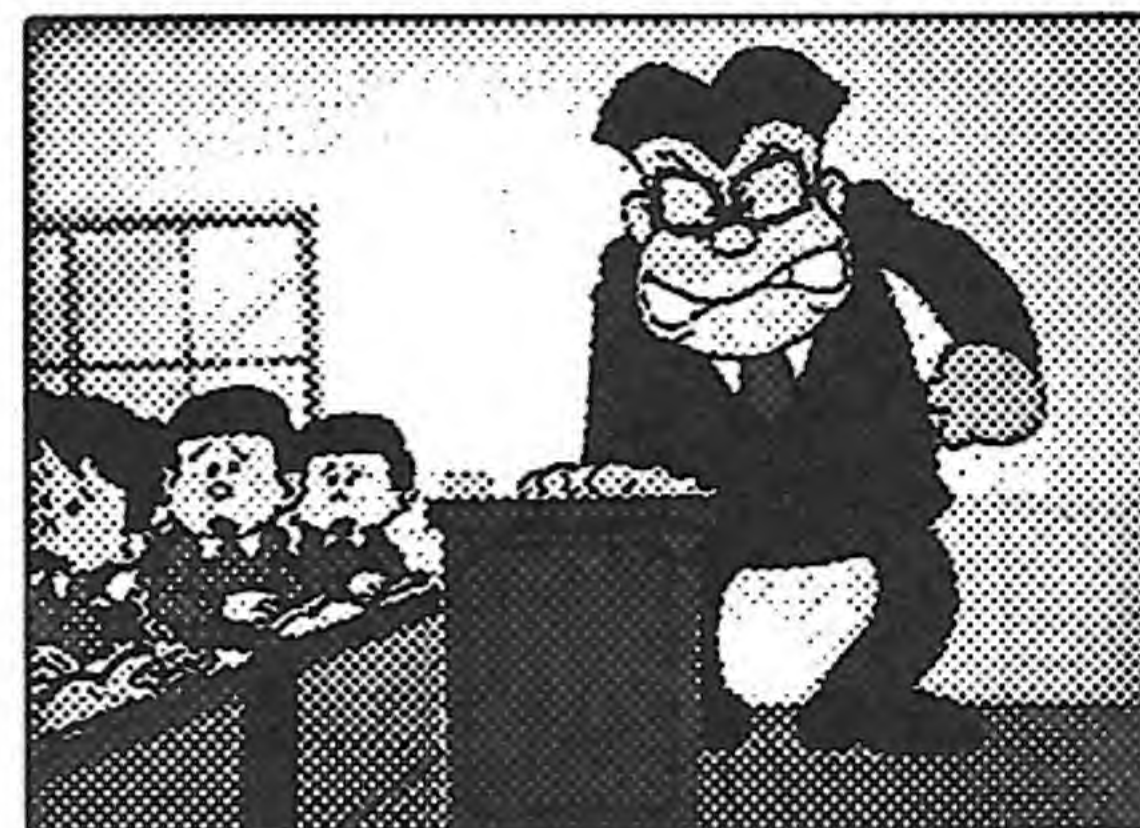
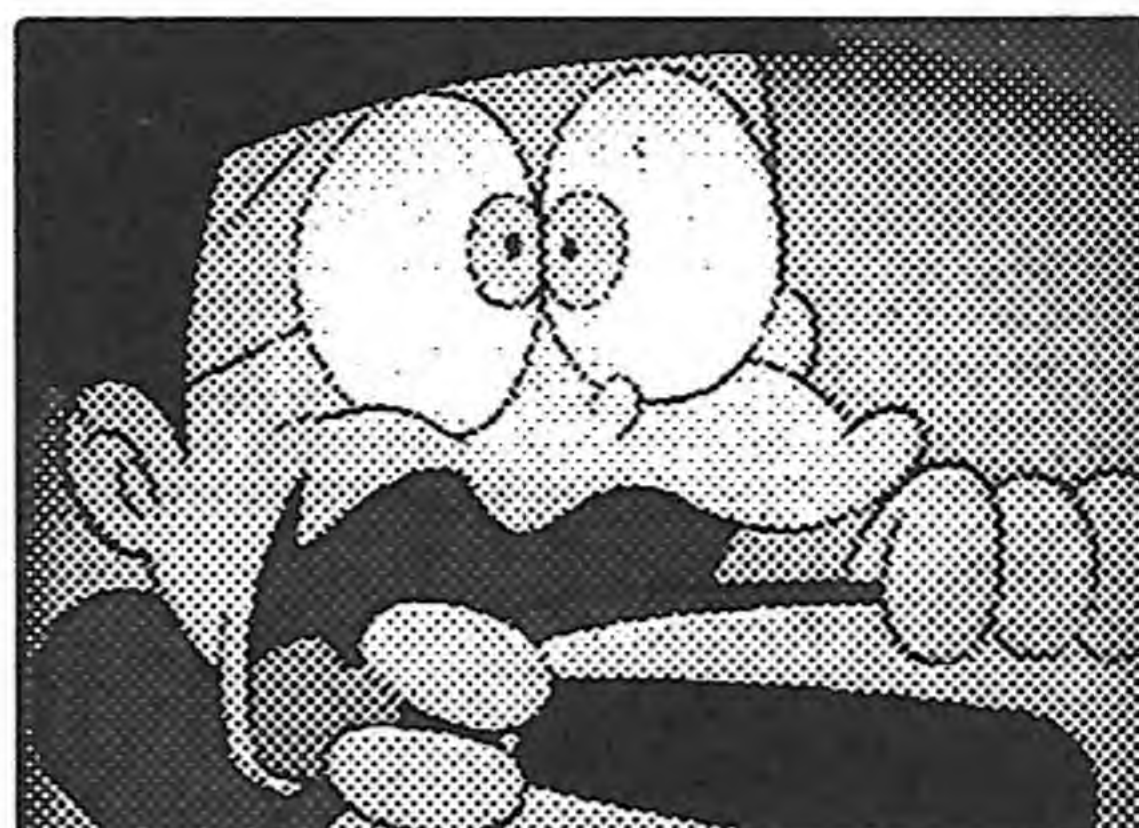
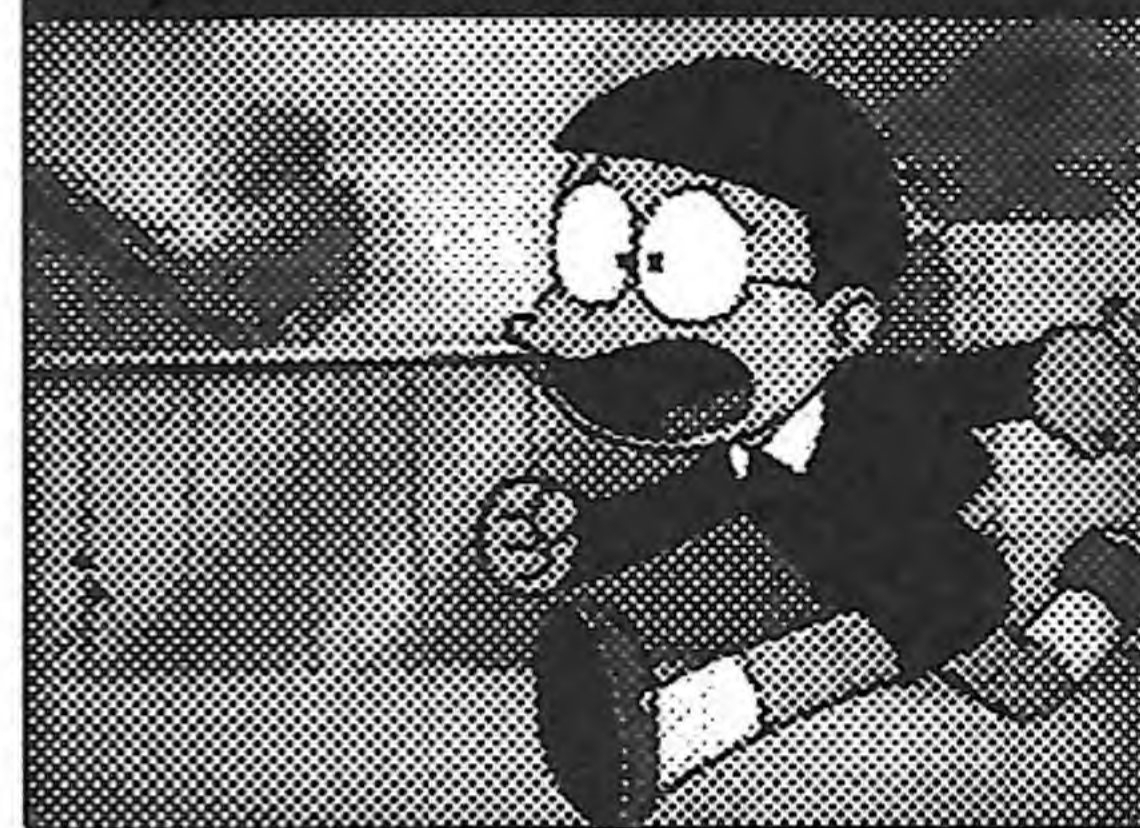
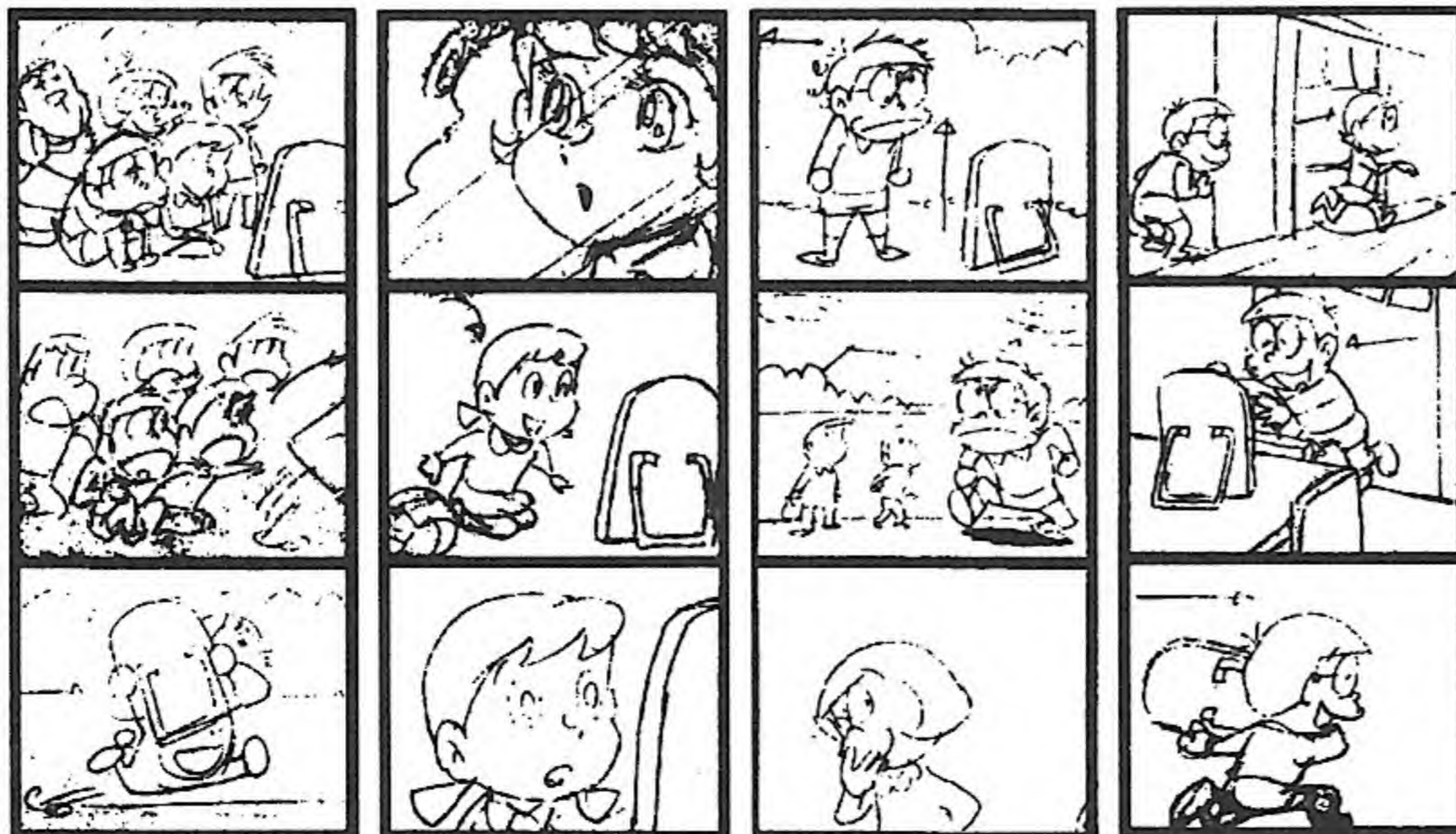
ドラえもんが取り出したキューピッドの矢。この矢が当たれば、心がとろけ、ほのかな恋心が芽ばえてくる。
静香を狙ったつもりが、ボタ子に当り、思惑がはずれる。

#7「ねずみに弱い猫もあるの巻」

◉玩具の戦車に乗りたいなあという願いから、ドラえもんの取り出したガリバー光線。この光を当てれば思いのままの大きさに変化する。小さくなったドラえもんとのび太が戦車に乗り込み、家中を駆け回る。
出くわしたのが、ネズミ。しかも、ネズミに光が当り、巨大なネズミに変化し、大騒動。
•巨大化したネズミ（恐ろしい怪物のような絵柄が印象的だ）との頭脳戦をメインに据えたアレンジ。

#8「ガキ大将をやっつけろの巻」

◉他人の物は俺のものとばかりに、ガキ大将ぶりを発揮するジャイアン。
ドラえもんは、物体瞬間移動機を取り出し、ジャイアンから物を奪いか

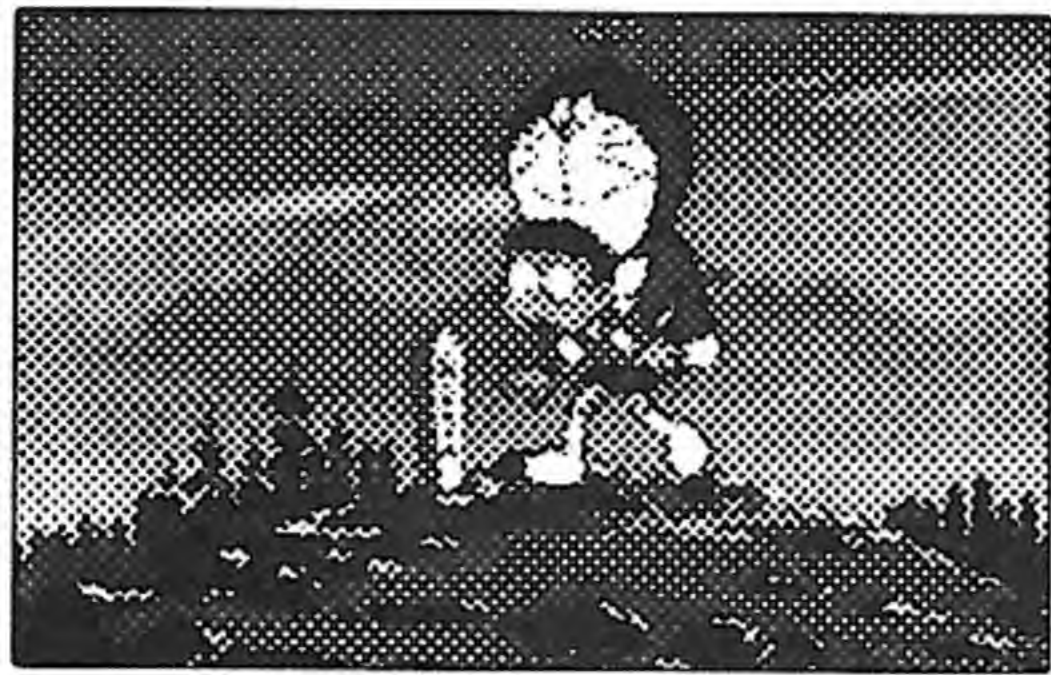
日本テレビ版ドラえもん

●放映期間…'73（昭和48）年4月1日～9月30日
放送タイムテーブル…オープニング：1分24秒
●放映時間帯…毎週日曜日 19時00分～19時30分
本編：10分51秒×2 予告：9秒 エンディング：1分30秒

●NU別冊「1293」でご紹介済のコンテ。古書店などを経由してたまたま入手できた資料を元に原作にほぼ忠実な作風と評したが、視聴して確認できた作品全てに大幅にドタバタ風味が加算されていた。

↑生頼昭憲氏の手による「お世辞鏡珍騒動の巻」の絵コンテ

●原作から

●寝たきりの少年がひみつ道具の機能だけで回復する展開に是非が問われたのか、原作も久しく封印されている。現在は放送では自粛されるべき発言や児童が（やむを得ず）飲酒する場面なども描けたこの時代のアニメならではのチョイスと言える。

#17「クイックスロー大作戦の巻」

◉宿題に手間取るのび太を助けようと、ドラえもんが取り出したクイック薬とスロー薬。ところが二つを取り違えて飲んだために、クイックになったのはドラえもんで、のび太は逆にもっとのんびり。
町中を忙しく駆け巡るドラえもん。おまけにパパ、ママまで薬を飲んで家中テンテコ舞。

#18「のび太は雨男の巻」

◉楽しい遠足の前日、もし雨が降れば、のび太が雨男だからだとスネ夫に嘲笑されるのび太。くやしがるのび太、怒るドラえもん。スネ夫を懲らしめろとドラえもんが取り出したのが雨を呼ぶリング。
遠足の日、スネ夫の頭上にリングを投げれば、スネ夫めがけて、雨が集中的に降る。
●ＮＵ35号再録作品が原作。ガチャ子不在のまま進行したと思われる。

#19「ウルトラミキサーの巻」

◉一皿の餌を取りっこする犬と猫を仲良く食べさせるためにドラえもんが取り出したのがウルトラミキサー。二つの物体をドッキングさせる機械である。
野比家の色々な道具がドッキングされ、ママは大弱り。

#20「ねがい星流れ星の巻」

◉使い古しの秘密兵器を処分するドラえもん。その中の一つのねがい星がスネ夫や静香の間を転々。ねがい星ドラえもん。ところが、のび太が知らずにドラえもんを写してしまい、しかも、人形を静香にプレゼントしたから大変。人形の災難が全てドラえもんにふりかかる。

#12「宝クジ大当り作戦の巻」

◉のび太のパパの楽しみの一つは宝クジである。その楽しみをママに禁じられてしょぼくれるパパに同情するのび太とドラえもん。タイムマシンで時間を逆のぼり、当りクジをパパのために買うとする。ところがなんと、パパが一等の宝クジを買うことが判明。大金を手にした時の夢をめぐらし、現在へもどるのび太たち。一等に当るはずの宝クジがパパの手によって燃されがっくり。

#13「決闘！のび太とジャイアンの巻」

◉ジャイアンの柔道の技で投げとばされたのび太。なんとかしてジャイアンをやっつけてやろうと、ドラえもんの協力を得て、柔道の修業。
ジャイアンに決斗を申し込むのび太。ドラえもんの作戦が功を奏し、見事にのび太の一本あり！

#14「わたしは誰でしょうの巻」

◉記憶喪失の男が町へやって来る。ドラえもんが記憶を甦らせる木槌を取り出し、男の頭を殴る。だんだん記憶が甦り、様々な場面を思い起してくる。どうやらこの男は、大変な金持で、豪華なお城に住んでるらしいことが判り、胸をワクワクさせるのび太たち。
ところがなんと、男の正体は映画監督で、思い出したのは映画のシーンのセットだった。

#15「アベコンベ騒動の巻」

◉触れば全てが逆になるアベコンベという秘密兵器でイタズラを楽しむのび太とドラえもん。パパとママをからかっているうちはよかったが、町へとエスカレート。
静香をびっくりさせようと、静香の家へ行くと、現れたのが泥棒。ケガの巧妙で、泥棒を御用

#16「おばけ屋敷のナゾの巻」

◉町の一角に不気味な洋館がある。少年探偵団気取りで、探索に乗り出すのび太とドラえもん。ペッタリ靴などを使って忍者スタイルで奥に入って行くと、現れたのが老人と少年。
実はこの少年は病弱な為、外へ出ることができず、家に閉じこもっているのだった。ドラえもんの注射でいっぺんに病気が治ってしまう。

えそうとする。
ところが、ジャイアンの父の小助まで奪ってしまった。親思いの一面を持つジャイアンは大慌て、ガキ大将を返上する。

●妻の遺影を前に、息子の不敬な成長を悔やむジャイアンの父。NTV版のみの設定が露呈する一編。

#9「おせじ鏡の巻」

◉美男子に憧れるのび太のために取り出したおせじ鏡。映った顔に偽りの讃め言葉を言う変な鏡だ。この鏡が町中の子供たちの間を転々。
自惚れる人、おたがいの顔を批判し合う人が続出し、町はてんやわんや。

●ラストが原作と異なるものの（ドラがおせじ鏡を、実物を醜く写す別の鏡とすり変える）今回、取材視聴できた作品の中では原作の展開に一番忠実なものであった。

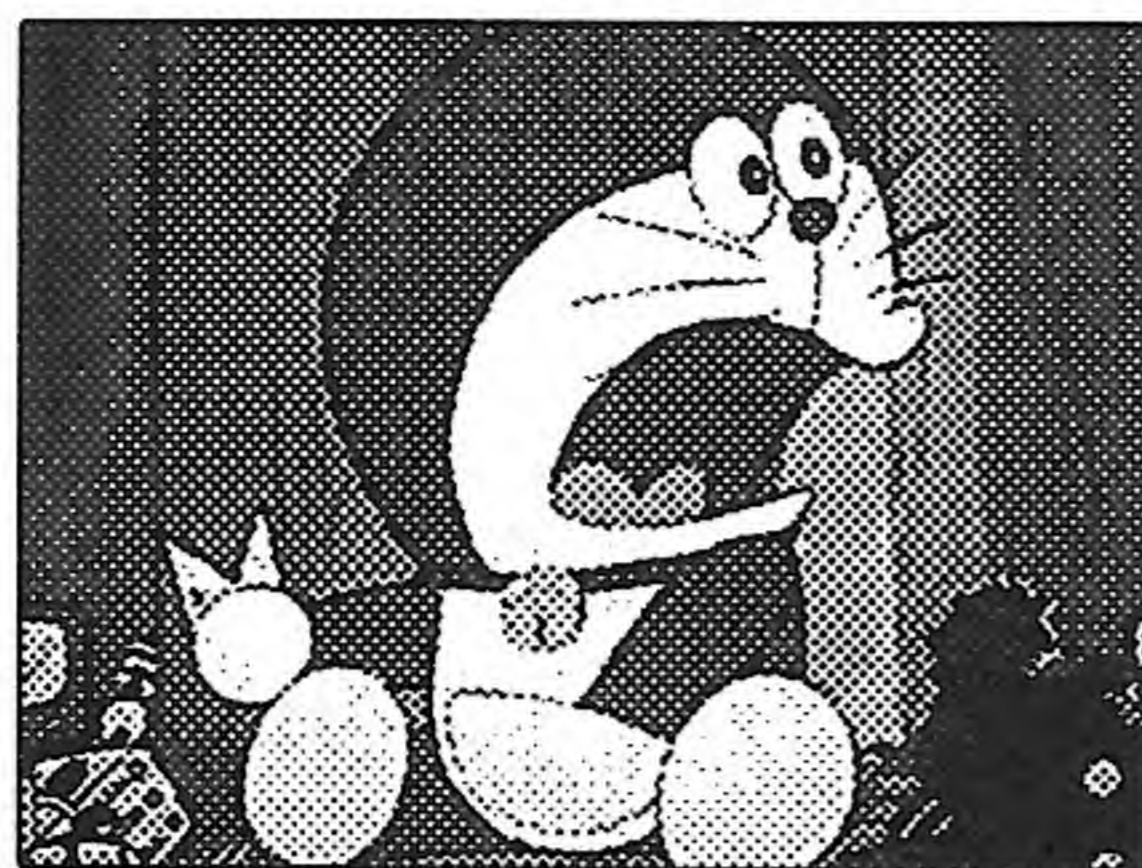
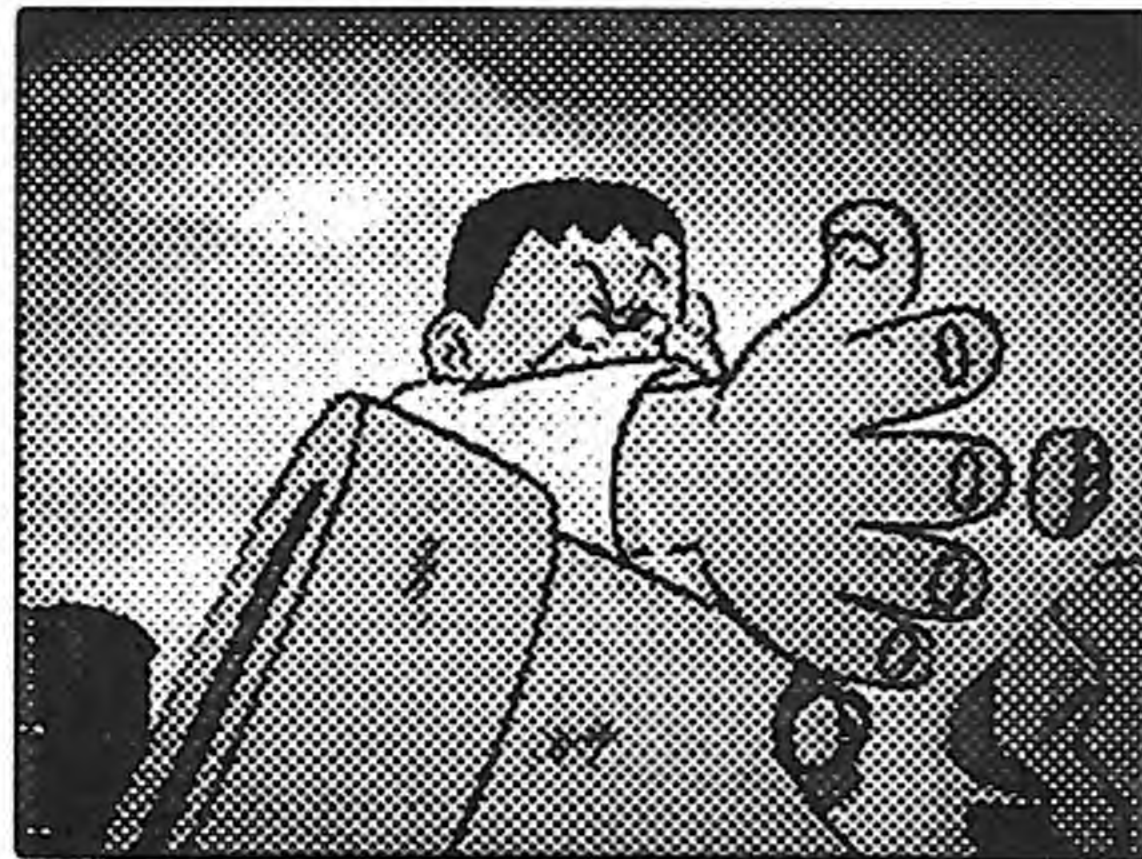
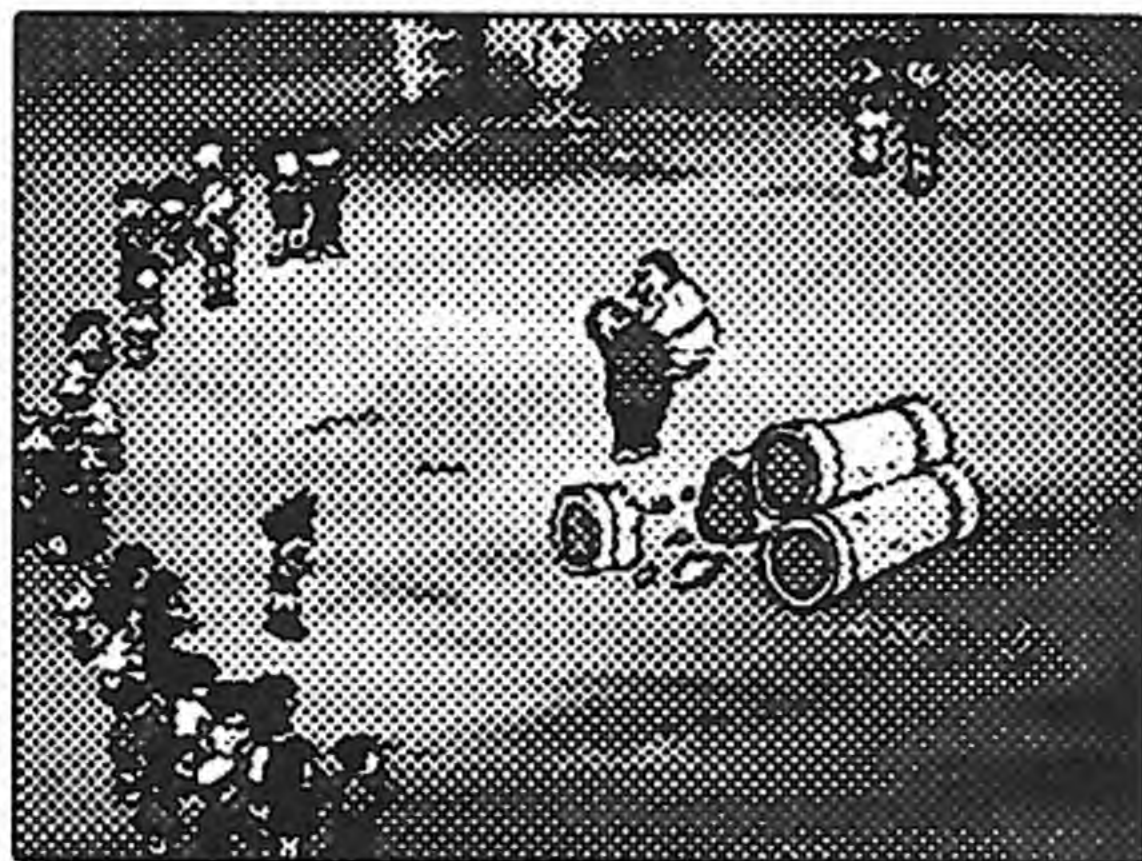
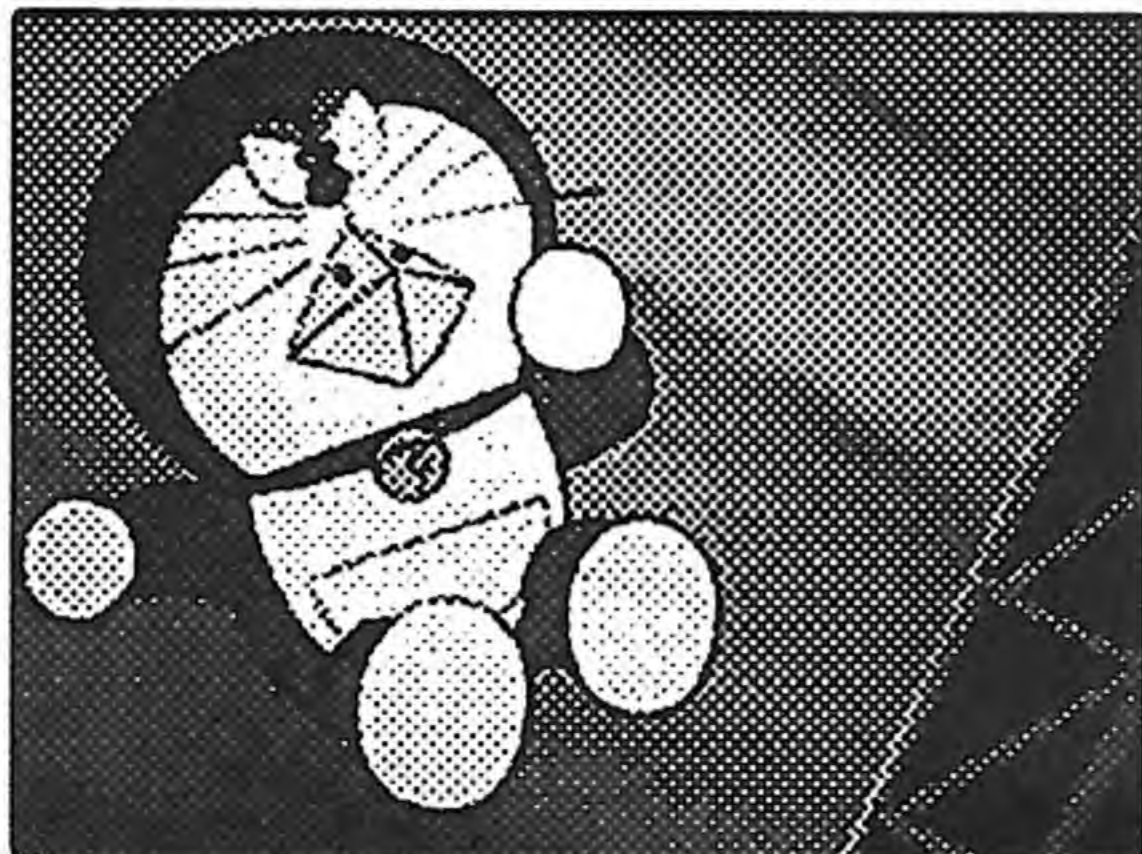
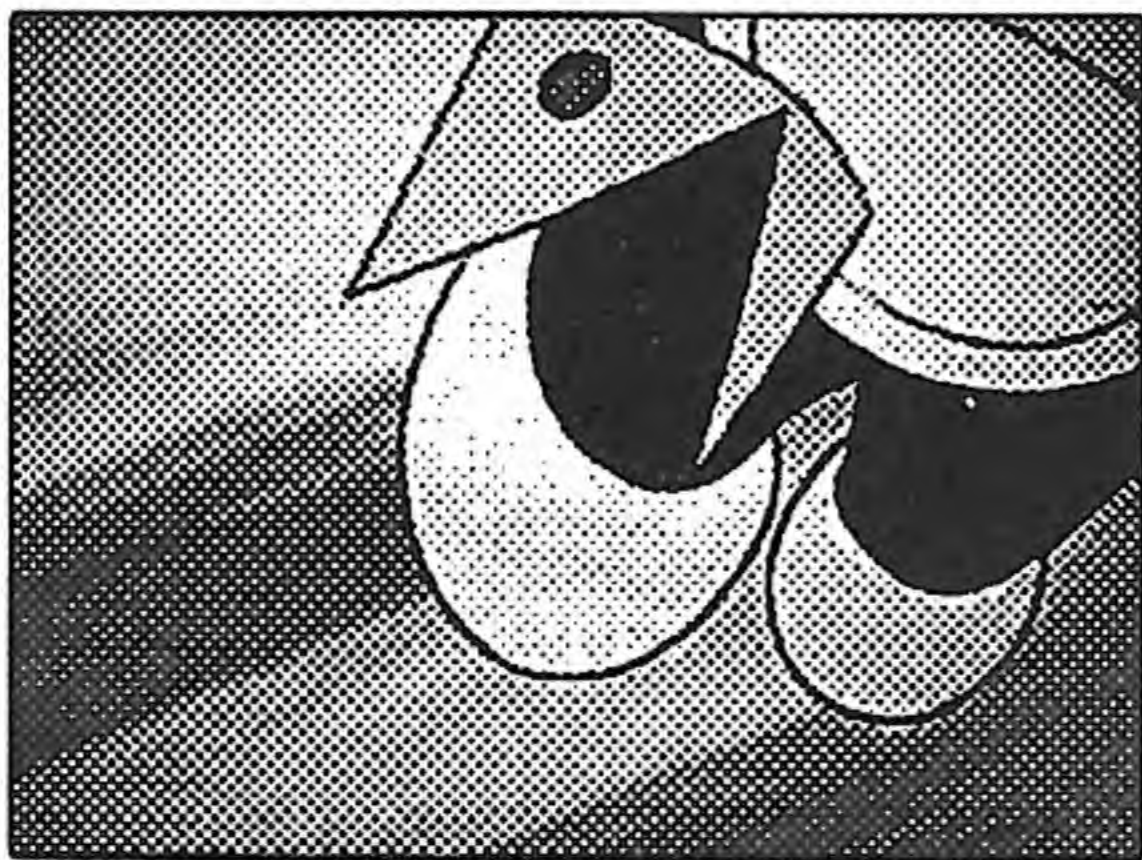
#10「パパとママの結婚記念日の巻」

◉今日はパパとママの結婚記念日。ひと昔前を思い起すパパとママ。しかし、どっちがプロポーズしたかでひともめ。タイムマシンで当時へ逆のぼってみるのび太とドラえもん。
結局二人ともお互い結婚したかったのさと分って、現在にもどってみると、仲むつまじく星空を見つめるパパとママ。

#11「のろいのカメラの巻」

◉写すと被写体の人形が飛び出し、その人形が本人と同じ神経を持つという仕組みののろいカメラ。これで憎いスネ夫を懲らしめてやろうと図る

●はみだし情報●最終回で静香からドラやきをもらっていた、という記憶談が確認できたが、真佐美氏が保管していたフイルム類を確認した範囲では、NTV版ドラが、ドラやきを好んで食べる場面は見受けられなかった。パイロットフイルムも季節感ある演出はなく、おもちは登場しない。唯一#8話でホットケーキに執着している場面があった他、#36でキャベツを丸呑みしている場面があった。

●はみだしストーリー●#43『ぼくに清き一票をの巻』静香ちゃんに尊敬の眼差しで見られたい、と学級委員選挙に立候補するのび太。ドラえもんを選挙参謀に迎えて必勝体制。やんやの選挙活動を行うも結果は惨敗。トホホと敗走するドラとのび太だった。（mvunit氏HPから引用）

⬆父親の力自慢をするのび太たち

⬆スネ夫のパパは空手に挑戦！

⬆ダテ男のパパにはムリだった…

⬆あなた、だらしないざます！

⬆ママは空手の達人だったのだ！

●えぇ、僕が大岩を砕くのかい?!

⬆ソノウソホントという秘密兵器だ

⬆言ったことが本当になるのさ

⬆小助は土管を砕くと啖呵を切った

⬆…が、割れっこない。。。

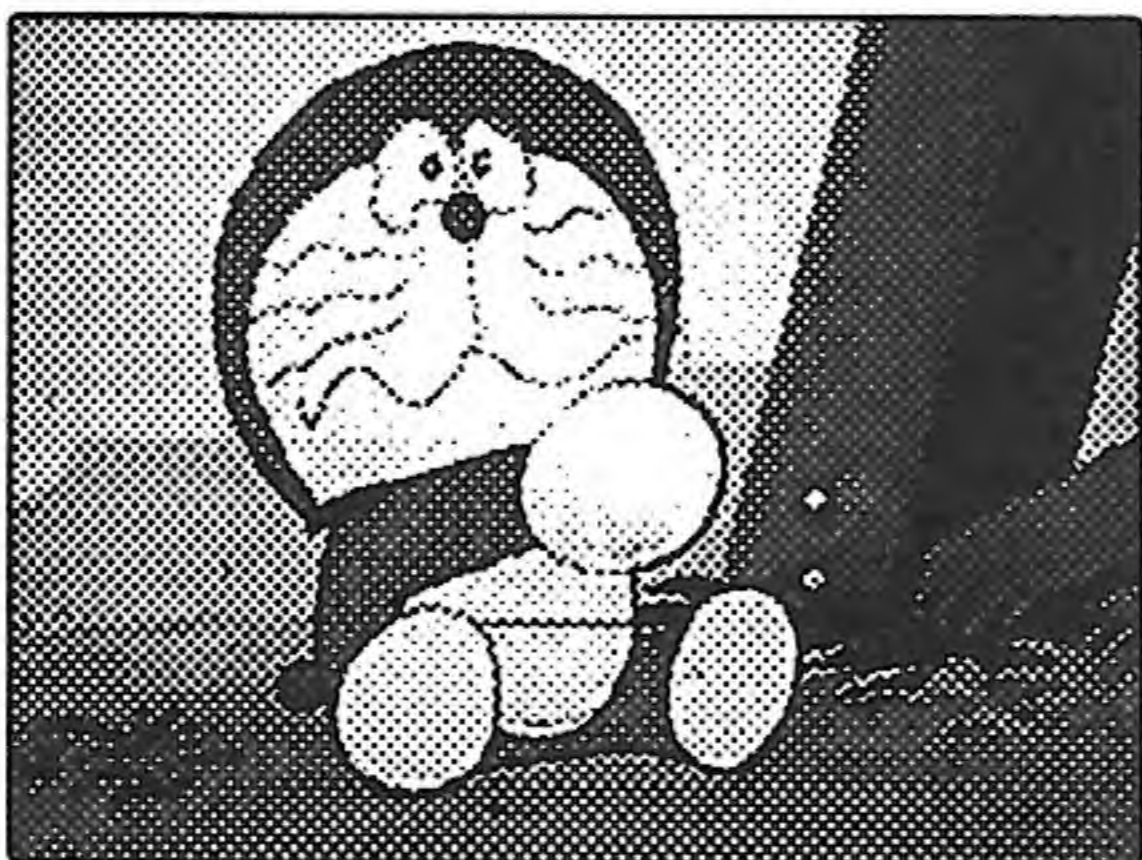
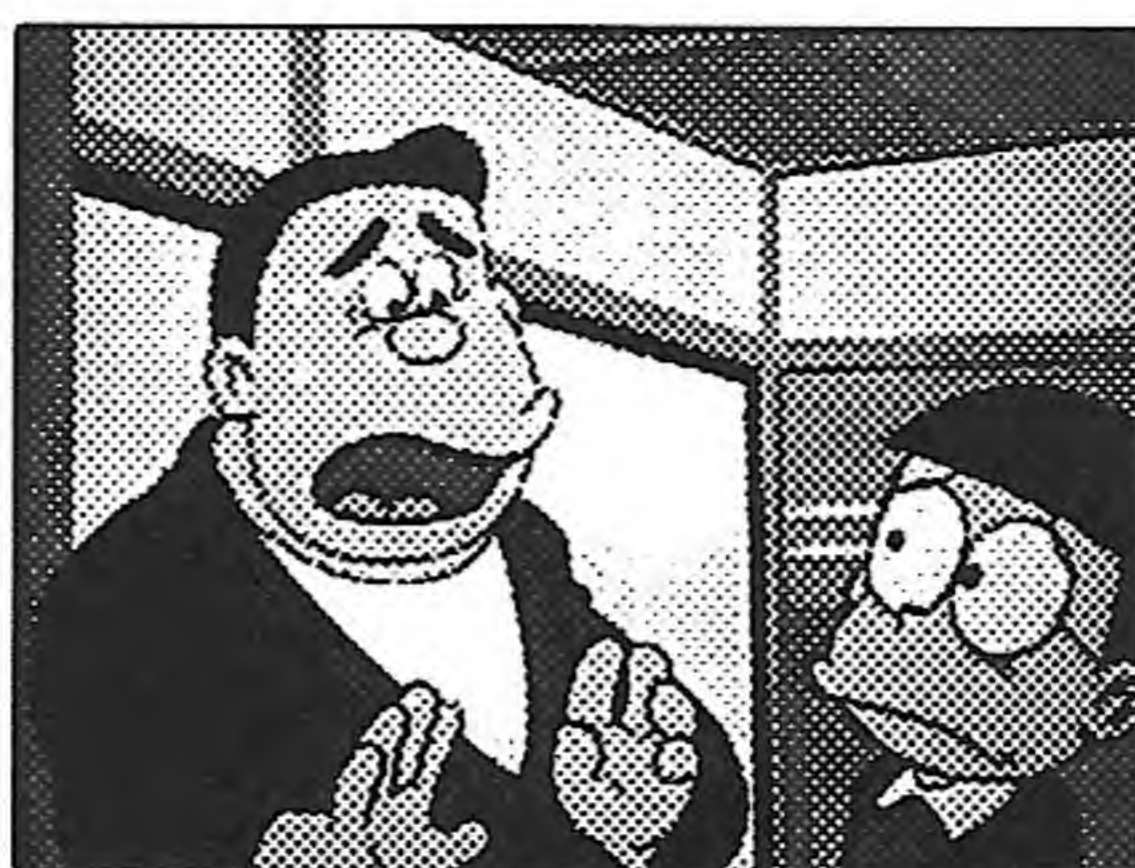
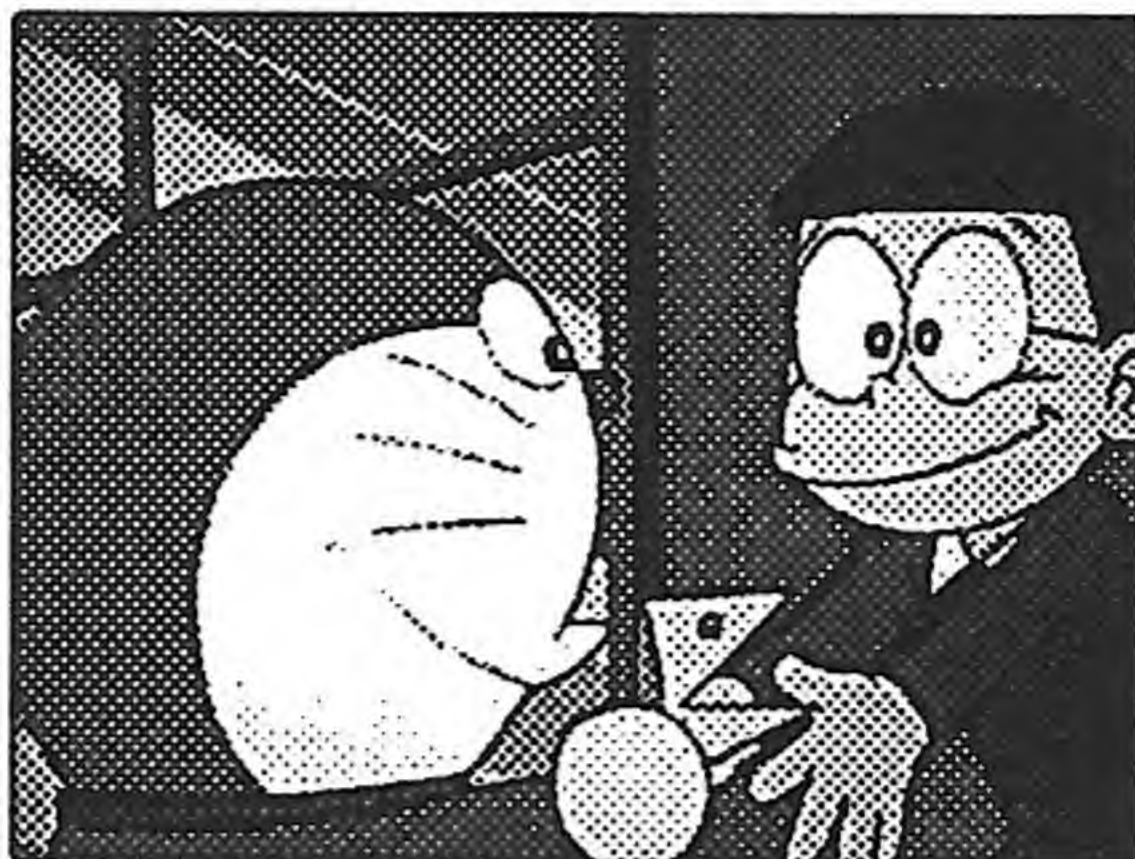
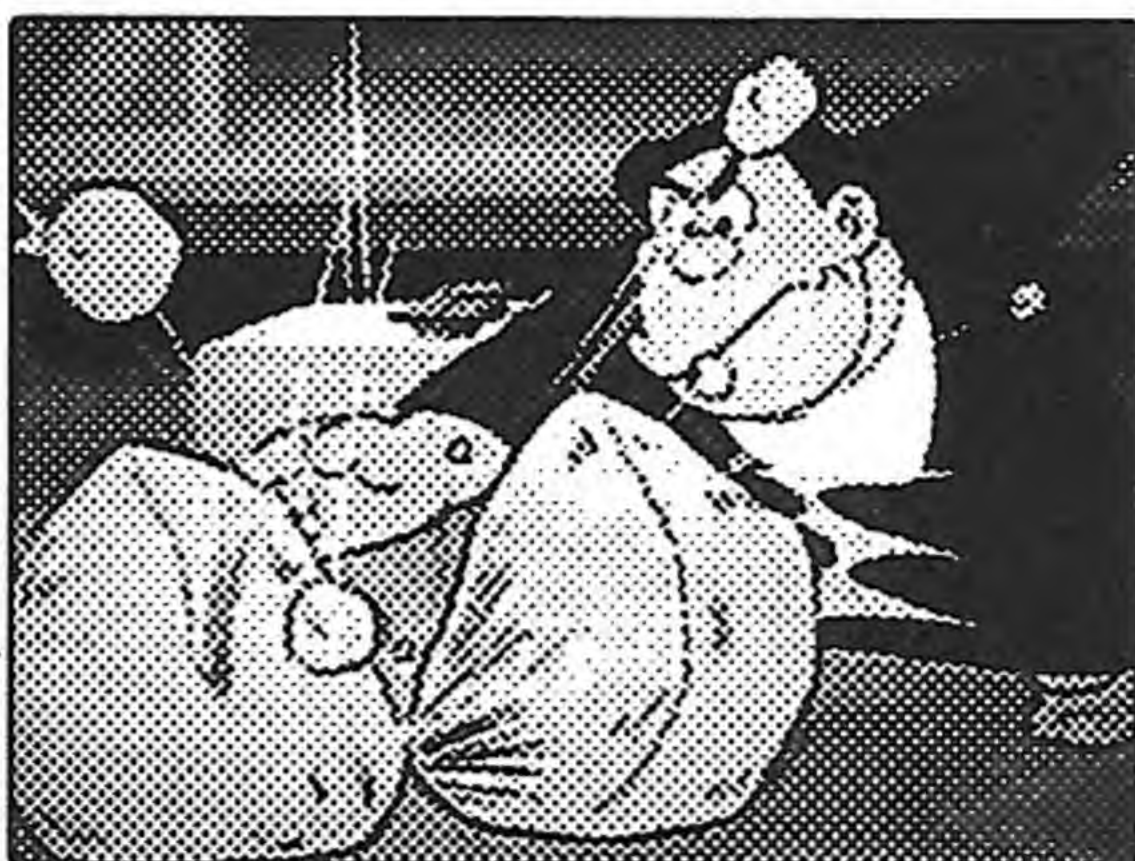
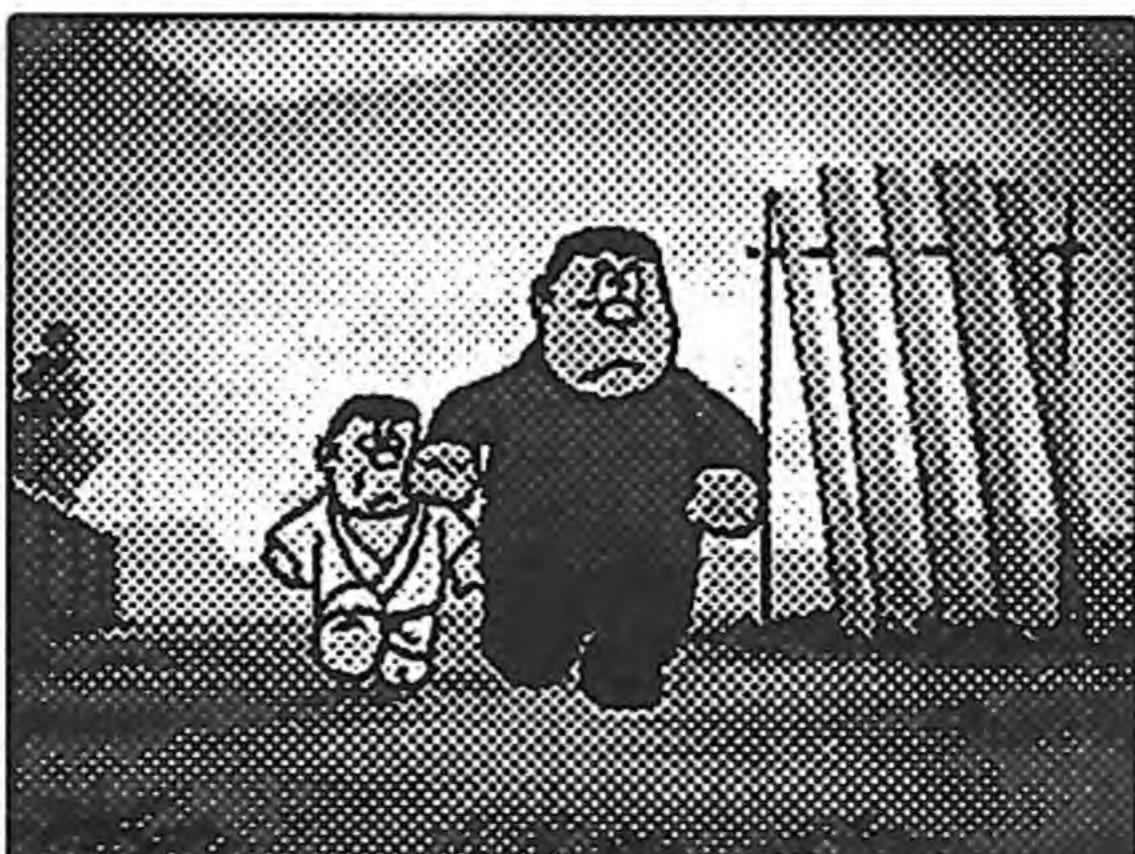
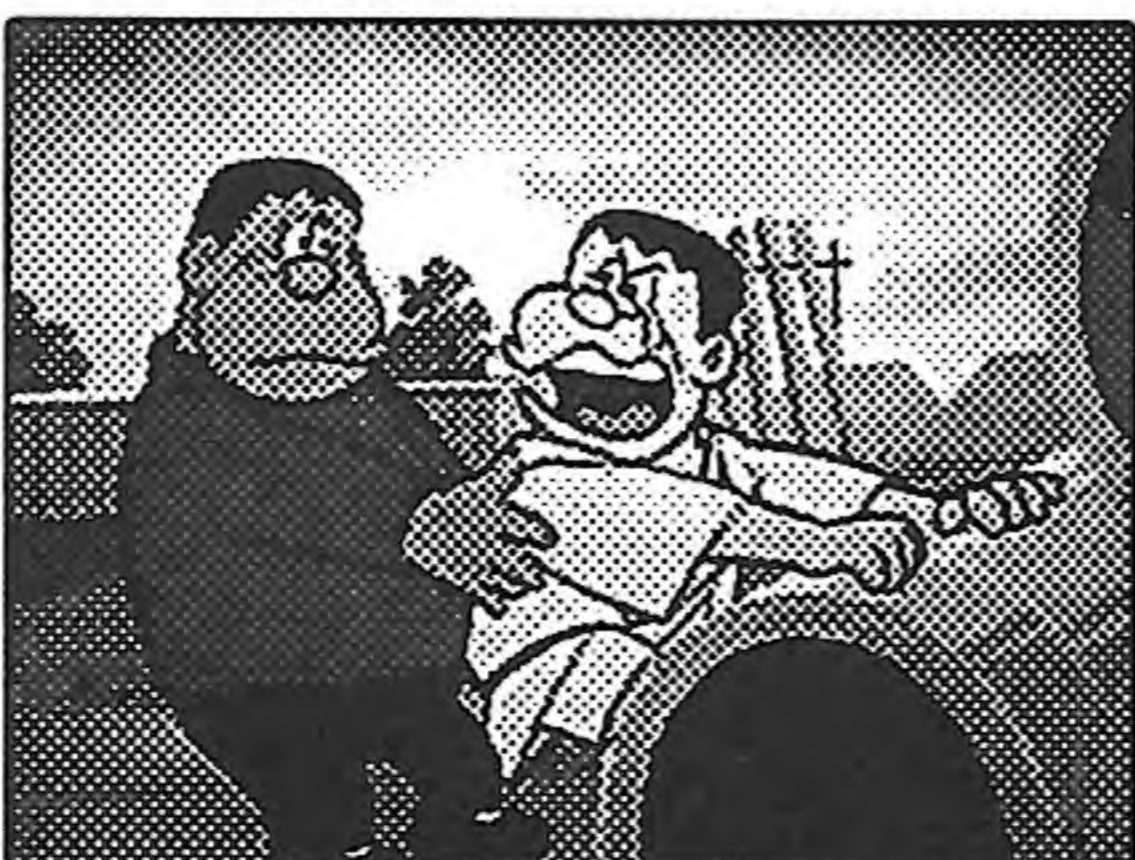
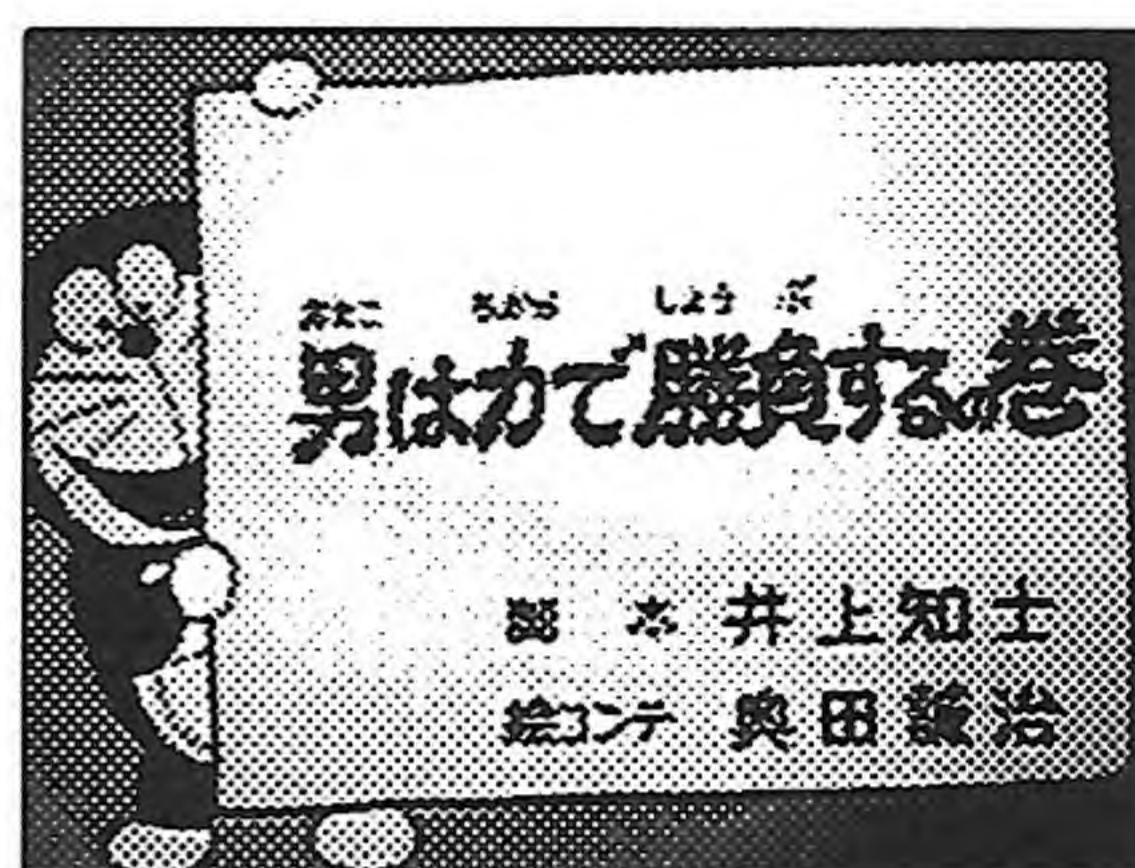
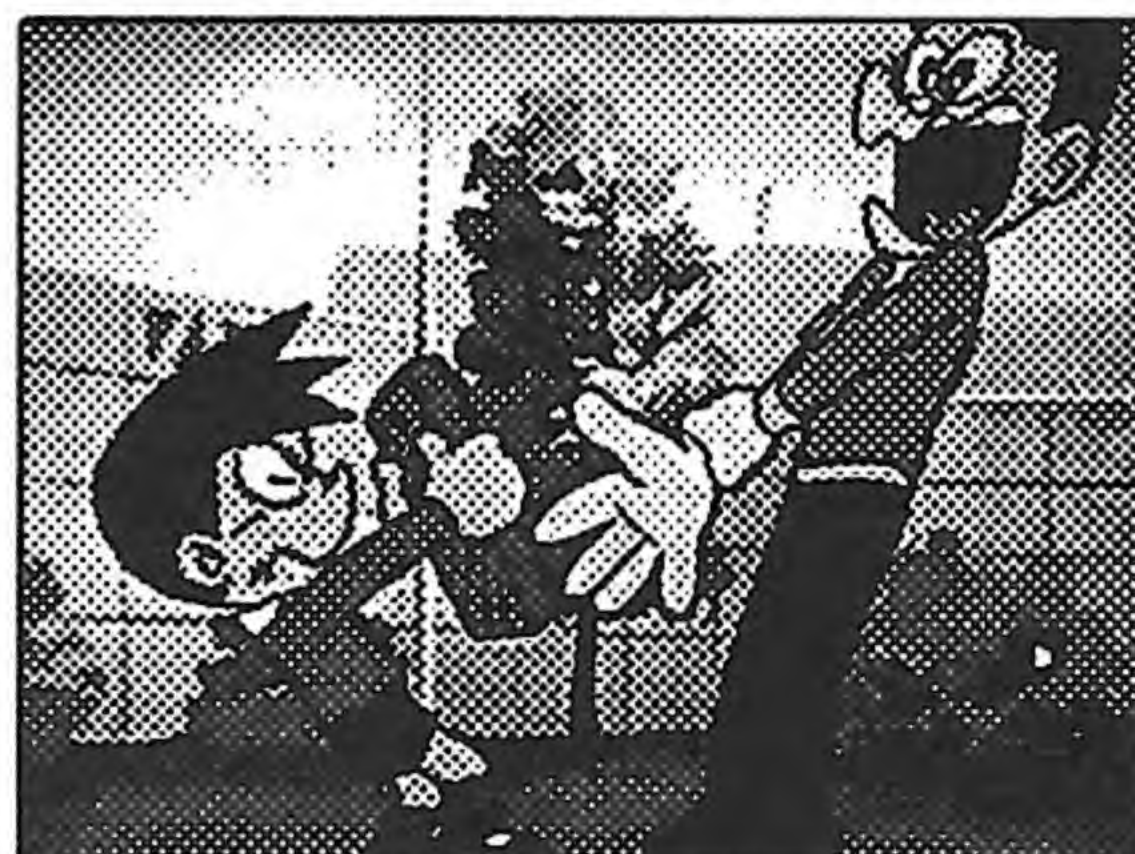
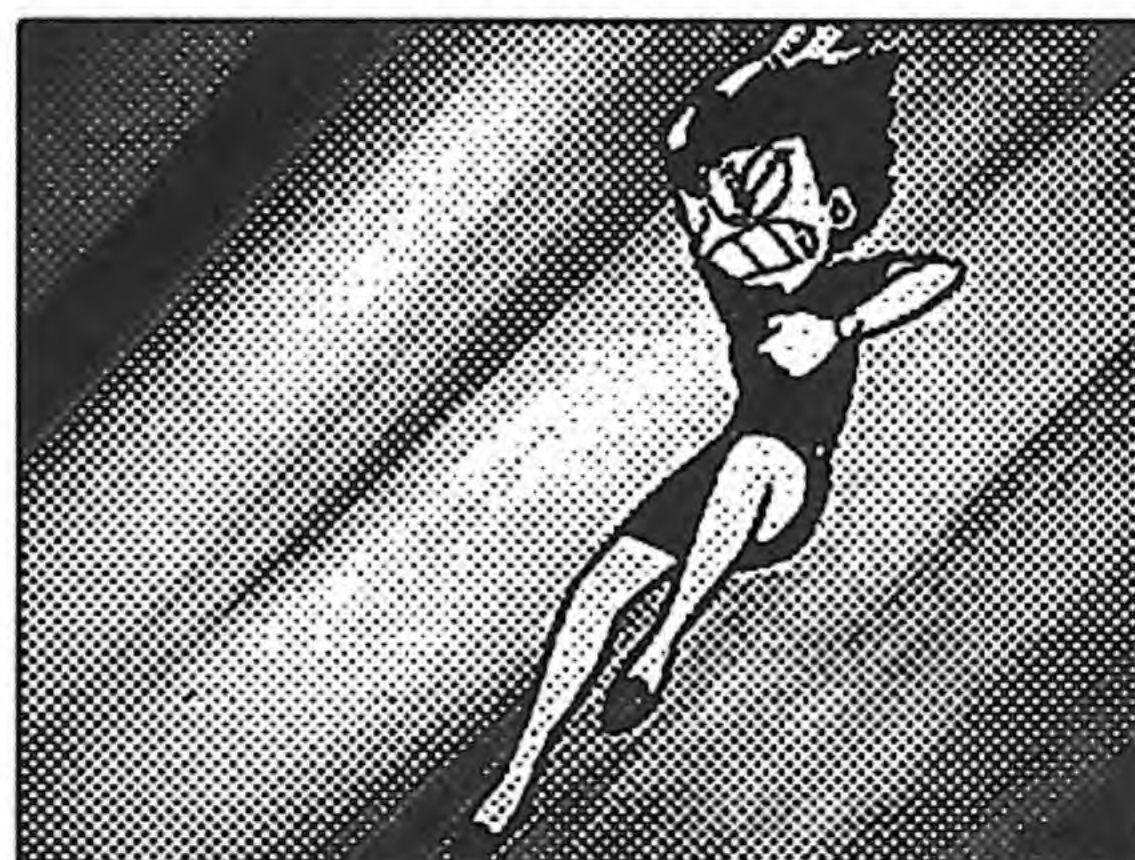
⬆止めてくれるな、わが息子！

⬆親子愛にドラが手を貸してくれた

⬆傷だらけの末に土管は割れた！

⬆皆に讃えられる剛田親子

⬆ドラも良い所を見せたいと飛出す

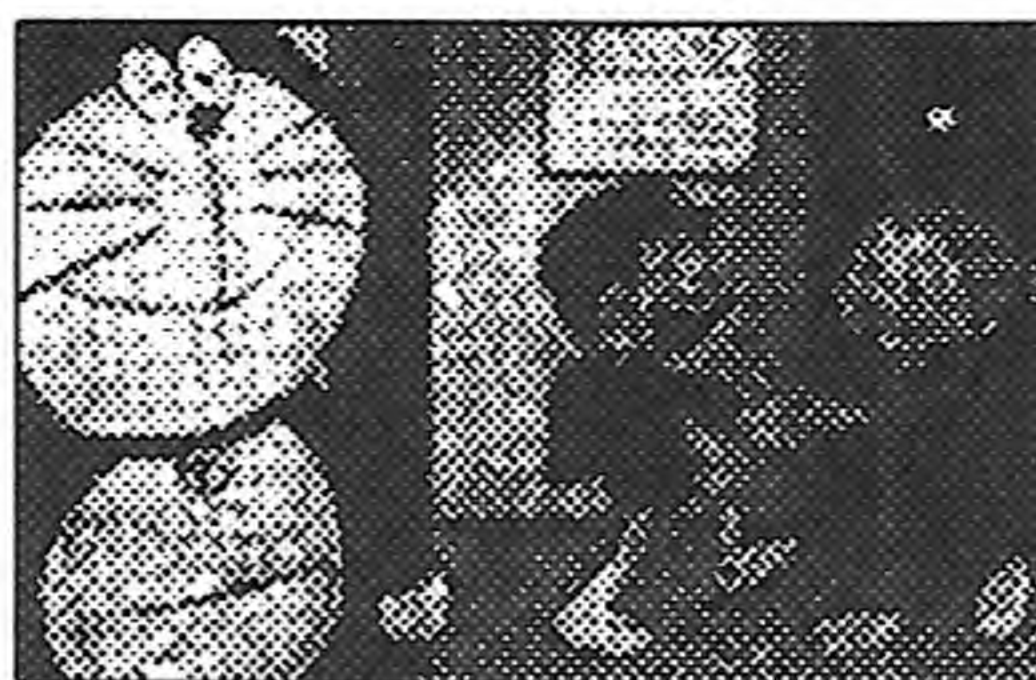
⬆送電線の鉄塔を砕くつもりが…

⬆秘密兵器が外れて衝突・落下。。。

ウソホントと言う秘密兵器のおかげで、見事に土管を割るのび太のパパ。

●スネ夫のママの空手が前半のヤマ場。引き続き、息子の顔を立てようとジャアインの父親が奮闘する場面に重心がおかれている。誌上再録をお楽しみください。

#25『ガチャ子登場の巻』

◉21世紀からアヒルロボットのガチャ子がやって来る。慌てるドラえもん。それというのも、21世紀でのドラえもんの本当の姿を知る、しかも、おしゃべりなガチャ子だからだ。
レストランで厚いもてなしをし、なんとかガチャ子の口を塞ごうとするが、ついに、ガチャ子はのび太にドラえもんの本当の姿をもらしてしまう。

#26『おしゃべりくちべにの巻』

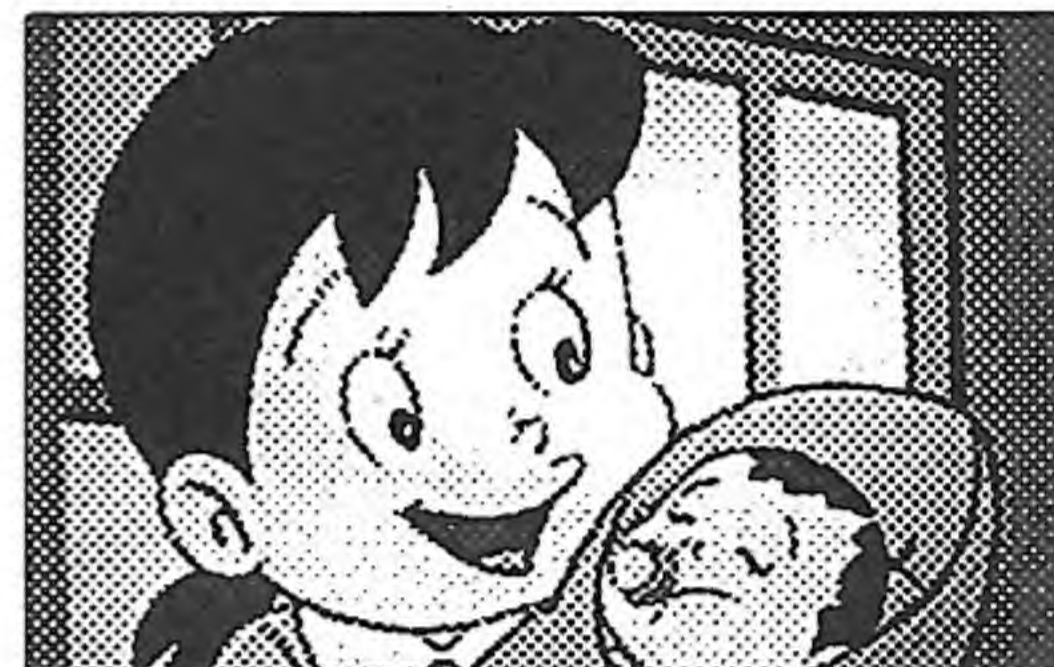
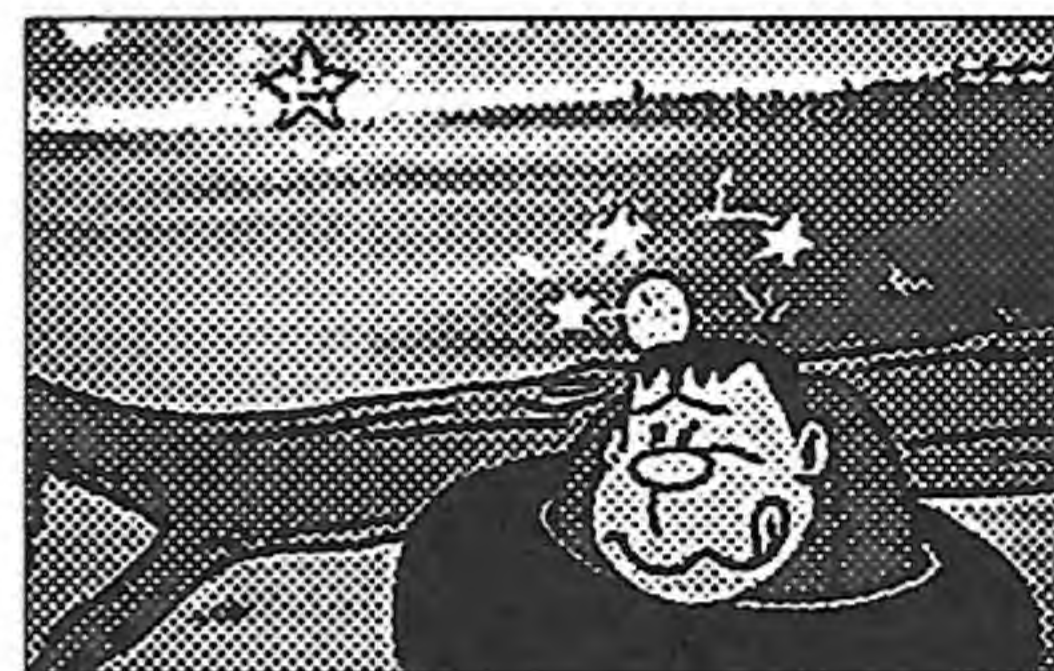
◉スネ夫の蹴ったボールがドラえもんのプラモをこわしてしまう。謝るどころか、スネ夫の口達者ぶりに言いくるめられてしまうドラえもん。お

タイムマシンで過去に逆のぼってみるドラえもんとのび太。なつかしのおばあちゃんと再会するのび太。おまけに幼児ののび太まで現れ感慨ひとしお。思わず、おばあちゃんに声をかける現在ののび太。

#23『大リーグの赤バットの巻』

◉町内野球大会で、のけ者にされ、しょんぼりするのび太。ドラえもんの奔走で敵方チームのピンチヒッターに起用されるのび太。そこでドラえもんが取り出したのがどんなボールも当てる大リーグバット。のび太のヒットをきっかけに止まることを知らない攻撃が展開され、ついにピッチャースネ夫はダウン。

#24『男は力で勝負するの巻』

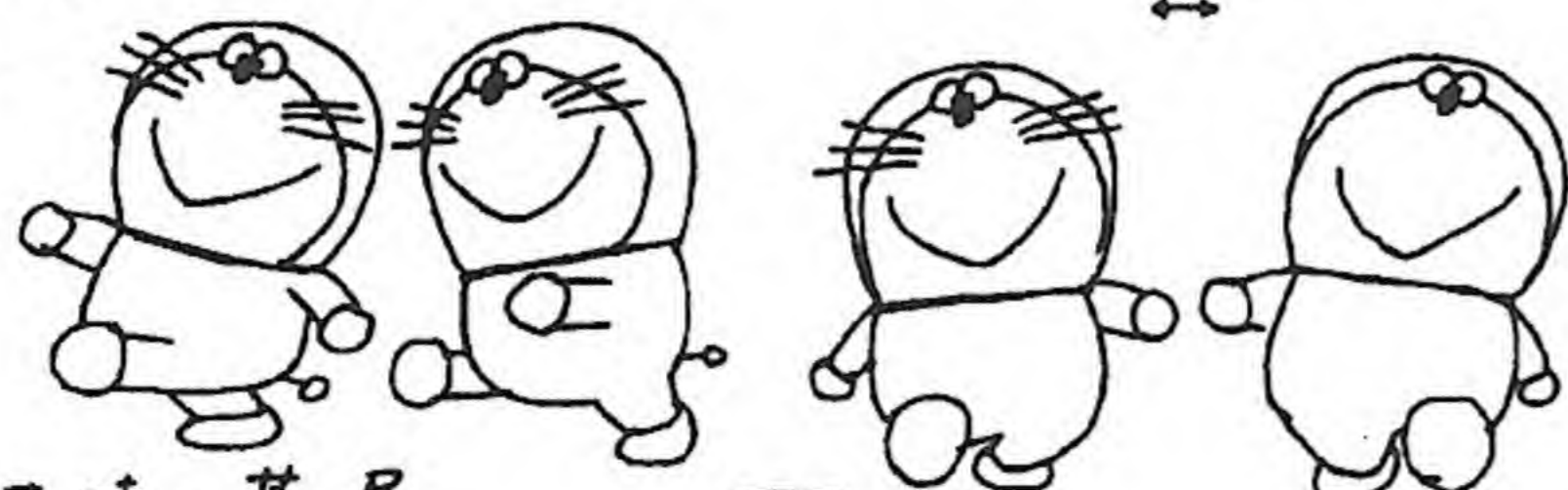
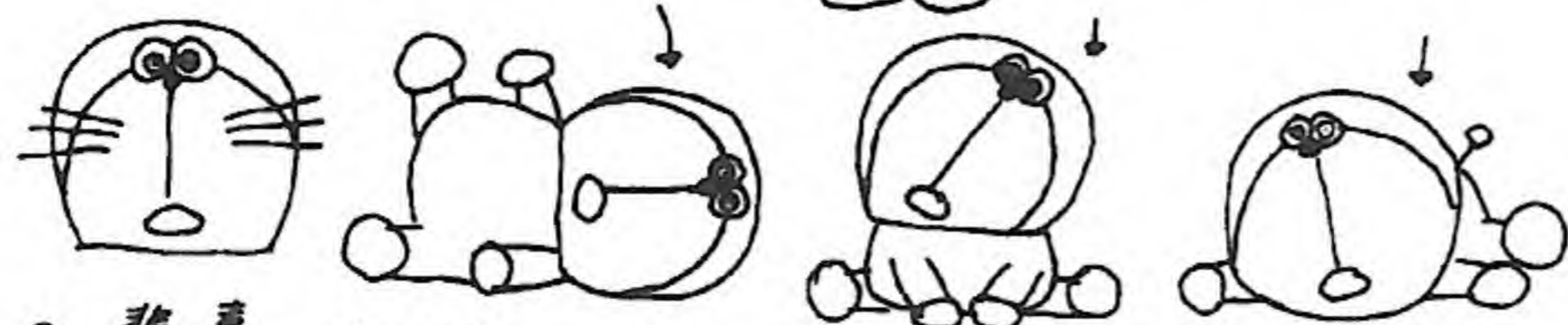
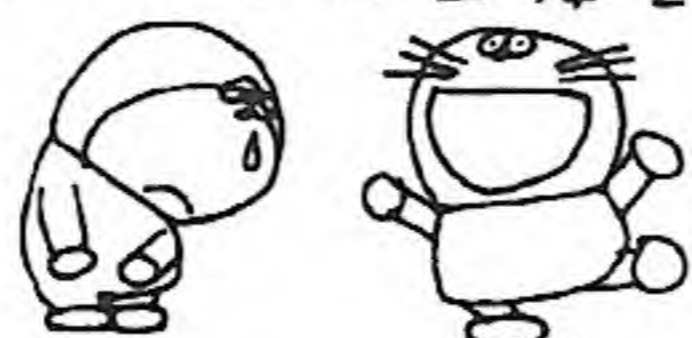
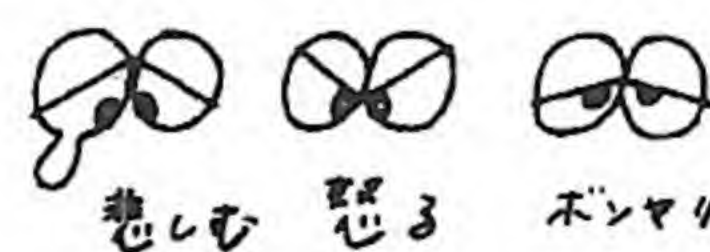
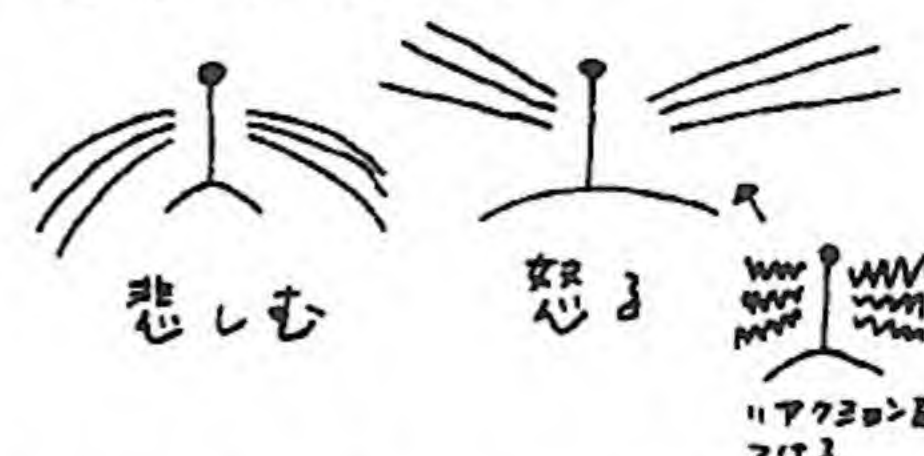
◉親を自慢する子どもたちの論争がついに、どの親が力があるかを実証することになってしまう。
のび太、スネ夫、ジャイアンの親たちが土管を割る力くらべを競う。ドラえもんがこっそり取り出したソノ

に向って願かければ本当に叶ってしまうのだ。静香の願いは弟が欲しいということ。ところが不思議、赤ん坊が静香の家に投げ込まれる。大喜びで育てる静香。実は捨て子で、後悔した母親が名乗り出る。

●原作の進行を早々に消化し、後半は源一家が主役の一編。静香の父母はこの作品に登場している。

#21『ふしぎなふろしきの巻』

◉ふろしきの表で包めば旧いものが新しくなり、裏で包めばその逆になるという秘密兵器で、道具を次々に新品同様に再生させるのび太とドラえもん。それを知ったスネ夫がふろしきを奪い金儲けを企む。が、風に吹かれてふろしきは町中を転々。誤って使用したジャイアンが赤ん坊になってしまう。

#22『のび太のおばあちゃんの巻』

◉物置から死んだおばあちゃんにもらったぬいぐるみが出てくる。思い出にふけるのび太。

●はみだしストーリー●#44『まんが家修業の巻』人気漫画家の仕事場にお邪魔することになったドラとガチャ子。しかし二人が思うほど漫画は簡単には描けず邪魔ばかり。やがて先生はアイディアにつまり、ドラたちにアイディアを求めていく。やがてドラ達の言われるまま不思議な踊りを踊り出す漫画家。踊り続けた漫画家は最終的にどこかへ行ってしまった。（おおはた氏HPから抜粋・引用）

●設定資料より

●はみだしストーリー●#45『すてきなガールフレンドの巻』静香ちゃんに冷たくされて、のび太はションボリ。それを見て気の毒に思ったドラえもんはすごい美人をのび太に紹介する。このユリ子ちゃんは、のび太だけを好きになるようにしてある〝友だちロボット〟。すてきなガールフレンドにのび太は大喜び。（週刊TVガイド掲載記事から引用）

⬆レジャーに行けない程忙しいパパ

⬆静香の家に遊びに行くが…

⬆スネ夫の誘いを受けて…

⬆静香は海に行ってしまった

⬆えぇ？コップの中の潜水艦で!?

⬆近くにある水場までジャンプする

⬆喫茶店のグラスから金魚鉢へ…

⬆わぁ、激しい渦巻きだぁ～!!

⬆さぁ、海にやっと着いたぞ

⬆スネ夫達の車は大渋滞の中に…

⬆抜けがけてきた三人が寄ってきた

⬆定員オーバーだよ～

⬆モーターボートに誘う骨川親子

⬆二人は置去り。怒ったぞ～

⬆勢い余ってボートに突進・衝突！

⬆無人島にはじき飛ばされた一同

⬆秘密兵器でたどり着いた先は…

しゃべり口紅を塗り、スネ夫に対抗するドラえもん。ついに親まで引っぱり出しておしゃべり合戦。PTAでの対決へとエスカレート。
- 準備タイトルは「おしゃべりナンバーワン」。

#27「すきすきカメラの巻」

◉テレビに出演し、いちやく人気者になるスネ夫。対抗意識を燃やすのび太。しかし、オーディションに落選してしまう。
ドラえもんが取り出したのがすきすきカメラ。このカメラの気に入った者は、どこの家のテレビのブラウン管にも映るのだ。ところがカメラのお気に入りはドラえもんだった。

#28「天の川でデイトしようの巻」

◉近づく七夕の日にそなえて、飾りつけを楽しむ静香。七夕のお話のように静香とロマンチックなデイトをしたいと願うのび太。ドラえもんがお話バッヂでロマンの世界へ案内しようとするが、それは桃太郎の話で、がっかり。そこでドラえもんは、のび太と静香を役者に七夕のお話を劇化しようとする。が、ドラえもんのプロデュースは失敗。
- 準備タイトルは「七夕さま作戦」

#29「へんなロボットカーの巻」

◉自動車で箱根へドライブに出かけるスネ夫一家。車を持たないのび太のくやしさ。ドラえもんが取り出したのが運転手なしでかってに動くロボットカー。箱根へ向うのび太とドラえもん。しかし、このロボットカーは人間並みの感情を持ち、寄り道はするし、道路は無視して、川や岩をいっ気に突っ走る。

#30「ニコニコせっけんの巻」

◉怒ってばかりいるガナリ先生をたまにはよろこばせてやろうと宿題にとり組むのび太。しかし、相変わらず不機嫌なガナリ先生。
ドラえもんが取り出したのが、ニコニコシャボン玉。触れればどんなシカメ面もニッコリするという。学校中をシャボン玉を吹かして回るのび太とドラえもん。気がついてみれば笑ってないのは二人だけだった。
- 準備タイトルは「ニコニコシャボン玉」。

#31「おれ署長のだいりの巻」

- 詳細不明の一編。準備稿「ケチケチおやじ（原作は「お金さんか大きらい」と推測される）」に代わって制作・放映されている。

#32「さあ夏だ！スキーをやろうの巻」

◉夏休みにはどこへ行こうというお話でもちきりのクラス。どこへも行くアテがないのび太。ドラえもんがお座敷ゲレンデを取り出し、夏に、しかも、部屋の中でスキーを楽しむ。つい、乗り過ぎで、電気がストップ。雪崩に襲われた⁉と、思いきや、布団の下でもがいているドラえもんとのび太。

#33「成績表はいやだなあの巻」

◉夏休みを前に、成績表を受け取る日がやってきた。成績の悪さを気遣って、け病をつかい、ドラえもんを代理に学校へ行かせるのび太。
ドラえもんの受取った成績表はオール1。ジャイアンのいたずらで成績表を背中に町を歩くのび太。

#34「自分のかげをつかまえろの巻」

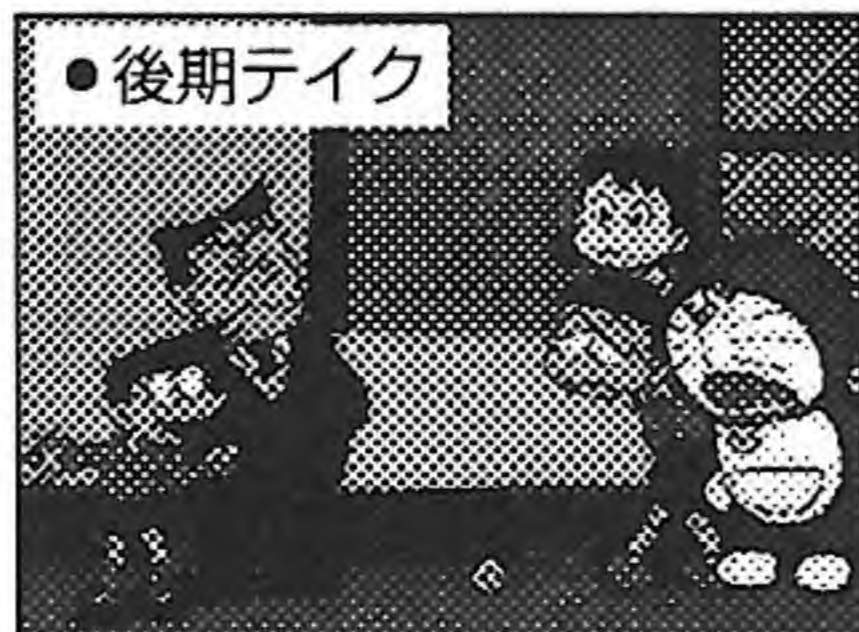
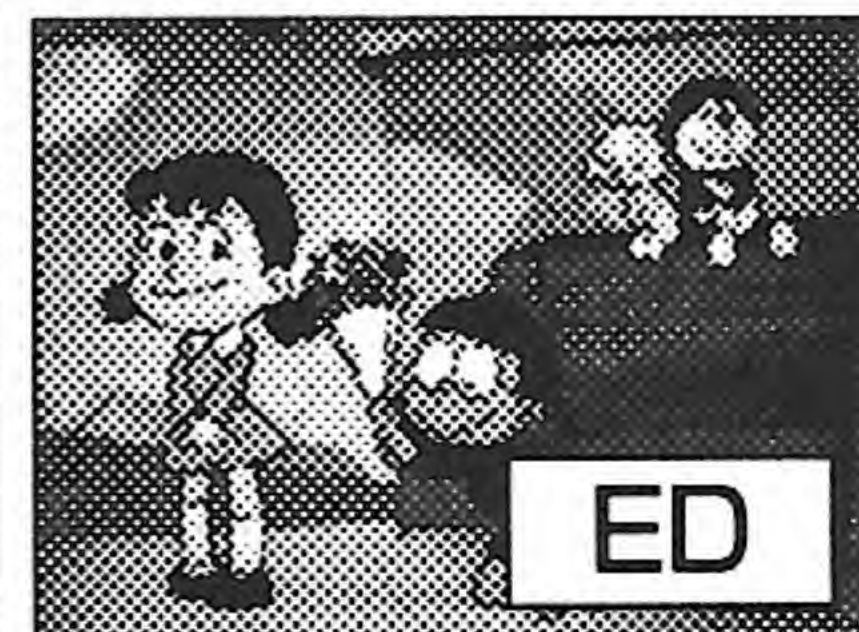
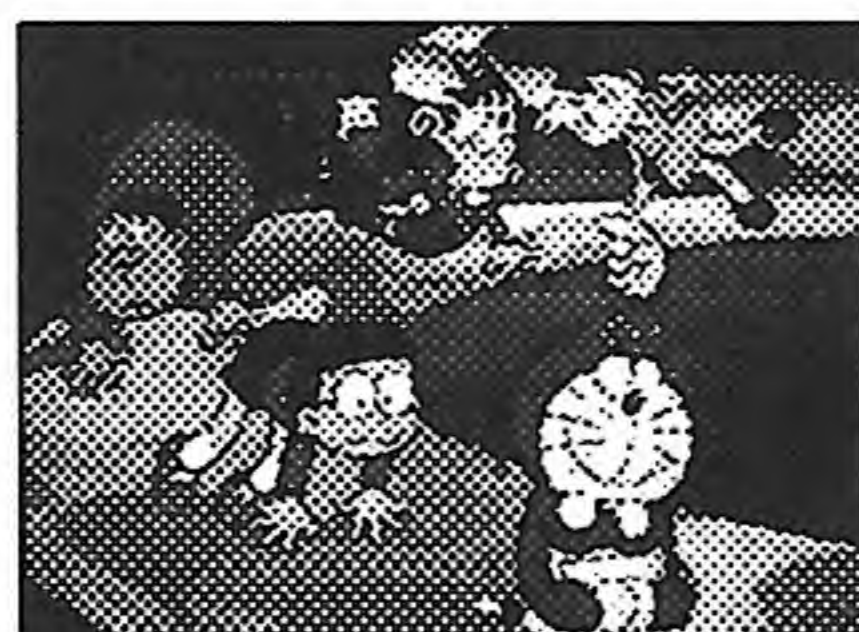
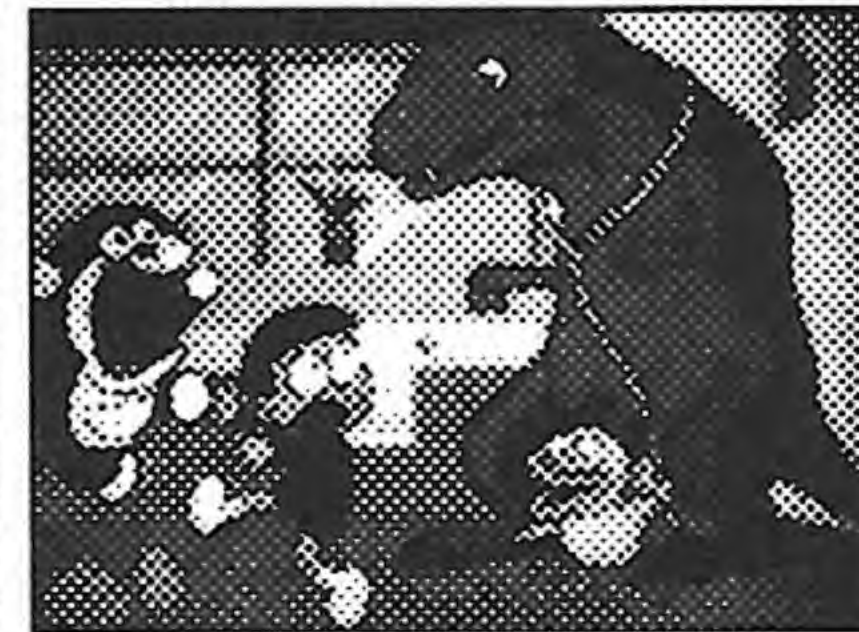
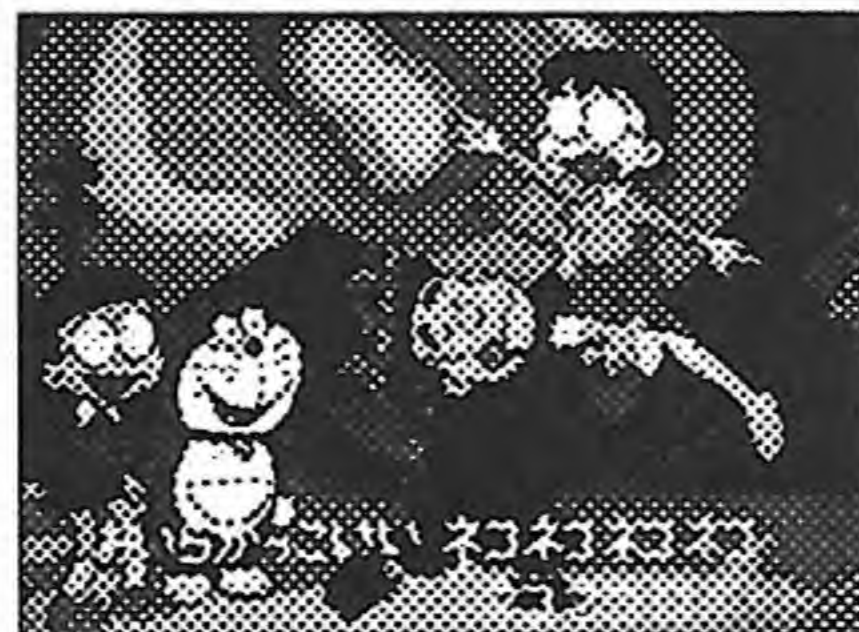
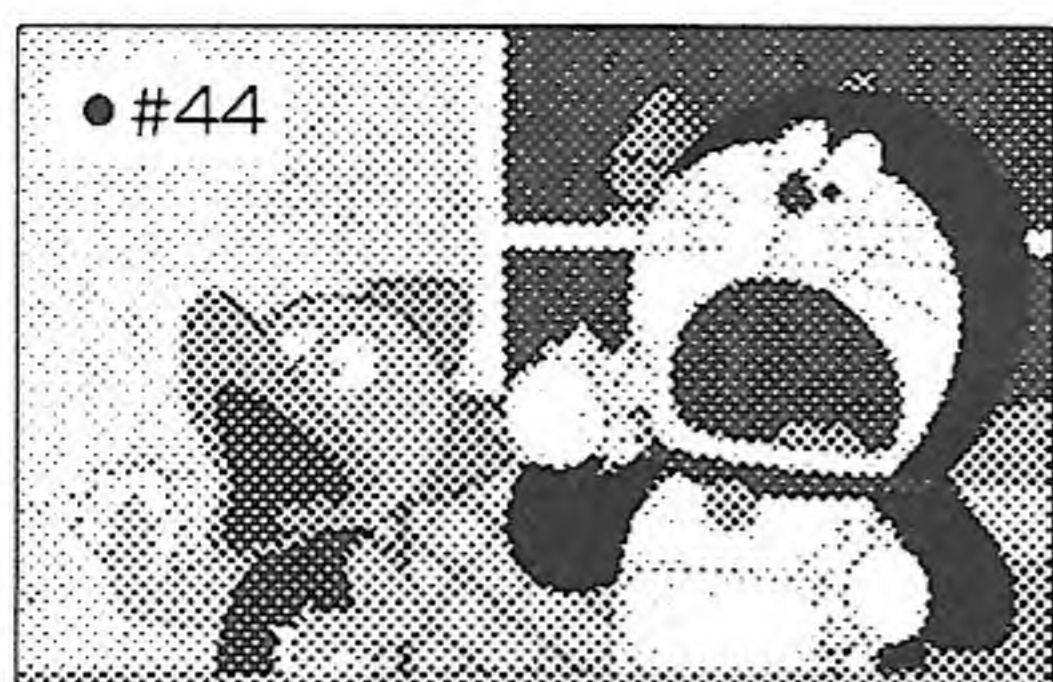
◉草むしりを手伝わされるのび太とドラえもん。ドラえもんが影とりバサミで影を切り取ると、影はまるで人間同様に動き始め、のび太たちの代理で草むしりをする。
サボり、プールで泳ぎに行くのび太たち。ところが、影も本人に似てなまけ者。町へ飛び出し、クロンボ大会で優勝してしまった。ドラえもんとのび太は大慌てで、影を追う。
- 準備タイトルは「なまくらはコリゴリだ」。

#35「潜水艦で海へ行うの巻」

◉伸縮自在、しかも水から水へとジャンプして海へ出る潜水艦に乗り、海水浴場へ行くドラえもんとのび太。車で先に行ったはずのスネ夫たちは道路混雑で立往生。
この潜水艦を奪ったスネ夫たち。海の沖でエンスト。ドラえもんが助ければ、潜水艦のスネ夫たちは野比家へ直行。
- 準備タイトルは「海水浴は潜水艦で」。総作画監督を配置しなかった為、各話毎に個性ある絵柄が楽しめるが、本作はとりわけポップな絵柄。誌上再録をお楽しみください。

#36「くるった腹時計の巻」

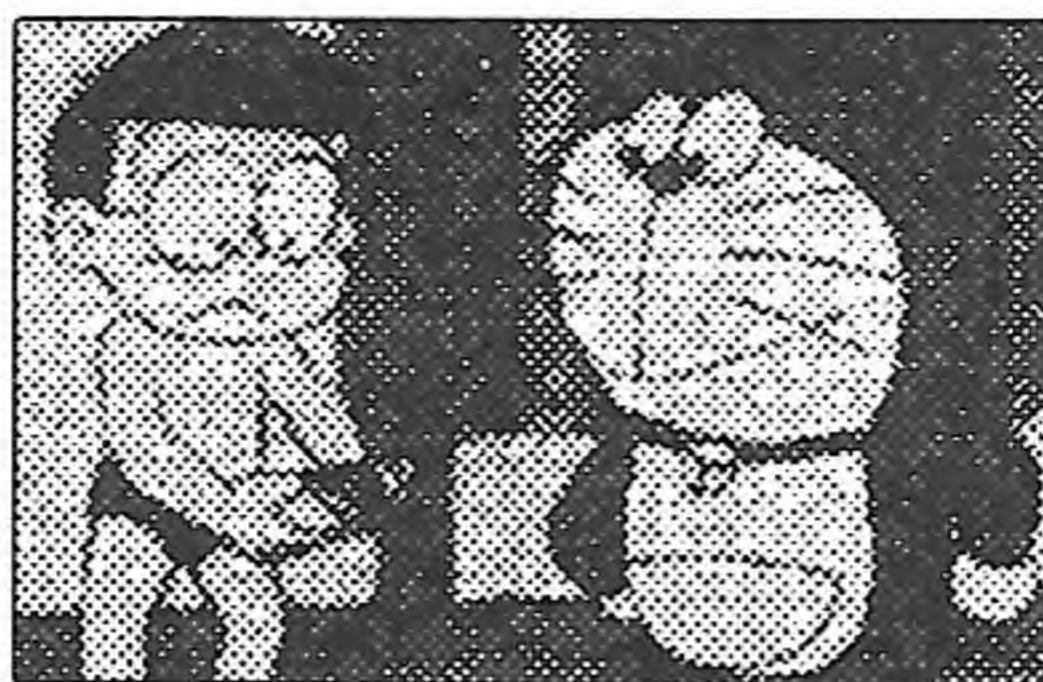
◉早起きが苦手ののび太。ラジオ体操が苦痛で仕方がない。ドラえもんがマジック時計を取り出し、時計の針を遅らせば、時間も逆もどり。とこ

●はみだしストーリー●#49「宇宙飛行士になりたいの巻」将来の職業の夢を聞かれて、宇宙飛行士と答え、笑われるのび太。じゃあ、イメージ訓練をしようよ、と、ドラえもんはそうなる錠を取り出します。危険な宇宙飛行士の任務にのび太は耐えれるか？　イメージ空間の中の宇宙でのび太の宇宙探検が始まりました。（mvunit氏HPから引用）

●はみだしストーリー●#51『ネンドロン大騒動の巻』どんなものでもネンドみたいにぐにゃぐにゃになってしまう光線を放つネンドロン銃をスネ夫に奪われてしまう。この銃を巡って、ジャイアンも混じっての争奪戦が始まった。争ってる最中に銃が暴発。みんな光線をあびてしまい、全員グニャグニャになってしまいました。（mvunit氏HPから抜粋・引用）

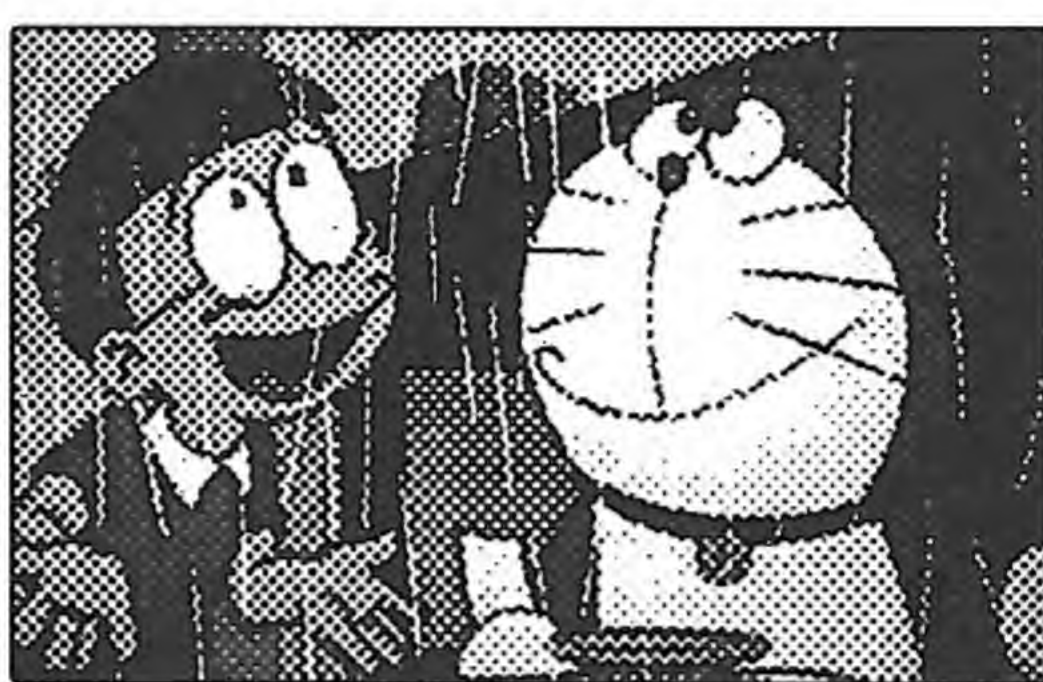
#46『花いっぱい騒動の巻』
#47『そっくりクレヨンの巻』
#48『静香の誕生日の巻』
#49『宇宙飛行士になりたいの巻』
#50『まいごマゴマゴ大騒動の巻』
#51『ネンドロン大騒動の巻』

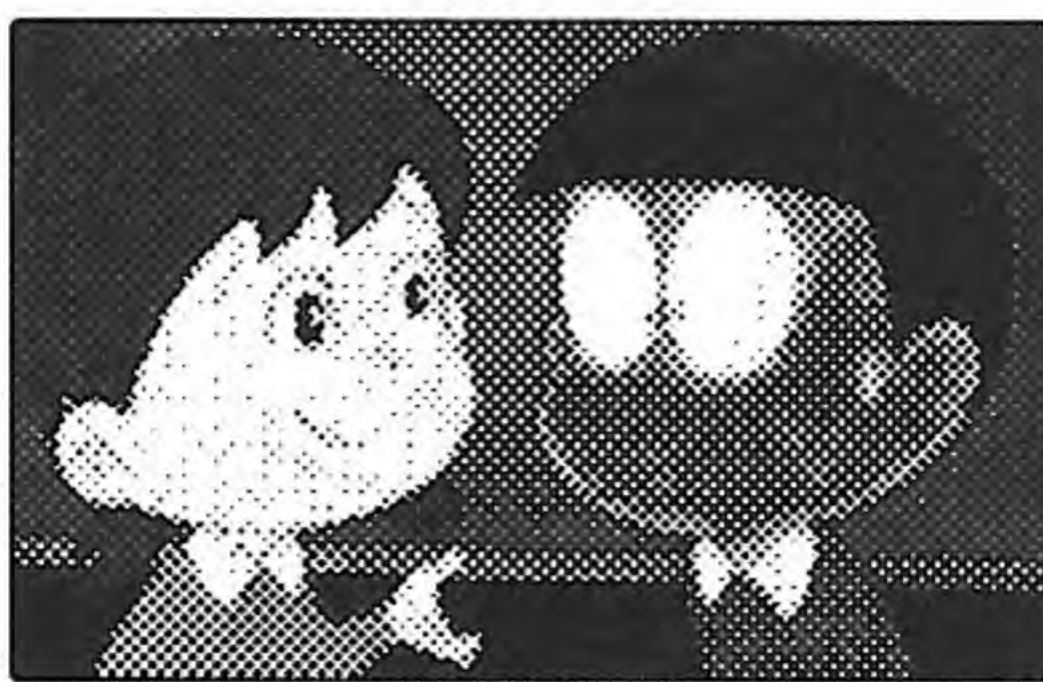
#52『さようならドラえもんの巻』

●ドラえもんとガチャ子は未来に戻らなくてはならなくなり、のび太にどうやって話を切り出すか悩んでいました。最初は、故障したふりをして帰ろうとしていましたが、正直に、空き地でみんなにお別れの報告をします。のび太はドラえもんがいなくなっても立派にやっていけるという事を見せる為にと、ドラえもんが未来に帰る日までに、今まで乗れなかった自転車を自分一人の力で乗って見せると約束します。…が、結局、約束は果たせぬまま、ドラえもんとガチャ子は未来に帰ってしまいました。でも、のび太は練習をやめません。…そして、ついに自転車に乗ったのび太！　のび太は夕日の土手を走りながら空にむかって叫びます。「ドラえも～ん！　ぼく、自転車に乗れるようになったんだよ～！」未来からその様子をタイムテレビで見て、ドラえもんは大粒の涙を流す…。(mvunit氏ＨＰから抜粋・引用)

どうか戦々恐々とするのび太。

●準備タイトルは「イツデモ日記」。

#41『宿題おばけが出たの巻』

◉夏休みの宿題を怠るのび太。なんとかやらせようとドラえもんの作戦が展開。一日で宿題を片付けてしまおうとしたが、出来上ったのは不良品ばかり。
●準備タイトルは「宿題オバケ」。

#42『お天気ボックスの巻』

◉雷鳴をともなう夕立の後の爽やかな虹を掴まえてやろうと、ドラえもんの作戦が展開。
●原作とは違い、のび太が静香の部屋に虹を贈ってプロポーズするお話。しかし、お天気ボックスの誤操作で部屋の中は猛吹雪になり静香宅を追いだされてしまう。

#43『ぼくに清き一票を！の巻』
#44『まんが家修業の巻』
#45『すてきなガールフレンドの巻』

ろが、時計がこわれてしまい、一日中昼間で時間が止まってしまった。ドラえもんは不眠症になり、眠っている子どもたちを起してどんちゃん騒ぎ。
●準備タイトルは「夜中がお昼で眠れない」。ポケットの中に格納されている［腹時計］が壊れて不眠症になってしまった場面の音声がネットオークションで高額に取引された本作。いっけんオリジナルのような印象を受けるが「ゆめふうりん」を大幅にアレンジしたエピソードであることが残存映像で確認できた。

#37『キャンプ騒動の巻』

◉夏山へキャンプに行くのび太のクラス一同。ドラえもんも紛れ込んで、昆虫や植物を相手に戯れる。
●真佐美ジュン氏が所有しているセル画に、原作「どこでも蛇口」を参照して起されたと思われる絵が存在。本作に関連するものと推測する。尚、ここから先の作品は［中間報告書］提出以降に制作されたため、一部シノプシス記録が不在となる。

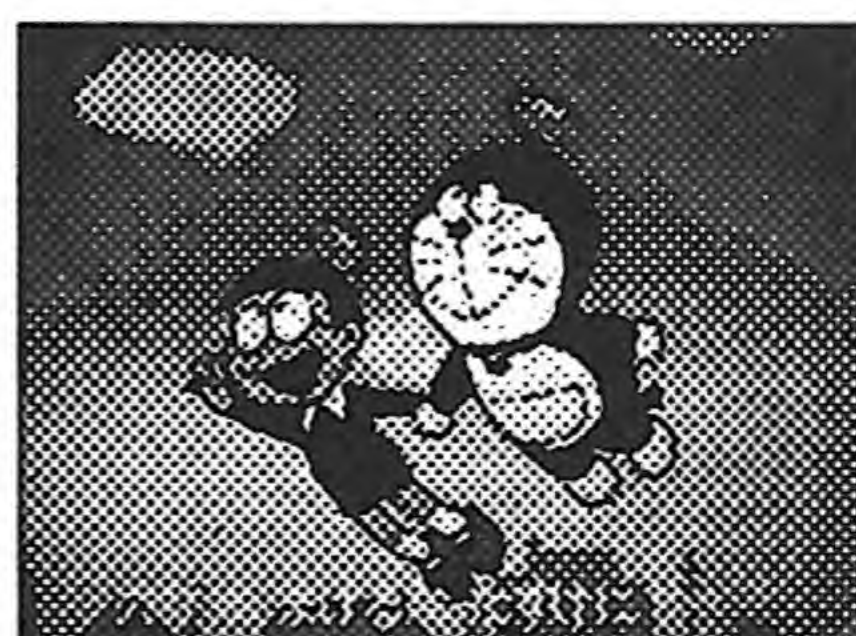
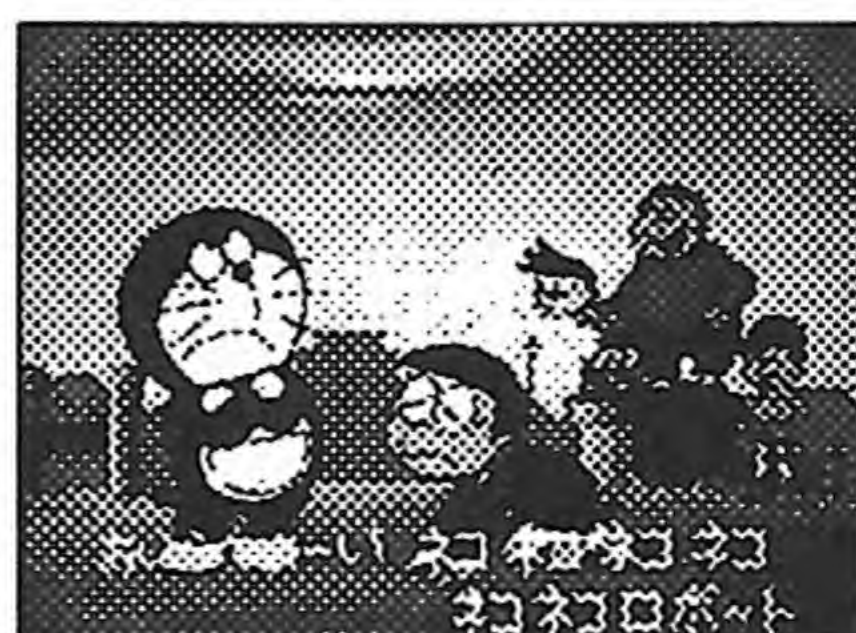
#38『忘れな草って何だっけの巻』

◉匂いを嗅いだとたんに物事を忘れさせる忘れな草が町中に転々とし、大騒動。
●準備タイトルは「忘れな草」。

#39『クーラーパラソルの巻』

◉夏なのに冬のように涼しい気分が味わえるクーラーパラソルさして、冬の服装で町を歩くのび太。負けてはいられないとスネ夫やジャイアンたちとの意地の張り合いが我慢大会へエスカレート。

#40『いつでも日記の巻』

◉夏休みの日記をつけるのが苦痛なのび太。ドラえもんのイタズラで8月31日までの日記ができてしまった。本当に日記のとおりに事件が起るか

初代・のび太の声

太田淑子さんインタビュー

―大山ドラでは「セワシ」の声を演じ、「ジャングル大帝」『リボンの騎士』『ひみつのアッコちゃん』『ヤッターマン』など多数の作品で主役の声を演じられてきた太田さんに日テレ版のび太当時のお話を伺った。

おおたよしこ●本名：阪 淑子（さか よしこ）4月25日・兵庫県出身。宝塚歌劇団（在団中の芸名は若樹 美乃里・わかぎ みのり）出身。NHK大阪放送劇団を経て、テアトル・エコー所属。

―声優になられるまでの経緯―

◉**（太田淑子さん）** 小さい頃、バレエや声楽のレッスンに通っていて、最初は宝塚歌劇団にあこがれて入りました。でも、背が低かったせいか、子供みたいな役が多かったんです。そのうち、芝居が一番好きだとわかって、芝居のできるところを探したのですが、関西では私のやりたいと思う芝居のできる所があまりありませんでした。

そのうち、NHKで「宝塚パレード」という宝塚歌劇団ユニットの番組に何度か出演して放送の面白さに目覚めて、TVにも出演できて芝居もできるNHK大阪放送劇団に入りました。東京の5期の黒柳徹子さんより一年くらい後だったのですが、いつも黒柳さんや里見京子さんをめざすように言われました。

その後、夫（声優の阪脩さん）と出会って、夫が東京で仕事をしたいということで、最初別々にやっていたのですが、一年くらいで私も上京しました。その後、ある人にあなたみたいな面白い人はテアトル・エコーがいいよと納谷悟朗さんを紹介していただき、入団しました。納谷さんには最近まで「おまえは俺が入れた」と言われてました（笑）。

―声優さんになられたきっかけは―

◉テアトル・エコーに入ったのがきっかけです。舞台の役者はアルバイトをしている方も大勢いらっしゃいます。テアトル・エコーは、芝居を上演する劇団ですが、新劇と呼ばれるジャンルの芝居は、一部の劇団を以外舞台だけではたべられませんしね。私はエコーのマネジメントで声優のお仕事をいただけてとてもラッキーでした。

―「新オバQ」の正太役に

◉堀絢子さんががんばっていました。堀さんとは、仲良く・判りあってやることができました。レギュラーが終わってからもそうです。オバQの声は、曽我さんの独特の声が有名でしたが、堀さんのQちゃんはテンポと軽さそして可愛さがあって、演技力がありました。そこが人気を集めたのではないでしょうか。

ストーリーも、とにかく面白かった印象がありますし、作品もヒットして人気アニメになって、楽しかったです。「オバQ」の正ちゃん役と言うと誰も知らない人はいないほどでした。

―正太の演技について―

◉オーディションはありませんでしたが、元気な男の子というイメージはありました。初めのうちは先代（白黒作品）の田上和枝さんの演技も意識したのですが、田上さんと私とでは持っているものが違うので、そのうちあまり気にせず、演るようになりました。どの作品でも絵を見て演じているうちに自分のものになります。「鉄腕アトム」のアトム役の清水マリさんが産休で代役が立ったときは、問い合わせが殺到したそう

写真提供：
テアトル・エコー
劇団21世紀FOX

右上　'04　テアトル・エコー「半変化東恋道中」
太田淑子　（撮影・石川純）

右下　'05　テアトル・エコー　SIDE B
「マグノリアの花たち」
左より　太田淑子、石津彩（撮影・石川純）

左上　'05　テアトル・エコー
「暗くなったら帰っておいでーイディの一生ー」
左より　太田淑子、田中英樹（撮影・石川純）

左下　'04　劇団21世紀FOX
「森乃女学院千一夜物語～青い時代の娘たち～」
作／ＥＭＩ演出／肝付兼太　太田淑子（写真左）

ですが、基本的に子供番組はその番組が面白ければちゃんと子供がついてきてくれますね。また、絵を見ないでラジオドラマのようにやるフォノシートの録音の仕事はやりにくかったです。「ヤッターマン」のフォノシートも「ヤッター！ヤッター！」といっているだけなのに、絵がないと難しかったです。やはり絵の力は大きいです。

田上和枝さんは、後に新宿の東映の録音スタジオの近くに喫茶店経営をされて、そこのコーヒーとサンドイッチはおいしかったです。娘さんのかないみかさんも売れっ子声優ですね。

「新オバQ」ではO（オー）ちゃんの役の交代がありましたが、高坂真琴さんとも桂玲子さんとも、とても仲良しです。桂さんとは「ヤッターマン」の時もオモッチャマの声の役で一緒でした。

—日本テレビ版『ドラえもん』

◉その頃は、男の子の声を演る人はあまりいなかったのかもしれませんね。のび太役のオーディションは、ありませんでした。

普通の家庭にQちゃんやドラえもんがいるというところは似ていると、ちらっと思いましたが、「新オバQ」の正太は特に意識しませんでした。絵が助けてくれて、演じ分けには苦労しなかったと思います。

二代目・バカボンのパパも演じた富田耕生さんのドラえもんは、とても面白かった。野沢雅子さんのドラえもんはチャッチャカ動く感じでした。野沢さんは、とても勘のいい人でした。線録りでも、タイミングがちゃんと判るのです。私がタイミングが判らなくて困っていたら、手は台本を持っているので、隣から足で合図してくれたり、本当にすごい人、天才です。

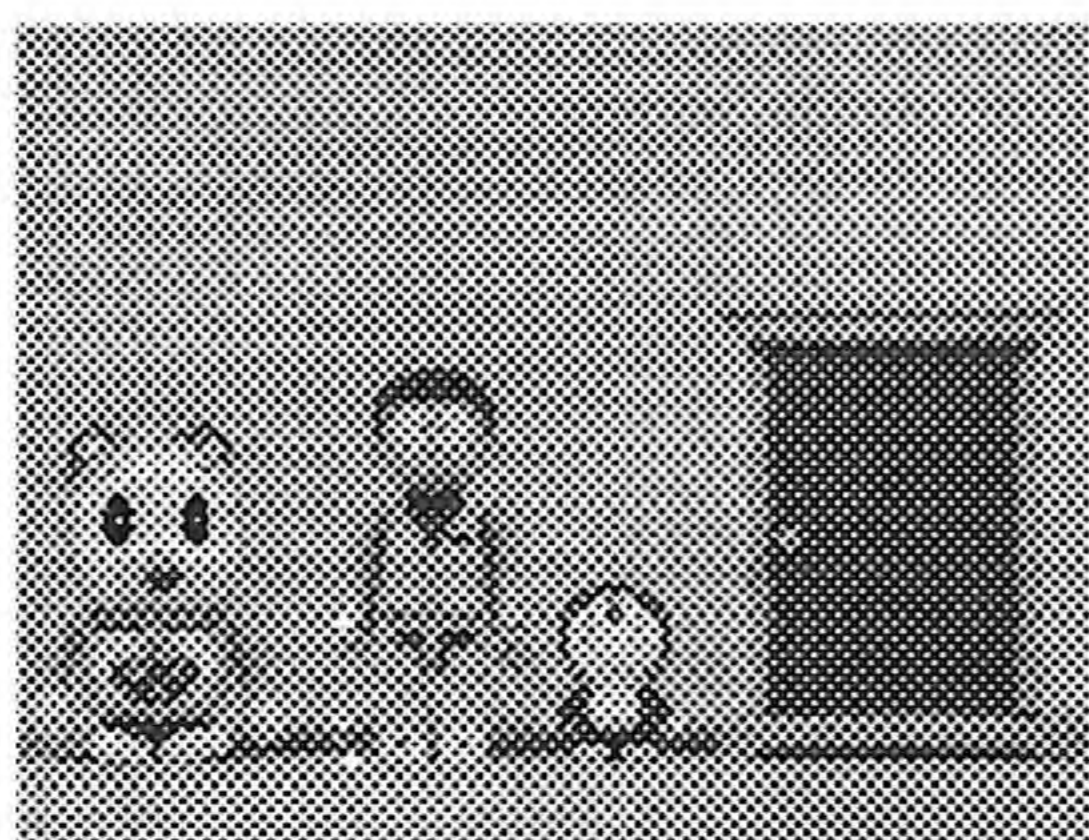
この作品は、現場にも突然終わった印象があったので、大山のぶ代さんの「ドラえもん」が始まったとき、すごいヒットしていると聞いて、再放送が視聴率を取っているんだと思って、また続編を録りはじめるかもしれない、と思っていました（笑）。

のび太のお母さんの声役だった小原乃梨子さんがいつかのパーティの席で「母からのび太になっちゃいました」って言っていましたね。

—テレビ朝日版「ドラえもん」

◉セワシくんの初登場の回は何となく、覚えています。セワシ役は一年に一度くらいなので、いつもセワシってどんなだったかしらとドキドキでした。

藤子先生には、パーティかなにかでお会いしたことはあるかもしれませんが、お忙しい方ですし、録音スタジオでお目にかかったことはないと思います。

大山のぶ代さんは、ドラえもんをやるために生まれてきたような人です。私、いつも大山さんに言ってましたが、本当にドラえもんにぴったりの人でした。大山さんは、賢さと、おっとりした感じと、ふわっとした感じが同居していて本当にドラえもんにぴったりだったと思います。あんなにドラえもんがヒットしたのも大山さんの声や演

メディコムトイ
「KUBRICK ドラえもん SET C」

—東映実写「忍者ハットリくん」にもご出演されているはずですが—

◉あまりよく覚えてないのですが、東映の近所のレストランへはよく行った覚えているのですが（笑）。

—ジャイ子の声を演じられたという文献があるのですが—

◉ジャイ子を違った覚えはないです。ジャイ子の役は青木和代さん以外考えられないです。

—ディズニーアニメの吹き替えもされていますね—

◉ディズニーは、片録りするのですが、やはり相手役がいるとやりやすいです。

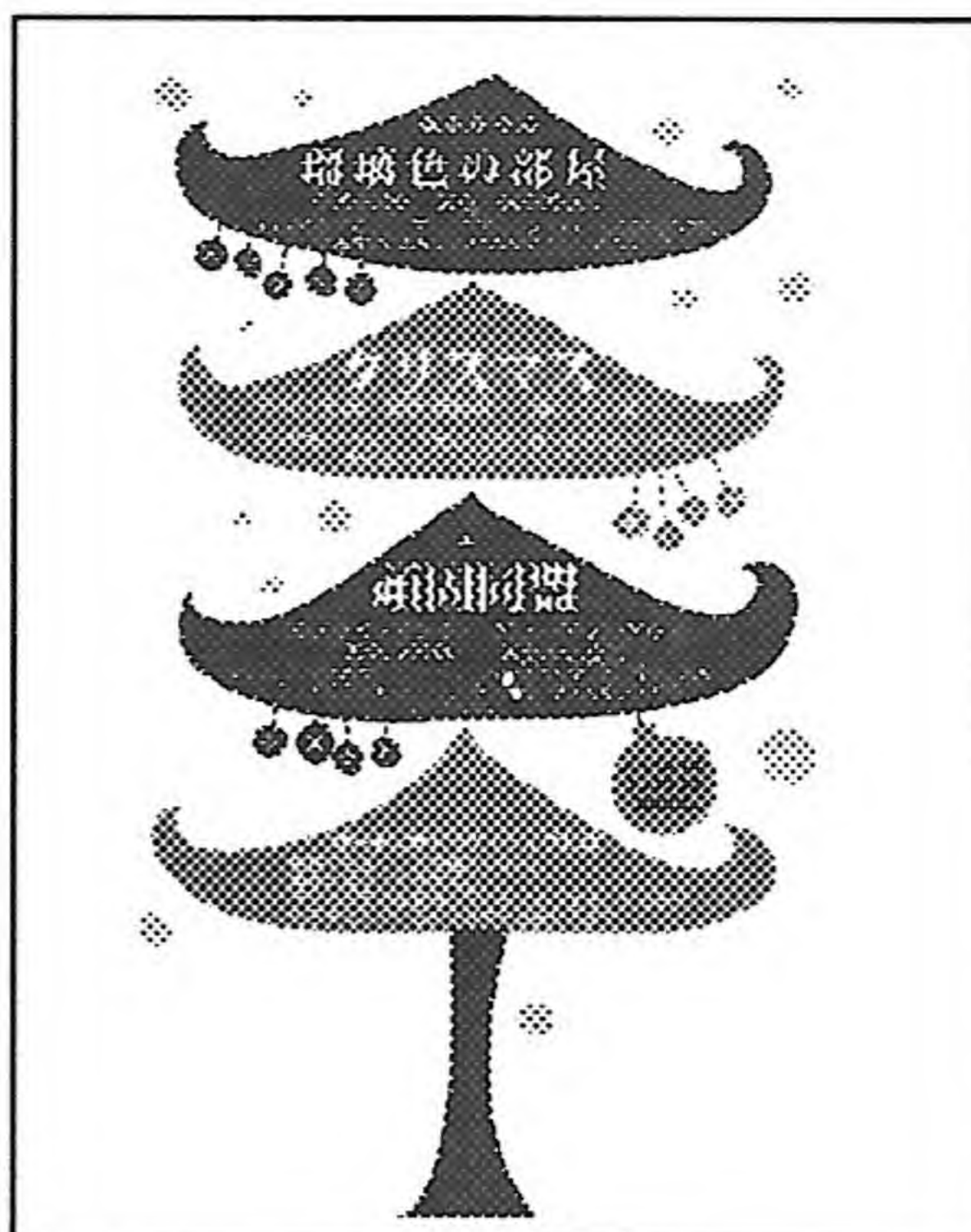
●スタジオ・エコー制作のオーディオドラマが、テアトル・エコーホームページ（http://www.t-echo.co.jp/）でのCDパッケージでの販売のほか、アップル・コンピュータ（http://www.apple.com/jp/）のiTuneStoreでも購入できる。

■テアトル・エコー
オーディオドラマライブリスト
（2002年以降のもののみ）

2002年「ドン・キホーテ」「クリスマスの万引きはお早めに」

2004年「鬱積電車」「赤い酋長の身代金」「鬼平犯科帳〜大川の隠居」

2005年「瑠璃色の部屋」「クリスマス」「頑固同盟」

2006年 「盲目のピアニスト」「河童玉」「花の咲く部屋」

技も貢献していると思います。

大山ドラの最終回は取材も入っていたと思いますが、みなさん、さすがに大人だなという感じでした。楽しく、和気藹々とした収録でした。ご褒美や花や賞状までいただきました。

録音監督の浦上靖夫さん、シンエイ動画の別紙壮一さんをはじめみなさん本当にいい方・素晴らしい方たちで、こういう方々に囲まれてとてもいい環境で仕事ができました。演じている俳優さん達のことをよく考えてくださって、忘年会でも楽しいようにしてくださって。優しくて温かくて本当に仕事をしやすかったです。

―そのほかのお仕事

◎一番印象に残っているのは、やはりなんと言っても「ジャングル大帝」のレオ役です。主役だったというもありますが、カラー放送第一号の上、絵が綺麗できちんとしていて、ディズニーにも負けていないと思いました。山ほどサイン会をしまして、手が腱鞘炎になったくらいです。もちろん「ひみつのアッコちゃん」や「リボンの騎士」のサファイアも大好きですが、「ジャングル大帝」のレオ役は特別です。『ジャングル大帝』『リボンの騎士』はオーディションがありました。『ビッグX』はオーディションはありませんでした。『ジャングル大帝』のオーディションは、『ビッグX』の主人公ということでノミネートされたのかもしれません。手塚治虫先生とは、毎年お正月のマンガ家の絵本の会に呼んでいただいて、そのときによくお話させていただきました。

他に好きなのは「子鹿物語」（'83年）と「杜子春」（'81年）です。「子鹿物語」は名作です。最後に可愛がってきた子鹿を殺さないとならないのがとてもつらかったです。

―最近は舞台も多くやられていますね

◎テアトル・エコーの公演が中心で、去年・一昨年は二本ぐらい出ました。「半変化束恋道中」（テアトル・エコー'04年）「マグノリアの花たち」（'05年）「暗くなったら帰っておいで・イディの一生」（'05年）どれも面白かったです。

'04年には、スネ夫役の肝付兼太さんの劇団の「森乃女学院千一夜物語」に出ました。作家なんだけど、明治時代から生きているというやちよというおばあさんで現代の学生と交流するという話です。明治時代の与謝野晶子や女優の松井須磨子みたいなイメージの人が学生として出たり、そういう時代を私だけが知っていて、でも現代の女学校のそばで小説を書いているという幻想的なお話でとても面白かったです。

―オーディオドラマというのは

◎一〇年くらい前から、オーディオドラマというのを始めました。ラジオドラマは役者としてとても大切なものの一つだるセリフの勉強になります。学ぼうという、最初は勉強会のようなものだったのですが、そのうち舞台で毎年やるようになりました。私は、言い出しっぺなので、気になって関わっていますが、優秀な後輩がいますので、もう安心です。今年の「盲目のピアニスト」の先生は、とても怖い先生でとにかく怒っている役でしたので、どんな怒り方をしたら良いのか考えて難しかったです。鬼瓦先生と弟子に言われるほど怖そうに演じてみました。

レオのような男の子の声は、作っています。あと、やはり声は変わるんです。

―貴重なお話ありがとうございました！

（'06・11・8 テアトル・エコーにて
蝶野・加藤 企画協力●mvunit）

太田淑子さん★フィルモグラフィ

★アイコンの見方　Ⓜ：映画　Ⓣ：テレビ　🅜：映画に女優としてご出演　🆃：テレビに女優としてご出演　◉：太田さんの一言コメント　太字は主役作品・主人公の名前です

※一部、役名などが不詳な部分があります。読者の皆さんからの追補情報をお待ちします（紙数の都合で省いている作品もございます）。

作品名　役名

'57 Ⓜ 雪の女王　カイ

ゲルダ役は岡本茉莉さん。高畑勲・宮崎駿らに決定的影響を与えたともいわれる長編アニメ。

'64 Ⓣ **ビッグX**　**朝雲昭**

◉初めての主役、初めての男の子を演じた作品です。

'65 Ⓣ **ジャングル大帝**　**レオ**

'65 Ⓣ 宇宙パトロールホッパ　ルビー

'66 Ⓜ **ジャングル大帝**　**レオ**

'66 Ⓣ がんばれ！マリンキッド　エルム少年

'67 Ⓣ **リボンの騎士**　**サファイア**

'67 Ⓣ 冒険ガボテン島　イガオ

◉『リボンの騎士』と同時期にTBSでやった番組です。ハンサムなんだけどイジワルという男の子を演って、面白かったです。そのときのキャストはとても仲がよくて遊びに行きました。番組を長くやると、忘年会などがあって家族みたいになります。この番組の演出の方は、今でもよく舞台を見に来てくださいます。

'67 Ⓣ 光速エスパー　チカの声（二代目）

'67 Ⓣ 快獣ブースカ

'67 🆃 忍者ハットリくん+忍者怪獣ジッポウ　第19話　産業スパイの女ボス

'68 Ⓣ サスケ

'68 Ⓣ わんぱく探偵団　ナレーター

'68 Ⓣ いたずら天使（海外ドラマ）　シスター・バートリル

'69 Ⓜ 怪物くん

'69 Ⓣ 空中都市008　大原星夫

◉松島トモ子さん、平井道子さんが出ていました。高垣葵先生が脚本の作品ですね。もっと続けばいいのにと思っていたのですが、意外と早く終わったんですね。これは、よく憶えています。

'69 Ⓜ **ひみつのアッコちゃん**　**加賀美あつ子**

◉とてもよく覚えています。第二シリーズの絵本作家の飛んでるママ役も楽しかったです。第三シリーズでは、ママ役の次はおばあさん役ねって、お話をいただいて。アッコのおばあさんではなかったですが、この役も楽しかったです。

'69 🆃 巨泉・前武のゲバゲバ90分!!　コメディアンとして

'70 Ⓣ のらくろ　メガネ

'70 🆃 あかんぼのタンゴ　芸者役

'71 Ⓜ 若大将対青大将　富士子

◉東宝の映画はずいぶん演りました。青大将を好きで好きで、追っかけ回す、もうそろそろ30歳過ぎてるOLの役。青大将に振られるけれども、チャキチャキした女の子。若大将の彼女役・酒井和歌子ちゃんと鈴鹿にとても長くロケに行って楽しかったです。加藤茶さんとか印象に残っています。

'71 Ⓜ だまされて貰います　真紀

'71 Ⓣ **新オバケのQ太郎**　**大原正太**

'71 Ⓣ 原始少年リュウ　ドン

'72 Ⓜ **パンダ・コパンダ**　**パンちゃん**

'73 Ⓜ パンダの大冒険　ロンロン

'73 Ⓜ パンダ・コパンダ 雨降りサーカスの巻　トラちゃん

'73 Ⓣ エースをねらえ！　音羽京子

'73 Ⓣ **ドラえもん**［日本テレビ版］　**のび太**

'73 Ⓣ **クレクレタコラ**　**タコラ**

◉何でもクレクレって言うへんなタコで、変なお話と思っていました。夫の坂と一緒に演っていました。

'74 Ⓣ **ジムボタン**　**ジム**

'75 Ⓜ せむしの仔馬　イワン

'75 Ⓣ 草原の少女ローラ　ジョン

'75 Ⓣ クムクム　アロン

'76 Ⓣ ラバーン&シャーリー（海外ドラマ）　シャーリー

作品名　役名

'75 Ⓣ **タイムボカン**　**丹平**

'76 Ⓣ 宇宙鉄人キョーダイン　ガブリンクィーン（二代目）

'77 Ⓣ タイムボカンシリーズ・**ヤッターマン**　**ガンちゃん**

◉悪者三人（小原乃梨子・八奈見乗児・たてかべ和也の皆さん）と滝口順平さんが上手くて、おいしいところを全部もって行かれました（笑）。

'77 Ⓣ 冒険ファミリーここは惑星0番地　ナレーション

'77 Ⓣ **一発貫太くん**　**戸馳貫太**

'78 🆃 白い巨塔（第1話）　バー「シロー」のママ

◉この頃はTVドラマにも多数出ています。「熱中時代」では、水谷豊さん演じる熱中先生を困らせる生徒のおかあさん役で、水谷さんも本当にいい人で、楽しい現場でした。

'79 Ⓣ ドラえもん［シンエイ第一作］　セワシ

'79 Ⓣ タイムボカンシリーズ・ゼンダマン　月吉丸 ほか

'79 Ⓣ キリン名曲ロマン劇場「さすらいの少女ネル」　キット

'79 Ⓣ 海底超特急マリン･エクスプレス　サファイア

'81 Ⓜ じゃりン子チエ　マサルの母

'81 Ⓣ じゃりン子チエ　アントニオJr.（二代目）

◉関西弁のネコ役でしたね。これもとても楽しかったです。

'81 Ⓣ 愛の学校クレオ物語　ガロッフィ

'81 Ⓣ うる星やつら　コウモリ

'81 Ⓜ きつねと猟犬　ビクシー

'82 Ⓣ 二死満塁

'83 東京ディズニーランド アトラクション映像　ミート・ザ・ワールド　鶴のお姉さん

◉とても綺麗に録音してもらえて、それを聴いた外国のお子さんに、ぜひ会いたいと言われたことがあります。このアトラクションはもう無くて、最後の公演を見に行った方が行列が出来ていたよ、と言ってくださいました。この他「ブラザー・ベア・カントリー」の熊の美女の声など東京ディズニーランドのお仕事はいっぱいやりました。

'83 Ⓣ 子鹿物語　ジョディ・バクスター

'84 Ⓜ コルドロン　オルエン

'84 Ⓣ 超電子バイオマン　ピーボ

'86 🅜 スタア　女流評論家

'86 スタア（舞台）

'86 Ⓣ 光の伝説　上條ひとみ

'88 Ⓣ ひみつのアッコちゃん［第2作］　アッコのママ

'88 Ⓣ おそ松くん［ぴえろ版］　ジンベーダー

'89 Ⓜ ドラミちゃんミニドラSOS!!!　セワシ

'89 Ⓣ まじかるハット　ミドリ

'89 Ⓣ ミラクルジャイアンツ童夢くん　通天閣虎夫

'89 Ⓣ らんま1／2熱闘編　蝶

'91 Ⓣ ひみつの花園　メドロック

'91 Ⓜ ドラミちゃんアララ少年山賊団！　セワシ

'91 Ⓣ チエちゃん奮戦記じゃりン子チエ　アントニオJr.

'92 Ⓣ クッキングパパ　志乃

'92 Ⓣ ツヨシしっかりしなさい　のぞみの母

'93 Ⓣ ピーターラビットとなかまたち　チュウチュウおくさん

'93 Ⓜ ドラミちゃんハロー恐竜キッズ!!　セワシ

'95 Ⓜ 2112年ドラえもん誕生　セワシ

'97 虹色定期便

'98 Ⓣ ひみつのアッコちゃん［第3作］　老婦人

'98 Ⓣ センチメンタル・ジャーニー　綾崎操

'00 Ⓣ 犬夜叉　裏陶

◉お化けのおばあさん役で二、三回出ました。レギュラーのおばあさん（楓）が京田尚子さんで、似てしまったり上手くできなかったらどうしようと思いました。でも、絵に助けられてなんとか演じました。放送されたら、すぐ「見たよ」って言われて嬉しかったです。

「ドラえもん」製作主任

真佐美ジュンさんインタビュー

—手塚治虫先生率いる虫プロダクション・手塚プロダクションで数々のアニメ製作の実践を重ねた経験から、日本テレビ動画に「ドラえもん」製作主任として抜擢された真佐美ジュンさん。現在は、誤解だけが伝承されるNTV版「ドラえもん」の真実の伝道者として精力的に活動を行われていらっしゃいます。

「ドラえもん」が生まれるまで

—(おおはた)「ドラえもん」の企画を進めたのはどなたでしょうか

◉(真佐美)正式な回答をするとなると「判りません」としか言えません。実際に企画を進めていたのは渡辺清社長とプロデューサーの佐々木一雄さんの二人だったのではないか、と思いますが(ドラの準備中に放映されていた)「モンシェリCoCo('72)」でもポストに就いていたわけですから、「ドラえもん」の準備にも動いていたかは、私には判りません。

—真佐美さんはどの時期から参加されたのでしょうか。

◉私にちょっとやってくれないか、みたいに引き合いが来たのは、前年('72)の11月ですね。第1話のスケジュール表を見て分かるとおり、12月中には作業に入っていました。私の持っているスタッフでやらせていただくのだったら、と引き受けたところ、新潟の日本テレビ動画の作画班・仕上げ班も手空きにしないように必ず使ってくれ、と言うので、二本に一本は新潟のスタジオの方で制作していたと思います。

新潟のスタジオは一つの外注先としてみていましたので、一話単位で丸々作ってもらっていました。ただ、作画の方を統一しなくてはならないので、作画監督をしっかり立て、仕上げの方にも監督を立てるようにしました。

—お話ごとに作画がバラエティに富んでいると思いました

◉(番組全体の画の監修を担う)総作画監督を置くようになったのは(アニメ界全体を通じて)「ドラえもん」の直後からです。作画監督さんが各話で違いましたし。当時の考え方としては一話単位でまとまっていれば良い、みたいな…。

ただ、本当は口出ししちゃいけないのですけど、たとえ仕上がっていても、あまりにもひどいのは、こちらでもリテイクを出しました。私の責任で「ドラえもん」という作品で、ある一定のライン以下の物は出したくなかったので。だから(リテイク前の)フィルムが残っているわけです。

—レギュラーキャラの設定はどなたが描かれたのでしょう

◉はっきりとは憶えていません。'73年の1月頃、チーフディレクターとして上梨満雄さんに来て貰い、オープニングもすぐ作ってもらったのですが、たとえば、その時にキャラクターを統一しようって事で、上梨さんが(どなたかに)指示してキャラクターデザインや注意書きとかを作ったのではないでしょうか。(シンエイ動画版を彷彿とさせる)しずかちゃんの服がピンクなのは、色数の都合。赤にするとのび太とジャイアンのシャツの色と被っちゃう。今考えると、よく両方とも赤にしたよね。

ガチャ子など後期のキャラクターは、その都度、新たに起こしていました。

—原作に比べると、脇キャラクターの個性が、だいぶん強くなっているような印象を受けました

◉NUの上映会では二本ともスネ夫のママが出てきましたが、たまたまあの二本に集中して、強烈なものだったので、失敗だったね。ジャイアンのお父さんは原作には(あまり)出てこないので、こっちで作ったのかな? 設定を作り込んだ肝心の人たちがはっきり特定できないので(企画意図を)はっきりさせられないよね。

―一話限りのゲストキャラなどは、その回の担当の人がやっていたのでしょうか

◉それも、はっきり憶えていないです。上手い人に描かせていたと思うのですが、スタッフに聞いても、その辺、憶えている人が一人もいなかったですね。

―それまでに放送されてきた藤子アニメから受けた影響はあるのでしょうか

◉ないですね。私は新作（71）も旧作（65）も「オバQ」は観ていません。虫プロの人には、変なプライドがあって、他社より良い物を作ろうとして、作品を見る目が違うのですね。絵がちゃんとバランスが取れているか・作画ミスが無いか・ちゃんと編集は出来ているかとか、ストーリーで観るのではなくて、質で観ているから。「ふしぎなメルモ（71）」から、それをひきずったまま「モンシェリ」や「ドラえもん」を始めたものだから、謙虚さみたいな物はなかったですね。今考えると失礼な話ですよね、藤子先生に対しては。

今だからこそ、東京ムービーが藤子作品を作ってきた流れを知っていますが（当時は）外からきた我々が、ポンと「ドラえもん」に入っちゃった、という感じです。「ドラえもん」は私たちが製作する新たな作品として受け取って、それをいい作品にする努力はするけど、ヒットさせるために前の作品を調べると言うところまでは頭が回っていなかったですね。今だったら、それをやるでしょうね。「オバケのQ太郎」って、かなりヒットしてましたよね。うちの子も観ていましたよ。でも、こっちとしては観ていなかったので。

―それまでの藤子アニメの主演声優は、みな女性ですが、「ドラ」では富田耕生さんが担当していますす

◉最初は藤子先生の原作でも、ドラえもんってご友達じゃなかったと思うのですよ。何でもやって貰える世話焼き係で、のび太より年上なんです。富田さんの声しか思い浮かばなかったと思うのです。

でもアニメをやっているうちに、藤子先生の原作では、どんどんドラえもんはのび太の友達として描かれていきますよね。それで「ねがい星流れ星の巻（第10回・#20）」でも、しずかちゃんが「のび太さんは、兄弟みたいなドラえもんがいていいわネ」みたいなセリフを出してみたりしました。その辺からテレビ局も、声を変えた方がいいんじゃない、って言ってきたのだと思います。最近知ったのですが、ジョーさん（上梨チーフディレクター）は、やっぱり富田さんの声でそのまま続けた方が良いって言っていたみたいですね。

―声が変わってから、キャラのイメージも作風もかなり変わっていた感じが特徴的でした。中間報告書でも書かれていましたが、後半はドタバタ色が強いと感じました―

◉まあ、そのきっかけで多分、ジョーさんはドタバタ路線で行こうとしたんだろうね。逆に私はやっぱり落ち着いた人情物が好きです。ジャイアンは、あくまでもいい子だし。笑わせて、ホロッとさせて、また笑わす、みたいな、ね。伏線の張り方だとか、その辺は手塚先生の教えでしたから。虫プロ時代から結構、講習を受けてますからね。

―真佐美さんが参加された頃には、何話分かの脚本は出来ていたわけですね

◉12月の段階かどうかははっきりしませんが、日本作家協会の四名に個々に頼んで、すぐ書き始めていただいています。

藤本先生は、私には内容について細かいことを言わなかった方だった気がします。極端に言えば、喫茶店で「どう、順調？」「順調です」って、軽い世間話しかしていなかった気がします。先生に（原作の色原稿にならって）のび太の上（シャツ）は赤、下（ズボン）は青にすると、ドラえもんの配色とも合っていて、外注さんが喜ぶのですよ、とか、そう言うくだらない話しかしなかったですね。

―一方、文芸の徳丸正夫さんが藤子先生の校閲を受けていたはずなので、こういうストーリーを、と言うご注文を伺っていたと思います。ライターからシナリオが上がってくると、読んでおいて下さいってお預けして（ゴーサインを）貰って、初めて絵コンテにするのです。徳さんとどういう話があったかは、ご本人でないと分からないですね。徳さんは、まだ現役ですよ。

―演出の腰繁男さんのお名前は、現在放映中の「リニューアル版・ドラえもん」でもお見かけします

◉そうですね。でも、旧作の「ドラえもん」でどこが苦労したかって訊いても、麻雀やパチンコなどの遊び以外は、泊まり多かったよね、ってくらいしか憶えていませんでした。

確かに泊まりは多かったけれど、他のアニメと比べて、ある程度スケジュール通りに行ったし、すごく楽だったですよ。統括の現場に居たのは演出と進行の数名で、あとはほとんど外注さんだったので、常に予算がかけやすく、スケジュールも取りやすかったです。

外注システムでも、一本・一本に責任ある人間がいないと示しがつかないので、一話につき、進行さんを一人、演出はジョーさんを中心に三人付けて、演出助手を二人で回していました。

進行さんに作らせたスケジュール表を、私がチェックして、上手くローテーションしていました。予想に反してスケジュール通り上手く回ってしまうものだから、私の立場がなくなって、あまり心配しないで済んだ、と言うわけです。プロデューサーの佐々木一雄君はテレビ局とかスポンサー関係に忙しかったですし、私は私で、社長と次の企画作りもやっていましたし。内容面はジョーさんに任せないと失礼なので、（後期の演出・作風には）もう口出ししませんでした。

灰になった「ドラえもん」

―「最後の日」は、非常に衝撃的です

◉8月20日くらいに、佐々木君から、渡辺社長が逃げた、いや「消えた」って言ったのかな。降りた・辞めた…結局、そう言うことですよね。それで、今後どうするかという話になって、新潟の稲庭左武郎氏というお方が代行するので、今後の心配はないと言っているって話だったので、今後も大丈夫だろう・続くだろうって言うことで、引き続き製作を続けていました。しかし、最終回を外注さんに出すまではそんな騒動にはならなかったのですが、9月初旬にテレビ局のプロデューサーが、日本テレビ動画は解散するって噂があると、私と佐々木に言うのです。それで、外注さんが非常に騒がしいと言うので、そんなはずは無いっていた佐々木が調べたら、経理の人が知っていたみたいで、どうも本当の話だって。

稲庭氏がアニメづくりに興味のある人だったらずっといたんだろうけど、地元に貢献しようとして日本テレビ動画を運営したみたいで、お金を出していただけの方だったみたいですね。あまりにも赤字がひどかっ

●真佐美ジュンさんプロフィール●'65年に虫プロダクション入社。「W3」を手がけたあと、社長室配属。「リボンの騎士」「どろろ」などの製作に携わる。'71年手塚プロに入社、映画部へ配属。「ふしぎなメルモ」で手塚氏の演出助手を務める。'72年手塚プロ退社後、スタジオＴＡＫＥでの「モンシェリＣｏＣｏ」の製作を経て、日本テレビ動画へ入社し、下崎闊の名前で「ドラえもん」の製作主任を担当。

● 真佐美さんご提供のスケジュール表。1月下旬～2月上旬に作画、録音はオンエアの一ヶ月程前だった。

たので、やっと落ち着いて収入も入ったし、この辺でやめようかみたいな感じだったと思うのです。

―今考えると、もったいない気もします。続けたら、もっとヒットしていたかもしれませんし

◉そうですね。そのシリーズがずっと続けば、前のカットを使えるように保管しておくわけ。バンクシステムですね。私たちはライブラリって言っていたけど、資料をきちんと整理して、前の絵コンテを見てこのカットは使えるから出しておいてくれって。そこからもう一度彩色しなければならない物は彩色するし、背景がいる物は背景を出すけど、作画は助かるわけですね。そうなると保管しておきますけど、もう「ドラえもん」を作る可能性は無い訳で。

外注さんに現金を払わなくてはならないので、棚から何からの備品、動画机など売れる物は全部売りました。残った帳簿だとか、絵コンテ、脚本、カット表、カット袋に入っている原画、背景、全部ゴミですね。26回分、ものすごい量ですよ。ライトバンに入りきらないくらいありましたからね。私の地元で投棄物が一年中燃やされている場所を知っていたので、そこで燃やしました。ゴミを出すには、何十万円もかかったので。

―ドラえもんに限らず、藤子アニメは新作が出来ると旧作が露出しなくなる傾向があるようですが―

◉これも、多分私に責任があると思うのです。(シンエイ動画には)歩いても行ける田無市(現・西東京市)のアパートに住んでいたのですが、私は自分では皆さんは分かってくださっていると思っていたけど、行方不明者になりつつあって、連絡が頂けなかったんじゃないかな、と善意に解釈しています。虫プロの進行として同期入社したロクさんや神ちゃん(神田武幸氏=横山裕一朗名義でシンエイ版の演出に参加。'96年没)とか、知り合いが結構、初期のシンエイ版「ドラえもん」に関係しているのです。どこへ行くにも一緒で、旅行にも行っていた仲でしたから、私の所在を知っていれば彼らが連絡をくれた筈なのですよね。何か参考になることを教えてくれ、とかね。

短いやつ(帯番組のドラ)を観たら、作りは結構よかったし、声優さんもすごい素敵で、ぴったりだと感じちゃったのでね。こっちとしても文句の付けようがないな、と思って。当時、自動車の修理の仕事をやっていたのですが、その時に顔を出していれば、もうちょっと日本テレビ動画の「ドラえもん」の扱われ方も違っていたんじゃないかと思いますね。

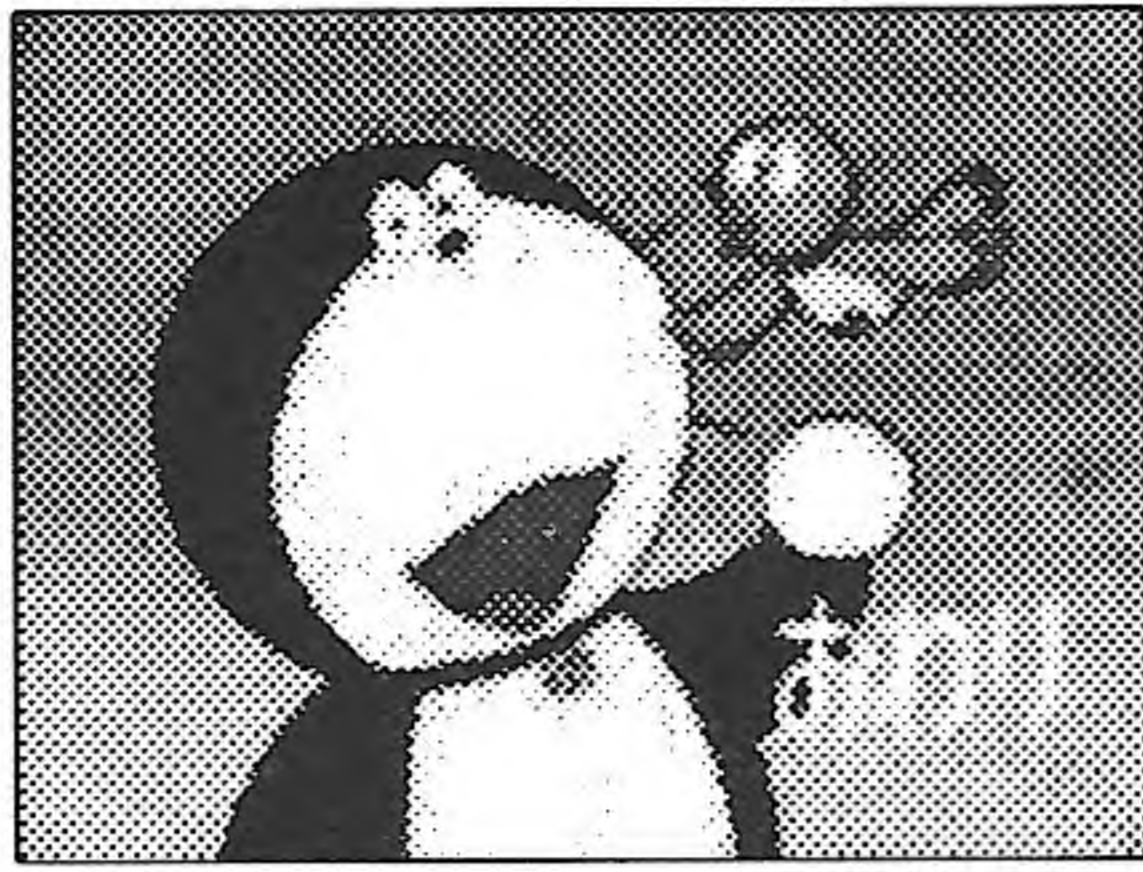
―シンエイ動画の作品にも、何らかの影響があったかも知れないですね―

◉そうですね。神ちゃんあたりと連絡が取れていれば、キャラクター集やセルも、役に立つんだったら、と見せていたかも知れない。その当時だったら、まだ日数が経っていないから、持っているフィルムも見せてたかもしれないですね。

誤解の連鎖を断ち斬る出会い

―第1話の絵コンテ担当が大貫信夫さんと伝えられていますが

◉大貫さんが本当にやられたかどうかと言うのもはっきりしない。その後、私も会っていませんし、ジョーさんも使うわけがないって言う。大貫さんの名前は「モンシェリCoCo」の方の資料に入っていたから、ご担当いただいていたとしても、かなり初期の話だと思います。

日本テレビ版ドラえもん

バタン。車のドアを閉める音が五十嵐ビルにこだました。
助手席に乗り込んで来た木沢富士夫は少し顔が赤らんで見えた。これからする事に少し怒っているようだった。
今見たドラえもんの最終回も何の感情も無かった。いつもなら最終回を無事に終え、打ち上げパーティーをして疲れを吹き飛ばしているのに。

今、車の後の荷物室は一万袋ほどのカット袋と、さまざまな資料がぎっしりと積み込まれている。
「日本テレビ動画は今日で本当になくなってしまうんですねェ」木沢がつぶやくう。
「ビルを今日中に明け渡さねばなら仕方ないよ」私が答える。暫く、沈
車は豊玉を直進し環状7号線から練へと向かう。ただウィンカーの音が折して通称十三間通り新目白通りに

「さあやるか」
木沢を促して、思い切るように炎の中にカット袋を投げ込む。一瞬炎が消えるがやがてカット袋に火が移る。一緒に入っている背景にも火が移る。セルのほうがなかなか燃え移らない。嫌がっているのか、絵の具の厚さのせいか、しばらくすると諦めたように炎を上げた。
ぼんやり燃え上がるのを見ていたが、我に返り、二人はつぎつぎとカット袋を炎のなかに

投げ込む。するとまた炎が消えかかる。
絵コンテやカット表など燃えやすいものを投げ込むと火が着き燃え上がるが、セルを入れると炎が小さくなる。持って来ていた灯油をかける。一瞬のためらいの後パッと辺りが明るくなり、一気に燃え上がる。
…お互いの顔を見ると目の周りがパンダの様に真っ黒だった。「泣いて何かいないぞ。煙が目にしみるせいだ」言い訳した。
涙をこらえて上を見上げる。

●真佐美さんのホームページに掲載されている手記「ドラえもん・最後の日」(抄録)。画像は最終話本編ならびにエンドキャッチ。

杉山卓さんが書いた「テレビアニメ全集2」('78年9月・秋元書房・秋元文庫)が誤った情報の出典なのでしょう。この本を読んで思ったのですが、本当に詳しく書かれている作品もありますが、調査が出来ていないのだろうなと思われる作品は一部のスタッフしか載っておらず、中途半端ですね。そう言う意味では、「ドラえもん」に関しては、私も非常に責任があるのです。エンディングのフィルムを一本余分に届けていただいて、私が最終チェックをしていたので毎回分を持っていたのにもかかわらず、五年くらい前に邪魔になるので、一本を残して全回分処分してしまったのです。

その他、編集の西出栄子さんが、親切で私の方にラッシュプリント持ってきてくれたのです。本来だったら捨ててしまうラッシュプリントの中に、そのカットが残っていたので、NUの上映会では第1話のエンディングをご覧いただきました。この中には、最終回やその他の回の絵も少し残っているので、私のホームページではそこから流用してご紹介しています。

―そう言った断片的な資料は、いくらか残っているのですね

◉そうです。たまたま、おおはたさんのホームページ(以下HP)を見たのがきっかけで、「ドラえもん」が幻(の作品)になっている、と知りました。それまでは、一・二本のフィルムとセル画を何枚か持っていたな、位の思い出だったのですが、実際には、もっと(たくさんのフィルムが)出てきたわけです。

おおはたさんのHPの資料の多さにはびっくりしました、観たという人の記憶ってのは素晴らしいです、ほとんど正確ですものね。制作した立場から言わせて貰うと、嬉しいですよね、非常に。あれだけ正確な事が書かれていると。

今、私のHP閲覧のお申し込みを頂いているのが、ギリギリ「観た」って言う五十歳代の方、三、四十歳代の方が多いかな。女性の方は非常に少ないですね。最近では、興味を持った小・中学生でも申し込んでくる人がいます。今後は、たとえ一人でも観たいって人がいれば、お一人でも結構ですから、フィルムを見せていこうと思っています。

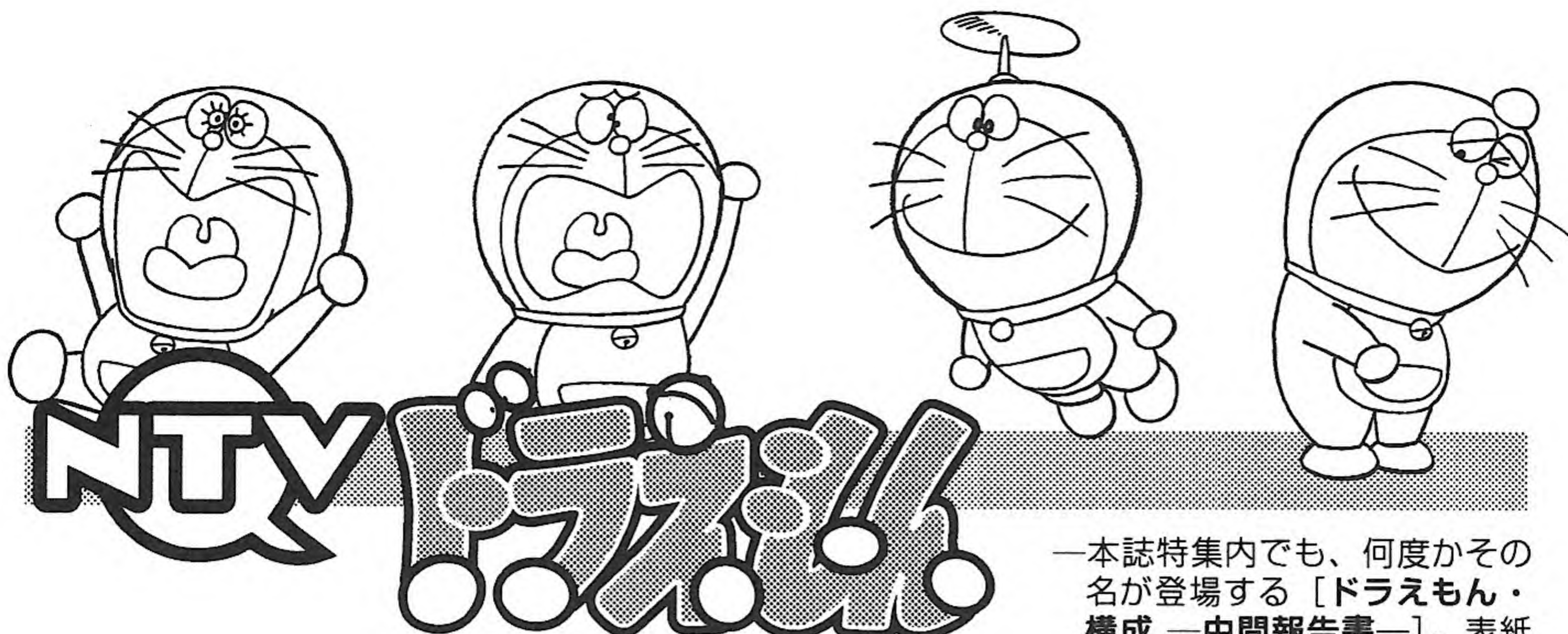
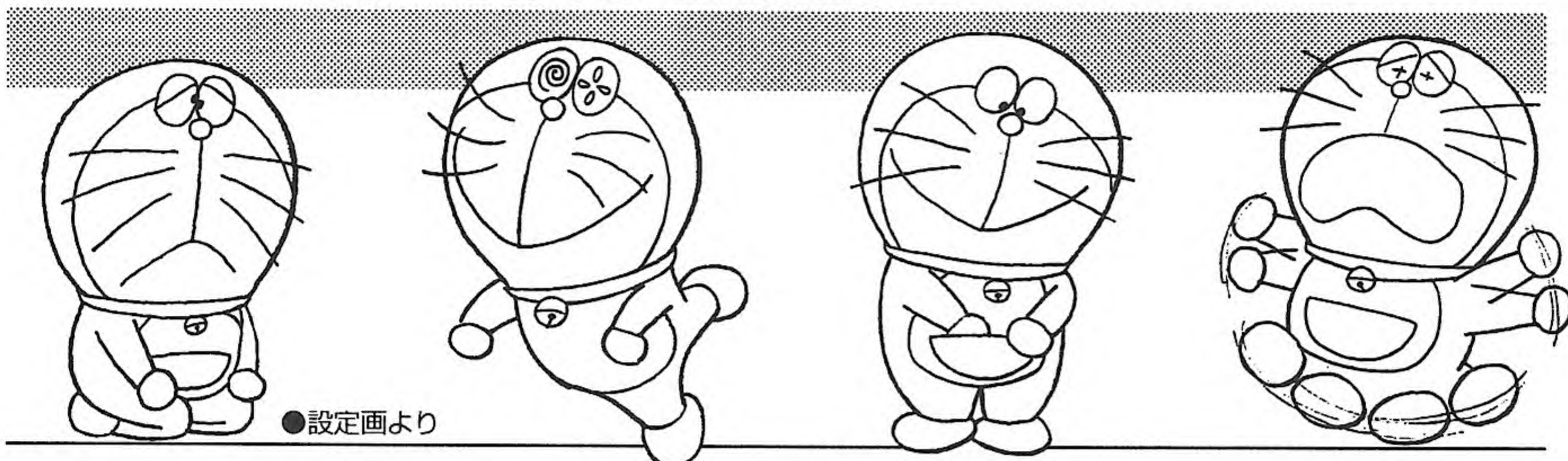
―数年前までは間違った情報が信じられていたわけですから、それが覆されたと言うだけでも大きな進展ですし、このように色々と資料が出てきたと言うことも、最初はただただ驚きでした。その後、HPを拝見したり、資料を見せていただいて、間違いないとわかって、この資料や映像が本物であると確信しました

◉これだけネットが発達していなければ、このまま幻になっていたんだろうね。考えてみれば、凄いよね。たった一人がたまたま見て、こうなったのだから。

―巡り合わせとは、凄いものですね。私としても旧・ドラえもんの存在を知って、最初はなんだこりゃと思ってHPを作ったので、ここまで話が大きくなるとは全く思っていませんでした

◉おおはたさんが、あのページを作っていなければ、私も気が付かなかっただろうしね。

―そう言っていただけると、本当に嬉しいです(06.10.8)

レイアウト●Studio SEKO

―本誌特集内でも、何度かその名が登場する［**ドラえもん・構成 ―中間報告書―**］。表紙を含めて全18枚のシートとなる。提出先も配布先も不詳だが、番組終盤の作品作りに影響を与える重要な証言である。

●設定画より

●本報告書は放送開始まもない5月末には提出されている模様だが、現物を保管されていた製作主任・真佐美さんも、どなたの筆によるものかは失念されたとのこと。上梨監督は、製作陣が集って考えたことをまとめたものではないか、と述懐されている。

約8割の作品の概説が記されていることから、フィルムが容易に目に触れることない本作品の内容を推し量る上でも有力な資料となっている他、記された作品の現状とこれから目指すべきコンセプトが、たいへん目を惹くものなので、ここに全文を掲載したいと思う。

「ドラえもん」構成の現状と展望

○原作の解釈

山のような宿題をかかえて、時間表とにらめっこしながら、箱詰めの日常を送る子どもたちが、何かにつけ、変身人間のように何でもやってのける超能力の持主の実在を期待したとしても不思議ではないでしょう。

もしぼくが超能力の持主だったら…と夢を数える子どもたち。そんな現代っ子の典型である野比のび太君の生活の中に、突然、未来の国から、ネコロボットのドラえもんが割り込んできた。

ドラえもんは変身人間のようにカッコいい正義の味方ではないけれど、どうにかこうにか超能力の持主らしい。ポケットから取り出す秘密兵器の威力で、何をやらせても駄目な野比のび太を出来のいい少年にしようとやっきになってガンバルのだ。だけど、ドラえもんの秘密兵器は余りにも珍無類で、それを使うタイミングもまた余りにもとっ拍子もなく、野比のび太はいつもテンテコ舞でズッコケ放っし。その上、野比家全体を、いや、町中を被害に巻き込んで、ドラえもんは駄目なネコロボットと言われる一歩手前にいる。かろうじて一歩手前に留まっていられるのは、ドラえもんがここ一番とガンバル超能力のかすかな効き目と、もう一つ、ドラえもんの憎めないほのぼのとしたユーモアに満ちた性格のおかげである。

そんな児童まんが『ドラえもん』は、原作者藤子不二雄のこれまでの作品と同様に、ホームコメディーを基調としながらも、その表現は、たとえば、『オバケのQ太郎』のようにストーリー性を強調するのではなく、かなりスラップ・スティックな工夫の試みを特色としている。それは、もちろん、主人公ドラえもんが秘密兵器を使って引き起こす、現実の常識をでんぐり返した世界の面白さを効果的に描き出すための方法である。その原作の狙いは、読者とアイデンティティにある野比のび太の日常生活が異次元へ変化する興味を見事にキャッチし、『ドラえもん』を雑誌まんがとして成功させているといえる。

○テレビ化に際して

当初、原作の持つ長所を強調するために、原作『ドラえもん』を忠実にアニメ化することを構成の第一の要点とした。したがって、秘密兵器の世界の面白さを番組の売りとし、それを最も効果的に表現するためのキャラクター設定とシリーズ構成を行った。

すなわち、野比のび太の周囲に、のび太と対立関係にあるキャラクターを配置し、のび太を側面から補助する役割としてドラえもんを登場させた。当然、ドラマは野比のび太を中心に展開し、シリーズの流れは野比のび太を中心とするキャラクター関係を広げることで進んでいった。

この当初の構成方針は、主人公ドラえもんの性格描写を忘れ、主人公でありながら、ドラえもんを影の薄い存在にしてしまった。そ

●この中間報告書がテレビ局にいつ頃提出されたのかは定かではありません。第21話として6月10日に放送された「ふしぎなふろしき」が中間報告書では25話だったことや、第26話として放送された「おしゃべり口紅（おしゃべりナンバーワン）」が21話として書かれている事から推し量るに、5月末には提出されていたと思われます。（真佐美ジュン氏HPより）

ⓐ 『ドラえもん』シリーズ構成・概説

ⓑ #37以降のシナリオ（制作中）

ⓒ 『ドラえもん』ストーリー展開・概説

ⓓ 『ドラえもん』構成の現状と展望

ドラえもん
構成
―中間報告書―

ⓐNo.1～3「ドラえもん」シリーズ構成・概説：本誌 放映リストに全文掲載
ⓑNo.4 #37以降のシナリオ（制作中）：本誌 エピソード紹介に全文掲載（◉印）
ⓒNo.5～13「ドラえもん」ストーリー展開・概説：本誌 エピソード紹介に全文掲載（◉印）
ⓓNo.14～17「ドラえもん」構成の現状と展望：本頁に全文掲載

の上、主人公の存在がドラマの中心からはずれたために、ドラマのテーマ性の希薄という結果を招いた。しかも、演出テクニックとして、原作の特色であるスラップ・スティックな表現を禁じたために、迫力に欠ける単調なコメディの次元に留まってしまった。

○基本設定の確認

まず、子どもの現実を深く理解すること。そこから、テレビまんが『ドラえもん』の構成が再スタートしなければならない。何故ならば、『ドラえもん』のドラマを支えるのは、もしもぼくが……という夢を追っかける現実の子どもと同一次元のキャラクターたちであり、『ドラえもん』のシリーズのねらいは、現実の子どもの世界を夢にでんぐり返して、ユーモアに彩られた子どもの日常を描き出すホームコメディーだからだ。

主人公ドラえもんは、現実の夢化作業にガンバルのだが、夢といっても、現実離れのしたファンタジックな奇想天外ではなく、ありきたりな出来事への子どものささやかな願望をいたずらしたものにすぎない。したがって、『ドラえもん』のドラマの面白さは、ガンバレばガンバルほど現実へのめり込む。20世紀という文明の人間社会で、未来の国からやって来たネコロボットのドラえもんがいかに生活していくか、そのありさまから『ドラえもん』というドラマが生まれてくる。そして、そのドラえもんの活躍ぶりが『ドラえもん』の毎回のテーマなのである。

○今後の『ドラえもん』構成の要点

原作のキャラクター設定を生かしながらも、主人公ドラえもんの個性のスケールを拡げ、ドラえもんを中心とするキャラクター関係を設定しなければならない。つまり、これまでのように、のび太を通して他のキャラクターと間接的に接触するのではなく、直接的に関係を持ち、野比家の家族の一員として、食事、入浴、お使い、など、のび太と同一の生活を営み、行動するようにすべきである。

ドラえもんの個性と秘密兵器は諸刃の剣であって、ドラえもんの活躍が現実生活にのめり込めばのめり込むほど、現実生活に密着した秘密兵器が登場するはずである。ドラえもんの個性から滲み出るほのぼのとしたユーモアの世界と秘密兵器がもたらす面白さを見せ場とするギャグっぽい世界を二つの大きなシリーズ構成として確立させたい。

『ドラえもん』は15分もの2本立というフォーマットの強みを持ち、いわんや、視聴対象者は、個性の定まらない子どもたちである。さまざまなドラえもんの姿、さまざまなキャラクター関係、バラエティーに富んだにぎやかなドラマの構成を心がけるべきではなかろうか。〈了〉

●冒頭部分の［原作の解釈］に初期の原作マンガのムードが正確に捉えられているならば、史実として非常に興味深い。

一方、［テレビ化に際して］以降に、愛読者・視聴者は、のび太にこそ自分の姿を重ねて作品を共感を以て迎え入れることを的確に捉えているのにも関わらず、製作者にとって、マンガ『ドラえもん』の主人公は作品タイトルの「ドラ」本人であってほしい、という不文律を背負ってしまっている［ねじれ］が見受けられる。製作陣はTVアニメとしては、その性向を「単調なコメディ」と自虐的に捉えたのは時代的な背景も関係しそうだし、本企画書以降の映像作品が、優先的にドタバタ作品を原作に選択した感も残るものの、確認できた範囲だが、のび太の生活描写・日常描写を描くことを忘れてはいなかった事を、お伝えしておきたいと思う。（舘）

年月	年度	小学三年生	TV	単	年度	小学四年生	TV	単
'70年 1月	36年度生	机からとび出したドラえもん	—	[1]	35年度生	未来の国からはるばると	—	1
2月		愛妻ジャイ子!?	—	※2		ドラえもんの大予言	—	1
3月		のび太が強くなる	—	—		けんかマシン	—	ぼ8
4月	昭和37年度生	まんがか	44	—	昭和36年度生	おいかけテレビ	27	+1
5月		恐竜ハンター	—	2		㊙スパイ大作戦	6	1
6月		ご先祖さまがんばれ	4	1		白ゆりのような女の子	—	3
7月		古道具きょう争	—	1		ロボット福の神	—	[1]
8月		ソウナルじょう	49	3		のぞきお化け	—	[3]
9月		うつつまくら	—	5		ああ、好き、好き、好き！	5	3
10月		のろいのカメラ	11	4		ペコペコバッタ	2	1
11月		おばあちゃんのおもいで	22	4		わすれトンカチ	14	5
12月		エスパーぼうし	48	7		タイムふろしき	21	2
'71年 1月		ねこの手もかりたい	—	7		のび左エ門の秘宝	—	4
2月		ドラえもんだらけ	—	5		好きでたまらニャい	3	7
3月		のろのろ、じたばた	17	5		最終回①	—	—
4月	昭和38年度生	ロボット・カー	29	(5)	昭和37年度生	タイムマシンで犯人を	—	15
5月		たねのないてじな	—	—		うそつきかがみ	—	2
6月		スケスケ望遠鏡	—	4		あやうし！ライオン仮面	—	3
7月		アベコンベ	15	4		かげがり	34	1
8月		宝くじ大当たり	12	5		アリガターヤ	—	[4]
9月		黒おびのび太	—	5		ロボ子が愛してる	45	2
10月		石器時代の王さまに	—	7		ドラえもんの歌	—	[1]
11月		お天気ボックス	42	10		プロポーズ作戦	10	1
12月		メロディーガス	—	4		夜の世界の王さまだ！	—	6
'72年 1月		お金なんか大きらい！	—	16		勉強べやの大なだれ	32	2
2月		いつでも日記	40	10		のび太のおよめさん	—	6
3月		物体瞬間移動機	8	[4]		最終回②	52	—
4月	昭和39年度生	ヤカンレコーダー	—	4	昭和38年度生	コベアベ	—	1
5月		テストにアンキパン	—	2		スーパーダン	—	3
6月		潜地服	—	[3]		おはなしバッジ	28	3
7月		つづきスプレー	—	5		ゆめふうりん	—	2
8月		タイムマシン	—	(5)		ぼくの生まれた日	—	2
9月		行かない旅行の記念写真	—	7		悪運ダイヤ	—	8
10月		かがみの中ののび太	9	5		友情カプセル	—	4
11月		流れ星製造トンカチ	—	(5)		世界沈没	—	4
12月		重力ペンキ	—	5		この絵600万円	—	6
'73年 1月		ふしぎなさいころフリダシニモドル	—	—		温泉旅行	—	6
2月		すてきなミイちゃん	—	14		大きくなってジャイアンをやっつけろ	—	+2
3月		地球製造法	—	5		未来世界の怪人	—	4
4月	昭和40年度生	ねん力目薬	—	(5)	昭和39年度生	うそつ機	—	3
5月		四次元サイクリング	—	5		スケジュールどけい	—	3
6月		自信ヘルメット	—	(5)		ばっ金箱	—	5
7月		ぼく、マリちゃんだよ	—	8		バッジどろぼう	—	+2
8月		ぞうとおじさん	—	5		雪山遭難を助けろ	—	[6]
9月		正直太郎	—	2		ウルトラストップウォッチ	—	[9]
10月		たぬきさいふ	—	[2]		ダイリガム	—	6

凡例
■0：NTV「ドラえもん」の放映話数　単：単行本（複数に収録されている場合は比較したうえで、より手に取りや易い版を記載した）
0：てんとう虫コミックス　[0]：藤子不二雄ランド　⓪：ぴっかぴかコミックス　(0)：てんとう虫コミックスカラー版　ぼ：ぼく、ドラえもん・付録冊子
●：公式タイトルが無いため編集部考案のサブタイトル　＋：ドラえもんプラス

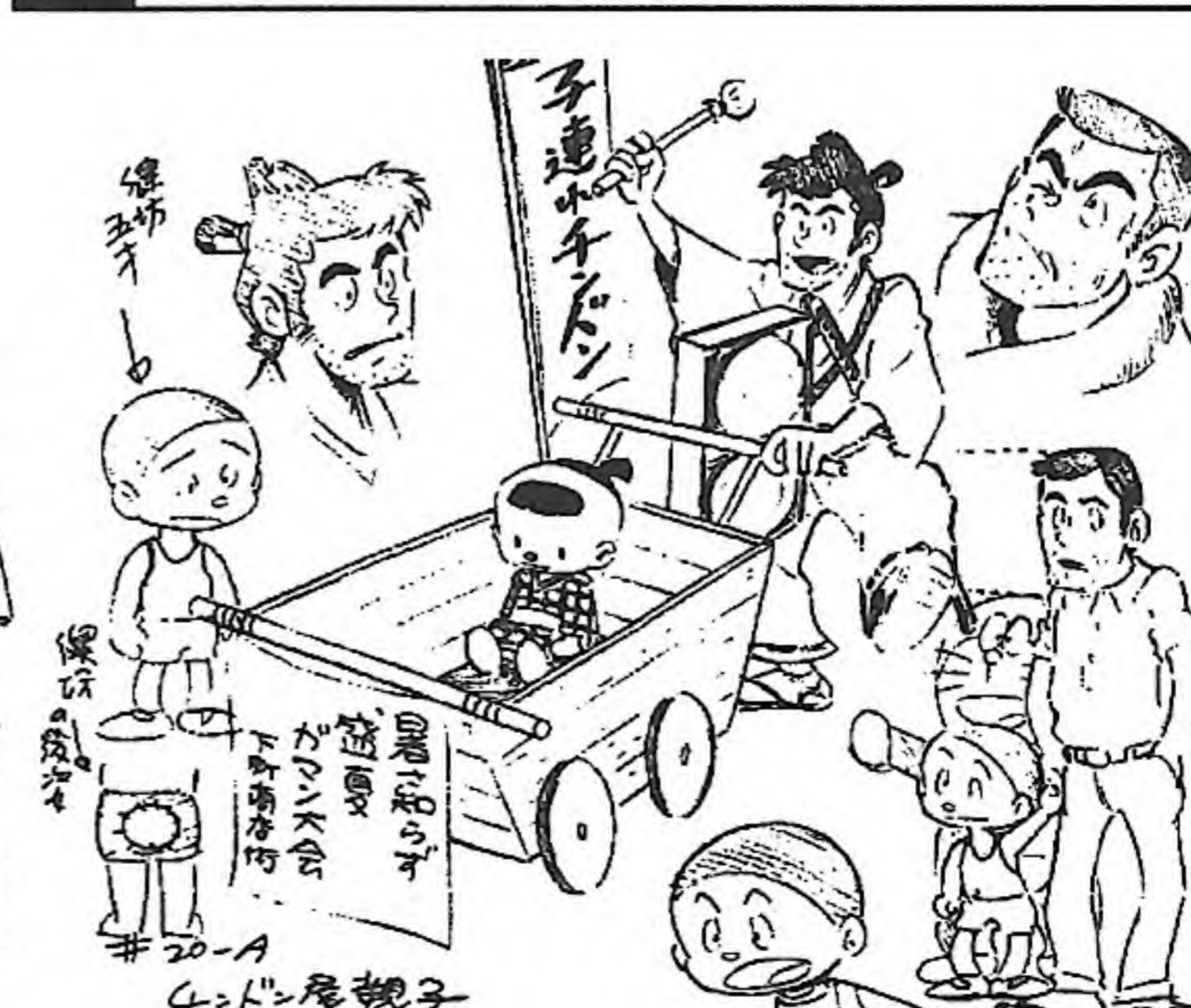
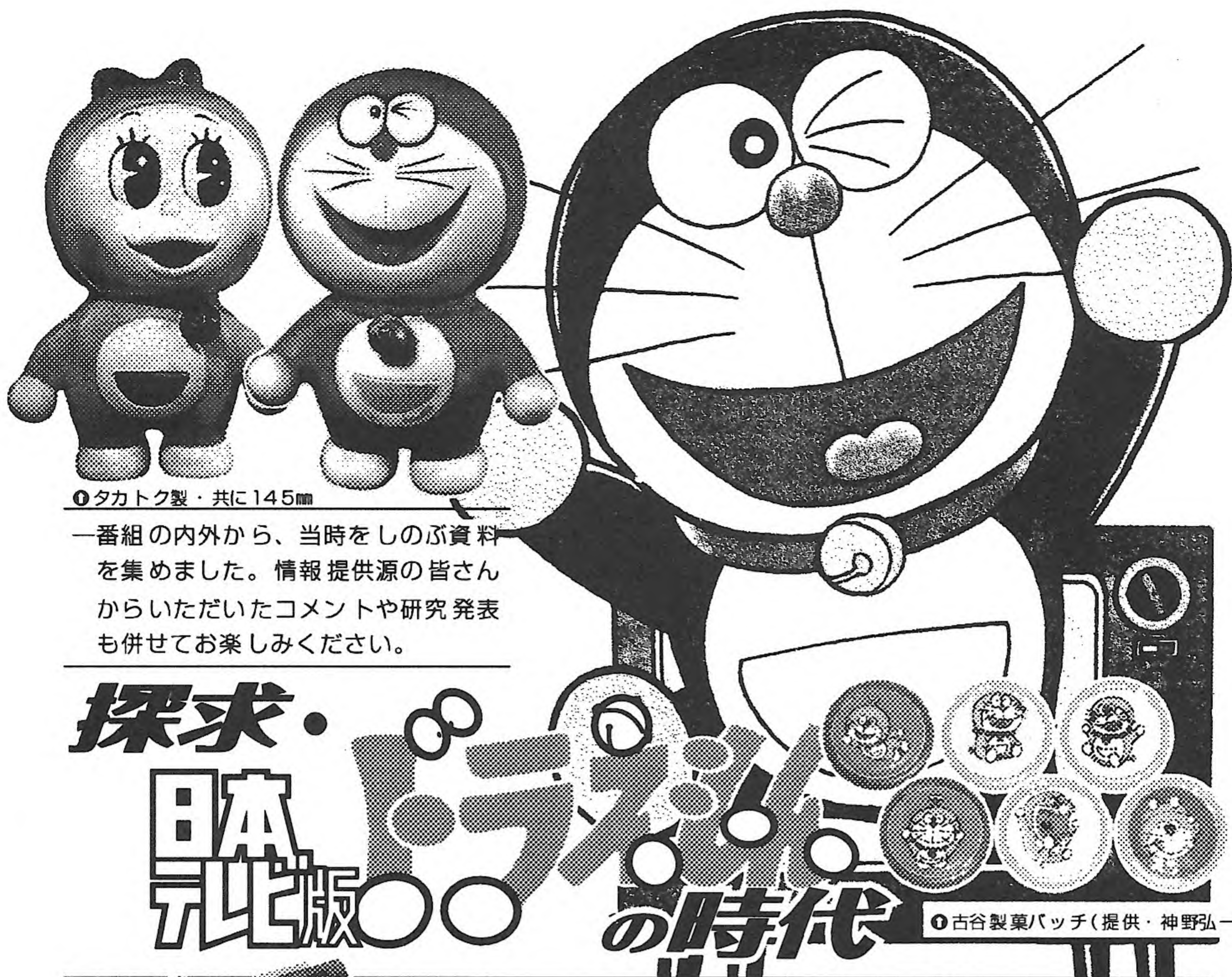
静香ちゃんセレクション

●#42より「虹を持ってきてくれた人と結婚しちゃうわ」…。お天気ボックスの誤操作で部屋の中は吹雪に。「もうけっこうよ！いい加減にして！出てってぇ！」

原作マンガ初出リスト

※1：「ドラえ本3」カラー口絵に復刻再録
※2：中央公論社「藤子不二雄ランドひみつ500探検」に収録

年月	年度生	小学一年生	TV	単	年度生	小学二年生	TV	単
'70年 1月	38年度生	ドラえもん登場！	—	[1]	37年度生	未来からきたドラえもん	—	[1]
2月	38年度生	●アタールガン	—	—	37年度生	やきゅうそうどう	—	—
3月	38年度生	●タイムテレビ	—	—	37年度生	オーケーマイク	—	—
4月	昭和39年度生	●ねずみこわ〜い	7	※1	昭和38年度生	ペタリぐつとペタリ手ぶくろ	16	—
5月	昭和39年度生	●ガチャ子登場	25	—	昭和38年度生	ロボットのガチャ子	18	—
6月	昭和39年度生	●恐竜がやってきた	—	—	昭和38年度生	弱いおばけ	—	(5)
7月	昭和39年度生	まほうのかがみ	—	—	昭和38年度生	ねがい星	20	10
8月	昭和39年度生	いぬになりたい	—	—	昭和38年度生	ふしぎな海水よく	—	(5)
9月	昭和39年度生	ウルトラワン	—	—	昭和38年度生	くすぐりのみ	—	(5)
10月	昭和39年度生	ゆめ	—	—	昭和38年度生	引力ねじ曲げ機	—	[1]
11月	昭和39年度生	クルパーでんぱ	1	—	昭和38年度生	人間あやつり機	—	9
12月	昭和39年度生	かべぬけき	—	—	昭和38年度生	がんじょうぐすり	—	—
'71年 1月	昭和39年度生	●しん年かい	—	9	昭和38年度生	ネンドロン	51	(5)
2月	昭和39年度生	虫めがね	—	—	昭和38年度生	かぜぶくろ	—	(5)
3月	昭和39年度生	まほうのとけい	—	—	昭和38年度生	わすれろ草	38	9
4月	昭和40年度生	●そくせきおとしあな	—	—	昭和39年度生	まほうの地図	—	(5)
5月	昭和40年度生	●なんでじゃ口	—	—	昭和39年度生	空とぶさかな	—	7
6月	昭和40年度生	かげ絵ごっこ	—	⑫	昭和39年度生	役立つもの販売機	—	[6]
7月	昭和40年度生	●変装服	—	[9]	昭和39年度生	ソノウソホント	24	4
8月	昭和40年度生	●ドラえもんのポケット	—	①	昭和39年度生	せん水艦で海へ行こう	35	6
9月	昭和40年度生	●手じなふろしき	—	—	昭和39年度生	いんちき薬	33	[6]
10月	昭和40年度生	動物キャンデー	—	—	昭和39年度生	ショージキデンパ	—	[1]
11月	昭和40年度生	●そっくりクレヨン	47	3	昭和39年度生	ペロ！生きかえって	—	3
12月	昭和40年度生	●クリスマスツリーの種	—	(5)	昭和39年度生	ほんもの図鑑	—	6
'72年 1月	昭和40年度生	ふくわらい石けん	—	[19]	昭和39年度生	ランプのけむりおばけ	—	1
2月	昭和40年度生	●べんきょうねまき	—	—	昭和39年度生	雪でアッチッチ	—	1
3月	昭和40年度生	●ロケットガム	—	—	昭和39年度生	入れかえロープ	—	15
4月	昭和41年度生	●花咲か灰	—	—	昭和40年度生	どこでも大ほう	—	6
5月	昭和41年度生	●のぞくと虫になる虫メガネ	—	—	昭和40年度生	バッジを作ろう	—	5
6月	昭和41年度生	●うちでの小づち	—	—	昭和40年度生	ウルトラミキサー	19	7
7月	昭和41年度生	●もぐら手ぶくろ	—	—	昭和40年度生	●オバケせんこう	—	—
8月	昭和41年度生	ゆきぐも	—	⑪	昭和40年度生	お返しハンド	—	ぼ10
9月	昭和41年度生	本物ライト	—	⑩	昭和40年度生	おしかけ電話	—	5
10月	昭和41年度生	落ちないつな	—	①	昭和40年度生	おせじ口べに	26	1
11月	昭和41年度生	ボールに乗って	—	14	昭和40年度生	引きよせかがみ	—	(5)
12月	昭和41年度生	●空気の中で魚を泳がせる薬	—	—	昭和40年度生	人形あそび	—	10
'73年 1月	昭和41年度生	動物ドロップ	—	⑨	昭和40年度生	ふしぎな薬	—	(5)
2月	昭和41年度生	とうめいペンキ	—	(5)	昭和40年度生	まほうのひも	—	(6)
3月	昭和41年度生	ウルトラリング	—	(5)	昭和40年度生	ヨンダラ首わ	—	14
4月	昭和42年度生	雲ねんど	—	(5)	昭和41年度生	ネジまいてハッスル！	—	11
5月	昭和42年度生	ひらりマント	—	5	昭和41年度生	小人ロボット	—	7
6月	昭和42年度生	●ゆめまくら	—	—	昭和41年度生	とりよせバッグ	—	11
7月	昭和42年度生	本物クレヨン	—	(5)	昭和41年度生	さいみんふりこ	—	(6)
8月	昭和42年度生	キャンプ	—	(5)	昭和41年度生	みがわりペンダント	—	[17]
9月	昭和42年度生	月の光と虫の声	—	4	昭和41年度生	びっくりばこ	—	—
10月	昭和42年度生	不思議なメガネ	—	[7]	昭和41年度生	さいなんくんれん機	—	11

⬅#45『すてきなガールフレンドの巻』⬆➡#39『クーラーパラソルの巻』ゲストキャラ設定画　原作にはとらわれない独自の世界観であることが伝わってくる。

⇧タカトク製・共に145㎜

―番組の内外から、当時をしのぶ資料を集めました。情報提供源の皆さんからいただいたコメントや研究発表も併せてお楽しみください。

探求・日本テレビ版ドラえもんの時代

⇧古谷製菓バッチ（提供・神野弘一）

★アイコンの見方 ⓜ：mvunit氏コメント ⓚ：き～ぼ～氏コメント

タイトルイラスト初出：'73年・小一・3月号（日本テレビ系でアニメ化告知記事から・提供ⓚ）

□マーチャンダイジング

ⓜ（mvunit氏コメント）週刊TVガイド'73年3月24号の記事（新聞・雑誌スクラップ集参照）には、実に幅広い展開が紹介されていたように記述されていますが、主だったスポンサーに玩具メーカーがついていなかったこともあって、「日テレ版ドラ」のおもちゃは余り目立ちません。実際に確認できたのは「ドラえ本」でもおなじみのタカトクのソフトビニール人形二種（上・左）などに留まります。番組には出なかったドラミもいるところから見て、アニメに促した販売品とは言いがたいようです。

⇧のび太になりきって遊びましょう、というコンセプト故、ラインナップからのび太は除外！（120㎜／提供・神野弘一／ドラミは「玩具商報」から転載）

□スポンサー

ⓚ（き～ぼ～氏コメント）中日新聞・4月1日・中京テレビの広告によると、宮田自転車・いすゞ自動車・花王石鹸の名が表示（情報：あるばたいん氏）。

ⓜ山梨日日新聞・'73年4月21日・山梨放送の広告によると、宮田自転車・ペプシコーラ・津村順天堂・東鳩が提供に名を連ねています。

□小学館のドラえもんアピール作戦

ⓜ当時、小学館は、『ドラえもん』のアニメ化に際して、実は、あまり大っぴらな誌上展開をおこなっていなかったりします。扉に「4月1日からテレビに出るよ」というあおり文句がある程度（新聞・雑誌スクラップ集の記事も参照を）。

その代りか、73年6月号より、「別冊少年サンデー」（少年サンデーの月刊版）において、TVと同時進行で『ドラえもん』の連続掲載が開始されます。全て学年誌の再録ですが、掲載内容はアニメ化されたものを中心に行ってる様です。これは、当時学習誌にしか掲載されておらず、単行本も発売されていない『ドラえもん』を、普通の少年読者にもアピールして、TVともども認知度を上げようと言う小学館側の戦略だったと思われます。この「別冊少年サンデー」でも大掛かりな特集は一切ありませんでしたが、随所に「テレビもみよう」という一コマ広告が盛り込まれて、TVの告知に一役買っていました。

□「日テレ版ドラ」文献

●'79年・徳間書店・アニメージュ4月号「TBS&NTVアニメ16年史」

◉（記事本文より）鈴木良武（脚本）「ドラえ

日本テレビ版ドラえもん

❶テレビ放映を受けて、'73「別冊少年サンデー」6月～翌年3月号まで、再録が連続掲載された。左から右に向って、6～9月号。

❶上段8月号のトビラは単行本未収録。左から右に向って、10月～翌年1月号。連載はTVアニメ放映終了後も続けられた。

❶'74年2月～3月休刊号。当時、石油ショックの影響で紙が不足し、休刊の運びとなったとされる。

放映枠

マンガ映画 —三島— 月光仮面 (明星 マルヤス水産 アミ印食品) #12	マンガ映画 —三島— 月光仮面 (明星 マルヤス水産 アミ印食品)	マンガ映画 —三島— 月光仮面 (明星 マルヤス水産 アミ印食品)	マンガ映画 —三島— 月光仮面 (明星 マルヤス水産 アミ印食品)	マンガ映画 —三島— 月光仮面 (明星 マルヤス水産 アミ印食品)	—YTV— 勝ち抜きのど自慢 —枚方市民会館— #17 (永大産業)	(大久保) ゴールデンキックボクシング #132 (NSP)
天気予報 (伊奈製陶)	天気予報 (ヤンマー)	天気予報 (伊奈製陶)	天気予報 (ヤンマー)	天気予報 (伊奈製陶)	天気予報 (ヤンマー)	(中村) ナブ号の世界動物探検 #30 ([illegible])
まんがジョッキー (池田) (NSP)	まんがジョッキー (池田) (NSP)	まんがジョッキー (池田) (NSP)	まんがジョッキー (池田) (NSP)	まんがジョッキー (池田) (NSP)	まんがジョッキー (池田) (NSP)	
ニュースフラッシュ ([illegible])	ニュースフラッシュ ([illegible])	ニュースフラッシュ ([illegible])	ニュースフラッシュ ([illegible])	ニュースフラッシュ ([illegible])	ニュースフラッシュ ([illegible])	
国際ニュース (各社)	国際ニュース (各社)	国際ニュース (各社)	国際ニュース (各社)	国際ニュース (各社)	国際ニュース (各社)	
(高橋) 特撮テレビ映画 流星人間ゾーン 「キングギドラを迎え撃て」 #5 (各社)	特撮テレビ映画 (朝岡) ファイヤーマン 「マグマに消えたファイヤーマン」 #17 (各社)	(川口) テレビ映画 白獅子仮面 「首なし男が首を取る」 #5 (各社)	(吉川) 驚異の世界 —ノンフィクションアワー— #44 (講談社 本田技研)	(木村) 歌まね合戦 スターに挑戦 #5 (各社)	(YTV) マンガ映画 おんぶおばけ 「力太郎」 #31 (各社)	(柴沢) マンガ映画 ドラえもん 「のろいカメラの巻」 #6 (各社)
(YTV) 全日本歌謡選手権 —STVホール— #176 (各社)	(YTV) そっくりショー 「五木ひろしの巻」 #5 ([illegible] エベレスト)	(KNB) テレビ映画 ゲンコツの海 「オキナワ・初恋・復讐」 #17 (YKK)	(一九) ほんものは誰だ! #24 (ロート製薬)	(宮田) コント55号の なんでそうなるの? #5 (津村順天堂 エスビー食品)	(向坂) シャボン玉サタデー 三橋 [illegible] #3 ([illegible])	(YTV) テレビ映画 マドモアゼル通り 「落ちて行く星」 #22 ([illegible], TDK)

❶子供番組としては最高の枠で放映された本作。日本テレビの日曜午後7時～7時30分という放送枠は、本来、芸能バラエティ枠であり、この時間帯に放送されたアニメは後にも先にも「ドラえもん」が最初で最後（前番組は「サンデーヒットパレード」後番組は「全日本歌謡選手権」)。画像は'73年4月30日(月)～5月6日(日)にかけての、18～19時台のタイムテーブル（提供：恐実央・出典：日テレ50年史）。

●内藤はるみさん情報●［日テレ版ドラ］以外では、キング「夕やけじぞうさん」（黄金時代シリーズちびっこソング編・収録）、ドラマ「母の曲」主題歌「光りがこぼれる街で」（CD昭和キッズTVシングルス Vol.7・収録）がCD化された他、日本コロムビア「ちびっこポップスシリーズ」として「若い太陽（69・5）」「純愛一路（70・6）」等をレコーディングしている。（おおはたさんサイトを参照）

↑日本コロムビア・4曲入り・EP-112（提供・神野弘一）

もんが居候している家のノビ太たちがSF的な道具を使ってドラえもんを助けるんですね。それに、ポケットの中の小道具を使えばなんでもできるから、面白いことは面白かったけど、ズッコケ性に欠けて、オバQほどのびのびと活躍できなかったといえますね。かえって、ワキ役の人間の方がとぼけていましたよ。そんなことから、なかなか主人公になりにくくて、その点とても苦労しました。」

Ⓚドラとのび太の立場が逆になっているのはご愛嬌。鈴木氏は「新オバQ」の脚本も手がけています。カラーページの記事でしたが「くるった腹時計の巻」の白黒スチルが掲載され、この時点で既にカラースチル等が手配できなくなっていたと推測します。

●'80年・アニメージュ9月号「藤子不二雄特集」

Ⓚ年表に「48・4「ドラえもん」テレビ放映（NTV）」とあるのみ。

●'88年9月・徳間書店「TVアニメ25年史」

◎（記事本文より）［解説］日本テレビ動画製作の藤子アニメ。演出、作画陣は「モンシェリCOCO」とも共通するスタジオ・テイク、スタジオ・ジョークが中心、原作は70年から小学館の学習雑誌に連載され、現在も続いている超ロングラン。本作は視聴率低迷のためドラえもんの声を富田耕生から野沢雅子に変更したり、ドラえもんのライバルを活躍させたりしたが、現在のようなブームには至らず、結局26話で打ち切られた。この作品のあと、日本テレビ動画は解散となった。

Ⓚ信頼性の高い文献であるが、スタッフと声優の記事に間違いがある。杉山卓氏著「テレビアニメ全集2」（78年9月・秋元書房・秋元文庫）に書かれた［日テレ版ドラ］の誤った情報から孫引きされたと思われる。

●全音楽譜出版社「TVマンガ大百科」

●'80年・徳間書店「アニメ・ソング・ヒット全集（第三集）」

Ⓚ主題歌の楽譜が掲載されています。

□スタッフ

●右に紹介している「TVアニメ25年史」によると、演出：大貫信夫、作画監督：永樹凡人の各氏の名が挙げられている。しかし、大貫信夫氏は、企画段階のスタッフ表に名前が記載されてはいるものの、実製作の場に居たかどうか確認が取れず、お名前の列挙のみで終わった可能性もあります。真佐美ジュン氏に拠ると「関わったとしても、パイロットフィルムや第1話の絵コンテ程度かもしれない。永樹凡人氏も関っていたかは不明」とのこと。（編）

※大貫信夫：虫プロ出身。『展覧会の絵（'66）』『ゼンダマン（'80）』『オタスケマン（'81）』などを監督。

※永樹凡人：本名・永木總博（ながきふさひろ）'37年8月27日・大阪府出身。アニメ演出家、漫画家。東映動画出身。'64年、ハテナプロ設立後、スタジオ・ジョークを設立。

□スタジオ

Ⓜ製作は「日本テレビ動画新潟スタジオ」「スタジオジョーク」「アド5」「トップクラフト」の四班によるローテーションが当初予定されましたが、実際は番組開始前後にスタッフの変更があったようで、確定とは行かなかった模様。

多くの文献で紹介されている「スタジオテイク」は一切旧ドラに関与していないことが関係者の証言で明らかになっています。

※スタジオジョーク：虫プロから独立した永樹凡人氏らが'70年に弟の龍博氏らと設立。演出や作画監督をこなした。大貫信夫氏も参加。

※スタジオテイク：虫プロから独立した正延宏三氏が社長を務め、渋谷区内に所在。

□主題歌歌手・内藤はるみさん

Ⓚ'99年・木村英俊氏著「THEアニメソングヒットはこうして作られた」によると、内藤はるみさんは、堀江美都子さんやかおりくみこさん・嶋崎由理さんらと同時期に、フジテレビ「日清ちびっこのどじまん」で入賞した「ちびっこ歌手」の一人で、コロムビアにスカウトされたというご経歴。81年・アニメージュ3月号掲載記事で堀江美都子さんは内藤さんの名も挙げて「六人の同期生は、皆その後、歌謡曲の世界にいったり、結婚したりして、結局、アニメの世界に残っているのは私一人」と言っています。彼女らが同年齢なら57年生、日テレ版ドラ放映時15、6歳のはず。時代劇「影同心（'75）」の主題歌を歌った朝月愛（あさづきあい）さんのプロフィールと声質が酷似しているので、内藤はるみさんは後に「朝月愛」と改名された可能性を感じます。

「声優さん 述懐集

□初代ドラ・富田耕生さん

●ずいぶん古いの持ち出してきたねえ（笑）。そうなんだよ、俺、13本やったんだ。なんか俺が怪我して野沢雅子に代わったという伝説があるらしいんだけど、まあその方がいいでしょ？（笑）ただ安孫子先生がもしかしたらなぐさめかも知れないけど「あの時期に『ドラえもん』は早すぎた」っておっしゃってたけど、俺が1クールやって次

関西 8	読売 10
0 まんが・マジンガーZ「飛行魔獣デビラXI／」㊥石丸博也 富田耕生ほか	0 マンガ・ドラえもん「屋根の上のすてきな子」ほか ㊥富田耕生 太田淑子ほか
30 山ねずみロッキーチャック	30 マドモアゼル通り

テレビ 7

❶日本コロムビア・テレビまんがヒットシリーズ・C-356「風雲ライオン丸」とのカップリング。（提供・神野弘一）
❷'73年4月8日・神戸新聞ラテ欄。富田耕生さんが、二重出演されていた様子が伝わる資料だ。（提供・き～ぼ～）

に野沢が1クールやったけど、その後ちょっとやらなかったんだよね。それで局が変わって今のペコ（大山のぶ代）のシリーズになってからは、ご存知の通りで。～「とり・みきの映画吹替王」（04年8月21日発売）より　※セル画提供・内田俊雄

❏二代目ドラ・野沢雅子さん

●「怪物くん」は私の前に白石冬実さんがやっていらっしゃいましたが、放送局も違うので改めてオーディションがありました。結局、私がオーディションに受かったのですが、すぐにチャコ（白石冬実さんの愛称）とあって話をしました。旧作のときもゲストで出ているし、「ドラえもん」の時、自分も同じようにショックを受けたことがあったので、断らなければいけないと思ったんです。（中略・白石さんは怪物くんに大変思い入れがあり、藤子先生にもう一度させて下さいと手紙まで出したそうです）私は替えられてしまったこともあるし、替わって引き受けたこともあります。どちらも気持ち的にはつらいものがありますね。～自著「ボクは、声優」（'95年）「替わるつらさ、替わられるつらさ」より

Ⓚ富田さんと野沢さんは共に十代の時に入団した劇団東芸の同期生です。

❏のび太のママ・小原乃梨子さん

●この今をときめく「ドラえもん」も、昭和四十八年には、既に日本テレビでアニメ化されている。この時は、なぜかあまり評判にならずに終わってしまったが、それを思うと、現在のこの爆発的人気が不思議な気がする。何でもオナカのポケットから出してくれる、未来の猫型ロボットのドラえもんも、あの時だけは思い通りにならなかったようだ。

この時のドラえもんの声は、富田耕生さん、そして十四話から野沢雅子さんに変わっている。私はこの時、のび太くんのママ、現在のシリーズではのび太をやっているのだから、母親から息子へ突然若返ったわけだ。これだから、声の仕事は面白い。どうやら世の中の常識や年齢に逆らって生きるのが私の運命のようだ。～「テレビ・アニメ最前線」（石黒昇・小原乃梨子著、80年・大和書房）より

Ⓚ著書の二ヶ所で、日テレ版ドラえもんについて触れてお話されていますが、一部内容が重なるので混ぜて編集しました。小原さんは「ぼく、ドラ」12号のインタビューでもこの事について触れられていました。

❏ジャイアン・肝付兼太さん

●いや僕もね知らなかったんだ。やったんです。最初あれはね日本テレビで、モノクロで。そんときに僕がジャイアンをやってたんです。それを、覚えてないんだ。ネットでね、詳しいファンの人がもう当時の事をこうねえ。それ見るとタイトルまで書いてあって、配役が全部書いてある。確かにジャイアンなんです。僕が。しかし不思議なことがあるもんだと思ってねえ。元祖ジャイアンだもん。どうも。あれ24本だからね、こっちは24年！　すごいやこれ！　参っちゃうなぁ、もう。～enbannetネットラジオの声優と語る番組（'02年10月頃公開）より

Ⓚモノクロ、24本というのは肝付さんの記憶違い。

●はみだし編集後記●当時の新聞雑誌記事（次頁参照）に多用された「スーパー・ロボット猫」という呼び名は裏番組に対抗した物だったとしか思えません。同じ時間にロボット物同士の視聴率対決となり、日曜ヨル7時はまさに「マジンガーZ対ドラえもん」状態でした。また、おおはたさんのサイトはとても参考になりました。（き～ぼ～）

1 小学一年生 '73年4月号 提供 ⓜ

日本テレビ版ドラえもん 新聞・雑誌 スクラップ part 1 新番組紹介編

き~ぼ~Presents

4版 (12)

漫画「ドラえもん」登場

藤子不二雄原作

よみうりテレビ 4月から

1 小学一年生・'73年4月号
「テレビでもドラえもんがはじまるよ!」

ⓜ(mvunit)藤子・F・不二雄先生がこれから放映されるお話の一コマ紹介をカラーで描かれています。小学館の学年雑誌でTV特集記事が組まれたのはこの時のみ。他はマンガ扉に「日本テレビ系毎週日曜日夜7時から」というTV放送中のマークが付いてるだけで、写真の類も皆無でした。てれびくんの前身でもある「小学館BOOK」にも関連記事はありませんでした。

※原作「ああ、好き、好き、好き!」を連想させる絵に「のび太のおよめさん」の題が添えられている。(編)

2 読売新聞・大阪版・3月10日(土) 夕刊テレビ欄より ⓚ

◉(記事本文)よみうりテレビは、四月一日から漫画「ドラえもん」(日曜後7・0)を放送する。原作は藤子不二雄で子供雑誌に連載中。主人公は、のび太という男の子を助けに未来の国からやってきたネコのロボット"ドラえもん"。のび太は小学四年生だが、何をしてもヘマばかり。それを見かねた未来の国にいる彼の玄孫が、なんとか立派な男にしようとドラえもんを派遣した。ドラえもんは頭にプロペラをつけてどこへでも飛んでいくが、このエネルギー源はご飯で、弱点は腹ペコになること。しゃべると誰でもOKさせてしまうマイク、口げんかに強くなる入れ舌、自動ボールペンなどの珍兵器が、子供たちに喜ばれそうだ。

ⓚ(き~ぼ~)放映三週間前の簡単な予告記事。ドラえもんが縁側でまんじゅう(?)を食べていて、傍らに猫がいます。

3 毎日小学生新聞・3月14日(水) 「4月の新番組日本=読売系」より

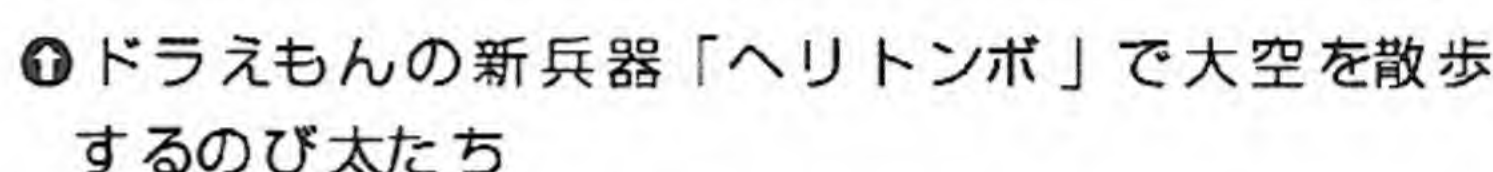
◉日本(読売系)テレビに四月から三本の新しい子ども番組がスタートします。かんたんにお知らせしましょう。

ゆかいなドラえもん「ボクははらペコには弱いんだ」――愛すべき主人公"ドラえもん"まず一日からの、まんが映画「ドラえもん」(日曜・夜7時)のお話。ドラえもんというのは、未来の国から飛んできたロボット猫です。このドラえもんは魔法を使いますが、実は、のび太という、何をしてもダメな男の子を助けるためにやってきたのです。ダメだけれど、のび太はのびのびと育った小学生です。ドラえもんは、何とかしてのび太をりっぱな人にしようと一生けんめい。魔法のポケットからとり出す秘密兵器を使うのですが、おっちょこちょいのため、いつも失敗ばかりというゆかいなドラえもんの物語です。

ⓚ魔法を使うという表現に違和感を感じますが、'73年・小一・3月号「ウルトラリング」

昭和48年3月24日（土曜日）　夕刊　読売新聞

手ぐすねひく新番組

ロボット猫「ドラえもん」

アッと驚く秘密兵器―楽しいアニメまんが

4月1日から日曜よる7時

⬆ドラえもんの新兵器「ヘリトンボ」で大空を散歩するのび太たち

一つ目

④読売新聞・大阪版 3月24日 夕刊

にも「指の力が強くなるまほうは、ないの。」というのび太のセリフがあります。写真は②と同じ。「ボクは～」はオバQの「ぼくは犬には弱いんだ」から？

④読売新聞・大阪版・3月24日（土）夕刊「話題の10チャンネル―YTVの欄―」より

◎勉強はできず、運動神経もにぶく、何をやらせてもダメな少年。こんな子どもが想像力をたくましくする時、超能力の秘密兵器が生まれる。四月一日から始まる**「ドラえもん」**（日曜よる7時）はそんなホームまんが。現在「よいこ」「幼稚園」「小学一～六年」に連載中で、早くも雑誌を上回る人気が予測されている。原作者は「怪物君」「パーマン」「オバケのQ太郎」など、愛すべき主人公を描いては定評ある藤子不二雄。秘密兵器をあやつるスーパー・ロボット猫ドラえもんと、何をやってもダメな少年、のび太がくり広げる笑いと友情のギャグ・アニメ。藤子の出世大作「オバQ」をしのぐ人気まんがに成長しそう。

ドラマの副主人公のび太は小学四年生。都心から電車で一時間余り、ごく普通の住宅街に住んでいる。パパは商事会社の課長補佐。典型的なサラリーマンタイプだ。ママはちょっぴりあわて者で気立てがいい。その一人息子のび太は、何をしても人なみ以下だが、のびのびとした気性がとりえの平均的小学生といった所。つまりパパもママも平均的日本人なのである。

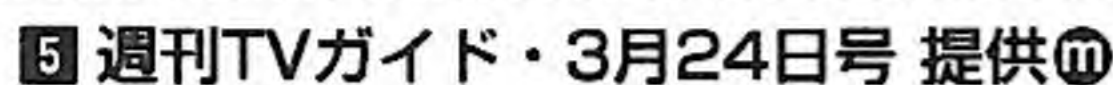
人なみ以下ののび太に力を貸してくれるのが、主人公のドニえもん。ごはんを食べ、人間の言葉を話す変なロボット。腕力はおとなの五人分。何でも吸いつける磁石を持ち、しっぽを引っ張ると姿がパッと消える。頭にヘリコプター式のプロペラがあり、どこへでも飛んで行ける。そのエネルギーはごはん。ごはんを食べて電気エネルギーに変える。だから、ごはんを食べないとたちまちエネルギーが欠乏し元気が無くなる。こんな超能力を持つロボットでも、シンは猫だからねずみが大きらい。見ただけで震え上がって逃げる弱点を持つ。

のび太を鍛えるために、ドラえもんは秘密兵器の数々を駆使する。例えば、むずかしい宿題もペンが勝手に動き、アッという間にかたづけてしまう「自動ボールペン」。舌の先にはめると、口ゲンカが強くなり、早口なら誰にも負けない「入れ舌」……。毎回、アッと驚く秘密兵器がゾクゾク登場、これがドラマの見どころとなる。

タイムマシンで未来からやって来たドラえもんの出入り口は、のび太の机の引き出し。同じSFの世界を描いても、怪獣の世界は子どもたちの状況とあまりにも隔絶しすぎている。その点「ドラえもん」のSFは日常生活――それも子どもたちの生活レベルの中に自然に登場するため、より俗物的面白さが倍加されている。ズッコケ調の「ドラえもん」のユーモアあふれるギャグ・ホームコメディーは、アニメーションまんがの今後の針路を大きく左右する事も予想される。毎週、一話十五分の短編を二話放送。

Ⓚヘリトンボで大空を散歩、―というより地面からちょっとだけ浮いている― のび太たち。［日テレ版ドラ］の宣伝では一番良く使われる写真です。「ドラえ本3」142頁には当時の雑誌（？）からカラーで掲載。放映開始一週間前の読売大阪版のPR面に載った最大の宣伝記事で、「子連れ狼」と並ぶ看板番組だった事が分かります（編註・ド

★アイコンの見方　◉：スクラップ記事本文（原則として原文ママ掲載。ひらがなとカタカナだけで書かれた子ども向けの文章は、漢字に直している場合があります）
Ⓚ：兵庫・き～ぼ～氏コメント　資料提供者　ⓜ：和歌山・mvuni氏（一部コメントもあり）　Ⓢ：宮城・SOTK氏　Ⓗ：北海道・併結特急氏　参照番号が⓪の場合、画像はありません。

ラの記事の右半分のスペースに「子連れ狼」広告が載っている）。のび太のパパは商事会社の課長補佐と判明！　また、ヘリトンボを使うと腹ペコになると誤解しそう。それに「シンは猫だからねずみが大きらい。」ってどういう意味？　雑誌を上回る人気でアニメの今後の針路を左右するはずが、残念な結果に終わってしまいました。

5 週刊TVガイド・'73年3月24日号
「春の子供向け新番組紹介」「おばQ以上のヒット作を狙う！」より

◉話題作と言えば、この「荒野の少年イサム」以上、というのが「ドラえもん」だ。「とにかく、小学一年から四年までに掲載され、四月からさらに六年生までに掲載される事になってます。〝オバQ〟以来のヒット作ですよ」と、番組制作者ですら、いささかあきれ顔。

物語はネコのロボットが主人公。未来の国からやってきて、ある家に住み込む。この家の小学生、のび太くんが実にダメな男。

5 週刊TVガイド・3月24日号 提供ⓜ

学校の成績は中の下。喧嘩に弱く、スポーツもニガ手ときている。そこで、ドラえもんが未来の国から持って来たさまざまな武器を使ってのび太を助ける。

例えば～ボールペン～手に握ると一人でに宿題をスラスラとやってくれる。一粒の丸薬～口の中に入れると、口下手だったのび太がたちまち能弁になる。口紅～つけてやると悪口をいっていた人間が一変して悪口を言わなくなる。超能力を持ったドラえもんだが、弱点もある。空腹とネズミ。この二つに襲われると、たちどころに超能力を失ってしまう。原作は「もーれつア太郎」（原文ママ）の藤子不二雄。

「SF調ホームコメディといった作品。ごく平均的な小学生とドラネコという組み合わせが子供たちに親近感を感じさせているようです。〝オバQ〟とか〝もーれつア太郎〟以上のヒット作になりますよ。」と日本テレビは自信たっぷりだ。（中略）

ところで、こうした新番組の登場とともに話題となるのがマーチャンダイジング。つまり、劇中に登場する人物、怪獣、武器の商品化、さらに主題歌のレコードなどの発売だ。『ドラえもん』ではマジックボールペン、ノート、シール、玩具、人形、電動人形、（中略）といった調子で放送スタートと同時にモーレツ商戦を繰り広げるべく手ぐすねを引いている。一部ではすでに売り出されたものもある。」

Ⓚ関係者の「絶対ヒットする！」という猛烈な自信が伝わって来ますね。ここで書かれている商品でレコードとソフビ人形（二種）以外は確認できていません。写真は、野比家の庭に集合したドラえもんと野比一家。原作の初期をモデルにしているので、かなり違和感があります。のび太は何で白け顔？　放送本編の絵柄ではなく宣伝用に配信されたイラストと思われます。（記事作成協力：ⓜ）

6 河北新報・3月28日（水）
宮城テレビの新番組宣伝広告より

◉ボク、未来の国から飛んできたドラえもん。魔法の秘密兵器で活躍するョ！

Ⓚ河北新報（本社：仙台）に載った宮城テレビの新番組の合同広告で、他では見ない変な書き文字でタイトルが描かれています。河北新報は宮城県を中心に青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県の東北地方六県に展開している新聞です。

7 山梨日日新聞・3月29日（木）
オレ、ドラえもん

◉動物を主人公にしたまんががかなり目立つ。四月から「ドラえもん」（YBS）、ワンサくん（フジ系）がスタートするが、「ドラえもん」はネコ、「ワンサくん」はイヌが主人公。このほか継続するものは、「山ねずみロッキーチャック」「けろっこデメタン」（フジ系）、UTYの「ど根性ガエル」も六日から登場するなど、身近な動物が登場するまんがは、やはり子供たちに喜ばれているようだ。

「ドラえもん」は動物まんがとは、ちょっと様子が違う。ドラえもんは確かにネコには違いないが、未来の国から〝のび太〟という少年の助太刀にやってきたネコのロボット。このドラえもんは底なしポケットがおなかにあって何でもつめ込むことができ、この中には数々の秘密兵器がある。（4と重複するので中略）ユーモアあふれるホームコメディーだ。

Ⓚ「オレ、ドラえもん」って…。でも富田さんなら違和感無さそう。番組資料からドラの一人称が不明だったため、適当に見出しをつけたって感じです。また、ED「ドラえもんルンバ」では何故か「オイラ」でした。（記事作成協力：ⓜ）

8 週刊TVガイド・3月31日号
春の新番組特集～こどものページ・変身ロボットから真理ちゃんまで～

◉ロボットが活躍するのは『ロボット刑事』と『ドラえもん』。（中略）『ドラえもん』は、のび太というだめな男の子を助けに、未来の国から飛んできたロボットねこ、ドラえもんが魔法をいろいろ使うんだ。ドラえもんのお腹の中には、秘密兵器がたくさん入っているんだョ。そのうえ、彼自身も、超能力を持っているんだけど、おっちょこちょいで、いつも失敗ばかりするんだョ。いってみれば、ちびっこのみんなに笑ってもらおうというコメディーなんだ。

Ⓚ放送ネット一覧が興味深い（8右）。ロボット刑事とドラえもんとはチグハグなコンビ。画像（8左）はテレビ欄からで、記事の内容は毎日新聞（9）とほぼ同じです。記事の内容は毎日新聞（9）とほぼ同じです。

9 毎日新聞・東京版・4月1日（日）

◉笑いと友情を　新番組。秘密兵器をあやつるスーパー・ロボットのネコ〝ドラえもん〟と何をやってもダメな少年のび太が繰り広げる珍騒動を描く笑いと友情のギャグアニメーション。現在、雑誌に連載中の藤子不二雄・原作のマンガのテレビ化で毎回二本ずつ放送する。

Ⓚ放映開始当日まで、東京版の主要紙に関連

❻河北新報・3月28日 提供Ⓢ

◉未来の国から送りこまれたネコのロボット・ドラえもん　ポケットにはたくさんの秘密兵器が…⬇

Ⓚこれではまるでドラえもんが悪のロボットのよう。

スーパー猫の登場！
<日本　夜7.00>

タイトル	放送局名	放送時間	スタート日
流星人間ゾーン	日本・読売・中京・FBS・KRY・KTN・STV・青森放送・テレビ岩手	夜7.00～7.30	4月2日(月)
白獅子仮面	日本・読売・中京・FBS・STV・宮城・テレビ岩手	夜7.00～7.30	4月4日(水)
ドラえもん	日本・読売・中京・FBS・KRY・KTN・TKU・STV・青森放送・宮城・テレビ岩手	夜7.00～7.30	4月1日(日)
ウルトラマンタロウ	TBS・朝日・CBC・SBS・RKB・HBC・青森テレビ・東北	夜7.00～7.30	4月6日(金)
荒野の少年イサム	フジ・関西・東海・テレビ静岡・TNC・STS・UHB・仙台	夜7.00～7.30	4月4日(水)
ワンサくん	関西・フジ・東海・テレビ静岡・TNC・STS・UHB・仙台	夜7.00～7.30	4月2日(月)
ロボット刑事	フジ・関西・東海・テレビ静岡・TNC・STS・KTN・UHB・仙台	夜7.00～7.30	4月5日(木)
Go！Goスカイヤー	フジ・関西・東海・テレビ静岡・TNC・KRY・STS・KTN・TKU・STV・青森放送・仙台	夜7.00～7.30	4月6日(金)
風雲ライオン丸	フジ・関西・東海・TNC・STS・UHB・仙台	夜7.00～7.30	4月14日(土)
ミクロイドS	NET・毎日・名古屋・KBC・RTS・青森テレビ 宮城テレビ3週遅れ(土)昼4.00～5.10	夜6.30～6.55	4月7日(土)

へんしん！ポンポコ玉　TBS・朝日・CBC・SBS・RKB・NBC・RKK・HBC・青森テレビ・東北・岩手　夜 7.00～7.30　4月15日（日）

❽週刊TVガイド・3月31日号 提供Ⓜ

●東奥日報・3月26日RAB青森放送広告 提供Ⓢ

●山形新聞・3月30日 提供Ⓢ

ドラえもん
日曜日〈よる？時〉

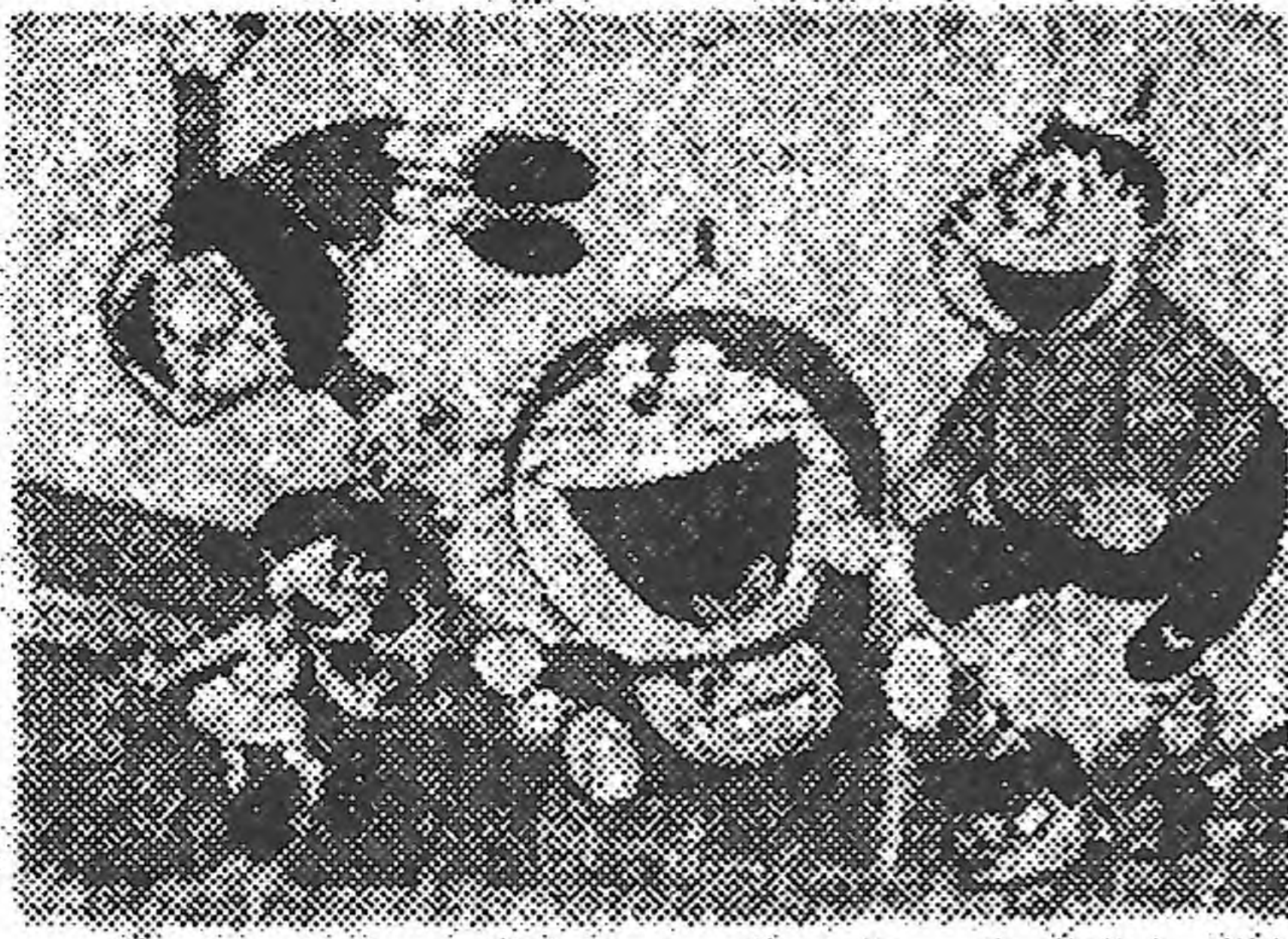
❼山梨日日新聞・左：3月29日　右：'73年4月21日 共に提供ⓜ

記事は全く無く、開始当日の朝日新聞に「子連れ狼」広告の隅に小さい宣伝と、毎日新聞に写真無しの簡単な番組紹介が載っているだけでした。肝心の読売新聞・東京版は放映終了まで何もありません。（朝日新聞Ⓘ・提供Ⓜ）。

7時 ドラえもん

⑩河北新報・4月1日（日） 宮城テレビの宣伝広告&テレビ欄

◉秘密兵器をあやつるロボット猫

［新番組］◇ドラえもん（テレビ岩手宮城テレビ山形放送後七・〇〇）秘密兵器をあやつるスーパー・ロボット猫〝ドラえもん〟と、何をやってもダメな少年〝のび太〟がくりひろげる珍騒動を描くアニメーション。藤子不二雄原作。のび太は小学四年生。のびのびとした気性で正義感も強いが、勉強はできず、運動神経もにぶく、何をやらせてもダメな少年。未来の国にいる、のび太の孫の孫にあたるセワシがついに見かねて、スーパー・ロボット猫〝ドラえもん〟をのび太の所へ送り込んで来る。のび太を立派な人間に鍛え直そうというのだ。ドラえもんは、人間の言葉をしゃべり、おなかの中に無数の秘密兵器を持っているすごいロボット猫だが、少々おっちょこちょい。使命感に燃えて、何らかとのび太のめんどうをみるが、結果はいつもズッコケ。

⑩河北新報・4月1日 提供Ⓢ

Ⓚ記事の写真も広告（Ⓛ）と同じもの。「秘密兵器」という言い方はシンエイ版ドラ初期にも一部で使われていました。朝日新聞・大阪版にもよみうりテレビの左半分が「子連れ狼」のよく似た広告が載っていて「そうらオッチョコズッコケドラえもんのお出ましだ〜い!! 藤子不二雄の人気マンガSFホームコメディ ドラえもん」というあおり文句が付いていました。中日新聞の中京テレビ広告でも同じ写真が使われていて「人気のコミックアニメだよ〜！猫のロボットなのにネズミに弱いんだってさ。」というまるで新オバQ主題歌のようなあおり文句があるそうです。

Ⓛ河北新報・4月1日 提供Ⓢ

⑪岩手日報・4月1日（日）・テレビ欄より

◉「ロボットのネコが巻き起こす珍騒動」〈新番組〉ドラえもん（後七・〇〇）「出た!!ドラえもんの巻」

秘密兵器を操るスーパーロボットネコ・ドラえもんと、何をやってもダメな少年・のび太が繰り広げる珍騒動を描く、笑いと友情のギャグ・アニメーション。原作は「オバケのQ太郎」でおなじみの藤子不二雄。

新学期早々、のび太は学校に遅刻して、我成先生から大目玉をくらった。おまけに、出題された簡単な問題も解けず、みんなに笑われたのび太は、もう学校へは行きたくないとママにごね出した。そんなとき、未来の国から、のび太の孫の孫と名乗るセワシ少年が、ドラえもんというロボットネコを連れてやって来た…。（画は左下）

Ⓚ第一話のあらすじはどこにも書かれていないと思われていましたが、遂に発掘！日テレ版独自の先生の名前まで判明。赤旗（毎日新聞より簡潔）によると脚本は新オバQの第一話も書いている山崎晴哉氏です。この他、釧路新聞、十勝毎日新聞、東奥日報、山形新聞などに簡単な番組紹介が掲載。

⑫岩手県（提供Ⓢ）、福島県の場合

Ⓚ関東地方ではフジテレビのマジンガーZは日本テレビのドラえもんの裏番組ですが、岩手県では「マジンガーZ」が［日テレ版ドラ］と同じテレビ局の「テレビ岩手」で放送されたため、時間帯が［日テレ版ドラ］とは重ならなかったらしいです。「マジンガーZ」の時間帯は、毎週月曜日、夕方6時で放送開始は4月2日から。岩手県は当時民放が二局しか有りませんでした。福島中央テレビの場合、裏番組は当時フジとTBSとのクロスネットだった福島テレビの「へんしん!ポンポコ玉」で、フジ系日曜のアニメは福島テレビで月曜夜に放送していました。当然これらの地方では［日テレ版ドラ］の視聴率が他よりは高かったはずです。ちなみに、フジテレビで「マジンガーZ」の次の時間に放送された「山ねずみロッキーチャック」は、岩手県では「岩手放送テレビ」の毎週月曜日・夕方6時に放送され、「マジンガーZ」の裏番組になってしまっていました。

※同時期の藤子アニメ「ジャングル黒べえ」は本来3月2日の放映開始ですが、「テレビ岩手」では日曜日、朝11時に放送され、放送開始は73年4月1日。局と放送開始が［日テレ版ドラ］と同じ所が面白い。福島県では［日テレ版ドラ］と同じ福島中央テレビで4月16日（月）の午後6時から。秋田では更に遅れ、7月24日に［日テレ版ドラ］と同じ秋田放送で午後5時半から。

⑪岩手日報・4月1日 提供Ⓢ

●毎日小学生新聞・4月1日

⑬ **読売新聞・東京版・4月1日（日）日曜版＆配付された日光写真**（ネット掲示板経由である方から提供いただきました）

ⓚ日本テレビの子供向け五番組の宣伝キャラバン隊の広告です。ドラの絵は3月10日の読売大阪版（②）などと同じ写真が元になっているようです。75団地を回る予定とされ、この広告には武蔵野緑町団地、袖ヶ浦団地、南浦和団地、東久留米団地、洋光台中央団地など東京・埼玉・千葉・神奈川の23団地が書かれています。

⑭ **読売新聞・東京版・4月19日「てれび街」人気、昔懐かしの日光写真日本テレビがPR用に作る**

◉テレビは新番組シーズンとあって、各局とも子供向けにワッペンやシールを作り、盛んに番組宣伝合戦をやっているが、日本テレビが作った日光写真が、中でも爆発的人気。（中略）種紙は、新番組の「ドラえもん」や「流星人間ゾーン」など五種類作り、印画紙を二十枚付け、これが一組。原価は三十四円。全部で十万組作った。先月下旬から東京都内の団地を宣伝キャラバンが配って歩いている。今月下旬まで七十五団地を回る。

―日本テレビがPR用に作る

新番組「ドラえもん」などを書いた種紙

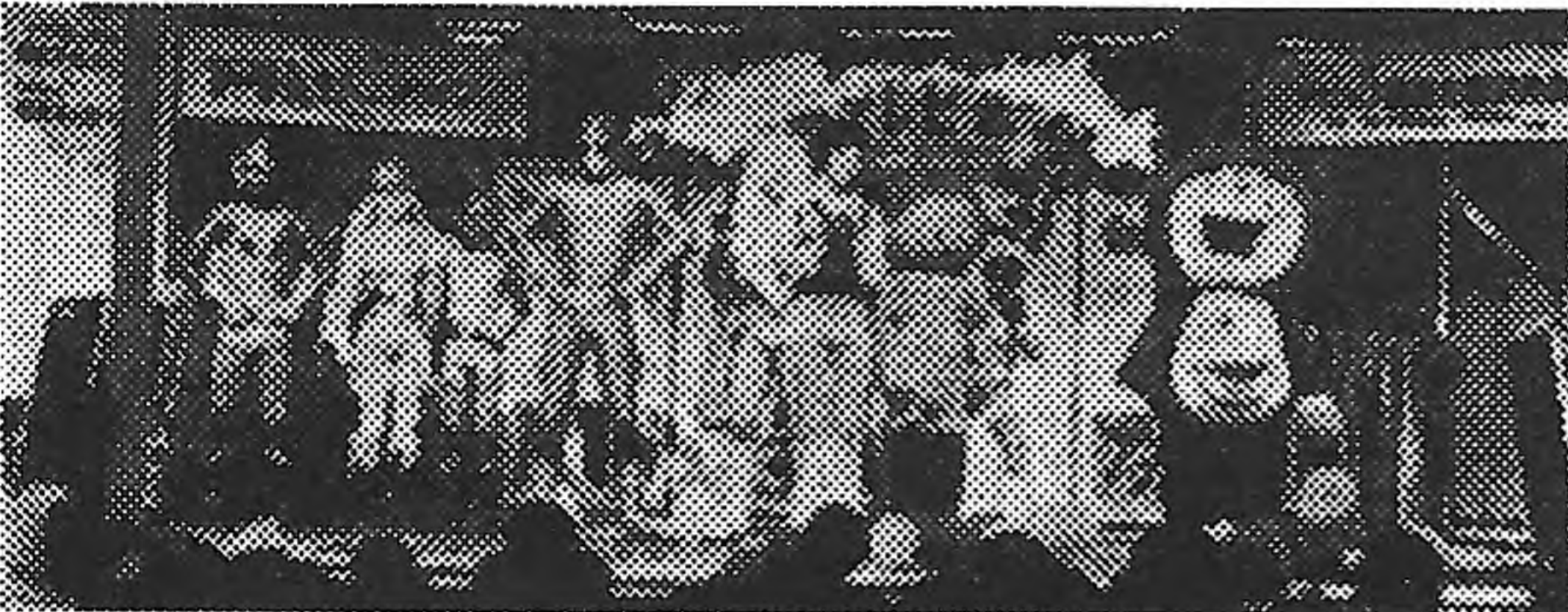
⑮ **赤旗・4月17日（火）テレビ欄より「〝変身〟をのりこえた試み こども向け四月新番組 ふえた動物もの〈ワンサくん〉愛くるしい動き愉快なギャグ〈ドラえもん〉」**

ⓚ石子順氏による辛口のこども向け新番組の批評記事です。紹介されているのは「ワンサくん」「ミクロイドS」「荒野の少年イサム」「ロボット刑事」などで、「ドラえもん」は写真があるものの「ネコが主人公の『ドラえもん』（日本テレビ）が、ギャグものとして愉快です。」と書いてあるだけ。山梨日日新聞（⑦）同様、「ドラ」は動物もの扱いされてます。（※「キューピットでスキスキ作戦の巻」の写真が掲載。本誌のエピソード紹介ページに掲載）。

日本テレビ版ドラえもん 新聞・雑誌 スクラップ part 2 各話紹介編

き〜ぼ〜Presents

Ⓚ東奥日報・9月10日●ドラえもんは、RAB（青森放送）を代表するキャラクターだったのか、RABの社外モニター募集の広告に登場しています。今なら、違和感ありませんが終了間近い番組を使っているのが不思議です。

⑯東奥日報・4月27日 提供Ⓢ

●写真は'73年4月29日から5月6日まで、西武デパート池袋店屋上の特設ステージで催された「日本テレビまつり」。縫いぐるみショーや主題歌大会の他、タレント約60人が歌やサイン会を行われた。ドラの着ぐるみや「ドラえもんショウ」の看板が確認できる。出典：日本テレビ放送網・昭和53年8月28日発行「大衆とともに25年」〈沿革史〉提供：恐実央

ヨル7:00
マンガ映画
ドラえもん
「おせじ鏡の巻」「パパとママの結婚記念日の巻」

⑰東奥日報・4月28日

★社外モニター募集

東奥日報・9月10日 提供Ⓢ➡

“ヘリトンボ”を使って町の上空を飛ぶのび太とドラえもん（右）

わが輩を知ってるかい？

『ドラえもん』（日曜よる七時）の原作者は、みなさんよくご存知の「オバケのQ太郎」でおなじみの藤子不二雄さんです。

のび太というダメな男の子を助けに未来の国からやってきたロボット猫、ドラえもんの活躍が見ものです。猫のロボット、ドラえもんとのび太の凸凹コンビが織りなすSFの世界は、キミたち少年の生活レベルで描かれていて、その面白さはとってもユニークで抜群です。ドラえもんとはどんなロボット猫なのか、そしてドラえもんが次々に駆使するカッコイイ秘密兵器の一部を紹介してみましょう。

★普通の人間と同じように、ごはんを食べ、人間の言葉を話すんです。

ドラえもんとは こんな ケッタイな猫なのだ

★おなかに底なしポケットがついていて、何でも入れることができます。またポケットから不思議な小道具をいっぱい取り出すんだよ。

★馬力はおとなの五人前。何でも吸いつける磁石を持ち、しっぽを引っぱると姿がパッと消えてしまう。

★頭にヘリコプター式のプロペラをつけると、どこへでも飛んでゆける。そのエネルギー源はごはん。ごはんが電気エネルギーにかわります。

★弱点は、おなかがすくと、とたんにエネルギーが欠乏し、元気がなくなること。

ねずみが大きらいで、見ただけでふるえ上がって逃げ出してしまいます。

★タイム・マシンに乗っかって未来からやって来たドラえもんの出入口は、のび太の机の引き出し。

〈ドラえもんの秘密兵器〉

★オーケーマイク これでしゃべると誰でもなんでもOKしてしまいます。

★おせじ口紅とわるくち口紅 この口紅を相手につけると、おせじを言ったり、悪口を言ったりします。

★自動ホールペン むずかしい宿題も、これを使うとペンが勝手に動き始めて、アッという間にかたづけてしまいます。

★タイムテレビ 現在はもとより、過去も未来も思うままに見ることができます。

★ヘリトンボ 頭につけると自由自在に空を飛べます。

★復元光線 見かけは懐中電灯のようですが、光を当てると、こわれた花びんもサーッと元通りになります。

★入れ歯 歯の先っちょにはめると、口ゲンカが驚くほど強くなり、早口なら誰にも負けません。

★胸につるした大きな鈴 これを鳴らすと隣近所の猫がみんな集まってくる。ドラえもんが困ったとき、仲間の意見や応援を頼むためにときどき使います。

このほか毎回、秘密兵器がぞくぞく登場し、ユーモアあふれるホーム・コメディーを構成しています。超能力をもっていながら、どこかおっちょこちょいで、いつもズッコケてばかりいるドラえもんは、雑誌（「よいこ」「幼稚園」「小学一年〜六年」）以上にいま人気者になっています。テレビの『ドラえもん』を見ておなかの底から笑いましょう。

⑱読売新聞 大阪版・5月4日 夕刊

⑯東奥日報・4月27日
「あさむしキディランド春まつり子供大会」

Ⓚ青森市の遊園地「あさむしキディランド」（現・ワンダーランド浅虫）の春まつり子供大会の広告です。「TV番組でおなじみの主人公がキディランドにやってくるよ！」という事で、5月3日〜6日にかけて「流星人間ゾーン」「ファイヤーマン」「おんぶおばけ」「どらえもん」の来訪が伝えられています。

⑰東奥日報・4月28日（金）

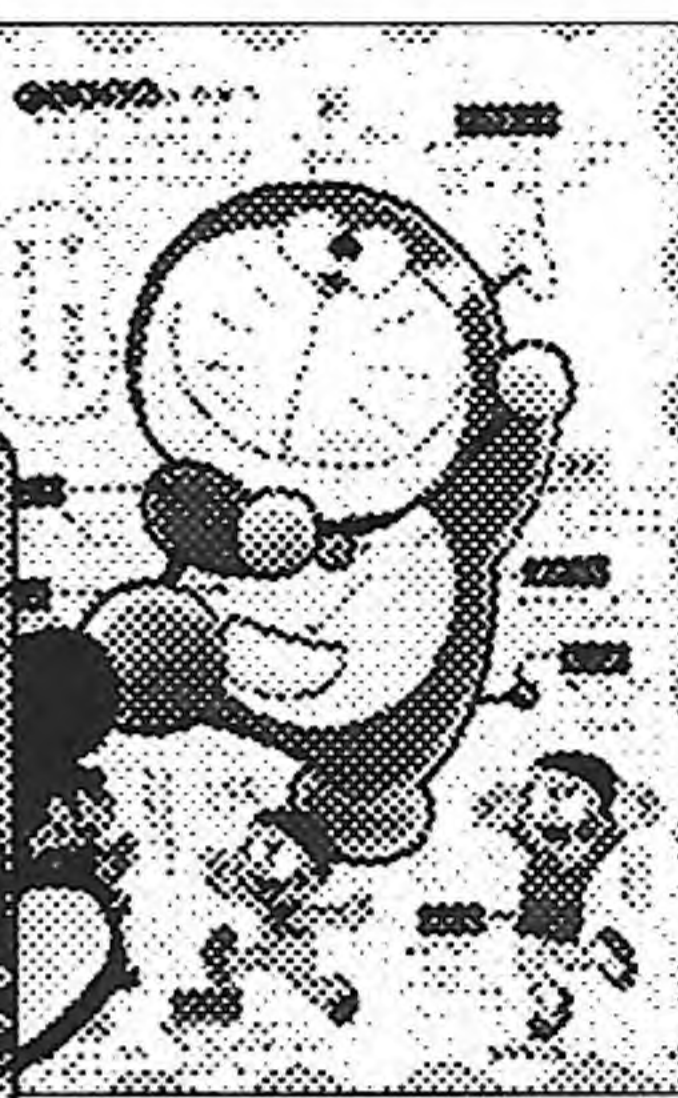
Ⓚ第5回の前日、4月28日に載ったRAB青森放送の広告の一部で、写真は勉強机のイスに座っているドラえもんの横顔。他に「子連れ狼」「マドモアゼル通り」「おこれ！男だ」「すばらしい世界旅行」「スパイ大作戦」が取り上げられていました。この頃は「アニメ」という言い方はあまり一般的では無かったのですね。

⑱読売新聞・大阪版・5月4日（金）夕刊

◎「話題の10チャンネル」よりわが輩を知ってるかい〜ドラえもんとはこんなケッタイな猫なのだ〜

『ドラえもん』（日曜よる七時）の原作者は、みなさんよくご存知の「オバケのQ太郎」でおなじみの藤子不二雄さんです。のび太というダメな男の子を助けに未来の国からやってきたロボット猫、ドラえもんの活躍が見ものです。猫のロボット、ドラえもんとのび太の凸凹コンビが織りなすSFの世界は、キミたち少年の生活レベルで描かれていて、その面白さはとってもユニークで抜群です。ドラえもんとはどんなロボット猫なのか、そしてドラえもんが次々に駆使するカッコイイ秘密兵器の一部を紹介してみましょう。

↑ポケットから取り出した「ネコあつめ鈴」を使うドラ（#36）

←'73・小二・4月号
↓'73・小一・3月号
（いずれも部分抜粋）

↑'70・小二・2月
（連載二回目）

★普通の人間と同じように、ごはんを食べ、人間の言葉を話すんです。
★おなかに底なしポケットがついていて、何でも入れることができます。またポケットから不思議な小道具をいっぱい取り出すんだよ。
★腕力は大人の五人前。何でも吸いつける磁石を持ち、しっぽを引っぱると姿がパッと消えてしまう。
★頭にヘリコプター式のプロペラをつけると、どこへでも飛んでゆける。
そのエネルギー源はごはん。ごはんが電気エネルギーに変わります。
★弱点は、おなかがすくと、とたんにエネルギーが欠乏し、元気がなくなること。ねずみが大きらいで、見ただけでふるえ上がって逃げ出してしまいます。
★タイム・マシンに乗っかって未来からやって来たドラえもんの出入り口は、のび太の机の引き出し。

〈ドラえもんの秘密兵器〉

★**オーケーマイク**：これでしゃべると誰でも何でもOKしてしまいます。
★**おせじ口紅とわるくち口紅**：この口紅を相手につけると、おせじを言ったり、悪口を言ったりします。
★**自動ボールペン**：むずかしい宿題も、これを使うとペンが勝手に動き始めて、アッという間にかたづけてしまいます。
★**タイムテレビ**：現在はもとより、過去も未来も思うままに見る事ができます。
★**ヘリトンボ**：頭につけると自由自在に空を飛べます。
★**復元光線**：見かけは懐中電灯のようですが、光を当てると、こわれた花びんもサーッと元通りになります。
★**入れ舌**：舌の先っちょにはめると、口ゲンカが驚くほど強くなり、早口なら誰にも負けません。
★**胸につるした大きな鈴**：これを鳴らすと隣近所の猫がみんな集まってくる。ドラえもんが困ったとき、仲間の意見や経験を聞くためにときどき使います。

このほか毎回、秘密兵器がぞくぞく登場し、ユーモアあふれるホーム・コメディーを構成しています。
超能力を持っていながら、どこかおっちょこちょいで、いつもズッコケてばかりいるドラえもんは、
雑誌（「よいこ」「幼稚園」「小学一～六年」）以上にいま人気者になっています。
テレビの『ドラえもん』を見ておなかの底から笑いましょう。

Ⓚまた「我輩は猫である」風の変な一人称にされています。本文は、ドラえもん自身の秘密と秘密兵器の紹介で、前回3月24日の記事（4）と重なる部分もあります（おせじ口紅って相手につける物だったっけ?）。「腕力は大人の五人前」などの設定は日テレ版オリジナルでは無く、小二連載二回目の図解で生まれた物で、赤外線アイ、猫集め鈴の原形、そして「底なしポケット」という名前もこの時に出来ています。'75年「ドラえもん大事典」にて129・3馬力の設定に変わりました。上の画像は小一・'73年3月号「ドラえもんのひみつ」の「鳴らすとネコが集まってくる不思議なすず」の挿絵。原作では使われていない設定です。小二・'73年4月号の図解は［日テレ版ドラ］の設定と大体同じ内容。

19 週刊TVガイド・5月5日号
テレビ欄内の日本テレビ広告から

Ⓚ6月まで頻繁に登場し、同時期に「ファイヤーマン」「白獅子仮面」「流星人間ゾーン」「スーパーロボット・レッドバロン」等の同様フォーマットの広告もあったそうです。（※画像は次頁●記事作成協力：ⓜ）

20 週刊TVガイド6月9日号
「タイムフロシキ騒動」

ⓀTVガイドでは第一回の後も、あらすじが紹介されました!
6月10日放映・第11回A「ふしぎなふろしきの巻」の紹介で、原作と異なるのはテレビが完全に壊れてしまう辺り。写真は第一回の時の岩手日報でも使われていたので本編の物では無いみたいです。原作（てんコミ2巻収録）が描かれたのは'70年、この頃でも野比家のテレビは白黒だったんでしょうか。（※画像は次頁●記事作成協力：ⓜ）

21 東奥日報・6月10日
◉「ああ、おばあちゃん」

物置き小屋からホコリだらけになったクマのぬいぐるみが出てきた。それはのび太が幼稚園のころに死んだおばあちゃんの作ってくれたものだった。おばあちゃんと急に会いたくなったのび太は、ドラえもんにタイムマシンで昔へもどしてくれるよう頼み込んだ。
おばあちゃんがまだ生きていた六年前—小さなのび太は、今と同じように弱虫であった。しかし、そんなのび太をおばあちゃんは目に入れても痛くないといった様子。そのおばあちゃんの前に、ドラえもんが止めるのをふり切って姿を現わした小学生ののび太。ところが、おばあちゃんはのび太のお嫁さんも見たいと言い出した…。

Ⓚ普通の新聞にまで途中の回の紹介が載っているとは思ってもいませんでした。「のび太のおばあちゃんの巻」はTVガイドでも紹介された「ふしぎなふろしきの巻」のBパ

ドラえもん

今夜7:00 4

日本テレビ

⑲週刊TVガイド・5月5日号 提供ⓜ

タイムフロシキ騒動

＜日本 夜7.00＞

「ドラえもん・ふしぎなふろしきの巻」のび太の家のテレビがこわれてしまった。でも、パパもママも新しいのを買ってくれない。そこで、ドラえもんはタイム・フロシキというものをとりだした。これをかぶせると、古いものが新しくなるのだ。でも、使い方を間違えると、新品が古くなってしまう。

⑳週刊TVガイド・6月9日号 提供ⓜ

すごい美人のユリ子

＜日本 夜7.00＞

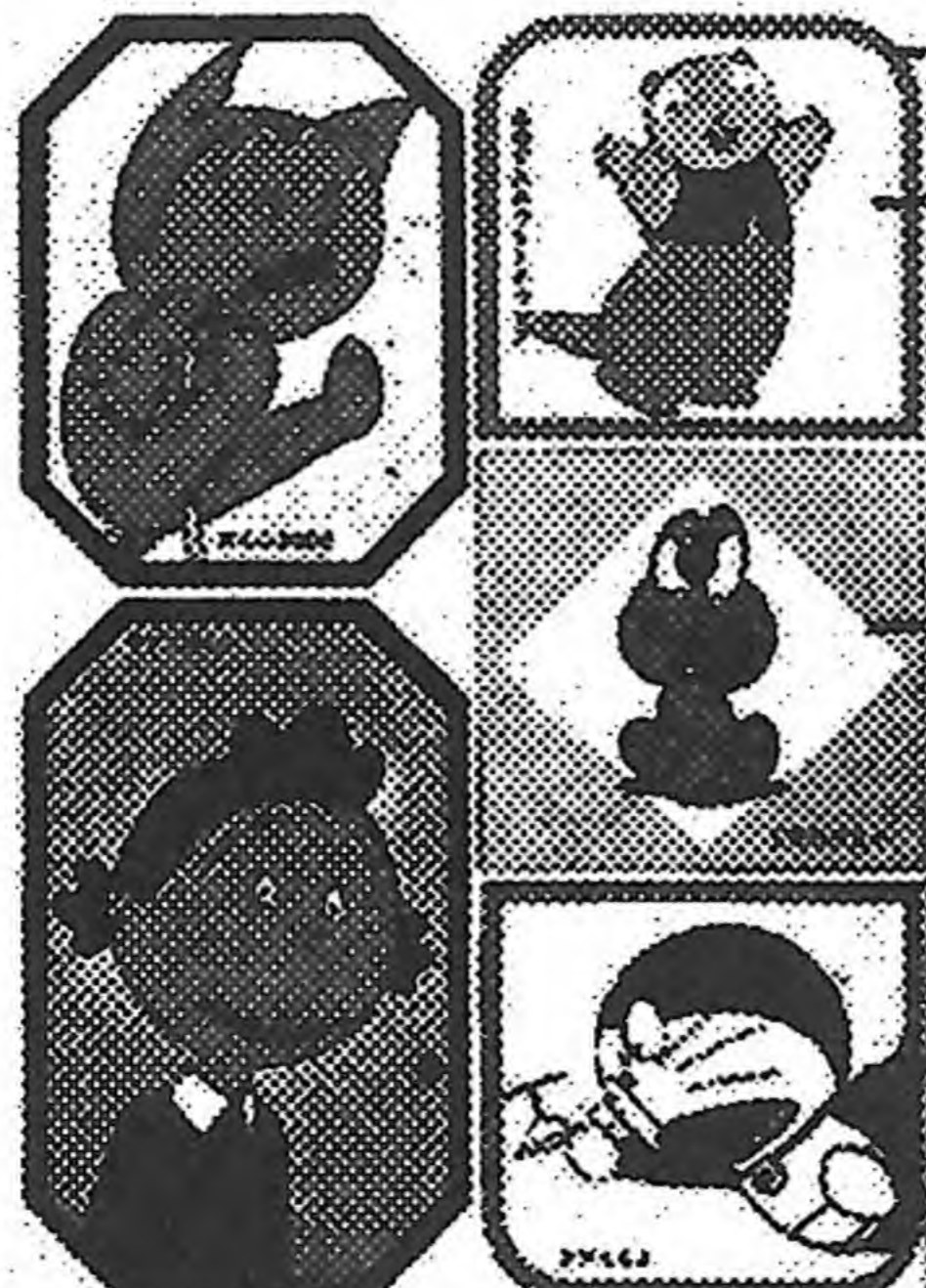
「ドラえもん・すてきなガールフレンドの巻」静香ちゃんに冷たくされて、のび太はションボリ。それを見て気の毒に思ったドラえもんはすごい美人をのび太に紹介する。このユリ子ちゃんは、のび太だけを好きになるようにしてある"友だちのロボット"。すてきなガールフレンドにのび太は大喜び。

㉓週刊TVガイド・9月8日号 提供ⓜ

ートです。

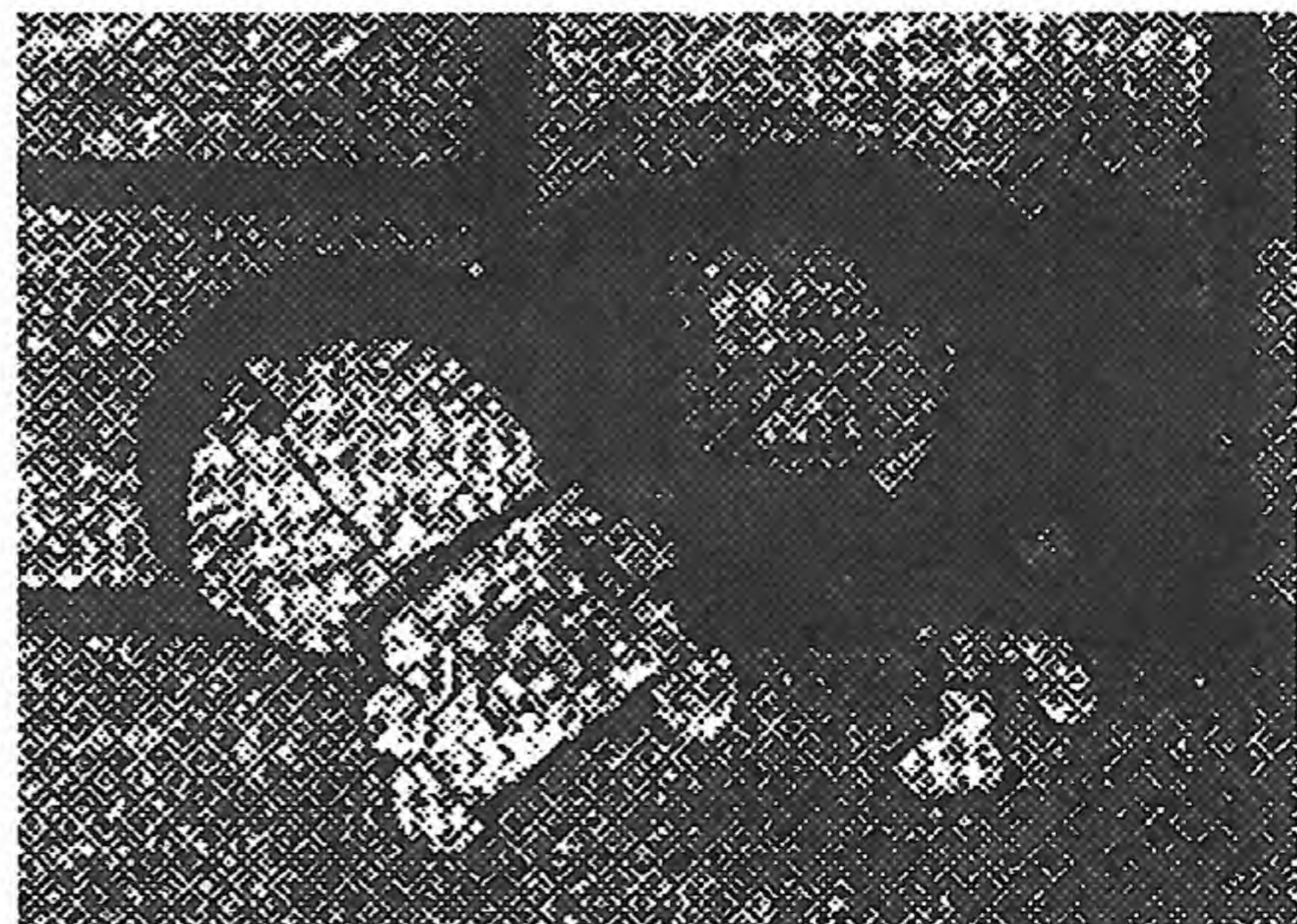
「おばあちゃんのおもいで（てんコミ４巻）」はシンエイ版でも'79年に作られ、'86年にリメイク、'00年には渡辺歩監督によって映画化された名作。この記事は原作のあらすじのほとんどを書いてしまっていますね。手を取り合って原作以上に喜んでいる様子が微笑ましいです。（※画像は本誌のエピソード紹介ページに掲載）

㉒週刊TVガイド・7月28日号
付録「仲良しカラーワッペン」

Ⓚワッペンとは名ばかりで、ただのカラーグラビアです。同誌（⑧）と同じ写真からドラとヘリトンボを抜き出しています。他に、けろっこデメタン、ロボット刑事、流星人間ゾーンがあります。（記事作成協力：ⓜ）

㉓週刊TVガイド9月8日号
「すごい美人のユリ子」

Ⓚロボ子は日テレ版ではユリ子と呼ばれていた!? 見出しはユリ子なのに静香ちゃんの写真が載っています。これだけでは原作との内容の違いはあまり分かりません。（記事作成協力：ⓜ）

㉔東奥日報・9月16日

◉「のび太の絵に大笑い」

のび太がスネ夫や静香ちゃんと写生している。まっ先に完成したのはスネ夫の絵で、まずまずの出来ばえ。ところが、のび太のは、のぞき込んだみんなは大笑い。モデルはブルドッグなのだが、ネコとも犬ともブタともつかないものが書かれているのだ。家へ帰ってドラえもんの前でよよと泣きくずれるのび太。

そんなのび太のためにドラえもんは「そっくりクレヨン」を取り出した。（提供：Ⓢ）

Ⓚ第24回Ａ「そっくりクレヨンの巻」の記事。写真は、ドラえもんが手に抱えたスケッチブックにのび太が絵を描いているように見えます。

㉕河北新報・9月30日（日）

◉最終回「〝帰っておいで〟未来の国が呼ぶ」

◇ドラえもん＝最終回＝（宮城テレビ青森放送 山形放送福島中央テレビ後七・〇〇

1.「ネンドロン大騒動の巻」のび太がひん曲げてしまったゴルフのクラブをドラえもんはネンドロンという粉をふりかけ、またたく間に元通りに直した。二人は調子に乗って街へ出かけ、電柱や石のヘイの形を思うままに変えて歩いたからさあ大変…。

2.「さようならドラえもんの巻」のび太が最新型の自転車を買ってもらってはしゃぎまわるが、まだ自転車に乗ることができないので、いつものようにドラえもんに頼もうとした。

ところが、なぜか元気がないドラえもん。それというのも、未来の国から来ているドラえもんに、国へ帰ってくるよう言ってきたのだった。

Ⓚ何と、河北新報には最終回の紹介記事まで載っていました。しかも写真付き！ Aパートの紹介まであります。原作「ネンドロン」では、のび太はゴルフクラブを曲げず、スネ夫の挑発から始まっています。

写真は、「なぜか元気のないドラえもん…」という説明があって、土管のある空き地にドラえもん、のび太、ガチャ子とジャイアン、スネ夫ほか三名が立っているのが見えます。ちなみにこの日のテレビ欄に載っている写真はこれ一枚だけ。

東京の新聞には『日テレ版ドラ』の記事は全然載っていなかったのに、宮城の新聞でこんなに宣伝があったのがとても不思議です。同時期の他の番組の扱われ方については、SOTKさんによると「ウルトラマンタロウ」の広告ぐらいで、「河北新報」でテレビ欄に子供番組が載ることはほとんど無かったそうで、藤子アニメの場合、「新オバQ」は新番組広告だけで、「ジャングル黒べえ」は、一度も扱われなかったとの事です。

※画像は本誌のエピソード紹介ページに掲載

㉖北海道新聞・9月30日（日）

◉「国へ帰るドラえもん」ドラえもん（最終回）「さようならドラえもん」ほか

のび太が最新型の自転車を買ってもらってはしゃぎ回っている。近いうちに静香ちゃんたちとサイクリングに行く事になっているのだ。けれども、まだ自転車に乗ることができないのび太。困ったのび太は、いつものようにドラえもんに頼もうとした。ところが、なぜか元気がないドラえもん。一人でしょんぼり歩き回っては物思いにふけっている。それというのも、未来の国から来ているドラえもんに、未来の国へ帰ってくるよう言ってきたのだ。ドラえもんは、一人では何も出来ないのび太のことを考えると心残りでならない。ドラえもんのためガチャ子が名案を考え出した。（情報：Ⓗ）

Ⓚ北海道新聞にも最終回の紹介がありました。「さようならドラえもん」のあらすじはこちらの方が詳しく、ガチャ子が名案を考え出すとか。

日テレ版の最終回の原作は、小四・72年3月号に書かれた最終回。当時は小四までしか連載されていなかった為、描かれた物です（ちなみに71年版の最終回は二人が無理矢理引き離される悲劇的な物でした・NU24号掲載）。実は原作ではこれが本当の別れでは無く、この一年後にドラえもんとのび太は、小五・73年3月号の連載再開予告（『ドラえ本2』102頁参照）で再会を果たしています。

原作では、ドラえもんは自分がそばに居るとのび太に頼り癖が付いてダメ人間になってしまうという判断で未来に帰る決意をしていました。日テレ版最終回のラストは感動的な物だったそうです。

いつか完全な形で『日テレ版ドラ』が見られる日が来たら良いですね。

ホームページご紹介

本誌特集は次の研究サイトおよび主宰の皆様の全面協力をいただき、実現することができました。『日テレ版ドラ』発掘の歴史でもあるこれらのサイトを謝辞に代えて、ご紹介させていただきます。

◉ドラちゃんのおへや「アニメ旧ドラえもん大研究」（おおはたさん）

➡NU会員でもあるおおはたさんによるアニメ&原作「ドラえもん」研究サイト「ドラちゃんのおへや」の1コーナー。元制作スタッフの真佐美ジュンさんはこのサイトをご覧になり、『日テレ版ドラ』に関する情報公開を思い立ったそうです。『日テレ版ドラ』の発掘への動きはこのサイトからすべてははじまったと言って過言ではないでしょう。

◉記憶のかさブタ「旧ドラえもん」（mvunitさん）

➡『日テレ版ドラ』のコーナーでは、「ストーリー紹介」「真佐美ジュンさんインタビュー」「日本テレビ動画」「新聞資料」など、読み応えある記事が満載。

◉藤子少年ランド「幻のドラえもんをたずねて…」（き～ぼ～さん）

➡現役高校生（！）のき～ぼ～さん作成。関係者の証言集、時系列順の新聞採録、グッズなど、資料と関連情報のコラムが充実。

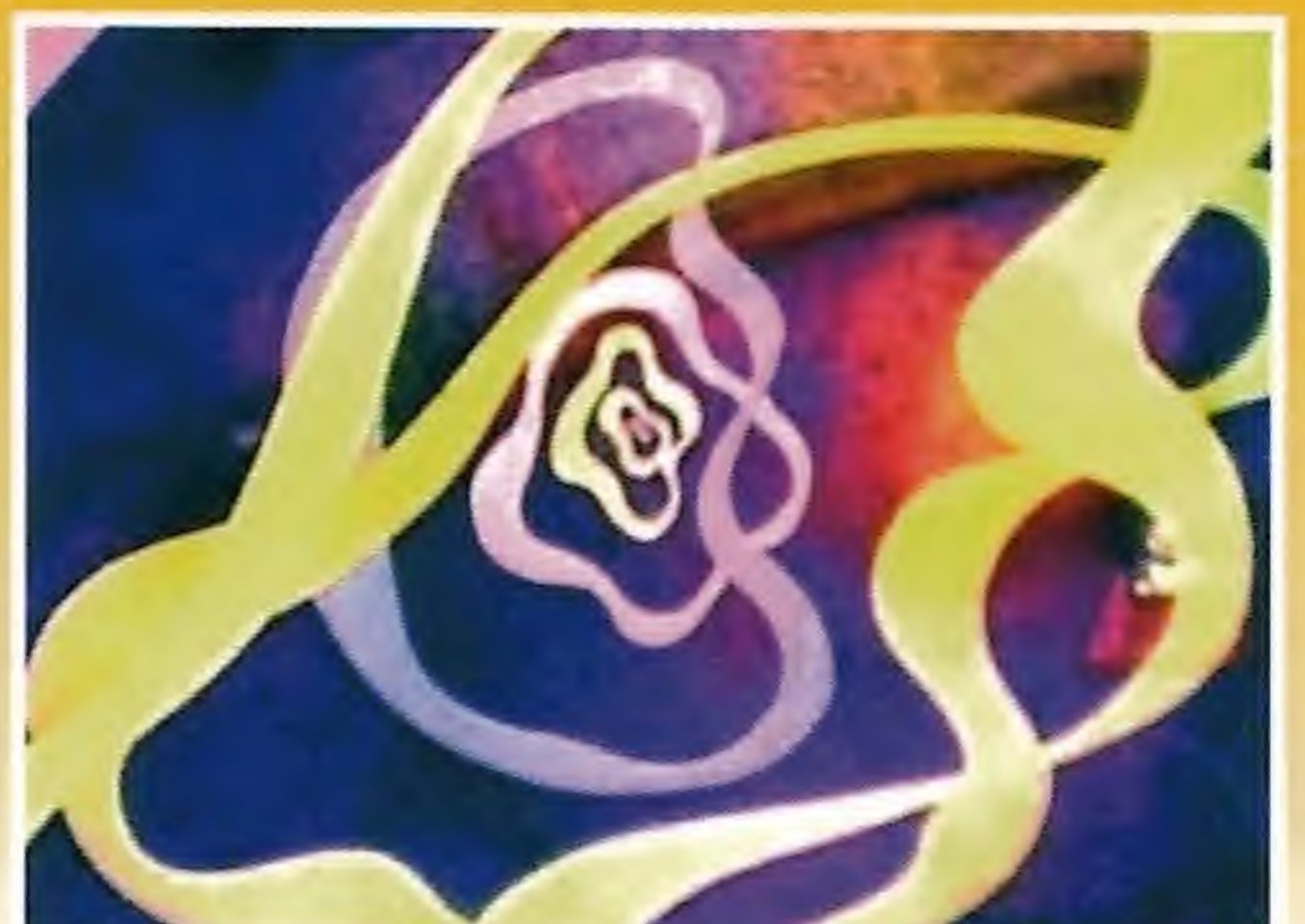
◉真佐美ジュンのへや（真佐美ジュンさん）

➡『日テレ版ドラ』元制作スタッフ真佐美ジュンさんのサイト。『日テレ版ドラ』のコーナーでは、現存するフィルムから抜き焼きされた画像をはじめ、当時の貴重な資料が満載。旧ドラ放映終了にまつわるエピソードも公開されています（要：会員登録）。

—四名様のご健勝と研究のさらなる深耕をお祈り申し上げます。NU読者もぜひ、これらのサイトに足跡を残してください！（編）

◉ドラちゃんのおへや「アニメ旧ドラえもん大研究」 http://hanaballoon.com/ntvdora/
◉記憶のかさブタ「旧ドラえもん」 http://kiokunokasabuta.web.fc2.com/
◉藤子少年ランド「幻のドラえもんをたずねて…」 http://kiboo.hp.infoseek.co.jp/first-dora/
◉真佐美ジュンのへや http://mcsammy.fc2web.com/

だけど ドラえもん いいおとこ

みんなみんながふりかえるよ

たのんだよ まかせたよ

ドラえもん

ホイきたサッサ の ドラえもん

プロデューサー

下町小学校
ホイきたサッサ の ドラえもん

チーフディレクター
上梨満雄

ぼくのドラえもんがまちをあるけば

制作
日本テレビ動画

だけど ドラえもん いいおとこ